

石川原遺跡(1)

ハ ッ 場 ダ ム 建 設 工 事 に 伴 う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書 第 5 8 集

2018

国 土 交 通 省
公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

石川原遺跡(1)

ハ ッ 場 ダ ム 建 設 工 事 に 伴 う
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 報 告 書 第 5 8 集

2018

国 土 交 通 省

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

序

八ッ場ダムは、首都圏の利水、治水を主な目的として吾妻川の中流に建設される多目的ダムです。ダム建設に伴う発掘調査は平成6年度から始まりました。本年で23年目を迎えることになります。調査研究の進展に伴って、この地域に暮らし、山野を拓いて地域を發展させてきた先人の営みが、徐々に明らかになってきています。

本書は平成20年から発掘調査を継続しております石川原遺跡に関する発掘調査報告書の第1冊であります。遺跡東部の調査区で、主に平成26年度から28年度にかけて調査を行った部分の調査結果の一部を報告いたします。天明3年浅間山噴火に伴う泥流下の畑及びこれ以前に数次にわたってこの地を襲った洪水で埋められた畑の調査を中心とするものです。

発掘された遺跡の姿からは、度重なる自然災害に立ち向かって郷土を發展させ続けた、先人たちの力強さを目の当たりにする思いがいたします。

郷土の歴史研究に、またこれからの地域發展のために、本書をご活用いただければ幸いに思います。

また、発掘調査から報告書刊行に至るまで、多大なるご理解とご協力をいただきました、国土交通省関東地方整備局八ッ場ダム工事事務所、群馬県教育委員会、長野原町教育委員会をはじめとする関係機関、また、地元の皆様に、心から感謝を申し上げ、序といたします。

平成30年3月

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

理事長 中野三智男

例 言

- 1 本書は、ハット場ダム建設工事に伴う石川原遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書の第1集である。
- 2 遺跡の名称および所在地
石川原遺跡(いしがわらいせき)
群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯乙37番地ほか
- 3 事業主体 国土交通省
- 4 調査主体 公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 5 発掘調査の期間・組織
平成20年度 期間 平成20年8月1日～平成20年10月31日 面積 1,700㎡
担当 麻生敏隆(主任専門員(統括))・田村公夫(主任調査研究員)・綿貫 昭(同)
平成26年度 期間 平成26年4月1日～平成26年12月31日 面積 25,000㎡
担当 齊藤利昭(上席専門員・調査統括)・麻生敏隆(上席専門員)
平成27年度 期間 平成27年4月1日～平成27年7月31日 面積 5,000㎡
担当 大西雅広(上席専門員・調査統括)・麻生敏隆(上席専門員)
平成28年度 期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日 面積 37,519㎡
担当 麻生敏隆(上席専門員・調査統括)・黒田 晃(主任調査研究員)・山本光明(同)
石川真理子(専門員)・藤巻幸男(専門調査役)・間庭 稔(同)
平成29年度 期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日 面積 33,879㎡
担当 須田正久(主任調査研究員)・黒崎博樹(同)・石田 真(同)・山本直哉(調査研究員)
石川真理子(専門員)・小野和之(専門調査役)・間庭 稔(同)・桜岡正信(同)・榊澤健二(同)
なお、発掘調査は平成30年3月現在も進行中であり、平成30年度も継続される。
- 6 整理等作業の期間・担当者
期間 平成20年1月1日～平成20年3月31日 担当 田村公夫(主任調査研究員)
平成29年1月1日～平成29年3月31日 担当 麻生敏隆(上席専門員・調査統括)・洞口正史(専門調査役)
平成29年4月1日～平成30年3月31日 担当 洞口正史(専門調査役) (本書刊行)
- 7 平成29年度整理等作業の組織
整理担当 洞口正史(専門調査役)
金属製品保存処理 板垣泰之(専門員)・関邦一(専門調査役)
- 8 本報告書作成関係者
報告書執筆・編集 洞口正史(専門調査役) 第3章執筆 梶崎修一郎(大妻女子大学博物館)
遺物観察 縄文・弥生土器 石坂 茂(専門調査役)
石器・石製品 津島秀章(資料第2課長)・麻生敏隆(上席専門員・資料課長)
土師器・須恵器 佐藤元彦(専門調査役)
中・近世陶磁器 徳江秀夫(専門調査役)・大西雅広(上席専門員・調査1課長)
金属器・金属製品 板垣泰之(専門員) 出土骨類 梶崎修一郎(大妻女子大学博物館)
遺物写真撮影 縄文・弥生土器 石坂 茂(専門調査役)
石器・石製品 津島秀章(資料第2課長)・麻生敏隆(上席専門員・資料課長)
土師器・須恵器 洞口正史(専門調査役) 中・近世陶磁器 徳江秀夫(専門調査役)
金属器・金属製品 板垣泰之(専門員)
- 9 調査・分析委託等
埋蔵文化財遺跡掘削工事
平成20年度 株式会社測研 平成26年度 株式会社歴史の杜
平成27年度 測研・吉澤建設・技研コンサル・瑞穂建設吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

平成28年度 歴史の杜・吉澤建設・南波建設吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

平成29年度 測研・吉澤建設・技研コンサル・瑞穂建設吾妻地区埋蔵文化財遺跡掘削工事経常共同企業体

遺構測量・空中写真撮影 株式会社測研・技術コンサル株式会社

大型石器実測・トレース(一部) 株式会社測研

骨類鑑定 梶崎修一郎(大妻女子大学博物館)

10 資料保管等

本発掘調査の出土遺物のうち、本書に掲載したものおよび調査図面、写真等の資料は、群馬県埋蔵文化財調査センターで保管している。また、出土遺物のうち細片等の理由により本書に掲載できなかったものは、一括して群馬県教育委員会文化財保護課収蔵庫に保管している。

11 謝辞

本報告書作成にあたり、下記の諸機関、諸氏にご指導、ご協力をいただいた。記して感謝の意を表す。
国土交通省関東地方整備局八ッ場ダム工事事務所 群馬県教育委員会 長野原町教育委員会 川原湯区

凡 例

- 1 本書で使用する測量図の座標は、日本測地系による。図上の方位は座標北を示す。
- 2 遺構図および遺物図の縮尺は基本的に下記によるが、広域にわたる畑や長大な溝等を対象とする事が多いため、紙幅の範囲内で、遺構の形状を最も把握しやすいと思われる縮率を選択した。各図幅には縮尺を注記するとともに、縮尺を示すスケールを付した。また、遺物図と遺物写真は基本的に同縮尺としたが、対象の形状により異なる場合がある。また、遺構写真および遺物細部の拡大写真等は任意縮尺である。
遺構図 対象調査区全体図 1:2000 調査区内部分図 1:200/1:250 同詳細図 1:80/1:100
個別遺構図 1:60 同詳細図 1:20
遺物図 石鏃・銭貨等 1:1 石匙・石核・砥石・刀子・釘等 1:2
中型石器・土器片等 1:3 土器・大型石等 1:4 大型土器等 1:6/1:8
- 3 遺物写真の番号は、遺物実測図および遺構図中の遺物番号と一致するが、写真のみを掲載し、出土位置の記載や実測図掲載を行っていない遺物もある。
- 4 一覧表中の計測値は、それが推定値あるいは残存部の実測値である場合には()を付した。
- 5 土層、土器の色調はともに「新版標準土色帳」を基準色として慣用名を使用することとしているが、必ずしも統一されていない。
- 6 遺構図に使用したスクリーン・トーンは以下を示す。

	攪乱		焼土		炭・炭化物		軽石
	灰面		黄色土		石範囲・集石		
- 7 遺物図に使用したスクリーン・トーンは以下を示す。

	灰釉・青磁		炭化物付着		鉄錆化部・鉄塊付着部分
	滓化・ガラス質				
- 8 本書で使用した地形図は下記の通りである。
国土地理院：地形図 1:50,000 「草津」(平成11年発行)

目次

序	
例言	
凡例	
目次	
挿図・表・写真目次	
第1章 石川原遺跡の発掘調査	1
第1節 発掘調査に至る経過	1
第2節 発掘調査の経過	1
第3節 地理的・歴史的環境	2
第2章 調査された遺構と遺物	7
第1節 対象範囲・基本土層・調査面	7
第1項 本報告の対象	7
第2項 土層と調査区・調査面	7
第2節 第1面の調査	13
第1項 第1面の概要	13
第2項 復旧溝	14
第3節 第2面の調査	21
第1項 第2面の概要	21
第2項 記載の方法	26
第3項 畑遺構	32
第4項 「平坦面」	107
第5項 道・水路	128
第6項 建物	164
第7項 その他の遺構・第2面出土遺物	172
第4節 第3面の調査	174
第1項 第3面の概要	174
第2項 畑・復旧溝	176
第3項 掘立柱建物・柵列・ビット列	192
第4項 小鍛冶遺構	196
第5項 溝・石列	197
第6項 焼土・集石	197
第7項 土坑・ビット	202
第8項 第3面遺構外出土遺物	237
第5節 第4面の調査	238
第1項 第4面の概要	238
第2項 復旧溝	240
第3項 畑	242
第4項 道・溝	256
第5項 掘立柱建物・柵列・竪穴建物	267
第6項 焼土・集石・列石	300
第7項 土坑・ビット	308
第8項 第4面遺構外出土遺物	391
第9項 第4-2面の畑・溝	392
第6節 遺構一覧表・遺物観察表	406
第3章 自然科学分析	424
石川原遺跡出土人骨	424
第4章 小結	433
写真図版	
抄録	
付図1 石川原遺跡 第1・2面全体図	
2 石川原遺跡 第3面全体図	
3 石川原遺跡 第4面全体図	
4 石川原遺跡 第4-2面全体図	

挿図目次

第1図	石川原遺跡位置図	3	第64図	第2面畑セクション8	66
第2図	石川原遺跡と周辺の遺跡	4	第65図	第2面畑第4～7区画 部分図4-1(第5区画)	66
第3図	石川原遺跡調査区配置図	6	第66図	第2面畑第4～7区画 部分図4-2(第5区画)	67
第4図	基本土層図等採位位置概念図	8	第67図	第2面畑第4～7区画 部分図5(第5区画)	68
第5図	基本土層図1(基本土層1・2)	8	第68図	第2面畑第4～7区画 部分図6(第5区画)	69
第6図	基本土層図2(基本土層3・4)	9	第69図	第2面畑第4～7区画 部分図5-2(第5区画)	70
第7図	基本土層図3(基本土層5～8)	10	第70図	第2面畑第4～7区画 部分図6(第5・6区画)	71
第8図	基本土層図4(基本土層9～11)	11	第71図	第2面畑第4～7区画 部分図6-1(第5・6区画)	72
第9図	基本土層・調査面模式図	12	第72図	第2面畑第4～7区画 部分図6-2(第5・6区画)	73
第10図	第1面遺構位置図	13	第73図	第2面畑第4～7区画 部分図6-3(第5・6区画)	73
第11図	復旧溝群	15	第74図	第2面畑第4～7区画 部分図6-4(12号石垣)	74
第12図	復旧溝1(1～8号復旧溝)	16	第75図	第2面畑第4～7区画 12号石垣立面	75
第13図	復旧溝2(9～11号復旧溝)	17	第76図	第2面畑第4～7区画 部分図6-5(4号石列)	75
第14図	復旧溝3(12・13号復旧溝)	18	第77図	第2面畑第4～7区画 部分図7(第5区画)	76
第15図	復旧溝4(14～20号復旧溝)	19	第78図	第2面畑第4～7区画 部分図7-1(第5区画)	77
第16図	復旧溝5(21～23号復旧溝)	20	第79図	第2面畑第5区画5号石列	78
第17図	第2面全体図	22	第80図	第2面畑セクション9	78
第18図	第2面高低図	24	第81図	第2面畑第4～7区画 部分図7-2(第5区画)	79
第19図	第2面畑区画概念図	26	第82図	第2面畑第4～7区画 部分図8(第5区画)	80
第20図	第2面畑第1区画	27	第83図	第2面畑第4～7区画 部分図8-1(第5区画)	81
第21図	第2面畑第1区画概念図	28	第84図	第2面畑第4～7区画 部分図8-2(第5区画)	81
第22図	第2面畑第1区画 部分図1	29	第85図	第2面畑第4～7区画 部分図9(第5・7・9区画)	82
第23図	第2面畑第1区画 部分図1-1	30	第86図	第2面畑第4～7区画 部分図9-1(第5・9区画)	83
第24図	第2面畑セクション1	30	第87図	4号壁1号落石込み	84
第25図	第2面畑第1区画 部分図2	31	第88図	第2面畑第4～7区画 部分図9-2(第5・9区画)	85
第26図	第2面畑セクション2	32	第89図	第2面畑第4～7区画 部分図10(第5・7区画)	86
第27図	第2面畑第1区画 部分図2-1	33	第90図	第2面畑第4～7区画 部分図10-1(第5・7区画)	87
第28図	第2面畑第1区画 部分図2-2	33	第91図	第2面畑第4～7区画 部分図10-2(第7区画)	88
第29図	第2面畑第1区画 部分図3	34	第92図	第2面畑セクション10	89
第30図	第2面畑第1区画 部分図3-1	35	第93図	38号溝高低図	89
第31図	第2面畑セクション3	35	第94図	第2面畑第8～11区画概念図	91
第32図	第2面畑第1区画 部分図4	36	第95図	第2面畑第8～11区画 部分図2	92
第33図	第2面畑第1区画 部分図4-1	37	第96図	第2面畑第8～11区画 部分図1(第8区画)	94
第34図	第2面畑第1区画 部分図4-2	37	第97図	第2面畑第8～11区画 部分図1-1(第8区画)	95
第35図	第2面畑第1区画 部分図5	38	第98図	第2面畑第8～11区画 部分図1-2(第8区画)	95
第36図	第2面畑セクション4	39	第99図	第2面畑第8～11区画 部分図1-3(第8区画)	96
第37図	第2面畑第2・3区画概念図	40	第100図	第2面畑第8～11区画 部分図2	97
第38図	第2面畑第2・3区画	41	第101図	第2面畑第8～11区画 部分図2-1(第8区画)	98
第39図	第2面畑第2区画 部分図1	43	第102図	第2面畑第8～11区画 部分図2-2(第8・10区画)	98
第40図	第2面畑第2区画 部分図1-1	44	第103図	第2面畑第8～11区画 部分図2-3(第9・11区画)	99
第41図	第2面畑第2区画 部分図2	46	第104図	第2面畑第8～11区画 部分図3(第8・9区画)	100
第42図	第2面畑第2区画 部分図2-1	47	第105図	第2面畑第8～11区画 部分図3-1(第8・9区画)	101
第43図	第2面畑セクション5	48	第106図	第2面畑第8～11区画 部分図3-2(第9区画)	101
第44図	第2面畑第2区画 部分図3	49	第107図	第2面畑第8～11区画 部分図4(第9・11区画)	102
第45図	第2面畑第2・3区画 部分図4	49	第108図	第2面畑第8～11区画 部分図4-1(第9・11区画)	103
第46図	第2面畑第2・3区画 部分図4-1	51	第109図	第2面畑第8～11区画 部分図5(第9区画)	103
第47図	第2面畑第2・3区画 部分図4-2	51	第110図	第2面畑第8～11区画 部分図5(第9区画)	104
第48図	第2面畑第2・3区画 部分図4-3(第3区画)	52	第111図	第2面畑第8～11区画 部分図5-1(第9区画)	105
第49図	第2面畑第2・3区画 部分図5	53	第112図	第2面畑第8～11区画 部分図5-2(第9区画)	105
第50図	第2面畑第2・3区画 部分図5-1(第3・8区画)	54	第113図	第2面畑第8～11区画 部分図5-3(第9区画)	106
第51図	第2面畑第4～7区画概念図	55	第114図	第2面畑第8～11区画 部分図5-4(第9区画)	106
第52図	第2面畑第4～7区画	56	第115図	第2面畑平坦面配置図	108
第53図	第2面畑第4～7区画 部分図1(第4・5区画)	58	第116図	第2面畑平坦面 1	109
第54図	第2面畑第4～7区画 部分図2(第5区画)	59	第117図	第2面畑平坦面 2	110
第55図	第2面畑セクション6	60	第118図	第2面畑平坦面 3	111
第56図	第2面畑第4～7区画 部分図2-1(第5区画)	60	第119図	第2面畑平坦面 4	113
第57図	第2面畑第4～7区画 部分図2-2(第5区画)	61	第120図	第2面畑平坦面 5	115
第58図	第2面畑第4～7区画 部分図3(第5区画)	62	第121図	第2面畑平坦面 6	117
第59図	第2面畑第4～7区画 部分図3-1(第5区画)	63	第122図	第2面畑平坦面 7	118
第60図	第2面畑第4～7区画 部分図3-2(第5区画)	63	第123図	第2面畑平坦面 8	119
第61図	第2面畑第4～7区画 部分図3-3(第5区画)	64	第124図	第2面畑平坦面 9	120
第62図	第2面畑セクション7	64	第125図	第2面畑平坦面 10	121
第63図	第2面畑第4～7区画 部分図4(第5区画)	65	第126図	第2面畑平坦面 11	123

第127図	第2面傾平断面 12	125	第193図	20号掘立柱建物柱穴計測模式図	172
第128図	第2面傾平断面 13	126	第194図	380号土坑	172
第129図	第2面傾平断面 14	127	第195図	第2面出土遺物	173
第130図	第2面道・水路位置図	129	第196図	第3面傾平断面	174
第131図	2号道	130	第197図	第3面傾第1区画	175
第132図	3号道	131	第198図	第3面傾第2区画 部分図1	176
第133図	4号・9号道	132	第199図	第3面傾第1区画 部分図2	177
第134図	4号道断面図1	133	第200図	第3面傾第2区画	178
第135図	4号道 部分図1	134	第201図	第3面傾第3区画	179
第136図	4号道高低図	134	第202図	第3面傾第4区画	180
第137図	4号道 部分図2	135	第203図	第3面傾第5区画	181
第138図	4号道断面図2	135	第204図	第3面傾第5区画 部分図	181
第139図	4号道 部分図3	136	第205図	第3面傾第5区画断面図	182
第140図	4号道 部分図4	136	第206図	第3面傾第7区画	183
第141図	4号道断面図3	137	第207図	第3面傾第6・7区画	184
第142図	9号道	138	第208図	第3面傾第6区画断面図	184
第143図	5号・6号道	139	第209図	第3面傾第6区画 部分図	185
第144図	7号道・1号水路	140	第210図	第3面傾第7区画	186
第145図	7号道・1号水路 部分図1	142	第211図	第3面傾第8区画	187
第146図	7号道・1号水路 部分図2	142	第212図	第3面傾第9区画 部分図1	189
第147図	7号道・1号水路 杭	142	第213図	第3面傾第8区画 部分図	191
第148図	7号道・1号水路 部分図3	143	第214図	67号復旧溝	191
第149図	7号道・1号水路断面図	143	第215図	第3面掘立柱建物・櫛列・ビット列・溝等位置図	192
第150図	7号道・1号水路 部分図4	144	第216図	21号掘立柱建物	193
第151図	7号道・1号水路 部分図4-1	144	第217図	21号掘立柱建物柱穴計測模式図	193
第152図	7号道・1号水路 部分図4-2	145	第218図	5号・6号櫛列	193
第153図	7号道・1号水路 部分図5	146	第219図	ビット列	194
第154図	7号道・1号水路 部分図5-1	146	第220図	5号・6号櫛列・ビット列 柱穴計測模式図	194
第155図	7号道・1号水路 部分図5-2	147	第221図	小竈付埋連道溝	195
第156図	7号道・1号水路 部分図5-3	148	第222図	小竈付埋連道溝出土遺物	195
第157図	1号水路高低図	148	第223図	1号・2号溝 1号石列 1号溝出土遺物1	198
第158図	348・349・350号ビット断面図	148	第224図	1号溝出土遺物2	199
第159図	2号石垣断面図	149	第225図	4号溝	199
第160図	2号石垣断面図	149	第226図	16号溝	199
第161図	1号水路断面図	149	第227図	22号・23号溝	200
第162図	7号道・1号水路 部分図6	150	第228図	焼土・集石	201
第163図	4号石垣断面図	151	第229図	第3面土坑・ビット位置図	203
第164図	7号道・1号水路 部分図6-1	152	第230図	第3面土坑・ビット位置図 部分図1	203
第165図	8号道	153	第231図	第3面土坑・ビット位置図 部分図2	204
第166図	8号道 部分図1	154	第232図	第3面土坑・ビット位置図 部分図3	204
第167図	8号道 部分図2	155	第233図	第3面土坑出土遺物1 (150号土坑)	205
第168図	2号水路 上面	156	第234図	第3面土坑1	206
第169図	2号水路 下面	156	第235図	第3面土坑出土遺物2	207
第170図	2号水路 部分図1 上面	157	第236図	第3面土坑2	208
第171図	2号水路 部分図1 下面	158	第237図	第3面土坑3	210
第172図	2号水路 部分図2 上面	159	第238図	第3面土坑出土遺物3 (312号土坑)	211
第173図	2号水路 部分図2 下面	159	第239図	第3面土坑4	212
第174図	2号水路 部分図3 上面	160	第240図	第3面土坑5	214
第175図	2号水路 部分図3 下面	160	第241図	第3面土坑出土遺物4 (392号土坑)	215
第176図	2号水路 部分図4 上面	161	第242図	第3面土坑6	216
第177図	2号水路 部分図4 下面	161	第243図	第3面土坑7	218
第178図	2号水路 部分図5 上面	162	第244図	第3面土坑出土遺物5 (449号土坑)	219
第179図	2号水路 部分図5 下面	162	第245図	第3面土坑8	230
第180図	2号水路 部分図6 上面	163	第246図	第3面土坑出土遺物6 (509号土坑)	221
第181図	2号水路 部分図6 下面	163	第247図	第3面土坑9	222
第182図	第2面建物位置図	164	第248図	第3面土坑10	224
第183図	2号建物	165	第249図	第3面土坑出土遺物7 (626号土坑)	225
第184図	2号建物掘り方	165	第250図	第3面土坑11	226
第185図	2号建物断面図	166	第251図	第3面土坑12	227
第186図	2号建物高低図	166	第252図	第3面ビット出土遺物1 (542号ビット)	230
第187図	2号建物柱穴計測模式図	166	第253図	第3面ビット1	231
第188図	7号建物	167	第254図	第3面ビット2	231
第189図	8号建物	168	第255図	第3面ビット出土遺物2 (621号ビット)	234
第190図	19号建物	169	第256図	第3面ビット3	235
第191図	19号建物高低図	170	第257図	第3面道溝外出遺物	237
第192図	20号掘立柱建物	171	第258図	第4面復旧溝・櫛位置図	238

第259段	第4面復旧溝位置図	239
第260段	第4面復旧溝1	239
第261段	第4面復旧溝2	240
第262段	第4面畑第1区画 部分図1	241
第263段	第4面畑第1区画 部分図2	242
第264段	第4面畑第1区画 部分図3	243
第265段	第4面畑第1区画 部分図4	244
第266段	第4面畑第1区画 部分図5	245
第267段	第4面畑第2区画	246
第268段	第4面畑第2区画 部分図1	246
第269段	第4面畑第2区画 部分図2	247
第270段	第4面畑第3区画	248
第271段	第4面畑第4区画 部分図1	249
第272段	第4面畑第4区画 部分図2	250
第273段	第4面畑第4区画 部分図3	250
第274段	第4面畑第4区画 部分図4	251
第275段	第4面畑第5区画	252
第276段	第4面畑第6区画	253
第277段	第4面畑第6区画断面図	254
第278段	第4面畑第7区画断面図	254
第279段	第4面畑第7区画	255
第280段	第4面畑第8区画	255
第281段	第4面道・溝位置図	256
第282段	8号道	257
第283段	8号道 部分図1	258
第284段	3号溝	258
第285段	第4面溝群	259
第286段	第4面溝群西部 1・17・18・24・25・35号溝 17号溝出土遺物	260
第287段	第4面溝群西部 部分図1 1・17・24・25号溝	261
第288段	第4面溝群西部 部分図2 1・17・25号溝	262
第289段	第4面溝群西部 部分図3 1・25号溝	262
第290段	第4面溝群西部 部分図4 18号溝	263
第291段	第4面西部溝断面図・高低図	263
第292段	第4面 19～21号溝	264
第293段	第4面 19～21号溝 部分図1	264
第294段	33号溝・40号溝	265
第295段	第4面孤立柱建物・櫛列・竪穴建物位置図	267
第296段	第4面孤立柱建物 部分図1 2～6号孤立柱建物・3号櫛列	268
第297段	2号孤立柱建物	269
第298段	3号孤立柱建物	269
第299段	2号孤立柱建物柱穴配置模式図	270
第300段	3号孤立柱建物柱穴配置模式図	270
第301段	4号孤立柱建物	270
第302段	4号孤立柱建物柱穴配置模式図	270
第303段	5号孤立柱建物	271
第304段	5号孤立柱建物柱穴配置模式図	271
第305段	6号孤立柱建物・3号櫛列	272
第306段	6号孤立柱建物・3号櫛列柱穴配置模式図	273
第307段	第4面孤立柱建物 部分図2 7～13・15号孤立柱建物・1号櫛列	275
第308段	7・8号孤立柱建物 7号孤立柱建物高低図	276
第309段	7・8号孤立柱建物高低図	277
第310段	7号孤立柱建物柱穴配置模式図	278
第311段	8号孤立柱建物柱穴配置模式図	278
第312段	9・15号孤立柱建物	279
第313段	9号孤立柱建物柱穴配置模式図	279
第314段	15号孤立柱建物柱穴配置模式図	279
第315段	9号孤立柱建物高低図	280
第316段	15号孤立柱建物高低図	280
第317段	10～13号孤立柱建物位置図	281
第318段	10～12号孤立柱建物	282
第319段	11・12号孤立柱建物出土遺物	283
第320段	10号孤立柱建物断面図	284
第321段	10号孤立柱建物柱穴配置模式図	284

第322段	11号孤立柱建物断面図	285
第323段	11号孤立柱建物柱穴配置模式図	286
第324段	12号孤立柱建物断面図	287
第325段	12号孤立柱建物柱穴配置模式図	287
第326段	13号孤立柱建物	288
第327段	13号孤立柱建物柱穴配置模式図	289
第328段	1号櫛列	290
第329段	1号櫛列柱穴配置模式図	290
第330段	16・17・18号孤立柱建物	291
第331段	16・17号孤立柱建物	291
第332段	16・17号孤立柱建物柱穴断面図	292
第333段	16号孤立柱建物柱穴配置模式図	293
第334段	17号孤立柱建物柱穴配置模式図	293
第335段	18号孤立柱建物	294
第336段	18号孤立柱建物柱穴配置模式図	294
第337段	24号孤立柱建物	295
第338段	24号孤立柱建物柱穴配置模式図	295
第339段	25・26号孤立柱建物位置図	296
第340段	25号孤立柱建物	297
第341段	25号孤立柱建物柱穴配置模式図	297
第342段	26号孤立柱建物	298
第343段	26号孤立柱建物柱穴配置模式図	298
第344段	1号竪穴建物	299
第345段	第4面境上・集石・列石位置図	300
第346段	27号境上	301
第347段	28号境上	301
第348段	29号・30号境上	301
第349段	30号～33号境上	302
第350段	47号境上	302
第351段	2～9・13～18号集石	303
第352段	2～7号集石	303
第353段	8号集石	304
第354段	9号集石	304
第355段	10号集石	304
第356段	13号集石	304
第357段	14～17号集石	305
第358段	集石出土遺物	306
第359段	4号列石	307
第360段	5号列石	307
第361段	第4面土坑・ピット位置図	308
第362段	第4面土坑・ピット 部分図2	309
第363段	第4面土坑・ピット 部分図1	311
第364段	第4面土坑・ピット 部分図3	311
第365段	第4面土坑・ピット 部分図4	312
第366段	191号土坑	313
第367段	191号土坑出土遺物	313
第368段	248号土坑	313
第369段	248号土坑埋葬状況	313
第370段	255号土坑	314
第371段	255号土坑埋葬状況	314
第372段	255号土坑出土遺物	314
第373段	266号土坑	314
第374段	272号土坑	315
第375段	272号土坑埋葬状況	315
第376段	287号土坑	315
第377段	287号土坑埋葬状況	315
第378段	287号土坑出土遺物	315
第379段	287号土坑出土遺物2	316
第380段	288号土坑	316
第381段	288号土坑埋葬状況	316
第382段	288号土坑出土遺物	316
第383段	453号土坑	316
第384段	453号土坑埋葬状況	316
第385段	453号土坑出土遺物	316
第386段	465号土坑	317
第387段	465号土坑出土遺物	317

第388図	466号土坑	317
第389図	466号土坑埋葬状況	317
第390図	466号土坑出土遺物	317
第391図	547号土坑	318
第392図	547号土坑埋葬状況	318
第393図	547号土坑出土遺物	318
第394図	571号土坑	318
第395図	571号土坑埋葬状況	318
第396図	871号土坑	319
第397図	871号土坑埋葬状況	319
第398図	871号土坑出土遺物	319
第399図	第4面土坑出土遺物1	321
第400図	第4面土坑1	322
第401図	第4面土坑出土遺物2	323
第402図	第4面土坑2	324
第403図	第4面土坑出土遺物3	325
第404図	第4面土坑3	326
第405図	第4面土坑出土遺物4	327
第406図	第4面土坑4	328
第407図	第4面土坑5	330
第408図	第4面土坑6	332
第409図	第4面土坑出土遺物5	333
第410図	第4面土坑7	334
第411図	第4面土坑出土遺物6	337
第412図	第4面土坑8	338
第413図	第4面土坑出土遺物7	339
第414図	第4面土坑9	340
第415図	第4面土坑出土遺物8	341
第416図	第4面土坑10	342
第417図	第4面土坑11	344
第418図	第4面土坑出土遺物9	345
第419図	第4面土坑12	346
第420図	第4面土坑13	348
第421図	第4面土坑出土遺物10	350
第422図	第4面土坑14	352

第423図	第4面土坑15	354
第424図	第4面土坑出土遺物11	355
第425図	第4面土坑16	356
第426図	第4面土坑17	358
第427図	第4面土坑18	360
第428図	第4面土坑19	362
第429図	第4面ビッド出土遺物1	367
第430図	第4面ビッド1	368
第431図	第4面ビッド出土遺物2	371
第432図	第4面ビッド2	372
第433図	第4面ビッド3	374
第434図	第4面ビッド出土遺物3(420号ビッド)	375
第435図	第4面ビッド4	376
第436図	第4面ビッド5	380
第437図	第4面ビッド6	382
第438図	第4面ビッド7	384
第439図	第4面ビッド出土遺物4	385
第440図	第4面ビッド8	388
第441図	第4面遺構外出土遺物	391
第442図	第4-2面遺構位置図	392
第443図	第4-2面第1区画	393
第444図	935号土坑	393
第445図	第4-2面第2区画	394
第446図	第4-2面第2区画 部分図1	396
第447図	第4-2面第2区画 部分図2	397
第448図	884・885・886号土坑	398
第449図	第4-2面第3区画	399
第450図	第4-2面第3区画 部分図1	400
第451図	第4-2面第3区画 部分図2	401
第452図	872号土坑	401
第453図	第4-2面第3区画西壁断面図	402
第454図	第4-2面第3区画南壁断面図	402
第455図	第4-2面第3区画 部分図3 31号溝・出土遺物	403
第456図	第4-2面第3区画断面図	403
第457図	第4-2面第3区画 部分図4 36号・37号溝	405

表目次

第1表	石川原遺跡周辺道路一覧	5
第2表	21号掘立柱建物	193
第3表	5号溝列	194
第4表	6号溝列	194
第5表	ビッド列	194
第6表	2号掘立柱建物	270
第7表	3号掘立柱建物	270
第8表	4号掘立柱建物	270
第9表	5号掘立柱建物	271
第10表	3号溝列	273
第11表	6号掘立柱建物	273
第12表	7号掘立柱建物	278
第13表	8号掘立柱建物	278
第14表	9号掘立柱建物	279
第15表	15号掘立柱建物	279

第16表	10号掘立柱建物	284
第17表	11号掘立柱建物	286
第18表	12号掘立柱建物	287
第19表	13号掘立柱建物	289
第20表	1号溝列	290
第21表	16号掘立柱建物	293
第22表	17号掘立柱建物	293
第23表	18号掘立柱建物	294
第24表	24号掘立柱建物	295
第25表	25号掘立柱建物	297
第26表	26号掘立柱建物	298
第27表	遺構一覧表	406
第28表	遺物観察表	416
第29表	石川原遺跡出土骨まとも	432

写真目次

PL 1	発掘前の石川原遺跡	4	同 部分 西から
PL 2	1 復旧溝部遠景 南東から	5	第2面燻第4～10区画相当部 東から
	2 復旧溝部調査風景 東から	1	第2面燻第4～11区画相当部 上が南
	3 復旧溝部全景 南東から	2	同 西部 上が南
	4 復旧溝部全景 東から	PL 15	1 第2面燻第4～11区画相当部 上が南
	5 復旧溝部西半部 南から	2	同 第4・5区画境界部 北から
PL 3	1 復旧溝部東半部 南から	3	同 第4・5区画境界部 西から
	2 1～3号復旧溝 東から	4	同 第5区画西部 北から
	3 4～6号復旧溝 東から	5	同 第5区画東部 西から
	4 12号復旧溝断面 東から	PL 16	1 第2面燻第5区画中部 西から
	5 13号復旧溝断面 西から	2	同 第5区画上層断面A 西から
	6 12号・13号復旧溝 西から	3	同 第5区画上層断面A 西から
	7 12号・13号復旧溝 西から	4	同 第5区画上層断面B 西から
	8 12号復旧溝断面 西から	5	同 第5区画上層断面B 西から
PL 4	1 第2面調査区遠景 西から	6	同 第5・9区画境界部 西から
	2 第2面燻調査風景 北西から	7	同 第5・8・9区画境界部 北から
PL 5	1 第2面燻面(第1区画4号燻) 東南から	8	同 第8・9区画境界部 北から
	2 燻面近接(第1区画4号燻) 東から	PL 17	1 第2面燻第8・9区画境界部 西から
	3 燻内のAs-A(第1区画2号燻) 南西から	2	同 第9区画 西から
	4 燻断面(第1区画4号燻A) 東から	3	同 第9区画上層断面 西から
	5 燻跡の境界(第1区画3号燻) 東から	4	同 第8区画上層断面 西から
	6 燻跡の境界(第1区画6号燻) 西から	5	同 第7区画 上が北
	7 燻面の植物痕跡(第1区画5号燻) 北から	PL 18	1 第2面燻第7区画 北西から
	8 燻面の植物痕跡(第1区画6号燻) 北から	2	同 部分 西から
PL 6	1 第2面燻第1区画西部相当部 右が北	3	第2面燻セクション9 西から
	2 同 部分 2号建物周辺 上が北	4	同 部分 西から
	3 同 部分 上が北	5	同 部分 西から
	4 同 部分 東から	6	第2面燻セクション10 西から
	5 同 部分 南から	7	同 部分 西から
PL 7	1 第2面燻第2区画・第3区画西部相当部 上が北	8	同 部分 西から
	2 同 第2区画西部 上が北	PL 19	1 第7区画東耕作具痕跡断面 北から
	3 同 第2区画西北部部分 西から	2	同 拡大
	4 同 第2区画西北部近接 西から	3	第7区画東耕作具痕跡断面 東から
	5 第2区画西南部部分 西から	4	同 拡大
PL 8	1 第2面燻第5区画・8区画相当部北部 上が北	5	第7区画東耕作具痕跡 東から
	2 同 3号建物周辺 南から	6	第7区画東耕作具痕跡
	3 同 第8区画相当部 南から	7	第7区画東耕作具痕跡
	4 同 第8区画相当部 南から	8	第7区画東耕作具痕跡
	5 同 第8区画相当部 南から	PL 20	1 2号平坦面とその周辺 南から
PL 9	1 第2面燻第5区画相当部西部 西から	2	3号平坦面 南から
	2 同 東から	3	5号平坦面 北から
	3 同 西半部 上が北	4	7号平坦面断面 東から
PL 10	1 第2面燻第5区画相当部西部西半 上が北	5	8号平坦面 南から
	2 同 部分 上が北	PL 21	1 8号平坦面断面 東から
	3 同 西から	2	9号平坦面 北から
	4 同 部分 北から	3	9号平坦面断面 東から
	5 植物痕跡 西から	4	2号建物と10号平坦面 北から
PL 11	1 第2面燻第5区画相当部西部東半 上が北	5	10号平坦面 北から
	2 同 49号平坦面周辺 上が北	6	10号平坦面断面 東から
	3 同 54号平坦面周辺 上が北	7	11号平坦面 北から
	4 同 45号平坦面周辺 南から	8	12号平坦面 北から
	5 同 部分 南から	PL 22	1 13号平坦面 北から
PL 12	1 第2面燻セクション6 西から	2	13号平坦面 南から
	2 同 部分 西から	3	14号平坦面 北から
	3 同 部分 西から	4	14号平坦面 南から
	4 同 部分 西から	5	30号平坦面 北から
	5 第2面燻セクション7 西から	6	34号平坦面 北から
	6 同 部分 西から	7	40号平坦面 北から
	7 第2面燻セクション8 北から	8	42号平坦面 北から
	8 同部分 南から	PL 23	1 42号平坦面断面 南から
PL 13	1 第2面燻セクション8 部分 東から	2	43号平坦面 南から
	2 同 部分 東から	3	43号平坦面断面 南から
	3 第2面燻セクション12 南西から	4	45号平坦面 南から

	5	49号平坦面	東から		6	同 部分	東から	
	6	49号平坦面断面	東から		7	同 断面C	北東から	
	7	54号平坦面	東から		8	同 部分	東から	
PL. 24	8	76号平坦面	南から(2区4号棟)	PL. 33	1	8号道	北から 手前は寺院7号建物	
	1	不明平坦面1(2区)	北から		2	同	南から	
	2	不明平坦面2(2区)	北から		3	同	東から	
	3	不明平坦面3(2区)	北から		4	同	1号水路との交差部	南から
	4	不明平坦面4(2区)	北から		5	同	2号水路との交差部	北から
	5	不明平坦面5(3区)	南から		6	同 断面1	北から	
	6	不明平坦面6(3区)	東から		7	同 断面2	北から	
	7	不明平坦面7(3区)	西から		8	同 断面3	北から	
PL. 25	8	不明平坦面8(3区)	西から	PL. 34	1	2号水路西部	西から	
	1	4号道調査状況	北から		2	同 東部(6号溝)	西から	
	2	2号道	北から		3	同 近接	西から	
	3	2号道部分	北から		4	同 近接	東から	
PL. 26	4	2号道部分	西から	PL. 35	1	2号水路中部	西から	
	5	2号道断面	北から		2	同 西部屈曲部	西から	
	1	3号道			3	同	南から	
	2	3号道部分	北から		4	同 断面	南から	
PL. 27	3	3号道	北から	5	2号水路と19号建物	東から		
	4	3号道断面A	北から	6	2号水路断面A	西から		
	5	3号道断面B	北から	7	同 断面B	西から		
	6	4号道南部	南から	8	同 断面C	西から		
	1	4号道東部	東から	PL. 36	1	2号建物	南から	
	2	4号道北部	南から		2	2号建物	西から	
	3	4号道南部	東から		PL. 37	1	2号建物P1	南から
	4	4号道断面A	南から			2	2号建物P1断面	南から
5	同 部分	南から	3	2号建物P2		南から		
6	4号道断面B	北から	4	2号建物P2断面		南から		
PL. 28	7	同 部分	北から	5	2号建物P3	南から		
	1	4号道・9号道分岐部	東から	6	2号建物P3断面	南から		
	2	同	北から	7	2号建物P4	南から		
	3	4号道断面A	北から	8	2号建物P4断面	南から		
	4	同 部分	北から	PL. 38	1	2号建物P5	南から	
	5	同 部分	北から		2	2号建物P5断面	南から	
	6	同 部分	北から		3	2号建物P5断面部分	南から	
	7	同 断面B	西から		4	2号建物P6断面	南から	
PL. 29	8	同 部分	西から	5	2号建物P6断面部分	南から		
	1	4号道部分	西から	6	2号建物P6	東から		
	2	同 断面C	南から	7	2号建物P7	南から		
	3	同 近接	南から	8	2号建物P7断面	南から		
	4	9号道	西から	PL. 39	1	2号建物P8	南から	
	5	9号道東端部	西から		2	2号建物P8断面	南から	
	6	9号道石橋部分	東から		3	2号建物P9	南から	
	7	9号道断面A	東から		4	2号建物P9断面	南から	
PL. 30	8	同 部分	西から	5	7号建物	南から		
	1	9号道断面A	東から	PL. 40	1	8号建物	西から	
	2	4・5・6号道	上が北		2	8号建物	北から	
	3	5号道	西から	PL. 41	1	19号建物	東から	
	4	同	西から		2	19号建物	北から	
5	7号道・1号水路東部	上が北	3		19号建物と2号水路	東から		
PL. 31	6	同 東端部	4号石垣	南西から	4	19号建物と2号水路	西から	
	7	同 東部	寺院内7号建物	西から	5	19号建物と2号水路	東から	
	1	7号道・1号水路東部	2号石垣部	東から	PL. 42	1	20号独立柱建物	南から
	2	同 中部	東から	2		20号独立柱建物	北から	
	3	同 西部	東から	3		20号独立柱建物柱穴調査状況	南から	
	4	同 西部	2号建物	西から	4	20号独立柱建物P1	北から	
	5	1号水路	刀出上状況	東から	5	20号独立柱建物P1土層断面	北から	
	6	1号水路内杭道跡	西から	PL. 43	1	20号独立柱建物P2	北から	
7	1号水路断面A	北から	2		20号独立柱建物P2土層断面	南から		
8	1号水路断面B	東から	3		20号独立柱建物P2掘り方	南から		
1	2号石垣部断面A	北東から	4		20号独立柱建物P3	北から		
2	同 部分	東から	5		20号独立柱建物P3土層断面	南から		
PL. 32	3	同 部分	東から	6	20号独立柱建物P3掘り方	南から		
	4	同 断面B	北東から	7	20号独立柱建物P4	北から		
	5	同 部分	東から	8	20号独立柱建物P4土層断面	南から		

PL. 44	1	20号掘立柱建物P 4 掘り方 南から	2	67号復旧溝埋没状況 南から		
	2	20号掘立柱建物P 5 上層断面 南から	3	21号掘立柱建物 北から		
	3	20号掘立柱建物P 5 掘り方 南から	4	21号掘立柱建物P 3断面 北から		
	4	20号掘立柱建物P 6 北から	5	21号掘立柱建物P 4断面 北から		
	5	20号掘立柱建物P 6 上層断面 南から	PL. 54	1	5号櫓列322ビット 南から	
	6	20号掘立柱建物P 6 掘り方 南から		2	5号櫓列322ビット断面 東から	
	7	20号掘立柱建物P 7 北から		3	5号櫓列323ビット 南から	
	8	20号掘立柱建物P 7 上層断面 南から		4	5号櫓列323ビット断面 東から	
PL. 45	1	20号掘立柱建物P 7 掘り方 南から		5	5号櫓列324ビット 南から	
	2	20号掘立柱建物P 8・9 上層断面 南から		6	5号櫓列324ビット断面 東から	
	3	20号掘立柱建物P 8 北から		7	5号櫓列325ビット 南から	
	4	20号掘立柱建物P 8 上層断面 北から		8	5号櫓列325ビット断面 東から	
	5	20号掘立柱建物P 8 掘り方 北から	9	6号櫓列340ビット 南から		
	6	20号掘立柱建物P 9 上層断面 北から	10	6号櫓列340ビット断面 西から		
	7	20号掘立柱建物P 9 上層断面 北から	11	6号櫓列339ビット 南から		
	8	20号掘立柱建物P 9 掘り方 北から	12	6号櫓列339ビット断面 西から		
PL. 46	1	380号上坑露出土状況 南から	13	6号櫓列338ビット 南から		
	2	380号上坑 北西から	14	6号櫓列338ビット断面 西から		
	3	第2面上出土物	15	6号櫓列337ビット 南から		
PL. 47	1	第7区画南部 3号建物周辺の第3面壁(中央より右)と第4面壁(同左) 上が北	PL. 55	1	6号櫓列337ビット断面 東から	
	2	第3面壁第1区画遺構確認状況 南東から		2	ビット列と第3面壁第2区画 南から	
	3	第3面壁第1区画-1遺構確認状況 南から		3	ビット列 南から	
	4	第3面壁第1区画-1遺構確認状況 南から		4	ビット列P 1断面 南から	
	5	第3面壁第1区画-1遺構確認状況 東から		5	ビット列P 2断面 南から	
	PL. 48	1		第3面壁第1区画-2遺構確認状況 北から	6	ビット列P 3断面 南から
		2		第3面壁第1区画-2遺構確認状況 北から	7	ビット列P 4断面 南から
		3		第3面壁第1区画-2上層確認状況 北から	8	ビット列P 5断面 北から
4		第3面壁第1区画-2 東から 中央11号集石 左は4面壁		9	ビット列P 6断面 南から	
5		第3面壁第2区画遺構確認状況 北から	PL. 56	1	1号小鍛冶 南から	
6		第3面壁第2区画上層確認状況 南から		2	1号小鍛冶中央部 南から	
7		第3面壁第2区画上層確認状況 南から		3	1号小鍛冶P 1 南から	
8		第3面壁第2区画全景 北から		4	1号小鍛冶P 1断面 南から	
9	第3面壁第2区画近景 北から	5		1号小鍛冶P 2 南から		
PL. 49	1	第3面壁第4区画遺構確認状況 南から		PL. 57	1	1号小鍛冶P 2断面 南から
	2	第3面壁第4区画遺構確認状況 北から			2	1号小鍛冶P 3 南から
	3	第3面壁第4区画全景 南東から			3	1号小鍛冶P 3断面 南から
	4	第3面壁第4区画近景 南から	4		1号小鍛冶P 4 南から	
	5	第3面壁第5区画全景 北から	5		1号小鍛冶P 4断面 南から	
	6	第3面壁第5区画近景 北から	6		1号小鍛冶P 5 南から	
	7	第3面壁第5区画部分 南から	7		1号小鍛冶P 5断面 南から	
	8	第3面壁附作具痕跡 西から	8		1号小鍛冶P 6 南から	
PL. 50	1	第3面壁第6区画東部 東から	9	1号小鍛冶P 6断面 南から		
	2	第3面壁第6区画東部近景 南から	10	1号小鍛冶P 7 南から		
	3	第3面壁第6区画上層確認状況 南東から	11	1号小鍛冶P 7断面 南から		
	4	第3面壁第6区画上層確認状況 南東から	12	1号小鍛冶P 8 南から		
	5	第3面壁第7区画東部遺構確認状況 西から	13	1号小鍛冶P 8断面 南から		
	6	第3面壁第7区画東部遺構確認状況 東から	14	1号小鍛冶P 9 南から		
	7	第3面壁第7区画東部上層確認状況 西から	15	1号小鍛冶P 9断面 南から		
	8	第3面壁第7区画東部上層確認状況 西から	PL. 58	1	1号小鍛冶P 9 開口出土状況 北から	
PL. 51	1	第3面壁第7区画東部 東から		2	1号小鍛冶P 10 南から	
	2	第3面壁第7区画東部近接 東から		3	1号小鍛冶P 10断面 南から	
	3	第3面壁第8区画南東部 南東から		4	507号土坑 西から	
	4	第3面壁第8区画東部 北から		5	507号土坑断面 東から	
	5	第3面壁第8区画北西部 西から		6	1号小鍛冶 遺物出土状況 1 北から	
	6	第3面壁第8区画北東部 北から		7	1号小鍛冶 遺物出土状況 2 北から	
	7	第3面壁第9区画東部近景 東から		8	1号小鍛冶出土遺物	
	8	第3面壁第9区画北東部近景 西から	PL. 59	1	1号溝東部 東から	
PL. 52	1	第3面壁第9区画遺構確認状況 南から		2	1号溝東部東半 東から	
	2	第3面壁第9区画中部遺構確認状況 南から		3	1号溝東部西半 東から	
	3	第3面壁第9区画南部遺構確認状況 北から		4	1号溝出土遺物	
	4	第3面壁第9区画北西部遺構確認状況 南から		PL. 60	1	4号溝 南から
	5	第3面壁第9区画北西部上層確認状況 南から			2	4号溝断面 南から
	6	第3面壁第9区画北西部埋没状況 南から			3	16号溝断面 北から
	7	第3面壁第9区画北西部 南から			4	16号溝 北から 手前は復旧溝67
	8	67号復旧溝 南から	5		22・23号溝 東から	
PL. 53	1	67号復旧溝上層確認状況 南から	6		22・23号溝 西から	

PL. 61	1	25号焼土	南から	PL. 67	8	294号土坑断面	南から
	2	41号焼土確認状況	西から		9	300号土坑断面	東から
	3	41号焼土	東から		10	301号土坑断面	西から
	4	41号焼土断面	西から		11	302・303号土坑	東から
	5	42号焼土確認状況	東から		12	303号土坑断面	西から
PL. 62	6	42号焼土	東から	13	304号土坑断面	西から	
	7	42号焼土断面	西から	14	305～309号土坑	北から	
	1	11号集石	西から	15	305号土坑断面	南から	
	2	11号集石調査風景	南から	1	306号土坑断面	南から	
	3	12号集石	北から	2	307号土坑断面	南から	
	4	12号集石廻り方	北から	3	308号土坑断面	南から	
	5	19号集石	東から	4	309号土坑断面	南から	
PL. 63	6	19号集石	南から	5	310・311号土坑	東から	
	7	147号土坑断面	南から	6	310号土坑断面	南から	
	8	150号土坑	北から	7	311号土坑断面	南から	
	9	150号土坑断面	北から	8	312号土坑	北から	
	1	150号土坑出土遺物		9	312号土坑断面	西から	
	2	158・157号土坑	東から	10	312号土坑出土遺物		
	3	158・157号土坑断面	南から	11	313号土坑断面	南から	
	4	180・181・184号土坑周辺	北から	12	313号土坑断面	南から	
	5	181・182号土坑断面	南から	13	314号土坑	南から	
	6	184号土坑断面	南から	14	314号土坑断面	南から	
PL. 64	7	185・186号土坑	東から	15	315号土坑断面	南から	
	8	185号土坑断面	南から	1	316号土坑断面	北から	
	9	186号土坑	南から	2	316号土坑断面	南から	
	10	186号土坑断面	南から	3	326～330号土坑	東から	
	11	187号土坑	南から	4	331～339号土坑	東から	
	12	187号土坑断面	南から	5	331～334号土坑断面	東から	
	13	200号土坑	北から	6	335・339号土坑断面観察状況	東から	
	1	201号土坑	東から	7	340号土坑	北から	
	2	201号土坑断面	北から	8	340号土坑断面	北から	
	3	202・203号土坑	北から	9	341号土坑断面	南から	
	4	202・203号土坑	西から	10	344号土坑	南から	
	5	202号土坑断面	西から	11	344号土坑断面	南から	
	6	203号土坑断面	西から	12	348号土坑断面	南から	
PL. 65	7	204・205号土坑	西から	13	348号土坑出土遺物		
	8	204号土坑断面	西から	14	355号土坑	南から	
	9	205号土坑断面	南から	15	355号土坑断面	南から	
	10	223号土坑断面	南から	1	364号土坑	南から	
	11	242号土坑断面	南から	2	364号土坑断面A	南から	
	12	244号土坑断面	南から	3	364号土坑断面B	北から	
	13	245号土坑断面	南から	4	370号土坑	東から	
	14	249号土坑断面	南から	5	370号土坑断面	西から	
	15	263号土坑	南から	6	376号土坑	北から	
	1	263号土坑断面	南から	7	376号土坑断面	南から	
	2	264号土坑	東から	8	377号土坑	北から	
	3	264号土坑断面	南から	9	377号土坑断面	南から	
	4	267号土坑断面	南から	10	387号土坑	北から	
	5	269号土坑	南から	11	388号土坑	北から	
	6	269号土坑断面	南から	12	388号土坑断面	北から	
7	273号土坑	北から	13	389号土坑断面	南から		
8	273号土坑断面	南から	14	390・391号土坑	南から		
9	275号土坑	東から	15	390・391号土坑断面	南から		
PL. 66	10	276号土坑	北から	1	392号土坑	北から	
	11	276号土坑断面	南から	2	392号土坑 部分	東から	
	12	277号土坑	東から	3	392号土坑 部分	東から	
	13	277号土坑断面	東から	4	392号土坑内蔵	北から	
	14	275・277号土坑出土遺物		5	392号土坑断面	南から	
	15	289・290・291号土坑	西から	6	392号土坑出土遺物		
	1	290号土坑断面	東から	7	393号土坑	南から	
	2	291号土坑断面	東から	8	393号土坑断面	南から	
	3	291号土坑	南から	9	394号土坑	南から	
	4	292号土坑断面	東から	10	394号土坑断面	南から	
5	293号土坑	南から	11	395号土坑	北から		
6	293号土坑断面	南から	12	395号土坑断面	南から		
7	294号土坑	南から	13	396号土坑	北から		

PL. 71	14	396号土坑断面 A	南から	PL. 76	5	526号土坑断面	西から
	15	396号土坑断面 B	南から		6	527号土坑	南から
	1	397号土坑	北から		7	527号土坑断面	西から
	2	397号土坑断面	北から		8	532号土坑	東から
	3	398・399号土坑	北から		9	532号土坑断面	南から
	4	398号土坑断面	北から		10	537・538号土坑	南から
	5	399号土坑断面	北から		11	537・538号土坑断面	南から
	6	400号土坑	南から		12	542号土坑	東から
	7	401号土坑	南から		13	542号土坑断面	南から
	8	402号土坑断面 A	南から		14	548号土坑	南から
9	402号土坑断面 B	南から	15	548号土坑断面	南から		
10	403号土坑	南から	1	550号土坑	南から		
11	417・418・422号土坑	北から	2	551号土坑	南から		
12	417号土坑断面	東から	3	551号土坑断面	南から		
13	418号土坑断面	南から	4	552号土坑	南から		
14	419号土坑	北から	5	552号土坑断面	南から		
15	419号土坑断面	南から	6	553号土坑	北から		
PL. 72	1	420号土坑	南から	7	553号土坑断面	南から	
	2	420号土坑断面	南から	8	563号土坑	西から	
	3	422号土坑	南から	9	563号土坑断面	西から	
	4	422号土坑断面	南から	10	575号土坑	南から	
	5	449号土坑	南から	11	572号土坑断面	南から	
	6	449号土坑断面	南から	12	577号土坑	南から	
	7	449号土坑出土遺物		13	577号土坑断面	北から	
	8	450号土坑断面	南から	PL. 77	1	577号土坑	北から
	9	454号土坑	西から		2	579号土坑	北から
	10	454号土坑断面	南から		3	579号土坑断面	南から
11	459号土坑	南から	4		580号土坑	南から	
12	459号土坑断面	南から	5		580号土坑断面	南から	
13	476号土坑断面	南から	6		620号土坑	南から	
14	476号土坑掘り方断面	南から	7		620号土坑断面	南から	
15	477号土坑断面	西から	8		621号土坑	南から	
1	478号土坑	北から	9		621号土坑断面	東から	
2	478号土坑断面	北から	10		626号土坑	南から	
3	480号土坑周辺	北西から	11	626号土坑断面	南から		
4	480号土坑断面	南西から	12	626号土坑出土遺物			
5	484号土坑	南から	13	627号土坑断面	南から		
6	484号土坑断面	南から	14	628号土坑	東から		
7	487号土坑	南から	15	633号土坑	東から		
8	487号土坑断面	南から	PL. 78	1	635号土坑	南から	
9	500号土坑断面	北から		2	636・584号土坑断面	南から	
10	501号土坑周辺	東から		3	637・590号土坑断面	東から	
11	501号土坑断面	東南から		4	640号土坑	東から	
12	502号土坑	東南から		5	640・613号土坑断面	南東から	
13	502号土坑断面	東南から		6	644号土坑	南から	
14	504号土坑	東から		7	788号土坑	北から	
15	505号土坑断面	北から		8	788号土坑断面	西から	
1	508号土坑	南から		9	795号土坑	南から	
2	508号土坑断面	南から		10	796号土坑	南から	
3	509号土坑	南から	11	796号土坑断面	南から		
4	509号土坑出土遺物		12	797号土坑	南から		
5	510号土坑	南から	13	797号土坑断面	南から		
6	511号土坑	南から	14	820号土坑	西から		
7	511号土坑断面	南から	15	820号土坑断面	西から		
8	513号土坑周辺	東から	PL. 79	1	311号ビット断面	南から	
9	513号土坑断面	南から		2	343号ビット	南から	
10	514号土坑	東から		3	343号ビット断面	南から	
11	514号土坑	南から		4	344号ビット	南から	
12	517号土坑	東から		5	344号ビット断面	南から	
13	517号土坑断面	南から		6	499・500号ビット	南から	
14	521号土坑	南から		7	499・500号ビット断面	南から	
15	521号土坑断面	西から		8	501号ビット	南から	
1	523・524号土坑	南から		9	501号ビット断面	南から	
2	523号土坑断面	西から		10	502号ビット断面	南から	
3	525号土坑	西から	11	503号ビット	南から		
4	526号土坑	南から	12	504号ビット	南から		

	13	505号ビット	南から		7	第4面畑第4区画	南から	
	14	542号ビット	南から 同出土遺物		8	第4面畑第4区画	南から	
PL. 80	15	544号ビット	南から	PL. 88	1	第4面畑第5区画	北から	
	1	572号ビット	南から		2	第4面畑第5区画	南から	
	2	583号ビット断面	南から		3	第4面畑第5区画	南から	
	3	584号ビット	南から		4	第4面畑第5区画	東から	
	4	588号ビット	東から		5	第4面畑第6区画遺構確認状況	南から	
	5	588号ビット断面	南から		6	第4面畑第6区画遺構確認状況	西から	
	6	590号ビット断面	東から		7	第4面畑第6区画	南西から	
	7	602号ビット断面	西から		8	第4面畑第6区画	南から	
	8	609～612号ビット周辺	南から		PL. 89	1	第4面畑第7区画遺構確認状況	北から
	9	609号ビット	北から			2	第4面畑第7区画遺構確認状況	南から
10	610号ビット	北から	3	第4面畑第7区画断面		南から		
11	612号ビット	北から	4	第4面畑第7区画断面		南から		
12	613号ビット断面	南から	5	第4面畑第7区画		北から		
13	615号ビット断面	南から	6	第4面畑第7区画		北から		
14	617号ビット	北から	7	8号道		北から		
15	618号ビット	南から	8	8号道断面				
PL. 81	1	619号ビット	南から	PL. 90		1	1・17・24・25号溝全景	南から
	2	621号ビット	南から			2	1・17・24・25号溝全景	東から
	3	621号ビット出土遺物			3	1・17・24・25号溝全景	南から	
	4	634号ビット	南から		4	1号溝	南から	
PL. 82	5	第3面遺構外出土遺物		5	1号溝	西から		
	1	第4面畑調査風景		6	1号溝断面	北から		
	2	75号復旧溝 曝出土状況	南から	7	1号溝断面	北から		
	3	75号復旧溝	南から	PL. 91	1	3号溝	東から	
	4	75号復旧溝断面	南から		2	3号溝断面	西から	
5	76・77号復旧溝	東から	3		17・24・25号溝	東から		
PL. 83	1	76・77号復旧溝断面	西から		4	17・24号溝	西から	
	2	78号復旧溝	西から		5	17・24・25号溝	北から	
	3	79号復旧溝	西から	6	17号溝出土遺物			
	4	80号復旧溝	南から	7	18号溝	北から		
	5	第4面畑第1区画1号惣穴建物周辺	南から	8	18号溝断面	南から		
PL. 84	6	第4面畑第1区画11号集石周辺	北から	PL. 92	1	19～21号溝	北から	
	7	第4面畑第1区画西部	東から		2	21号溝出土遺物		
	8	第4面畑第1区画西部	西から		3	33号溝	西から	
	1	第4面畑第1区画	北から		4	33号溝断面	西から	
	2	第4面畑第1区画	北から		5	40号溝調査風景	西から	
PL. 85	3	第4面畑第1区画	北から	6	40号溝	西から		
	4	第4面畑第1区画	北から	7	40号溝と1号溝の交点	北から		
	5	第4面畑第1区画確認状況	北から	8	40号溝と1号溝の交点	西から		
	6	第4面畑第1区画確認状況	南から	PL. 93	1	40号溝	西から	
	7	第4面畑第1区画断面(部分図3 A-A')	南から		2	40号溝断面	西から	
	8	第4面畑第1区画断面(部分図3 A-A')	南から		3	2号独立柱建物	南から	
	1	第4面畑第1区画断面(部分図2 A-A')	北から		4	2号独立柱建物 P 1	東から	
	2	第4面畑第1区画断面(部分図2 A-A')	北から		5	2号独立柱建物 P 2	東から	
	3	第4面畑第1区画断面(部分図2 A-A')	北から		6	2号独立柱建物 P 3	東から	
	4	第4面畑第1区画断面(部分図2 A-A')	北から		7	2号独立柱建物 P 4	東から	
5	第4面畑第1区画断面(部分図3 A-A')	北から	8		2号独立柱建物 P 5	東から		
6	第4面畑第1区画断面(部分図3 A-A')	北から	9		2号独立柱建物 P 6	西から		
7	第4面畑第1区画断面(部分図4 A-A')	南から	10		2号独立柱建物 P 7	西から		
PL. 86	8	第4面畑第1区画断面(部分図4 A-A')	南から	11	2号独立柱建物 P 8	東から		
	1	第4面畑第2区画西部確認状況	南から	PL. 94	1	3号独立柱建物	南から	
	2	第4面畑第2区画西部確認状況	西から		2	3号独立柱建物 P 1	北から	
	3	第4面畑第2区画西部	東から		3	3号独立柱建物 P 2	北から	
	4	第4面畑第2区画西部	南から		4	3号独立柱建物 P 3	北から	
	5	第4面畑第2区画中西部	南東から		5	3号独立柱建物 P 4	北から	
	6	第4面畑第2区画東部	東から		6	3号独立柱建物 P 5	北から	
	7	第4面畑第2区画東部	西から		7	3号独立柱建物 P 6	北から	
	8	第4面畑第2区画東部	南から		8	3号独立柱建物 P 7	北から	
	PL. 87	1	第4面畑第3区画		北西から	9	3号独立柱建物 P 8	北から
2		第4面畑第3区画	南東から		PL. 95	1	4号独立柱建物	南から
3		第4面畑第3区画東部	北から	2		4号独立柱建物 P 5	東から	
4		第4面畑第3区画	北から	3		4号独立柱建物 P 6	南から	
5		第4面畑第3区画	南から	4		5号独立柱建物	南から	
6		第4面畑第3区画	南から	5		5号独立柱建物 P 1	南から	

PL 96	6	5号孤立柱建物P 2	南から	PL 105	12	16号孤立柱建物P 7	南から	
	7	5号孤立柱建物P 3	南から		13	16号孤立柱建物P 8	南から	
	8	5号孤立柱建物P 4	南から		14	16号孤立柱建物P 9	南から	
	9	5号孤立柱建物P 5	南から		15	16号孤立柱建物P 10	南から	
	1	5号孤立柱建物P 6	南から		1	17号孤立柱建物P 1	北から	
	2	5号孤立柱建物P 7	南から		2	17号孤立柱建物P 2	南から	
	3	5号孤立柱建物P 8	南から		3	17号孤立柱建物P 3	南から	
	4	5号孤立柱建物P 9	南から		4	17号孤立柱建物P 4	西から	
	5	6号孤立柱建物・3号欄列	南から		5	17号孤立柱建物P 6	西から	
	6	6号孤立柱建物P 1	北から		6	17号孤立柱建物P 8	南から	
PL 97	7	6号孤立柱建物P 2	北から	7	18号孤立柱建物	東から		
	8	6号孤立柱建物P 3	北から	8	18号孤立柱建物P 1	北から		
	9	6号孤立柱建物P 4	北から	9	18号孤立柱建物P 2	南から		
	10	6号孤立柱建物P 5	北から	10	18号孤立柱建物P 8	南から		
	11	6号孤立柱建物P 6	北から	11	18号孤立柱建物P 9	南から		
	1	6号孤立柱建物P 7	北から	1	24号孤立P 1 (789号ビット)	北から		
	2	6号孤立柱建物P 8	北から	2	24号孤立P 2 (790号ビット)	北から		
	3	6号孤立柱建物P 9	北から	3	24号孤立P 3 (791号ビット)	北から		
	4	3号欄列	南から	4	24号孤立P 4 (792号ビット)	北から		
	5	3号欄列P 1	南から	5	24号孤立P 5 (793号ビット)	北から		
PL 98	6	3号欄列P 2	南から	6	24号孤立P 6 (794号ビット)	北から		
	7	3号欄列P 3	南から	7	25号孤立柱建物	西から		
	8	3号欄列P 4	南から	8	25号孤立P 1 (871号ビット)	南から		
	9	3号欄列P 5	南から	9	25号孤立P 2 (869号ビット)	西から		
	10	7～9・15号孤立柱建物	西から	10	25号孤立P 3 (864号ビット)	西から		
	1	7・8号孤立柱建物	南から	11	25号孤立P 4 (857号ビット)	西から		
	2	7号孤立柱建物	東から	12	25号孤立P 5 (844号ビット)	西から		
	3	7号孤立柱建物P 4	西から	13	25号孤立P 6 (837号ビット)	西から		
	4	7号孤立柱建物P 5	西から	14	25号孤立P 7 (836号ビット)	西から		
	5	7号孤立柱建物P 6	西から	15	25号孤立P 8 (833号ビット)	西から		
PL 99	6	7号孤立柱建物P 7	西から	PL 107	1	25号孤立P 10 (832号ビット)	西から	
	7	7号孤立柱建物P 8	西から	2	25号孤立P 11 (831号ビット)	西から		
	8	7号孤立柱建物P 9	西から	3	26号孤立柱建物	北から		
	1	8号孤立柱建物	南から	4	26号孤立P 1 (886号ビット)	西から		
	2	9・15号孤立柱建物	南から	5	26号孤立P 5 (884号ビット)	西から		
	3	9号孤立柱建物	南から	6	26号孤立P 6 (885号ビット)	西から		
	PL 100	1	10～13号孤立柱建物・1号欄列	南から	7	1号壁穴建物	南から	
		2	10号孤立柱建物	北から	PL 108	1	27号壁土確認状況	南西から
		3	10号孤立柱建物P 6	東から	2	27号壁土断面	南西から	
		4	10号孤立柱建物P 8	西から	3	27号壁土 壁土除去後	北から	
1		11号孤立柱建物	北から	4	28号壁土	南から		
PL 101	2	11号孤立柱建物P 2	西から	5	28号壁土断面	北から		
	3	11号孤立柱建物P 3	西から	6	29号壁土	南から		
	4	11号孤立柱建物P 4	西から	7	29号壁土断面	南から		
	5	11号孤立柱建物P 12	南から	8	30号壁土	南から		
	6	11号孤立柱建物出土遺物		9	31号壁土確認状況	南から		
PL 102	1	12号孤立柱建物	東から	10	31号壁土断面	南から		
	2	12号孤立柱建物P 6	南西から	11	31号壁土 壁土除去後	南から		
	3	12号孤立柱建物出土遺物		12	32号壁土	南から		
	4	13号孤立柱建物	東から	13	32号壁土断面	南から		
	5	13号孤立柱建物P 4	西から	14	33号壁土	南から		
PL 103	6	13号孤立柱建物P 8	西から	15	33号壁土断面	南から		
	1	15号孤立柱建物	南から	PL 109	1	33号壁土 壁土除去後	南から	
	2	16号孤立柱建物	北から	2	34号壁土	南から		
	3	17号孤立柱建物	北から	3	47号壁土	西から		
	1	16号孤立柱建物P 1	西から	4	2号～7号集石	南から		
PL 104	2	16号孤立P 2・17号孤立P 1	北から	5	2号～7号集石	西から		
	3	16号孤立P 2・17号孤立P 1	北から	6	2号・3号集石	北から		
	4	16号孤立P 3・17号孤立P 2	北から	7	3号集石	北から		
	5	16号孤立柱建物P 3	北から	8	2号・3号集石下部	南から		
	6	16号孤立P 4・17号孤立P 3	北から	PL 110	1	2号・3号集石掘り方	北から	
	7	16号孤立柱建物P 4	北から	2	3号・4号集石	北から		
	8	16号孤立柱建物P 4	南から	3	4号集石	北から		
	9	16号孤立P 5・17号孤立P 4	北から	4	4号集石部分	北から		
	10	16号孤立柱建物P 5	東から	5	4号集石下部	南から		
	11	16号孤立柱建物P 6	西から	6	5号集石	南から		

PL. 111	7	6号・7号集石	北から	2	466号土坑断面	南から
	8	6号集石	北から	3	466号土坑埋葬状況	西から
	1	7号集石	北から	4	466号土坑掘り方	西から
	2	6号・7号集石掘り方	南から	5	466号土坑出土遺物	
	3	2号～7号集石掘り方	北から	6	547号土坑	南から
PL. 112	4	2号～7号集石掘り方	東から	7	547号土坑断面	南から
	5	8号集石	北から	8	547号土坑埋葬状況	西から
	6	8号集石掘り方	北から	9	547号土坑遺物出土状況	西から
	7	2号集石出土遺物		2	547号土坑掘り方	東から
	1	3号・4号集石出土遺物		3	547号土坑出土遺物	
PL. 113	2	9号集石	東から	4	571号土坑埋葬状況	南から
	3	9号集石断面	西から	5	571号土坑埋葬状況	西から
	4	10号集石	南から	6	571号土坑断面	南から
	5	10号集石掘り方	南から	7	571号土坑掘り方	東から
	6	13号集石	北から	1	871号土坑埋葬状況	南から
PL. 114	7	13号集石掘り方	北から	2	871号土坑埋葬状況	西から
	1	14号～18号集石	北から	3	871号土坑断面	南から
	2	14号・15号・18号集石	北から	4	871号土坑人骨確認状況	西から
	3	14号集石	北から	5	871号土坑掘り方	西から
	4	14号集石掘り方	北から	6	871号土坑出土遺物	
PL. 115	5	15号・18号集石	北から	1	146号土坑	東から
	6	15号集石遺物出土状況	東から	2	146号土坑断面	北から
	7	15号集石掘り方	北から	3	148号土坑	北から
	1	15号集石出土遺物		4	148号土坑断面	南から
	2	16号・17号集石	北から	5	149号土坑	東から
PL. 116	3	16号集石	北から	6	149号土坑断面	南から
	4	16号集石掘り方	北から	7	151号土坑	東から
	5	17号集石	北から	8	151号土坑断面	南から
	1	17号集石掘り方	北から	9	151号土坑遺物出土状況	東から
	2	18号集石	南から	10	151号土坑出土遺物	
PL. 117	3	18号集石掘り方	北から	11	152号土坑	東から
	4	4号列石	西から	12	152号土坑断面	南から
	5	4号列石	南から	13	152号土坑出土遺物	
	6	5号列石	西から	14	153号土坑断面	東から
	7	5号列石	東から	15	154号・168号土坑	南から
PL. 118	8	5号列石	南から	1	154号土坑断面	北から
	1	191号土坑	東から	2	154号・168号土坑断面	北から
	2	191号土坑部分	東から	3	155号～158号土坑	南から
	3	191号土坑遺物出土状況	西から	4	155号土坑断面	南から
	4	191号土坑遺物出土状況近接	西から	5	156号土坑断面	南から
PL. 119	5	191号土坑出土遺物		6	156号土坑出土遺物	
	6	248号土坑断面	西から	7	157号土坑断面	南から
	7	248号土坑埋葬状況	西から	8	157号土坑出土遺物	
	1	255号土坑上面	東から	9	159号土坑南部	南から
	2	255号土坑断面	北から	10	159号土坑断面	南から
PL. 120	3	255号土坑埋葬状況	東から	11	159号土坑掘り上状況	南から
	4	255号土坑掘り方	東から	12	159号土坑北部	西から
	5	255号土坑出土遺物		13	159号土坑出土遺物	
	6	266号土坑	南から	14	161号土坑	南から
	7	266号土坑断面	西から	15	162号・163号土坑	南から
PL. 121	8	272号土坑	西から	1	162号土坑	南から
	1	272号土坑埋葬状況	西から	2	162号土坑出土遺物	
	2	287号土坑	西から	3	163号土坑	西から
	3	287号土坑埋葬状況	西から	4	163号土坑遺物出土状況	東から
	4	287号土坑掘り方	東から	5	163号土坑出土遺物 1	
PL. 122	5	287号土坑出土遺物		6	163号土坑出土遺物 2	
	6	288号土坑埋葬状況	西から	7	164号土坑	西から
	1	288号土坑埋葬状況	東から	8	164号土坑断面	南から
	2	288号土坑出土遺物		9	165号土坑断面	南から
	3	453号土坑	西から	10	169号土坑	東から
PL. 123	4	453号土坑断面	南から	11	169号土坑断面	南から
	5	453号土坑出土遺物		12	170号土坑	南から
	6	465号土坑	西から	13	170号土坑断面	南から
	7	465号土坑断面	南から	14	171号土坑	南から
	8	465号土坑出土遺物		1	171号土坑断面	南から
PL. 124	1	466号土坑上面	西から	2	172号土坑	南から

	3	172号土坑断面	南から		10	225号土坑断面	南から
	4	173号～175号土坑	北から		11	226号土坑遺物出土状況	南から
	5	173号土坑	南から		12	226号土坑断面	南から
	6	173号土坑断面	南から		13	226号土坑	北から
	7	174号土坑断面	南から		14	227号土坑	東から
	8	175号土坑断面	南から		15	227号土坑断面	南から
	9	176号・178号土坑	北から	PL. 131	1	227号土坑出土遺物	
	10	176号土坑断面	南から		2	229号土坑	南から
	11	178号土坑断面	南から		3	229号土坑断面	東から
	12	177号土坑	西から		4	230号土坑	南から
	13	177号土坑断面	南から		5	230号土坑断面	西から
	14	179号～183号土坑	北から		6	231号土坑	南から
	15	183号土坑断面	南から		7	231号土坑断面	南から
PL. 127	1	188号土坑	南から		8	232号土坑断面	南から
	2	188号土坑断面	西から		9	233号土坑断面	西から
	3	189号土坑	南から		10	234号土坑断面	西から
	4	190号土坑	南から		11	235号土坑	東から
	5	192号土坑	北から		12	236号土坑	南から
	6	192号土坑断面	南から		13	237号土坑	南から
	7	192号土坑断面	南から		14	237号土坑断面	東から
	8	192号土坑	南から	PL. 132	1	238号土坑炭化物出土状況	南から
	9	193号土坑	南から		2	238号土坑断面	西から
	10	193号土坑断面	南から		3	238号土坑	南から
	11	194号土坑	南から		4	239号土坑	南から
	12	194号土坑断面	西から		5	239号土坑断面	西から
	13	195号土坑	南から		6	241号土坑	東から
	14	195号土坑断面	西から		7	241号土坑断面	南から
	15	196号土坑	南から		8	243号土坑	南から
PL. 128	1	196号土坑断面	南から		9	243号土坑断面	東から
	2	197号土坑	南から		10	246号土坑炭化物出土状況	西から
	3	197号土坑断面	南から		11	246号土坑断面	西から
	4	197号土坑遺物出土状況			12	246号土坑	南から
	5	197号土坑出土遺物			13	247号土坑	南から
	6	198号土坑	南から		14	247号土坑断面	東から
	7	198号土坑出土遺物			15	250号土坑	東から
	8	199号土坑	南から	PL. 133	1	250号土坑断面	南から
	9	206号土坑	南から		2	251号土坑	南から
	10	206号土坑断面	東から		3	251号土坑断面	南から
	11	207号土坑	南から		4	252号土坑	南から
	12	207号土坑断面	南から		5	253号土坑	南から
	13	208号土坑	北から		6	253号土坑断面	南から
	14	208号土坑断面	東から		7	254号土坑	南から
PL. 129	1	209号土坑	南から		8	254号土坑断面	南から
	2	209号土坑断面	南から		9	256号土坑	南から
	3	211号土坑	東から		10	256号土坑断面	南から
	4	211号土坑断面	南から		11	257号土坑	北から
	5	212号土坑	東から		12	257号土坑断面	東から
	6	212号土坑	南から		13	258号土坑断面	西から
	7	212号土坑出土遺物			14	259号土坑	南から
	8	213号土坑	西から		15	259号土坑断面	西から
	9	213号土坑断面	南から	PL. 134	1	261号土坑	南から
	10	214号土坑	西から		2	261号土坑断面	西から
	11	214号土坑断面	東から		3	262号土坑	南から
	12	215号土坑	東から		4	262号土坑断面	南から
	13	215号土坑断面	南から		5	265号土坑	東から
	14	216号土坑	東から		6	268号土坑	南から
	15	217号土坑断面	東から		7	268号土坑断面	東から
PL. 130	1	218号土坑	南から		8	270号土坑	南から
	2	218号土坑断面	東から		9	270号土坑断面	南から
	3	219号土坑断面	東から		10	271号土坑断面	西から
	4	220号土坑断面	東から		11	274号土坑	東から
	5	221号土坑断面	南から		12	274号土坑断面	東から
	6	222号土坑断面	南から		13	278号土坑	南から
	7	224号土坑	東から		14	278号土坑断面	南から
	8	224号土坑断面	南から	PL. 135	1	278号土坑	南から
	9	224号土坑出土遺物			2	278号土坑断面	西から

	3	280号土坑	南から		9	367号土坑	南から
	4	280号土坑断面	南から		10	367号土坑断面	東から
	5	281号土坑	南から		11	368号土坑	南から
	6	281号土坑断面	南から		12	368号土坑断面	南から
	7	282号土坑	南から		13	369号土坑	北から
	8	282号土坑断面	南から		14	369号土坑断面	西から
	9	285号土坑	南から		15	371号土坑	北から
	10	285号土坑断面	南から	PL. 140	1	371号土坑露出状況	東から
	11	285号土坑断面	南から		2	371号土坑断面	東から
	12	286号土坑	南から		3	372号土坑露出状況	北から
	13	286号土坑断面	南から		4	372号土坑露出状況	東から
	14	285号土坑断面	南から		5	372号土坑断面	西から
	15	296号土坑	南から		6	374号土坑	南から
PL. 136	1	296号土坑断面	南から		7	374号土坑断面	南から
	2	297号・298号土坑断面	東から		8	374号土坑出土遺物	
	3	297号・298号土坑断面	部分 東から		9	375号土坑	東から
	4	299号土坑断面	南から		10	375号土坑断面	東から
	5	318号土坑	北から		11	378号土坑	北から
	6	318号土坑断面	東から		12	378号土坑断面	南から
	7	319号土坑	南から		13	379号土坑	南東から
	8	320号・321号土坑	北から		14	379号土坑断面	南から
	9	320号・321号土坑断面	南から		15	381号土坑	西から
	10	320号土坑遺物出土状況	南から	PL. 141	1	381号土坑断面	西から
	11	321号土坑出土遺物			2	381号土坑出土遺物	
	12	322号・323号土坑	東から		3	382号土坑	南から
	13	322号土坑断面	西から		4	382号土坑断面	南から
	14	323号土坑断面	東南から		5	386号土坑	北から
	15	324号土坑	南から		6	386号土坑断面	東から
PL. 137	1	324号土坑断面	西から		7	404号土坑	西から
	2	324号土坑出土遺物			8	404号土坑碎片出土状況	西から
	3	325号土坑	西から		9	455号土坑	南から
	4	325号土坑断面	西から		10	455号土坑断面	南から
	5	325号土坑遺物出土状況	東から		11	457号土坑断面	南から
	6	325号土坑出土遺物			12	458号土坑	東から
	7	342号土坑	東から		13	458号土坑断面	南から
	8	342号土坑断面	南から		14	460号土坑	東から
	9	343号土坑	東から		15	460号土坑断面	南から
	10	343号土坑断面	東から	PL. 142	1	461号土坑	北から
	11	345号土坑断面	南から		2	461号土坑断面	南から
	12	346号土坑断面	西から		3	462号土坑	北から
	13	346号土坑出土遺物			4	462号土坑断面	南から
	14	349号土坑断面	南から		5	463号～465号土坑	南から
	15	350号土坑断面	南から		6	463号土坑断面	南から
PL. 138	1	351号土坑断面	南から		7	464号土坑	南から
	2	352号土坑	東から		8	464号土坑断面	南から
	3	352号土坑断面	南から		9	467号土坑	南から
	4	353号土坑	東から		10	467号土坑断面	南から
	5	353号土坑断面	南から		11	468号土坑	南から
	6	353号土坑出土遺物			12	468号土坑断面	南から
	7	354号土坑	西から		13	469号土坑	北から
	8	354号土坑断面	南東から		14	469号土坑断面	南から
	9	356号土坑	西から		15	469号土坑遺物出土状況	南から
	10	356号土坑断面	南から	PL. 143	1	469号土坑	南から
	11	358号土坑	東から		2	469号土坑出土遺物	
	12	358号土坑断面	南から		3	470号土坑	東から
	13	360号土坑	北から		4	470号土坑露出状況	東から
	14	360号土坑断面	南東から		5	470号土坑断面	南から
	15	360号土坑出土遺物			6	470号土坑出土遺物	
PL. 139	1	361号土坑	東から		7	471号土坑	南から
	2	361号土坑断面	南から		8	471号土坑断面	南から
	3	362号土坑	北西から		9	472号土坑	南から
	4	362号土坑断面	南から		10	472号土坑断面	南から
	5	365号土坑断面	南から		11	473号土坑	南から
	6	366号土坑	東から		12	473号土坑断面	南から
	7	366号土坑	南から		13	473号土坑出土遺物	
	8	366号土坑断面	南から	PL. 144	1	474号土坑	西から

	2	474号土坑断面	南から			8	564号土坑	北から		
	3	473号土坑	東から			9	564号土坑断面	西から		
	4	475号土坑	南から			10	565号土坑南部	東から		
	5	475号土坑断面	南から			11	565号土坑北部	東から		
	6	479号土坑	南から			12	565号土坑断面	南から		
	7	479号土坑断面	南から			13	566号土坑露出状況	北から		
	8	506号土坑	東から			14	566号土坑碑・石臼出土状況	南から		
	9	506号土坑	南から	PL. 149		1	566号土坑	北から		
	10	506号土坑断面	南から			2	566号土坑調査風景	北から		
	11	512号土坑	南から			3	566号土坑出土遺物			
	12	512号土坑断面	南から			4	567号土坑	北から		
	13	515号土坑	南から			5	567号土坑露出状況	南から		
	14	515号土坑断面	南から			6	567号土坑断面	南から		
PL. 145	15	516号土坑	南から			7	567号土坑断面	西から		
	1	516号土坑断面	南から			PL. 150	1	569号土坑	北から	
	2	518号土坑	東から			2	569号土坑断面	南から		
	3	518号土坑断面	南から			3	570号土坑	東から		
	4	519号・520号土坑	東から			4	570号土坑断面	北から		
	5	519号土坑	東から			5	573号土坑	南から		
	6	519号土坑断面	南から			6	573号土坑断面	南から		
	7	520号土坑	東から			7	574号土坑	南から		
	8	520号土坑出土遺物				8	574号土坑断面	北から		
	9	528号土坑	南から			9	575号土坑	南から		
	10	528号土坑断面	南から			10	575号土坑断面	南から		
	11	529号土坑断面	北から			11	576号土坑	南から		
	12	530号土坑断面	南から			12	576号土坑断面	南から		
	13	531号土坑	東から			13	578号土坑	南から		
	14	531号土坑断面	南から			14	578号土坑断面	南から		
	15	534号土坑	北から			15	581号土坑	東から		
PL. 146	1	534号土坑断面	西から			PL. 151	1	581号土坑断面	南から	
	2	535号土坑断面	南から			2	582号土坑	南から		
	3	536号土坑	南から			3	582号土坑断面	南から		
	4	536号土坑断面	南から			4	583号土坑	西から		
	5	539号土坑断面	南西から			5	583号土坑断面	南から		
	6	540号土坑	東から			6	585号土坑断面	南から		
	7	540号土坑断面	南から			7	586号土坑	南から		
	8	541号土坑	南から			8	586号土坑露出状況	南から		
	9	541号土坑断面	南から			9	586号土坑断面	南から		
	10	543号土坑断面	南から			10	586号土坑出土遺物			
	11	544号土坑	北東から			11	587号・588号土坑	南から		
	12	544号土坑断面	南から			12	588号土坑断面	南から		
	13	545号土坑	東から			13	589号土坑	南から		
	14	545号土坑断面	南から			14	589号土坑断面	南から		
	15	546号・555号土坑	北から			PL. 152	1	590号・591号土坑	南から	
PL. 147	1	546号土坑断面	東から			2	590号・591号土坑断面	東から		
	2	546号土坑出土遺物				3	592号土坑断面	南から		
	3	555号土坑出土遺物				4	593号土坑	南から		
	4	549号土坑露出状況	北から			5	593号土坑断面	南から		
	5	549号土坑	北から			6	594号土坑断面	東から		
	6	549号土坑断面	南から			7	595号土坑	南から		
	7	554号土坑	南から			8	596号土坑	北から		
	8	556号土坑	南から			9	596号土坑断面	南から		
	9	556号土坑断面	南から			10	597号土坑	南から		
	10	557号土坑	南から			11	597号土坑断面	北から		
	11	557号土坑断面	南から			12	598号土坑断面	南から		
	12	558号土坑	南から			13	599号土坑	南から		
	13	558号土坑断面	南から			14	599号土坑断面	北から		
	14	559号土坑	南から			PL. 153	1	600号・601号土坑	南から	
	15	559号土坑断面	南から			2	600号・601号土坑断面	南から		
PL. 148	1	560号土坑	北から			3	601号土坑	南から		
	2	560号土坑断面	北から			4	601号土坑断面	南から		
	3	561号土坑露出状況	石臼出土状況	北から		5	600号・601号土坑出土遺物			
	4	561号土坑	北から			6	602号土坑	西から		
	5	561号土坑出土遺物				7	602号土坑断面	南から		
	6	562号土坑	北から			8	603号土坑	西から		
	7	562号土坑断面	北から			9	603号土坑断面北側	南西から		

	10	603号土坑断面南側	南西から		6	822号土坑断面	北から
	11	603号土坑出土遺物			7	826号土坑	南から
	12	604号土坑	北から		8	826号土坑断面	南から
	13	604号土坑断面	南から		9	827号土坑	南から
	14	604号土坑出土遺物			10	839号土坑	北から
	15	605号土坑	南から		11	839号土坑断面	北から
PL. 154	1	605号土坑断面	南から		12	840号土坑断面	北から
	2	606号土坑	東から		13	840号土坑	北から
	3	606号土坑断面	南から	PL. 159	1	841号土坑断面	西から
	4	607号土坑	南から		2	842号土坑断面	南から
	5	607号土坑断面	南から		3	843号土坑	北から
	6	609号土坑露出状況	北から		4	845号土坑	北から
	7	609号土坑下層露出土状況	北から		5	846号土坑	北から
	8	609号土坑	北から		6	846号土坑断面	西から
	9	609号土坑断面	南から		7	847号土坑	北から
	10	610号土坑露・石臼出土状況	西から		8	847号土坑断面	西から
	11	610号土坑石臼出土状況	西から		9	848号土坑	北から
	12	611号土坑断面	北から		10	848号土坑断面	北から
	13	611号土坑断面西部	北から		11	849号土坑	西から
	14	612号土坑	南から		12	849号土坑断面	西から
	15	612号土坑断面	南から		13	850号土坑	北から
PL. 155	1	613号土坑	南から	PL. 160	1	850号土坑断面	西から
	2	613号土坑断面	南から		2	851号土坑	西から
	3	617号土坑	南から		3	851号土坑断面	北から
	4	617号土坑断面	南から		4	852号土坑露出土状況	北から
	5	618号土坑	南から		5	852号土坑	北から
	6	618号土坑断面	南から		6	853号土坑	北から
	7	619号土坑	南から		7	854号土坑	北から
	8	619号土坑断面	南から		8	854号土坑断面	東から
	9	623号土坑	北から		9	867号土坑断面	南から
	10	623号土坑断面	西から		10	868号土坑断面	南から
	11	624号土坑	南から	PL. 161	1	869号土坑	西から
	12	642号土坑	南から		2	869号土坑断面	南から
	13	642号土坑露出土状況	南から		3	870号土坑	西から
	14	643号土坑	南から		4	870号土坑断面	南から
PL. 156	1	643号土坑露出土状況	南から		5	875号土坑	南から
	2	623号・624号土坑出土遺物			6	875号土坑断面	南から
	3	789号土坑	東から		7	887号土坑	南から
	4	789号土坑断面	東から		8	887号土坑断面	南から
	5	790号土坑	北から		9	889号土坑断面	南から
	6	790号土坑断面	北から		10	890号土坑	南から
	7	791号土坑	東から		11	891号土坑	南から
	8	791号土坑断面	北から		12	913号土坑断面	西から
	9	792号土坑	北から		13	916号土坑	西から
	10	792号土坑断面	東から		14	918号土坑	南から
	11	793号土坑	東から		15	923号土坑断面	南から
PL. 157	1	793号土坑断面	南から	PL. 162	1	229号ビット断面	南から
	2	794号土坑	東から		2	231号ビット断面	東から
	3	794号土坑断面	南から		3	231号ビット	東から
	4	808号土坑	西から		4	235号ビット	西から
	5	808号土坑断面	北から		5	235号ビット出土遺物	
	6	809号土坑	西から		6	236号ビット出土遺物	
	7	809号土坑断面	南から		7	238号ビット	南から
	8	810号土坑	北から		8	240号ビット	南から
	9	810号土坑断面	西から		9	243号ビット	南西から
	10	811号土坑	東から		10	244号ビット	南から
	11	811号土坑断面	北から		11	244号ビット出土遺物	
	12	812号土坑	東から		12	245号ビット	南西から
	13	812号土坑断面	北から		13	245号ビット出土遺物	
	14	817号土坑断面	南から		14	246号ビット	南から
	15	818号土坑断面	南から		15	246号ビット出土遺物	
PL. 158	1	819号土坑断面	南から	PL. 163	1	247号ビット	西から
	2	821号土坑露認状況	南から		2	247号ビット出土遺物	
	3	821号土坑	南から		3	248号ビット	南から
	4	821号土坑断面	西から		4	250号ビット断面	南から
	5	822号土坑	西から		5	251号ビット断面	南から

	6	252号ビット断面	南から		12	308号ビット断面	南から
	7	253号ビット断面	南から		13	309号ビット	南から
	8	254号ビット	南から		14	309号ビット断面	南から
	9	254号ビット断面	南から		15	310号ビット	南から
	10	255号ビット	南から	PL. 168	1	310号ビット断面	南から
	11	255号ビット断面	南から		2	312号ビット	南から
	12	257号ビット断面	南から		3	312号ビット断面	南から
	13	258号ビット	南から		4	313号ビット	南から
	14	258号ビット断面	南から		5	313号ビット断面	南から
	15	268号ビット	南から		6	314号ビット	南から
PL. 164	1	268号ビット断面	南から		7	314号ビット断面	南から
	2	269号ビット	南から		8	315号ビット	東から
	3	269号ビット断面	南から		9	315号ビット断面	南から
	4	270号ビット	南から		10	315号ビット出土遺物	
	5	270号ビット断面	南から		11	316号ビット	南から
	6	271号ビット	南から		12	316号ビット断面	南から
	7	271号ビット断面	南から		13	317号ビット	南から
	8	272号ビット	南から		14	317号ビット断面	南から
	9	272号ビット断面	南から		15	318号ビット	南から
	10	273号ビット	南から	PL. 169	1	318号ビット断面	南から
	11	273号ビット断面	南から		2	319号ビット	南から
	12	274号ビット	南から		3	319号ビット断面	南から
	13	274号ビット断面	南から		4	320号ビット	南から
	14	275号ビット	南から		5	320号ビット断面	南から
	15	275号ビット断面	南から		6	321号ビット	南から
PL. 165	1	276号ビット	南から		7	321号ビット断面	南から
	2	276号ビット断面	南から		8	351号ビット	南から
	3	277号ビット	南から		9	351号ビット断面	南から
	4	277号ビット断面	南から		10	352号ビット	南から
	5	278号ビット	南から		11	352号ビット断面	南から
	6	278号ビット断面	南から		12	353号ビット	南から
	7	279号ビット	南から		13	353号ビット断面	南から
	8	279号ビット断面	南から		14	355号ビット	南から
	9	280号ビット	南から		15	355号ビット断面	南から
	10	280号ビット断面	南から	PL. 170	1	356号ビット	南から
	11	281号ビット	南から		2	356号ビット断面	南から
	12	281号ビット断面	南から		3	357号ビット	南から
	13	282号ビット	南から		4	357号ビット断面	南から
	14	282号ビット断面	南から		5	358号ビット	南から
	15	283号ビット	南から		6	358号ビット断面	南から
PL. 166	1	283号ビット断面	南から		7	359号ビット	南から
	2	284号ビット	南から		8	359号ビット断面	南から
	3	284号ビット断面	南から		9	360号ビット	南から
	4	285号ビット	南から		10	360号ビット断面	南から
	5	285号ビット断面	南から		11	361号ビット	南から
	6	286号ビット	南から		12	361号ビット断面	南から
	7	286号ビット	南から		13	362号ビット	南から
	8	287号ビット	南から		14	362号ビット断面	南から
	9	288号ビット	南から		15	363号ビット	南から
	10	289号ビット断面	南から	PL. 171	1	363号ビット断面	南から
	11	299号ビット	南から		2	364号ビット	南から
	12	299号ビット断面	南から		3	364号ビット断面	南から
	13	301号ビット	南から		4	365号ビット	南から
	14	301号ビット断面	南から		5	365号ビット断面	南から
	15	302号ビット	南から		6	366号ビット	南から
PL. 167	1	302号ビット断面	南から		7	366号ビット断面	南から
	2	303号ビット	南から		8	367号ビット	南から
	3	303号ビット断面	南から		9	367号ビット断面	南から
	4	304号ビット	南から		10	368号ビット	南から
	5	304号ビット断面	南から		11	368号ビット断面	南から
	6	305号ビット	南から		12	369号ビット	南から
	7	305号ビット断面	南から		13	369号ビット断面	南から
	8	306号ビット	南から		14	370号ビット	南から
	9	306号ビット断面	南から		15	370号ビット断面	南から
	10	307号ビット断面	南から	PL. 172	1	371号ビット	南から
	11	308号ビット	南から		2	371号ビット断面	南から

	3	372号ビット	西から		9	409号ビット断面	南から
	4	372号ビット断面	西から		10	410号ビット断面	南から
	5	373号ビット	南から		11	411号ビット	南から
	6	373号ビット断面	南から		12	411号ビット断面	南から
	7	374号ビット	南から		13	412号ビット	南から
	8	374号ビット断面	南から		14	412号ビット断面	南から
	9	375号ビット	南から		15	413号ビット断面	南から
	10	375号ビット断面	南から	PL 177	1	416号ビット	南から
	11	376号ビット	南から		2	416号ビット断面	南から
	12	376号ビット断面	南から		3	417号ビット	南から
	13	377号ビット	南から		4	417号ビット断面	南から
	14	377号ビット断面	南から		5	418号ビット	南から
PL 173	15	378号ビット	東から		6	418号ビット断面	南から
	1	379号ビット断面	南から		7	419号ビット	南から
	2	380号ビット断面	南から		8	419号ビット断面	南から
	3	381号ビット断面	南から		9	420号ビット	南から
	4	382号ビット	南から		10	420号ビット断面	南から
	5	382号ビット断面	南から		11	420号ビット出土遺物	
	6	383号ビット	南から		12	421号ビット	南から
	7	383号ビット断面	南から		13	421号ビット断面	南から
	8	384号ビット	南から		14	422号ビット	南から
	9	384号ビット断面	南から		15	422号ビット断面	南から
	10	385号ビット	南から	PL 178	1	423号ビット	南から
	11	385号ビット断面	南から		2	423号ビット断面	南から
	12	386号ビット	南から		3	424号ビット	南から
	13	386号ビット断面	南から		4	424号ビット断面	南から
	14	387号ビット	南から		5	425号ビット	南から
	15	387号ビット断面	南から		6	425号ビット断面	南から
PL 174	1	388号ビット断面	南から		7	426号ビット	南から
	2	389号ビット	南から		8	426号ビット断面	南から
	3	389号ビット断面	南から		9	427号ビット	南から
	4	390号ビット	南から		10	427号ビット断面	南から
	5	390号ビット断面	南から		11	428号ビット	南から
	6	391号ビット	南から		12	428号ビット断面	南から
	7	391号ビット断面	南から		13	429号ビット	南から
	8	392号ビット	南から		14	429号ビット断面	南から
	9	392号ビット断面	南から		15	430号ビット	南から
	10	393号ビット	南から	PL 179	1	430号ビット断面	南から
	11	393号ビット断面	南から		2	431号ビット	南から
	12	394号ビット	南から		3	432号ビット	南から
	13	394号ビット断面	南から		4	433号ビット	南から
	14	395号ビット	南から		5	433号ビット断面	南から
	15	395号ビット断面	南から		6	434号ビット	南から
PL 175	1	396号ビット断面	南から		7	434号ビット断面	南から
	2	397号ビット	南から		8	435号ビット	南から
	3	397号ビット断面	南から		9	435号ビット断面	南から
	4	398号ビット	南から		10	436号ビット	南から
	5	398号ビット断面	南から		11	436号ビット断面	南から
	6	399号ビット	西から		12	437号ビット	南から
	7	399号ビット断面	西から		13	437号ビット断面	南から
	8	400号ビット	南から		14	438号ビット	南から
	9	400号ビット断面	南から		15	438号ビット断面	南から
	10	401号ビット	南から	PL 180	1	439号ビット	南から
	11	401号ビット断面	南から		2	439号ビット断面	南から
	12	402号ビット	南から		3	440号ビット	南から
	13	402号ビット断面	南から		4	440号ビット断面	南から
	14	403号ビット	南から		5	441号ビット	南から
	15	403号ビット断面	南から		6	441号ビット断面	南から
PL 176	1	404号ビット	南から		7	442号ビット	南から
	2	404号ビット断面	南から		8	443号ビット	南から
	3	405号ビット	南から		9	443号ビット断面	南から
	4	405号ビット断面	南から		10	444号ビット	南から
	5	406号ビット	南から		11	444号ビット断面	南から
	6	406号ビット断面	南から		12	445号ビット	南から
	7	407号ビット	南から		13	445号ビット断面	南から
	8	407号ビット断面	南から		14	446号ビット	南から

	15	447号ビット	南から		6	481号ビット	南から
PL. 181	1	447号ビット断面	南から		7	481号ビット断面	南から
	2	448号ビット	南から		8	482号ビット	南から
	3	448号ビット断面	南から		9	482号ビット断面	南から
	4	449号ビット	南から		10	483号ビット	南から
	5	449号ビット断面	南から		11	483号ビット断面	南から
	6	450号ビット	南から		12	484号ビット	南から
	7	450号ビット断面	南から		13	484号ビット断面	南から
	8	451号ビット	南から		14	485号ビット	南から
	9	451号ビット断面	南から		15	485号ビット断面	南から
		10	452号ビット	南から	PL. 186	1	486号ビット
	11	452号・453号ビット断面	南から	2		486号ビット断面	南から
	12	454号ビット	南から	3		487号ビット	南から
	13	454号ビット断面	南から	4		478号ビット断面	南から
	14	455号ビット	南から	5		488号ビット断面	南から
	15	455号ビット断面	南から	6		489号ビット	南から
PL. 182	1	456号ビット	南から	7		489号ビット断面	南から
	2	456号ビット断面	南から	8		490号ビット	南から
	3	457号ビット	南から	9		490号ビット断面	南から
	4	457号ビット断面	南から	10		491号ビット	南から
	5	458号ビット	南から	11	491号ビット断面	南から	
	6	458号ビット断面	南から	12	492号ビット	南から	
	7	459号ビット	南から	13	492号ビット断面	南から	
	8	459号ビット断面	南から	14	493号ビット	南から	
	9	460号ビット	南から	15	493号ビット断面	南から	
		10	460号ビット断面	南から	PL. 187	1	494号ビット
	11	461号ビット	南から	2		494号ビット断面	南から
	12	461号ビット断面	南から	3		495号ビット断面	南から
	13	462号ビット	南から	4		496号ビット	南から
	14	462号ビット断面	南から	5		496号ビット断面	南から
	15	463号ビット	南から	6		497号ビット	南から
PL. 183	1	463号ビット断面	南から	7		497号ビット断面	南から
	2	464号ビット	南から	8		498号ビット	南から
	3	464号ビット断面	南から	9		498号ビット断面	南から
	4	465号ビット	南から	10		509号ビット	南から
	5	465号ビット断面	南から	11	509号ビット断面	南から	
	6	466号ビット	南から	12	516号ビット断面	西から	
	7	466号ビット断面	南から	13	517号ビット断面	西から	
	8	467号ビット	南から	14	518号ビット断面	西から	
	9	467号ビット断面	南から	15	519号ビット断面	南から	
		10	468号ビット	南から	PL. 188	1	519号ビット出土遺物
	11	468号ビット断面	南から	2		520号ビット	南から
	12	469号ビット	南から	3		520号ビット断面	南から
	13	469号ビット断面	南から	4		524号ビット断面	西から
	14	470号ビット	南から	5		525号ビット	南から
	15	470号ビット断面	南から	6		525号ビット断面	西から
PL. 184	1	471号ビット	南から	7		526号ビット断面	南から
	2	471号ビット断面	南から	8		536号ビット	南から
	3	472号ビット	南から	9		536号ビット断面	南から
	4	472号ビット断面	南から	10		537号ビット	南から
	5	473号ビット	南から	11	537号ビット断面	南から	
	6	473号ビット遺物出土状況	南から	12	538号ビット	南から	
	7	474号ビット	南から	13	538号ビット断面	南から	
	8	474号ビット断面	南から	14	549号ビット	南から	
	9	475号ビット	南から	15	549号ビット断面	南から	
		10	475号ビット断面	南から	PL. 189	1	550号ビット
	11	476号ビット	南から	2		550号ビット断面	南から
	12	476号ビット断面	南から	3		551号ビット	南から
	13	477号ビット	南から	4		551号ビット断面	南から
	14	477号ビット断面	南から	5		552号ビット	南から
	15	478号ビット	南から	6		552号ビット断面	南から
PL. 185	1	478号ビット断面	南から	7		553号ビット	南から
	2	479号ビット	南から	8		553号ビット断面	南から
	3	479号ビット断面	南から	9		554号ビット	南から
	4	480号ビット	南から	10		587号ビット	南から
	5	480号ビット断面	南から	11	587号ビット出土遺物		

	12	587号ビット出土遺物	
	13	585号ビット 南から	
	14	596号ビット 南から	
PL. 190	1	597号ビット 南から	
	2	599号ビット 南から	
	3	600号ビット 南から	
	4	604号ビット断面 南から	
	5	614号ビット 南から	
	6	614号ビット断面 西から	
	7	616号ビット 南から	
	8	616号ビット出土遺物	
	9	627号ビット 南から	
	10	627号ビット断面 南から	
	11	628号ビット 南から	
	12	629号ビット 東から	
	13	632号ビット 南から	
	14	632号ビット断面 南から	
	15	635号ビット出土遺物	
PL. 191	1	643号ビット 南から	
	2	643号ビット断面 南から	
	3	827号ビット断面 西から	
	4	829号ビット断面 西から	
	5	830号ビット断面 西から	
	6	834号ビット断面 南から	
	7	835号ビット断面 西から	
	8	838号ビット断面 西から	
	9	839号ビット断面 西から	
	10	840号ビット断面 西から	
	11	841号ビット断面 西から	
	12	842号ビット断面 西から	
	13	843号ビット断面 西から	
	14	845号ビット断面 西から	
	15	846号ビット断面 西から	
PL. 192	1	847号ビット断面 西から	
	2	848号ビット断面 西から	
	3	849号ビット断面 西から	
	4	850号ビット断面 西から	
	5	851号ビット断面 西から	
	6	852号ビット断面 西から	
	7	853号ビット断面 西から	
	8	854号ビット断面 西から	
	9	855号ビット断面 西から	
	10	858号ビット断面 西から	
	11	859号ビット断面 西から	
	12	860号ビット断面 南から	
	13	861号ビット断面 南から	
	14	862号ビット断面 南から	
	15	863号ビット断面 西から	
PL. 193	1	865号ビット断面 西から	
	2	870号ビット断面 西から	
	3	872号ビット断面 南から	
	4	873号・874号ビット断面 南から	
	5	875号ビット断面 西から	
	6	876号ビット断面 西から	
	7	877号ビット断面 西から	
	8	878号ビット断面 西から	
	9	879号ビット断面 西から	
	10	880号ビット断面 西から	
	11	881号ビット断面 西から	
	12	882号ビット断面 西から	
	13	883号ビット断面 西から	
	14	969号ビット断面 南から	
	15	970号ビット断面 南から	
PL. 194	1	第3区画の4面畑と4-2面畑断面 北から	
	2	第4-2面畑第2区画西部 北から	
	3	第4-2面畑第2区画東部 西から	

	4	第4-2面畑第2区画中部 北から	
	5	第4-2面畑第2区画西部 南から	
PL. 195	1	30・41号溝 西から	
	2	30号溝断面 西から	
	3	42・43号溝 西から	
	4	42・43号溝断面 西から	
	5	42号溝断面 西から	
	6	43号溝断面 西から	
	7	884号土坑 南から	
	8	884号土坑断面 南から	
PL. 196	1	885号土坑 南から	
	2	886号土坑 南から	
	3	第4-2面畑第3区画 西から	
	4	第4-2面畑第3区画 南から	
	5	第4-2面畑第3区画 南から	
	6	第4-2面畑第3区画 西から	
	7	第4-2面畑第3区画東部 東から	
	8	第4-2面畑第3区画断面 北から	
PL. 197	1	第4-2面畑第3区画断面 南から	
	2	31号溝 西から	
	3	31号溝断面 西から	
	4	36号溝 北から	
	5	37号溝断面 北から	
	6	872号土坑 南から	
	7	31号溝出土遺物	
	8	第4面遺構外出土遺物	

第1章 石川原遺跡の発掘調査

第1節 発掘調査に至る経過

ハッ場ダムは、洪水調節、流水機能維持、用水源の新たな確保並びに発電を目的とする多目的ダムとして、吾妻川中流の群馬県吾妻郡長野原町大字川原畑字ハッ場および大字川原湯字金花山に建設されている。昭和24年に利根川改修改定計画の一環として立案され、昭和27年には建設準備のための調査が着手されたが、紆余曲折を経て本格的な着工は平成4年を待つことになる。

ダム建設地域内のうち、長野原町内の文化財に関しては、町教育委員会が昭和61年から文化財総合調査計画を策定し、自然環境や民俗、石造文化財、古文書、昔話等の調査を行うとともに、埋蔵文化財の詳細分布調査も行った。

ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財調査は、平成6年3月18日に建設者関東地方建設局長と群馬県教育委員会教育長との間で締結された「ハッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」により計画が決定し、建設者関東地方建設局長を委託者とし、群馬県教育委員会教育長を受託者とする発掘調査受委託契約が締結されて、以後発掘調査が実施されることとなる。この協定は現在まで4回の変更を行いつつ、継続されている。

石川原遺跡は、群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯乙37番地ほかに所在する。本調査はハッ場ダム建設工事に伴う水没地区内埋蔵文化財の記録保存調査であり、平成20年度及び平成26年度から平成29年度にかけて財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が行った。また、平成30年度においても継続実施される予定である。総対象面積は97,398㎡に及ぶ。本書はこのうち平成26年度から28年度にかけて発掘調査された遺跡東部の調査のうち、天明三年浅間山噴火による火山堆積物に覆われた寺院跡関連遺構及び古代以前の遺構を除く遺構を対象とする。

第2節 発掘調査の経過

平成26年度の調査は平成26年4月1日から同12月31日

にかけて、遺跡北東部の1区及び2区と命名された地区の平面積25,000㎡を対象に行った。調査担当者は2名である。

平成27年度は4月1日から7月31日にかけて、前年調査区東端部の1区Dと命名した地区で見つかった寺院跡および関連建物部分の平面積5,000㎡を対象に継続調査を行った。調査担当者は2名である。

平成28年度は4月1日から平成29年3月31日にかけて、対象平面積51,131㎡の調査を行った。調査担当者は6名である。本書ではこのうち遺跡南東部の3区及び1区D北部を扱う。平成29年度、30年度においても調査は継続されており、これらについても続報予定である。

調査日誌抄

平成26(2014)年

4月

辞令交付・地元関係機関等挨拶・現場事務所等設置

1区A・B 表土掘削・As-A下面遺構確認・平面図作成

5月

1区A・B 表土掘削・As-A下面遺構確認・平面図作成・空中写真撮影

1区A 第3面調査 埋め戻し

1区B 第2面掘削・3面調査

6月

1区A 第3面調査・縄文包含層調査・埋め戻し

1区B 第3面調査

1区C 泥流掘削・燐検出・復旧溝調査

2区A 泥流掘削

7月

1区C 泥流掘削・燐調査・復旧溝調査・空中写真撮影 第3～5面掘削・調査

2区A 泥流掘削・建物検出・燐調査・空中写真撮影

8月

1区C 第3～5面掘削・調査・空中写真撮影

2区A 泥流掘削・建物検出・燐調査・空中写真撮影

2区B 泥流掘削・燐検出

9月

2区A 第3面遺構確認 燐・復旧溝調査 第4面遺構確認・燐・土坑等調査

2区B 泥流掘削・燐検出・空中写真撮影 第3・4面掘削

10月

1区A北端 表土掘削・遺構調査

1区D 調査着手・表土掘削開始

2区A 第5面掘削等調査・全体写真撮影

2区B 泥流掘削・燐検出・空中写真撮影 第4面燐調査 全体写真撮影

5面掘削等調査

2区道路下 2号建物・1号水路

11月

1区A北端 墓坑・土坑等調査

1区D 建物調査・園地調査 1号水路調査

2区A・B 埋め戻し

2区道路下調査 泥流除去

長野原町文化祭参加

第1章 石川原遺跡の発掘調査

12月

2区道路下 泥流除去 1号水路・3号建物周辺調査 第3面調査

1区A北端(1区東) 3面・4面調査 埋戻し

1区C 第3面調査

1区D 1号水路調査

事務所撤収

平成27(2015)年

4月

辞令交付

地元関係機関等挨拶

現場事務所等設置

1区D 3号建物・寺院跡調査再開

5月

1区 遺構確認

1区北側 遺構確認・土坑・ビット調査

1区D 3号・4号・5号・6号・8号建物調査

3号建物東 3面～5面調査

6月

苑地築山調査

1区4面 土坑・ビット調査

1区北側 遺構確認・土坑・ビット調査

1区東側 遺構調査

7月

1区 北側・東側土坑・ビット調査継続・終了

空中写真撮影

事務所撤収

平成28(2016)年度

4月

辞令交付

地元関係機関等挨拶

現場事務所等設置

3区 泥流除去

5月

1区D 北東拡張部泥流除去

3区 泥流下遺構確認 畑・道調査 測量

6月

1区D 北東拡張部泥流除去 石垣・畑・道・水路等調査

3区 2面畑調査 石垣・水路調査 空中写真撮影

7月

1区D 北東拡張部泥流除去 石垣調査

3区 寺院南側石垣・水路・建物調査 第3面覆土掘削 畑・道・溝等調査

8月

作業休止

9月

3区 第3・4面遺構確認

10月

3区 第3・4・5面土坑等調査 西側・北側泥流除去

11月

3区 第4・5面ビット・掘立柱建物等調査

北側表土泥流除去 畑調査

北側西平 第2面覆土掘削

南部拡張区・西側拡張区 表土掘削

長野原町文化祭参加

12月

3区東側 土坑調査

3区西側 溝調査

3区西側拡張区 表土・覆土掘削・2・3面畑調査

3区南部拡張 4面・4-2面畑遺構確認・精査

1月

3区 4面・5面・試掘トレンチ調査

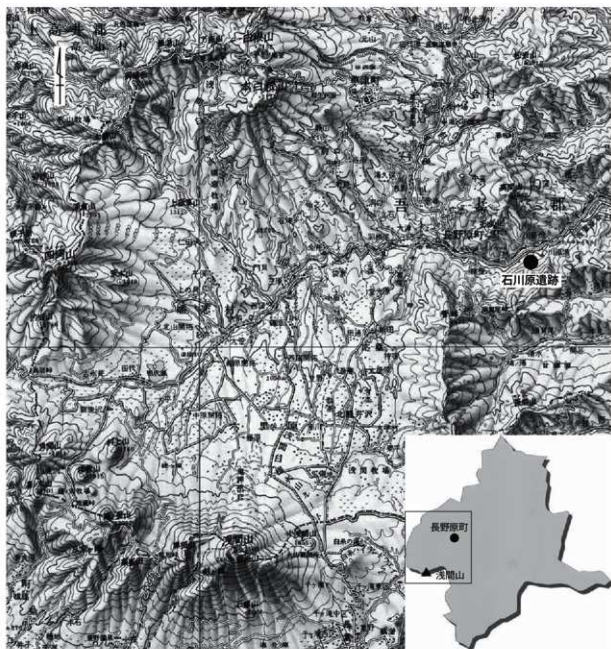
2月 土壌洗浄・遺物選別等

3月 土壌洗浄・遺物・機材等運び出し。

第3節 地理的・歴史的環境

石川原遺跡は群馬県の北西部、吾妻川上流域右岸の吾妻郡長野原町大字川原湯字石川原にある。長野原町は草津町、嬭恋村、六合村、東吾妻町と境を接し、長野県境にもあたる。吾妻川は全長76.2kmの一級河川で、長野県境の鳥井峠付近に源を発し、東流して渋川市で利根川と合流する。石川原遺跡は長野原町の北東に位置し、吾妻川右岸の中段段丘上、標高約530m～545mに位置する。吾妻川とは比高27mほどの段丘崖により隔てられる。「関東の耶馬溪」とも呼ばれる名勝吾妻溪谷の西端近くに当たる場所である。吾妻川は南西から北東に向けて流下するが、遺跡近くで湾曲し、右岸の臥龍岩、砂岩の昇龍岩の間を南東に流れてのち再び屈曲して北東向きを変え、吾妻川右岸には山地が迫るが、遺跡のほぼ中央を北流する沢からもたらされた堆積物や土砂崩れなどによる崖堆積物が、吾妻側の湾曲部に向かって広がって、この部分だけが緩傾斜地をなしている。発掘調査ではこの地域の地形環境を特徴づける天明三年浅間山噴火に伴う堆積物が遺跡の全面を覆っているほか、洪水起源の砂層が3層にわたって認められ、この地点の地形的な特徴が示される。

周辺の遺跡および本遺跡にかかわる歴史的環境の詳細については、既刊のハットダム関連遺跡各調査報告に詳しい。旧石器時代遺跡は未確認であるが、縄文時代の遺跡は遺密な分布を示し、草創期から晩期に至る各時期の遺跡が比較的多く認められている。縄文時代草創期、早期の遺跡は吾妻川左岸で認められている。石畑岩陰、榎木Ⅱ遺跡では表裏縄文など草創期の土器片が出土しており、石畑岩陰は大規模な岩陰遺跡として、今後の本調査の成果が期待される。早期では榎木Ⅱ遺跡、立馬Ⅱ遺跡などで燃糸文、押型文、多縄文系土器がみられる。また、近年調査された居家以岩陰遺跡では埋葬人骨も発見されている。前期では立馬Ⅰ・Ⅱ遺跡、三平Ⅰ遺跡、林中原Ⅰ・Ⅱ遺跡などで前半期の遺構、遺物がみられるが、後半期の調査例は林中原Ⅰ遺跡で竪穴建物が、三平Ⅰ・Ⅱ遺跡や川原湯勝沼遺跡などで土坑が見つかったものの、前期に比して少なくなる。中期に至ると、吾妻川を挟んで対峙するように立地する長野原一本松遺跡、横壁



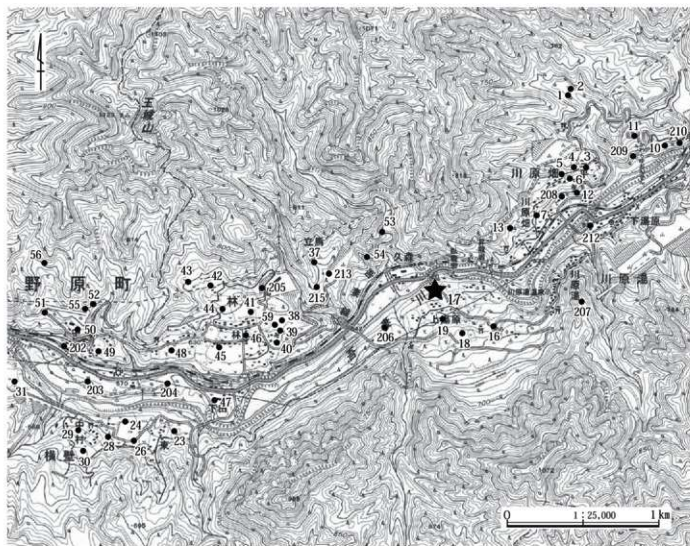
第1図 石川原遺跡位置図(国土地理院1/200,000地形図「長野」平成18年11月1日発行を使用)

中村遺跡など、多数の竪穴建物や列石などで構成される大集落が営まれる。林中原Ⅱ遺跡も中期後半から後期にかけての大集落であり、本遺跡でも当該期遺構の調査が進行中である。後期後半以後になると遺跡数は激減する。横壁中村遺跡では集落が継続するものの、他では晩期に至るまで、遺構・遺物ともに少数例にとどまる。

弥生時代の遺跡も引き続き乏しく、遺構としては川原湯勝沼遺跡、尾坂遺跡の再葬墓、立馬Ⅰ遺跡の合わせ口裏棺墓、向原遺跡の土坑など、弥生時代前期から中期前葉の墓がみられるのみである。横壁中村遺跡、長野原一

本松遺跡では弥生土器の出土がみられ、本遺跡も含めて弥生時代前期、中期前半の土器破片が散在的に認められるものの、居住にかかわる遺構は見つかっていない。弥生時代中期後半から古墳時代、奈良時代も遺跡は希薄で、古墳は認められず、上原Ⅰ遺跡で古墳時代前期のS字状口縁台付甕を伴う竪穴建物、上原Ⅳ遺跡、下原遺跡、林宮原遺跡で後期の竪穴建物がわずかに見つかっている程度である。

集落が再びそれとして認められるようになるのは、平安時代になってからのことである。本遺跡ははじめ、三平



第2図 石川原遺跡と周辺の遺跡(国土地理院2万5千分の1地形図「長野県」使用)

I・II遺跡、二社平遺跡、川原湯勝沼遺跡、横壁勝沼遺跡、横壁中村遺跡、西久保I遺跡、山根III遺跡等々がある。中でも榎木II遺跡、上ノ平I遺跡でそれぞれ30棟以上の竪穴建物が調査されていて、一定規模の集落が営まれたことがわかる。時間的にはどの遺跡においても9世紀後半から10世紀を中心としており、湧水をよりどころに営まれるのが一般的傾向のようである。上原III遺跡や三平I遺跡では鍛冶遺構も見つかっており、集落内に鍛冶工房があったことがわかる。上ノ平I遺跡では住居内から炭化したオオムギ・コムギやアワが多出し、イネはわずしか見られないことから、イネ以外に主食穀物を求めた集落であったものと考えられる。また、陥穴の多くもこの時代に比定されていて、居住域と一体となって機能していたものとされる。中央小学校敷地内からは良い造りの

瓦塔が出土しており、集落内寺院の存在も示唆される。

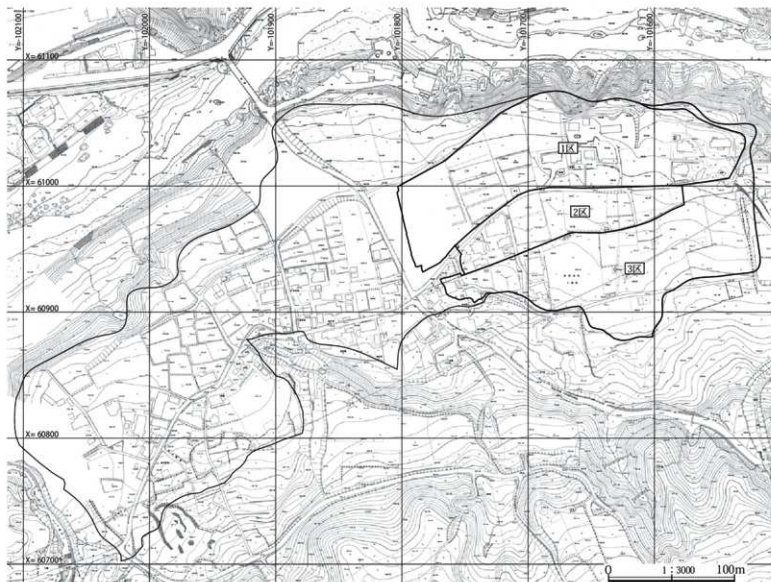
中世の遺跡としては城館跡がよく知られている。金花山砦跡、柳沢城跡、長野原城跡、丸岩城跡、羽根尾城跡や林城跡が交通の要衝に設けられた。川原湯温泉の起源が建久4年(1193)の源頼朝による三原巻狩りに際しての発見であったとの伝承も忘れてはならない。横壁中村遺跡でも石垣を伴う館跡が調査されていて、柳沢城との関連が考えられている。三平I・II遺跡、東原I・II・III遺跡、林中原I遺跡、林宮原遺跡、下原遺跡、二反沢遺跡、榎木II遺跡、尾坂遺跡などでは掘立柱建物や土坑、畑が調査されている。また、二反沢遺跡では羽口や鉄滓など製鉄関連遺跡も検出されている。本遺跡では墓坑の中で宋銭のみを出土し、人骨の残りが非常に悪いものがあった。これらは中世にさかのぼる可能性が指摘される。

町道路 番号	大字	道 跡 名	時 代	報 告 書 等
1	川原畑	温井1道跡	縄文・平安	
2	川原畑	温井2道跡	縄文	
3	川原畑	三平1道跡	縄文・弥生・平安	群理文303集2003/401集2007/長野原町教委「町内道跡Ⅱ」2010
4	川原畑	三平2道跡	縄文・平安	群理文401集2007
5	川原畑	上ノ平1道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世・ 現代	群理文440集2008/本書
6	川原畑	上ノ平2道跡	縄文・平安	
7	川原畑	西宮道跡	縄文・近世	
10	川原畑	石畑Ⅱ岩陰	不明	
11	川原畑	二社平岩陰	不明	群理文303集2003
12	川原畑	三ツ堂岩陰	不明	
13	川原畑	西宮岩陰	不明	
16	川原湯	川原湯中原1道跡	縄文	
17	川原湯	石川原道跡	縄文・平安・近世	本書
18	川原湯	川原湯中原2道跡	平安	
19	川原湯	川原湯中原道跡	縄文・平安	
23	横塚	横塚勝沼道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	群理文303集2003
24	横塚	横塚中村道跡	縄文・弥生・平安・中世	群理文319集2003/355集2005/368集2006/381集2006/406集2007/436集2008/439集2008/488集2010/492集2010/526集2012/559集2013/587集2014
26	横塚	山根1道跡	縄文・平安	長野原町「長野原町誌」1976
28	横塚	山根Ⅱ道跡	平安・近世	
29	横塚	山根Ⅲ道跡	縄文・弥生・平安・近世	群理文303集2003/429集2008
30	横塚	山根Ⅳ道跡	縄文・平安	
31	横塚	西久保1道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	群理文303集2003
37	林	立馬1道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	群理文388集2006
38	林	東原1道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅴ」2006/「同Ⅵ」2007/群理文502集2010
39	林	東原Ⅱ道跡	縄文・平安・中世・近世	群理文502集2010
40	林	東原Ⅲ道跡	縄文・平安・中世・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅳ」2004/「同Ⅶ」2007/群理文502集2010
41	林	上原1道跡	縄文・弥生・古墳・平安・中世・ 近世	群理文303集2003/長野原町教委「町内道跡Ⅵ」2007/「同Ⅷ」2013
42	林	上原Ⅱ道跡	縄文	長野原町教委「町内道跡Ⅶ」2007/「同Ⅷ」2013/群理文429集2008
43	林	上原Ⅲ道跡	縄文	長野原町教委「町内道跡Ⅷ」2007/「同Ⅷ」2013
44	林	上原Ⅳ道跡	縄文・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅲ」2003/「同Ⅸ」2007/「同Ⅹ」2010/「同Ⅺ」2013/群理文429集2008/549集2012
45	林	林中原1道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅲ」2003/「同Ⅳ」2004/「同Ⅴ」2005/「同Ⅵ」2006/「同Ⅶ」2009/「同Ⅷ」2010/「同Ⅹ・Ⅺ」2011/「林中原1道跡Ⅳ」2010/群理文586集2014
46	林	林中原Ⅱ道跡	縄文・弥生・平安・中世・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅳ」2004/「同Ⅴ」2005/「同Ⅵ」2006/「同Ⅶ」2007/「同Ⅷ」2009/「同Ⅹ」2011/群理文617集2016
47	林	下田道跡	平安・近世	群理文303集2003
48	林	林宮原道跡	縄文・古墳・平安	長野原町教委「町内道跡Ⅲ」2003/「同Ⅳ」2004/「同Ⅴ」2005/「同Ⅵ」2007/「同Ⅶ」2009/「同Ⅷ」2010/「林宮原道跡Ⅱ」2004/「同Ⅷ」2011/群理文604集2016
49	林	中樞1道跡	縄文・平安	長野原町教委「町内道跡Ⅷ」2007/「町内道跡Ⅷ」2013
50	林	樞木1道跡	縄文・平安	群理文549集2012
51	林	樞木Ⅱ道跡	縄文・平安・中世・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅰ」2002/群理文432集2008/458集2009
52	林	二反沢道跡	縄文・古墳・中世・近世	群理文379集2006
53	林	久森沢1岩陰群	不明	
54	林	久森沢Ⅱ岩陰	不明	
55	林	滝沢観音岩陰	不明	
56	林	峠ツ沢岩陰	縄文	
59	林	林の御塚	近世	吾妻教育會事務所「吾妻郡誌」1906/群理文303集2003
202	林	樞木Ⅲ道跡	縄文・弥生・平安・中世	群理文303集2003
203	林	中樞Ⅱ道跡	縄文・弥生・近世	群理文319集2003/群理文349集2004
204	林	下原道跡	縄文・弥生・古墳・中世・近世	群理文319集2003/群理文389集2007
205	林	花畑道跡	縄文・平安	群理文303集2003
206	川原湯	川原湯勝沼道跡	縄文・平安・近世	群理文303集2003/356集2005/462集2009/466集2009
207	川原湯	金花山西道跡	中世	
208	川原畑	東宮道跡	縄文・近世	長野原町教委「町内道跡Ⅰ」2002/群理文303集2003/514集2011/536集2012
209	川原畑	二社平道跡	縄文・平安・近世	群理文303集2003
210	川原畑	石畑道跡	縄文・弥生・近世	群理文303集2003
212	川原湯	西ノ上道跡	近世	群理文349集2004
213	林	立馬Ⅱ道跡	縄文・弥生・平安・近世	群理文375集2006
215	林	立馬Ⅲ道跡	縄文・弥生・平安	群理文457集2009

第1表 石川原道跡周辺道跡一覧

第1章 石川原遺跡の発掘調査

近世を代表するのは天明三年浅間山噴火に伴う火山堆積物に埋もれた遺跡である。吾妻川の段丘面中位、下位は広くこれに覆われていて、被災遺跡は枚挙にいとまない。麻が栽培されていたのではないかと考えられる広大な畑遺構が多くの遺跡で認められ、これ以前の洪水災害で埋没した畑遺構の調査例も増えている。また、当時の姿をほうふつとさせる屋敷跡が東宮遺跡、西宮遺跡、下田遺跡、楡木1遺跡、尾坂遺跡、町遺跡、小林家屋敷跡などで調査されている。本遺跡でも、本報告で記載する複数面の畑や作業小屋と考えられる建物のほか、蔵を持つ民家、寺院関連の建物や築山を伴う苑池も調査されており、これらについても続報予定である。



第3図 石川原遺跡調査区配置図 1/3000

第2章 調査された遺構と遺物

第1節 対象範囲・基本土層・調査面

第1項 本報告の対象

本報告は石川原遺跡のうち、主に平成26年度から27年度にかけて調査された調査区1区・2区、28年度に調査された3区の調査成果を扱う。ただし、調査区北東部の1区D部分で調査された天明泥流に覆われた寺院跡とこれに関連する遺構群および古代以前の遺構確認で調査された遺構については整理工程の都合上別に扱う。

発掘調査の対象とする埋蔵文化財の種類、年代は、「群馬県埋蔵文化財発掘調査取扱い基準」に従うが、浅間山天明泥流が堆積する地域であるため、同基準4-(1)-(1)-②(ウ)により、近世に属する遺跡、特に浅間山天明泥流災害被災遺構、およびこの災害に対する復興の様相を示す「復旧溝」と呼ばれる土坑群等についても、発掘調査対象としている。

本書で報告する遺構は、畑4面以上(第2面・第3面・第4面・第4-2面およびAs-A降下軽石動き混み痕跡)、復旧溝31基(第1面23基・第3面1基・第4面7基)、平坦面97地点、道9条(第2面8条・第4面1条)、水路2条(第2面)、石垣2箇所(第2面)、建物4棟(第2面)、掘立柱建物21棟(第2面1棟・第3面1棟・第4面19棟)、竪穴建物1棟(第4面)、柵列・ピット列5条(第3面3条・第4面2条)、小鍛冶遺構1か所(第3面)、溝25条(第3面6条・第4面12条・第4-2面7条)、石列・列石3条(第2面1条・第4面2条)、焼土遺構12箇所(第3面3箇所・第4面9箇所)、集石18基(第3面3基・第4面15基)、墓坑13基(第4面)、土坑481基(第2面1基・第3面167基・第4面308基・第4-2面5基)、ピット446基(第2面3基・第3面114基・第4面329基)である。

第2項 土層と調査区・調査面

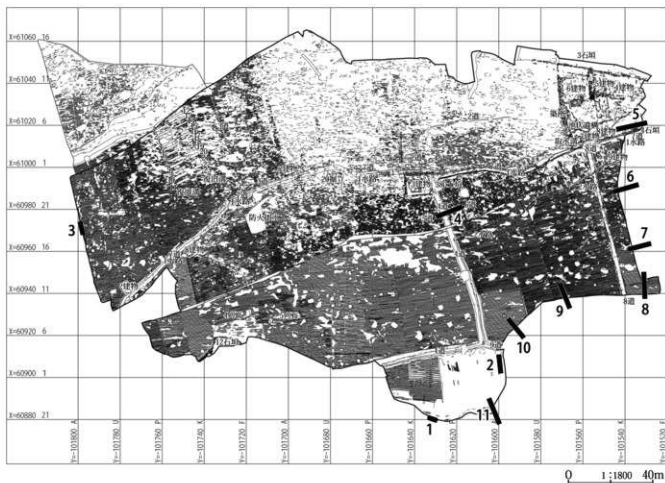
本遺跡の堆積土層を第5～9図に示した。南部では第7・8図に顕著に見られるように、表土直下に厚さ2m以上にも及ぶ砂礫層が堆積する。南側斜面から供給されたもので、南から北に向かって不断に土砂供給があった

ことが示される。この下位には本遺跡を特徴付ける浅間山天明3年噴火に伴う泥流層(以下天明泥流)が認められる。遺跡の北には吾妻川が東流するが、吾妻川沿いでは泥流そのものの堆積は比較的薄いことも多い。一方、川から離れた南部の山よりの部分では、泥流が乗り上げて、比較的厚く堆積することもある。泥流下には混じりの暗褐色土から灰褐色土があり、これを耕土とする広い畑地がある。窪地や畑畝間溝の中には、白色で発泡のよい径2～4mm下の軽石(以下As-A降下軽石)の堆積も見られる。

調査の実施に当たっては、現表土から上記天明泥流層までを掘削重機により一括除去し、泥流下面を露出させることを第1段階とし、第1面としてカウントしている。この面は、厳密にはAs-Aに覆われた遺構とAs-A降下後、泥流到達前に形成された遺構の両者が確認されることになる。また、泥流は遺跡全体を覆っているが、先述の通り北部の川沿いには堆積の比較的薄い部分があり、この泥流を掘り込んだ、明らかに後出の遺構である復旧坑群も同じく泥流下面で確認される。本報告ではこれら復旧坑群を第1面の遺構とし、天明泥流直下を第2面として記述した。

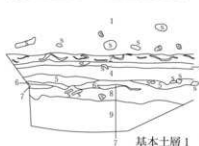
調査区南部の山よりの部分では谷に沿って流下した土砂が扇状地形を形成しており、また傾斜面からの崩落土も厚く堆積していて、暗褐色ないし黒褐色土と黄褐色砂層が交互に堆積する複雑な堆積状況を示す。複数層の崩落土、洪水堆積土を介して、複数の遺構面が確認されている。

第3面は天明泥流下畑の耕土である灰褐色～暗灰褐色土の下位で認められる、黄白色のやや粗い砂の層で画される。第2面と第3面の間は20～110cmほどある。さらにシルトや砂と暗褐色土、黒褐色土の混土などを挟んで、黄白色、灰白色のシルト質砂があり、これ以下を第4面とした。3-4面間は5～15cmほどある。上位の黄灰色粗砂、下位の黄白色・灰白色シルトともに面的に大きく広がるものではなく、畑の畝間溝を埋めるなどの状態で認められる。南部の3区ではこれらの洪水層の堆積が良く観察され、さらに4面の下位数cmの位置にやはり黄白



第4図 基本土層図等採取位置概念図

A, 1=540.00m A'

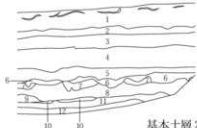


基本土層1 1/60

基本土層1

- 1 天明記流層。
- 2 淡灰褐色土。上面にAs-A経石降下後の耕作痕を伴う。砂礫を多く含む。
- 3 灰褐色土。砂礫を少量含む。3層との間に細砂層ブロックを伴う。
- 4 暗灰褐色土。砂礫を少量含む。3面畑の耕土。
- 5 黄白色ラミナ堆積シルト砂。4-2面畑を埋める。山崩れ堆積物。
- 6 灰褐色シルト質土。砂礫を多量に含む。4-2面畑耕土。
- 7 ラミナ堆積砂礫層。
- 8 暗灰褐色シルト質土。均質で締まりあり。
- 9 黄褐色粘質土。砂礫を多量に含む。

A, 1=537.00m A'



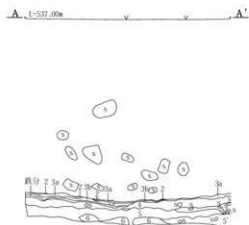
基本土層2 1/60

基本土層2

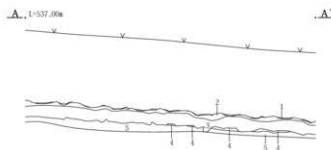
- 1 淡灰褐色土。上面にAs-A経石降下後の耕作痕を伴う。砂礫を多く含む。
- 2 灰褐色土。砂礫を少量含む。3層との間に細砂層ブロックを伴う。
- 3 暗灰褐色土。砂礫を少量含む。3面畑の耕土。
- 4 黒灰褐色土。砂礫・炭化物を少量含む。4面畑耕土か？

0 1:60 2m

第5図 基本土層図1(基本土層1・2) 1/60



基本土層3 1/60



基本土層4 1/60

基本土層3

- 1 天明泥流
- 2 As-A降下軽石
- 3a 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒を僅かに含む。鉄分凝集あり。
- 3b 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒を僅かに含む。
- 4 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、棕色土粒を僅かに含む。畑耕作上。
- 4' 4層に小礫を多数含む。
- 5 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、棕色土粒を僅かに含む。畑耕作上。
- 5' 5層に小礫を多数含む。
- 6 にぶい褐色土 7.5YR5/4 褐色粒、棕色土粒を少量含む。

基本土層4

- 1 As-A降下軽石 畑の畝間に堆積。
- 2 褐色土 7.5YR4/1 白色粒を僅かに含む。土壌としては3層と同じ。空気と断されたために色調が変化。
- 3 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を僅かに含む。上位に鉄分付着。
- 4 褐色土 7.5YR4/3 砂粒を含む。
- 5 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒を僅かに含む。やや砂質。

0 1:60 2m

第6図 基本土層図2(基本土層3・4) 1/60

色のシルト・砂で埋められた畝間溝が確認されて、土坑や溝とともに第4-2面として調査された。

さらに下位には浅間-船川テフラ(As-Kk)を挟んで、黒褐色土があり平安時代遺構の確認面となる。以下、ローム漸積層、浅間-草津黄色軽石(As-YPk)を含むロームの二次堆積層、黒褐色土層、砂質のローム層となる。

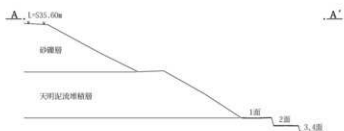
総合すると、天明泥流上面を第1面とし、天明泥流・As-A降下軽石直下の第2面、黄白色粗砂下の第3面、黄白色・灰白色シルト質砂下の第4面と第4-2面、As-Kk下黒褐色土内の第5面およびこれ以下の層における遺構確認を行った第6面という6つの調査面を設定している。

先述の通り、南部の第3区では洪水層はじめ泥流下面以下各層の堆積状況がかなり明確に観察されたが、先行して発掘調査された北部の1・2区では畑以外の土坑やピットなどがどの面に帰属すべきか、調査区間で不統一が生じた。このため、平成27年度調査終了時点で、それまでの調査遺構を精査し、調査担当者が協議のうえ、そ

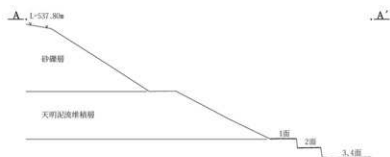
れぞれの遺構の帰属面を決定して、付図として添付した集約図を作成した。本書ではこの集約図に従って各遺構の記載を進めている。ただし、集約された図面は面ごとの遺構配置図であるので、各遺構の断面図や断面記録採取ポイント、写真撮影データ等々は集約前の、調査面ごとのデータに含まれている。このため、これらとの対照が必要となる場合を想定して、遺構番号は調査時点の番号を踏襲している。



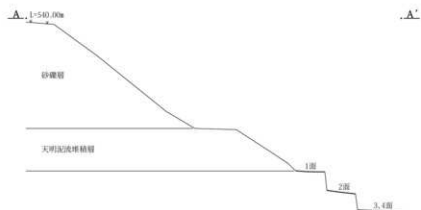
基本土層5 1/60



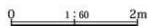
基本土層6 1/60



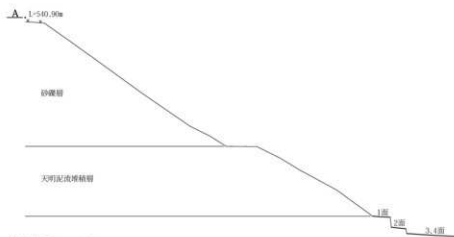
基本土層7 1/60



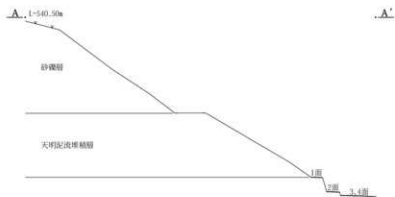
基本土層8 1/60



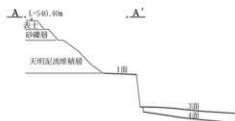
第7図 基本土層図3(基本土層5～8) 1/60



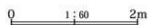
基本土層9 1/60



基本土層10 1/60

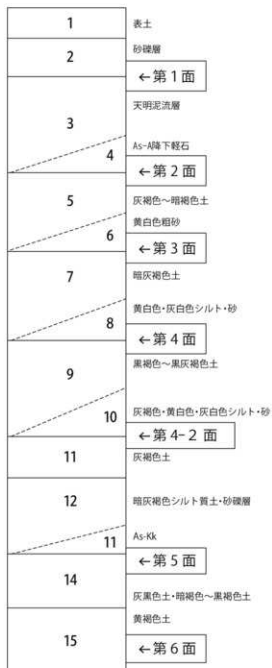


基本土層11 1/60



第8図 基本土層図4(基本土層9～11) 1/60

第2章 調査された遺構と遺物



第9図 基本土層・調査面模式図

第2節 第1面の調査

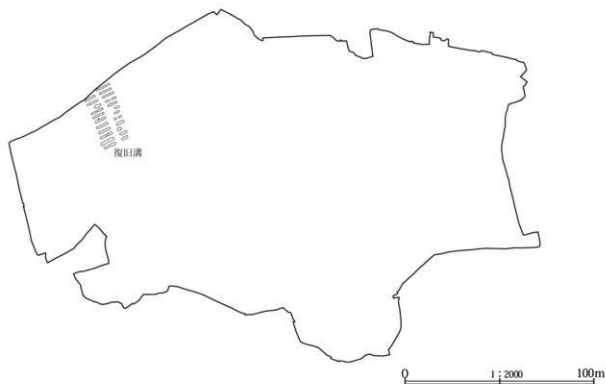
第1項 第1面の概要

ここでは浅間山天明噴火からの復興・復旧にかかる遺構として、「復旧溝」と通称される溝群を報告する。復旧溝は耕地などを覆った泥流等の上面から、溝状あるいは細長い土坑状に掘削を行い、覆土下の旧表土、旧耕土を覆土上の地表面に掘り上げて新たな耕土とする一方、掘削した溝中に覆土である泥流等の土砂を埋め込むことによって土壤改良を行うという耕地復旧の痕跡である。噴火による泥流災害に限らず、厚い降灰、あるいは洪水等を原因とする土砂の被覆からの耕地復旧にあたって、広く採用された方法である。本遺跡でも、本項で扱う天明泥流災害対応としての復旧溝のほか、第3面、4面では、天明噴火以前に生じた洪水災害からの復旧に当たって掘削された復旧溝が見られる。

長さ30m、幅15mほど、450m²＝4畝5歩ほどの範囲に、東西2列、23基の溝が並ぶ。西列は11条、東列は西列より1条分北に張り出して12条で構成される。各列の溝間

は90～180cmほどである。比較的薄いとはいえ、ここでも1mを超える厚さの、岩石の多い泥流を掘る作業である。東西両端のいずれかが丸みを帯びたり、なだらかな傾斜を持ち、反対端が直線的に切れるような形状の差も見えるが、細長い隅丸長方形が標準な平面形としてとらえられる。断面形は錐形を呈し、復旧溝本来の目的は泥流下の土壌を多く得ることにあるため、底部から両側面を掘り広げて、横断面形が袋状に広がりを見せるものも多い。

それぞれの復旧溝の記載は別途行うが、天明泥流下での計測値として、おおよそ長600～700cm、幅105～130cmほどの規模である。想像をたくましくすれば、泥流上面での規模が長200尺、幅4尺が「標準形」として想定されていたように思われる。西列の1・2・5～11号、東列では12号がこれよりやや長い、13・14号がこれに近いだろう。一方で溝底面全部が泥流下面までは達せず、長い溝であるべきものが、短かく途切れた土坑のようになってしまったり、中間を欠く短い土坑2基に分離してしまうなどの状況も見られる。西列の3号は東半分だけが掘削された状態にある。東列17・18号もこれに近い。20～23号も前の標準形よりかなり短い、これはやや



第10図 第1面遺構位置図 1/2000

性格が異なるかもしれない。4号は東西に2基の土坑が掘られて、中間が掘り残されたような形状である。東列15・19号も同様である。9号では東西の土坑の中間が浅い土坑で繋がれたような形状が見られる。東列12号もこれに近い。9号、12号および4・15・19号の状況を見ると、東西に短い土坑を、東の土坑は東から、西の土坑は西から掘り始めて、両者を繋ぐことによって最終的に長い復旧溝を形成したのと思われる。3号など短い土坑は、片方が泥流下の耕土に達しない状態で掘削が中断されたものであろうか。これでは復旧溝の目的が達成されないことになるのだが。

西列では「標準形」に近い復旧溝が多いのに対し、東列ではまた、北部の12号は標準を大きく超えて長く、これから南では途中が途切れたり、短いままであったりする土坑状のものが多い。さらに、西列では底面両側を多少なりとも掘り広げる様子が見られるのに対し、東列ではこれが乏しい。旧地表面からの最大深を見ても、西列11条の平均が48.8cmであるのに対し、東列では42.8cmにとどまる。東列は特に、整然としたとは言いがたい作業状況である。

前橋市から伊勢崎市、玉村町にかけての利根川沿いの遺跡では、天明泥流災害への対応として掘削された復旧溝が整然と、一面に広がる光景が見られる。計画的、組織的に行われた復旧事業の遺跡である。一方、本遺跡およびその周辺では、天明泥流が厚く堆積しているためであろうか、広域に渡る耕地をこの方法によって復旧するという状況は、さほど顕著には認められない。本遺跡における復旧溝の特徴も、泥流堆積が薄く、ごく狭い範囲に限定的に見られるにとどまることにある。

また、この地域での天明噴火被災後の耕地復旧は、被災前の地割りを踏襲して行われたことが知られている。本遺跡の復旧溝は、泥流下の畑区画から見ると、次節で報告する第1区画6号畑の北部にあって、長軸方位は天明泥流下畑の畝方向と近似する。また、6号畑の畝間溝終端を繋ぐ線と東列溝の東端を繋ぐ線とがほぼ一致する。こうした様相を見ると、組織的、計画的な復旧事業の所産ではなく、6号畑の耕作者が私的な耕地復旧を目指して作業を始めたものの、途中で断念したもののようにも思える。復旧溝掘削の方法や手順、作業の単位や労働力編成復元の手がかりを示す好例であろう。

第2項 復旧溝

1号復旧溝 8-O-P-5・6グリッド 泥流下面での長610cm、幅106cm、深さ30～43cm、長軸方位N-62°-E、最高位標高534.57m、最低位標高534.53m。平面形は細長い隅丸長方形で、東端が丸みを持ち、西端はやや直線的に切れる。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形。底面は中央がやや深くなるが、基本的には西側が深く、東側がやや浅めである。

2号復旧溝 8-O-P-4・5グリッド 泥流下面での長640cm、幅105cm、深さ32～44cm、長軸方位N-65°-E、最高位標高534.59m、最低位標高534.54m。平面形は細長い隅丸長方形。東端は比較的直線的に切れ、西端が丸みを持つ。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形。底面が西部でやや張り出す。底面は西から東へと深くなる。

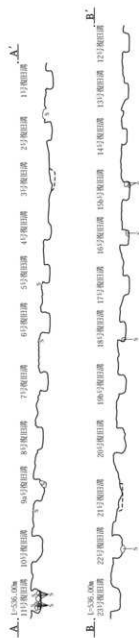
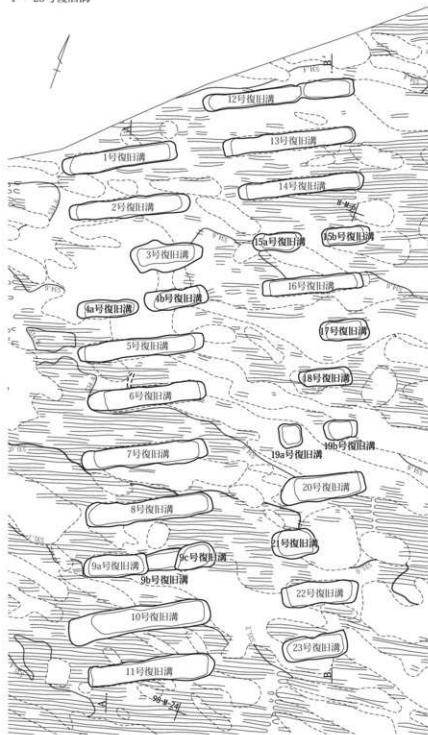
3号復旧溝 8-N-O-4グリッド 泥流下面での長383cm、幅160cm、深さ17～50cm、長軸方位N-65°-E、最高位標高534.64m、最低位標高534.22m。平面形は細長い隅丸長方形だが、他の復旧溝の東半部のみが残った状態。横断面は基本的には底部が膨らみう袋状ないし鍋形を呈したと思われるが、泥流下面で崩れており、上に開く。底面は東から西へわずかに深くなる。

4号復旧溝 8-N-O-P-3・4グリッド 2基の土坑が30cmほどの間隔で直列する。西側をa号、東側をb号とする。
a号復旧溝 泥流下面での長330cm、幅90cm、深さ19～52cm、長軸方位N-68°-E、最高位標高534.63m、最低位標高534.44m。平面形は両端に丸みを持つ長円形ないし隅丸長方形。横断面は鍋形を呈する。底面は西から東へと深くなる。

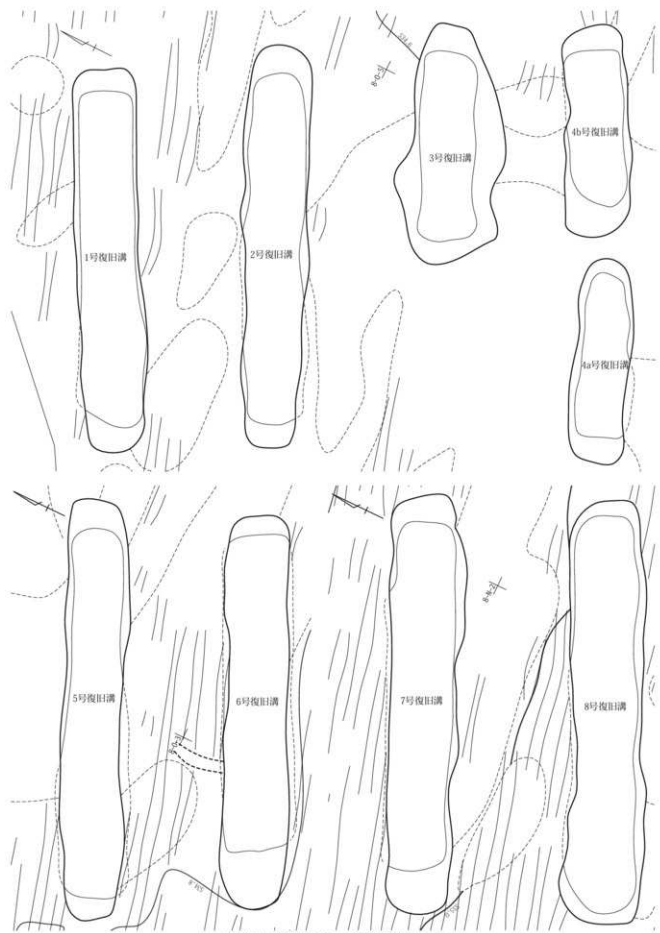
b号復旧溝 8-N-P-3・4グリッド 泥流下面での長335cm、幅105cm、深さ22～46cm、長軸方位N-63°-E、最高位標高534.72m、最低位標高534.44m。平面形、横断面はa号と同様。底面は東から西へ深くなる。

5号復旧溝 8-N-O-2・3グリッド 泥流下面での長670cm、幅103cm、深さ42～46cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高534.73m、最低位標高534.68m。平面形は細長い隅丸長方形で、西端が丸みを持ち、東端はやや直線的に切れる。1号復旧溝とよく似た形状を示す。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形で、中部では底部がやや張り出す。底面はほぼ平坦だが、東側がわずかに深くなる。

1～23号復旧溝



第11図 復旧溝群 1/200



第12図 復旧溝1(1~8号復旧溝) 1/60

0 1:60 2m

6号復旧溝 8-N・O-2・3グリッド 泥流下面での長625cm、幅105cm、深さ50～58cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高534.81m、最低位標高534.73m。平面形は細長い隅丸長方形で、西端が丸みを持ち、東端はやや直線的に切れる。1号復旧溝とよく似た形状を示す。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形で、中部では底部がやや張り出す。底面はほぼ平坦だが、東側がわずかに深くなる。

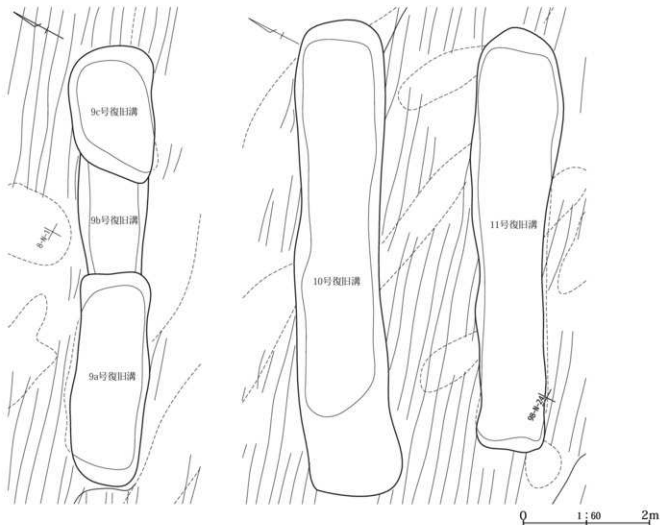
7号復旧溝 8-M・N・O-1・2グリッド 泥流下面での長665cm、幅120cm、深さ58～64cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高534.98m、最低位標高534.93m。平面形は細長い隅丸長方形で、西端が丸みを持ち、東端はや直線的に切れる。1号復旧溝とよく似た形状を示す。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形で、中部では底部がやや張り出す。底面はほぼ平坦。

8号復旧溝 98-N-25、8-M・N・O-1グリッド 泥流下面での長673cm、幅120cm、深さ34～39cm、長軸方

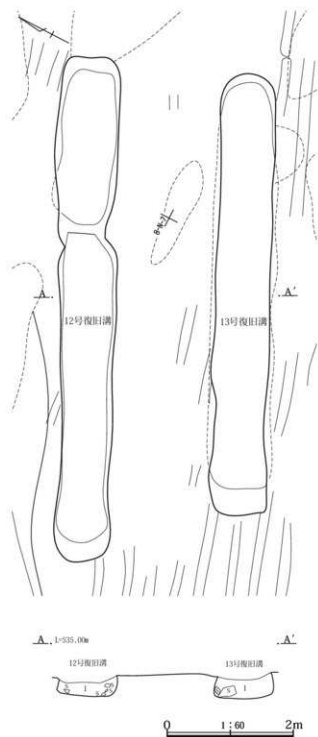
位N-64°-E、最高位標高535.06m、最低位標高535.04m。平面形は両端に丸みを持つ長楕円形ないし隅丸長方形。横断面は下部にやや膨らみをもつ鍋形で、中部では底部がやや張り出す。底面は中央がやや浅く、両端が深い。

9号復旧溝 98-M・N-25、8-M-1グリッド 泥流下面での長340cm、幅120cm、深さ40～65cm、長軸方位N-68°-E、最高位標高535.24m、最低位標高535.17m。平面形は全体として細長い隅丸長方形を呈するが、東西2坑を中央部で繋いだような形状。西側はやや細長く、西端が丸みをもち、東端がやや直線的に切れる。東側は短く、ゆがんだ隅丸の台形状を呈する。横断面は東西ともに鍋状を呈する。西側は底部がやや張り出す。底面は東西が深く、中央が段状に高まる。

10号復旧溝 98-M・N-24・25グリッド 泥流下面での長755cm、幅145cm、深さ35～58cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高535.33m、最低位標高535.13m。平面形は細



第13図 復旧溝2(9～11号復旧溝) 1/60



12号・13号復旧溝

1. 暗褐色土 7.5%R3/3 As-A泥流をベースに大小の礫(投げ込み)を含む。砂質が強い。

第14図 復旧溝3(12・13号復旧溝) 1/60

長い隅丸長方形で、東端が丸みを持ち、西端はや直線的に切れる。横断面は錐形を呈する。底面は中央が最も低くなる。東部は底面から丸みをもって立ち上がるが、西部は底面からゆるやかに立ち上がる。

11号復旧溝 98-L~N-23・24グリッド 泥流下面での長675cm、幅140cm、深さ35~57cm、長軸方位N-63°-E、最高位標高535.37m、最低位標高535.22m。平面形は細長い隅丸長方形で、西部がやや幅広い。東端が丸みを持ち、西端はやや直線的に切れる。横断面は錐形を呈する。底面は中央がやや低くなる。

12号復旧溝 8-M~O-6・7グリッド 泥流下面での長802cm、幅100cm、深さ18~41cm、長軸方位N-65°-E、最高位標高534.48m、最低位標高534.40m。平面形は細長い隅丸長方形で、東端が丸みを持ち、東端はやや直線的に切れる。横断面は錐形を呈する。底面は中央がやや低くなる。

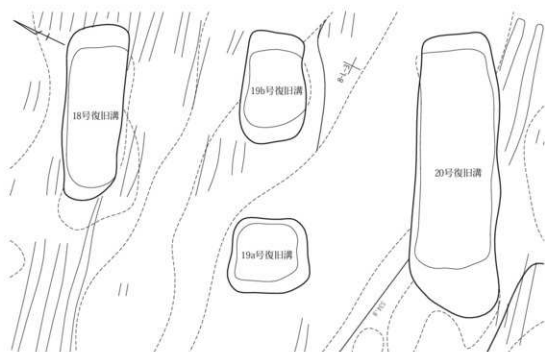
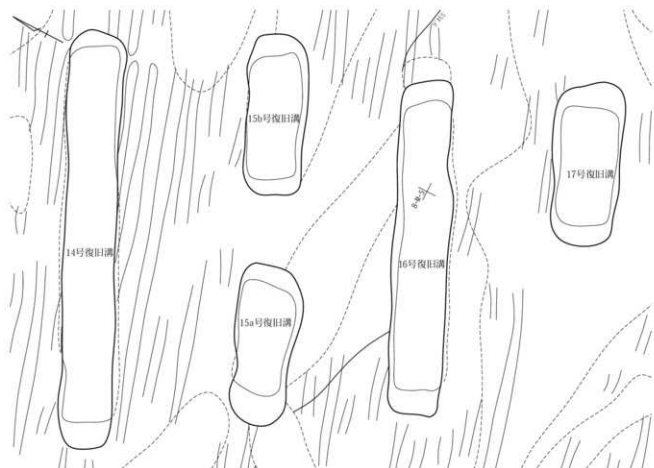
13号復旧溝 8-M・N-6・7グリッド 泥流下面での長705cm、幅90cm、深さ26~42cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高534.54m、最低位標高534.51m。平面形は細長い隅丸長方形で、東端が丸みを持ち、西端はや直線的に切れる。横断面は下部にやや膨らみをもつ錐形で、中部では底部がやや張り出す。底面は西端が高く中央がやや低くなる。

14号復旧溝 8-M・N-5・6グリッド 泥流下面での長665cm、幅88cm、深さ30~35cm、長軸方位N-64°-E、最高位標高534.58m、最低位標高534.57m。平面形は細長い隅丸長方形で、東端が丸みを持ち、西端はや直線的に切れる。横断面は下部にやや膨らみをもつ錐形で、中部では底部がやや張り出す。底面はほぼ平坦だが、西端が最も深く、東端に向けて浅くなる。

15号復旧溝 8-L~N-5グリッド 2基の土坑が102cmほどの間隔を置いて直列するような形状となる。西側をa号、東側をb号とする。

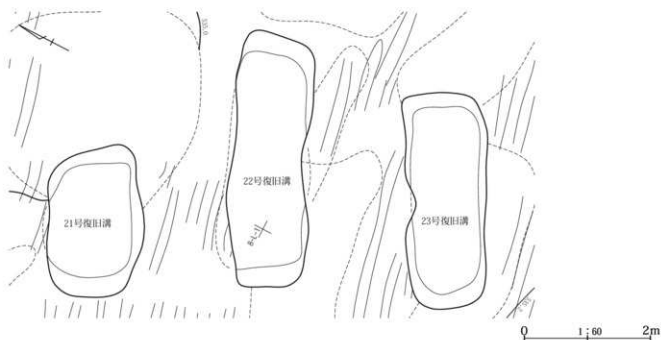
a号復旧溝 泥流下面での長253cm、幅105cm、深さ41~42cm、長軸方位N-71°-E、最高位標高534.55m、最低位標高534.54m。平面形は西端は円頭に近い隅丸長方形。横断面は錐形を呈する。底面はほぼ平坦。

b号復旧溝 8-L~N-5グリッド 泥流下面での長255cm、幅95cm、深さ35~48cm、長軸方位N-63°-E、最高位標高534.55m、最低位標高534.42m。平面形は隅丸長方形。横断面は錐形を呈する。底面はほぼ平坦。



0 1:60 2m

第15図 復旧溝4 (14～20号復旧溝) 1/60



第16図 復旧溝5(21～23号復旧溝) 1/60

16号復旧溝 8-L・M-4・5グリッド 泥流下面での長532cm、幅90cm、深さ33～47cm、長軸方位N-66°-E、最高位標高534.68m、最低位標高534.54m。平面形は隅丸長方形。両端とも直線的に切れる。横断面は鋸形を呈する。南側は底部にやや膨らみを持つ。底面は東西両端、中央部ともレベル差がほとんどなく平坦。

17号復旧溝 8-L-4グリッド 泥流下面での長263cm、幅110cm、深さ33～42cm、長軸方位N-67°-E、最高位標高534.57m、最低位標高534.48m。平面形は隅丸長方形。横断面は鋸形を呈する。底面はほぼ平坦。

18号復旧溝 8-L-3グリッド 泥流下面での長282cm、幅95cm、深さ23～36cm、長軸方位N-67°-E、最高位標高534.71m、最低位標高534.58m。平面形は隅丸長方形。横断面は鋸形を呈する。南側は底部にやや膨らみを持つ。底面はほぼ平坦。

19号復旧溝 8-L-2・3グリッド 2基の土坑が120cmほどの間隔を置いて直列する形状となる。西側をa号、東側をb号とする。

a号復旧溝 泥流下面での長120cm、幅130cm、深さ42cm、長軸方位N-60°-E、最高位標高計測なし、最低位標高534.75m。平面形は隅丸方形。横断面は鋸形を呈する。底面はほぼ平坦。

b号復旧溝 8-L-2・3グリッド 泥流下面での長182cm、幅104cm、深さ31～43cm、長軸方位N-65°-E、

最高位標高534.75m、最低位標高534.64m。平面形は隅丸長方形。横断面は鋸形を呈する。南側は底部にやや膨らみを持つ。底面はほぼ平坦。

20号復旧溝 8-K・L-2グリッド 泥流下面での長452cm、幅140cm、深さ35～52cm、長軸方位N-60°-E、最高位標高534.94m、最低位標高534.80m。平面形は西端が変形する隅丸長方形。横断面は鋸形を呈する。底面は中央がやや深くなる。西端はゆるやかに立ち上がる。

21号復旧溝 8-K・L-1グリッド 泥流下面での長243cm、幅150cm、深さ19～56cm、長軸方位N-63°-E、最高位標高535.08m、最低位標高534.71m。平面形は不整な隅丸長方形。横断面は鋸形を呈する。底面はレベル差がほとんどなく平坦。

22号復旧溝 98-K・L-25、8-K・L-1グリッド 泥流下面での長405cm、幅125cm、深さ49～55cm、長軸方位N-65°-E、最高位標高535.11m、最低位標高535.10m。平面形は隅丸長方形。両端とも直線的に切れる。横断面は鋸形を呈する。底面は東端が最も深い。

23号復旧溝 98-K-25グリッド 泥流下面での長345cm、幅130cm、深さ34～49cm、長軸方位N-59°-E、最高位標高535.15m、最低位標高534.99m。平面形は隅丸長方形。西端は丸みを持つ。横断面は鋸形を呈する。底面はほぼ平坦だが、東が最も深い。

第3節 第2面の調査

第1項 第2面の概要

天明三(1783)年に起こった浅間山噴火による火山堆積物の下で確認された遺構を第2面の遺構とする。より細分すれば、浅間A降下軽石(As-A)下の遺構と、As-A降下後にこの地に到達した火山泥流(天明泥流)下の遺構の二者がある。本遺跡でも調査区南端近くにおいて、As-Aを踏み込んだ耕作の痕跡がとらえられているようにAs-A降下と天明泥流到達の間には一定の時間があることが知られているが、ここでは同一面として扱い、記載上の必要に応じて両者を区分するとどめる。

第2面はこの地域の遺跡を特徴付けるものであり、本遺跡でも主要調査遺構の多くがこの面に含まれる。天明泥流による削割で攪乱された部分も少なくないものの、遺構は調査区全面に広がる。広い畑痕跡があり、これを区画する溝や水路、石垣・石列がある。また、小屋状の建物のほか、山門、本堂、庫裏、鐘樓や庭園を伴う寺院とやや離れた位置に置かれた堂も見つかっている。一般の民家は見られず、集落界近くに作られた畑と寺院がある領域であったと考えて良いだろう。

畑は畝が長く、畝間が密に構成されたもので、周辺遺跡の発掘調査によっても広い範囲で確認されており、繊維用の大麻を栽培したものと想定されている。畝と畝の間にはAs-Aが堆積し、泥流除去時には白色の軽石が楕状に見いだされる。畑は道や水路、段差や石垣、あるいは畝方向を異にするなどによって区画される。今回報告する範囲においては、およそ十の区画を認識している。それぞれの道、水路に区切られた区画は必ずしも整った形状を示さない。

調査区中央には、地形の制約を受けつつ東から西へ流下する幹線的な水路(1号水路)とこれに沿う道(7号道)がある。これは天明泥流堆積後においても踏襲される地割りの基準線となっている。畑はこれによって大きく南北に分けられる。吾妻川寄りの北区画は、調査区西寄り幹線から北に向かって分岐する細い3号道、調査区中央東寄りて北に向かって分岐し、途中でほぼ直角に東向きを変える2号道によって区画される。山よりの南側

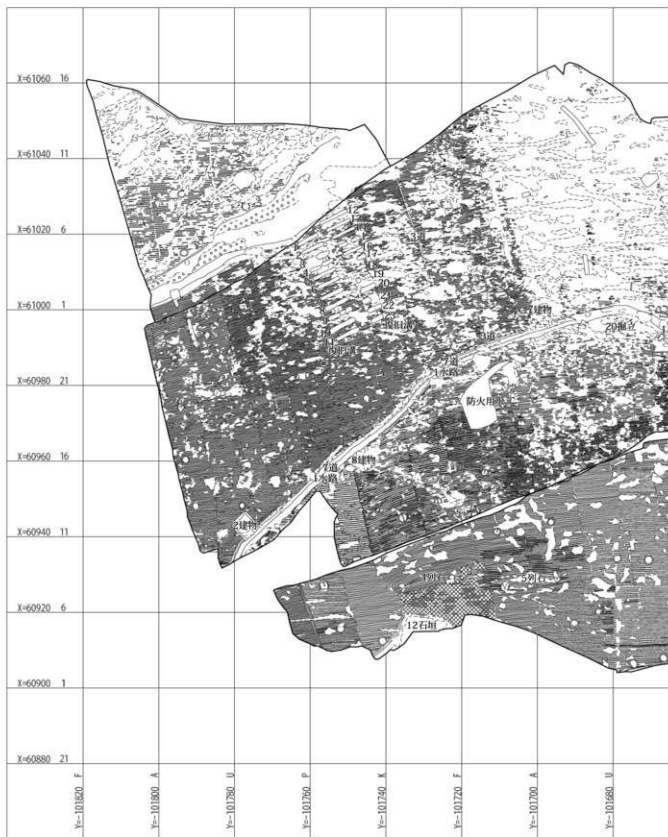
区画は、調査区南部で東西に走る幅広い4号道が調査区東端近くで直進する9号道を分岐させ、自らは北に折れて、方形の石垣に囲まれた堂宇と見られる3号建物の東で7号道に接続する。また、調査区東端では8号道が、後述する寺院の山門想定建物に向かって、南北に直線的に伸びる。寺院への参道的な性格を思わせる。4号道、8号道間には2号水路がある。9号道から4号道に沿うように、東から西、後に南から北へ流下し、途中で東に折れて19号建物と接続する。建物内に水路が連続することから、19号建物が水車小屋ではないかと想定されるゆえんである。

2号水路と1号水路・7号道の間では畑の畝が南北方向に作られていて、他の区画がすべて東西方向畝であるのと趣を異にする。またこれが、8号道を扶んでも同様の状態であることから、畑区画の成立後に寺院が建立されたのではないかと想定が可能になる。

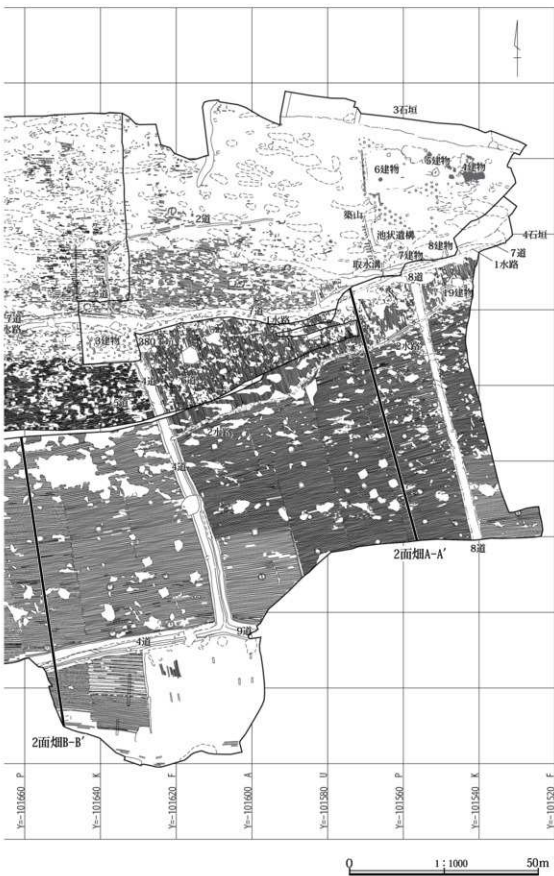
各区画内には、畑の最小耕作単位としてとらえられる畝たてのまとまりが複数ある。天明泥流による攪乱のために明確でない部分や、畝が入り組んだ部分が少なからずあるものの、本報告の範囲内には45以上の畝群があるものと認識された。

畑面には、「平坦面」と通称される円形、あるいは方形の平面形を有する加重痕跡と思われる遺構が、畝群内に規則的に配されるように残されるほか、作物の栽培状況を示すかに思われる植物痕跡などが見いだされている。5号道、6号道は畝方向や他の道の方向とは関連を持たず、また畝を切っているため、作物の収穫に当たっての作業痕跡としての道である可能性がある。平坦面や植物痕の存在、5・6号道のあり方から、畑は作物育成中ではなく、収穫直後に近い状態であろう。天明噴火の季節と農事暦を参照すると、作物が麻であったとの想定と矛盾しない。

1号水路、7号道に沿って、礎石建ち建物4棟、掘立柱建物1棟があり、礎石建ち建物の1棟は化粧基壇を持つ方形の建物であるところから仏堂と想定されている。また、先に述べた調査区東端近くの畑内にある19号建物は水路が建物内を通過するところから水車小屋的な機能を持つものと想定されている。さらに、調査区東端には寺院跡がある。この詳細については別に扱うが、本堂、庫裏、鐘樓、山門と想定される建物跡の他、池状や梁山



第17図 第2面全体図 1/1000



第2章 調査された遺構と遺物

A. 1-535.00m



1-535.00m



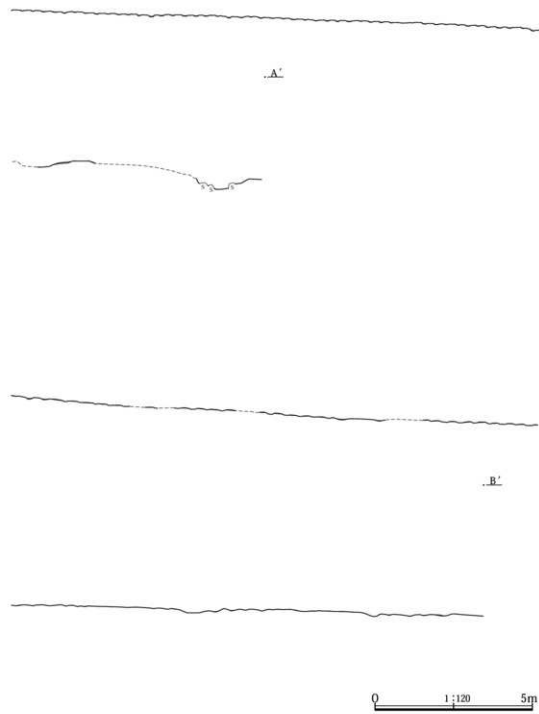
B. 1-539.00m



1-539.00m



第18図 第2面高低図 1/120



第2章 調査された遺構と遺物

を思わせる遺構もあり、庭園を備えた当時の寺の姿を彷彿とさせる。庫裏と想定される建物から、銅製金剛盤、三鈴杵、三鈴鈴、五鈴鈴や柄香炉、碗、承台、鉄鉢などの法具が木製の箱に入れられたかのような状態で出土しているほか、鏡や經典かと思われる冊子体の紙束なども出土している。なお、この寺院については、地元の伝承や古文獻にある「不動院」であろうことが想定されている。ただし、これら建物は天明泥流で亡失していて、上部の構造をうかがえるような資料は残されていない。

以上、第2面で調査した遺構は、畑11区画45単位、畑内平坦面97か所、道7条、溝・水路7条、礎石建物5棟、掘立柱建物1棟、寺院跡1か所(礎石建物4棟、庭園を含む)であり、遺物は先述の法具類の他、陶磁器片、漆器碗などの木製品や鉄製品、石臼、石塔などの石製品、モモ核などの種実類がある。

第2項 記載の方法

畑の記載は道や水路、石垣などで結界された区画(第19図)を基本として行う。調査区が任意に切り取られているために、たとえば第4区画はごく一部の調査にとどまる。第1区画は西部が完結していないが、北部は平成

28年度に4区として調査した部分をごく一部ではあるが取り込んで報告する。調査区全体については1/600図を付図として添付した。各区画については、1/200図を基本とし、特に注意すべき情報を有する部分および区間については適宜1/100・1/80・1/60等の図を用いて示した。なお、土層断面図は1/60を基本として、分層の状況に応じて縮尺を変更している。平面図の縮尺とは必ずしも対応しない場合がある。

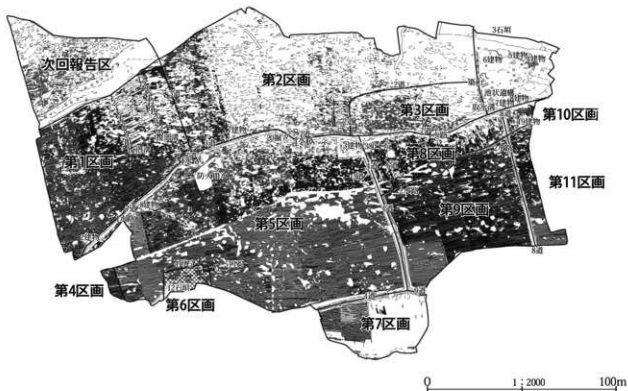
また畑内において、畑の一部をなす石列や「くぼみ」についても1/60を基本として図示した。

畑面にある「平坦面」については、畑図中に位置を示したほか、各平坦面の個別記載を別項で行い、1/60図を示した。畑を区画する溝、道、石垣等についても1/60から1/100図で個別に記載した。

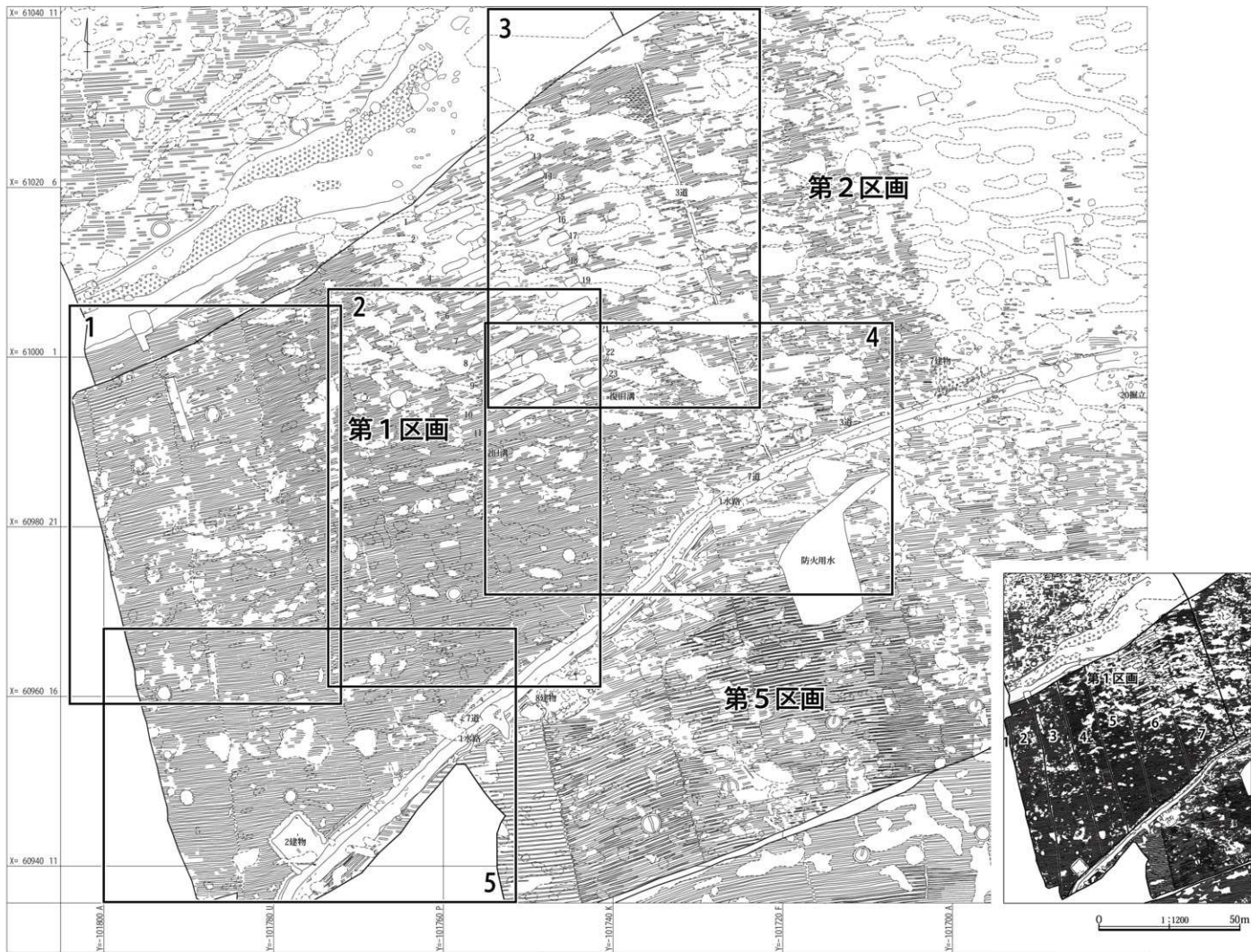
道、溝、水路も1/200図を基本とし、特に注意すべき情報を有する部分や断面図、高低図については適宜1/100・1/80・1/60等の図を用いて示した。

寺院跡以外の建物は1/80図を基本とし、適宜詳細図を付した。また、この面に帰属するとされた土坑1基は1/60図で示した。

各遺構の出土遺物についてはその項に掲載したが、特定遺構に伴わない遺物については節末にまとめた。



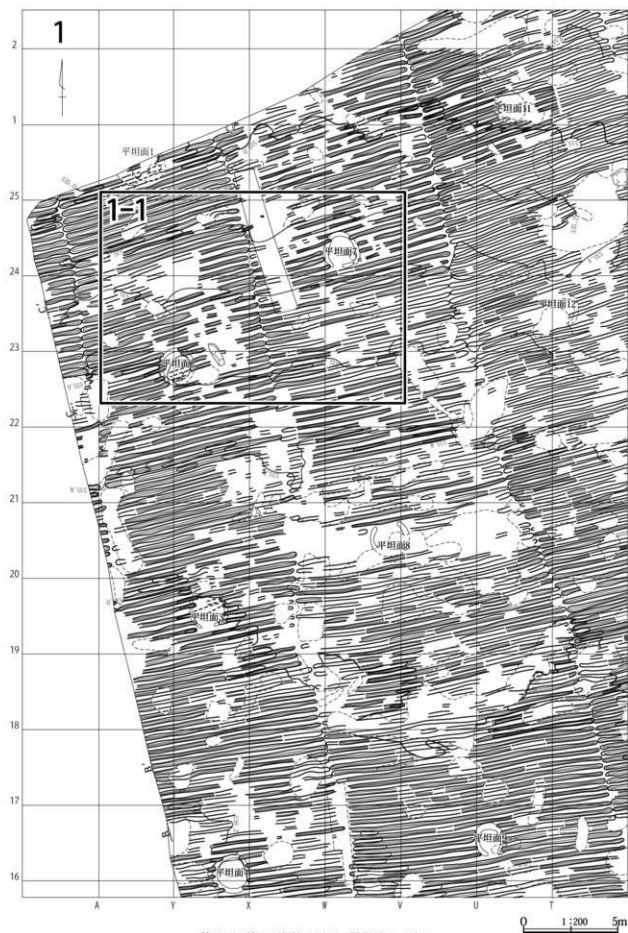
第19図 第2面畑区画概念図 1/2000



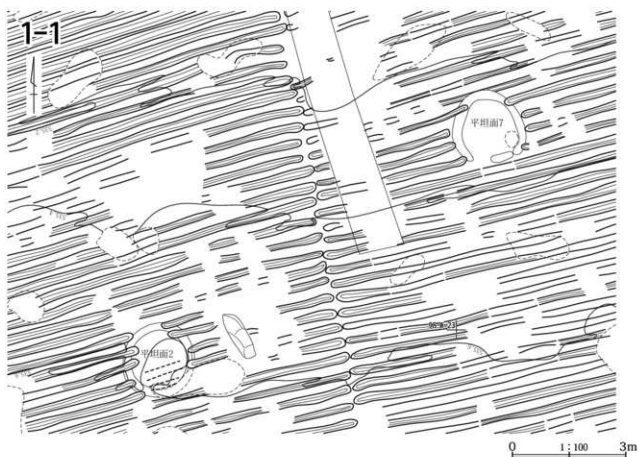
第20图 第2面畑第1区画 1/400

0 1:400 20m

第21图 第2面畑第1区画概念图 1/1200

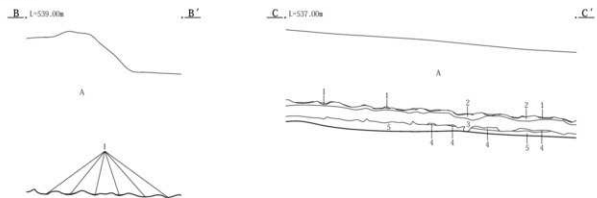


第22図 第2面畑第1区画 部分図1 1/200



第23図 第2面畑第1区画 部分図1-1 1/100

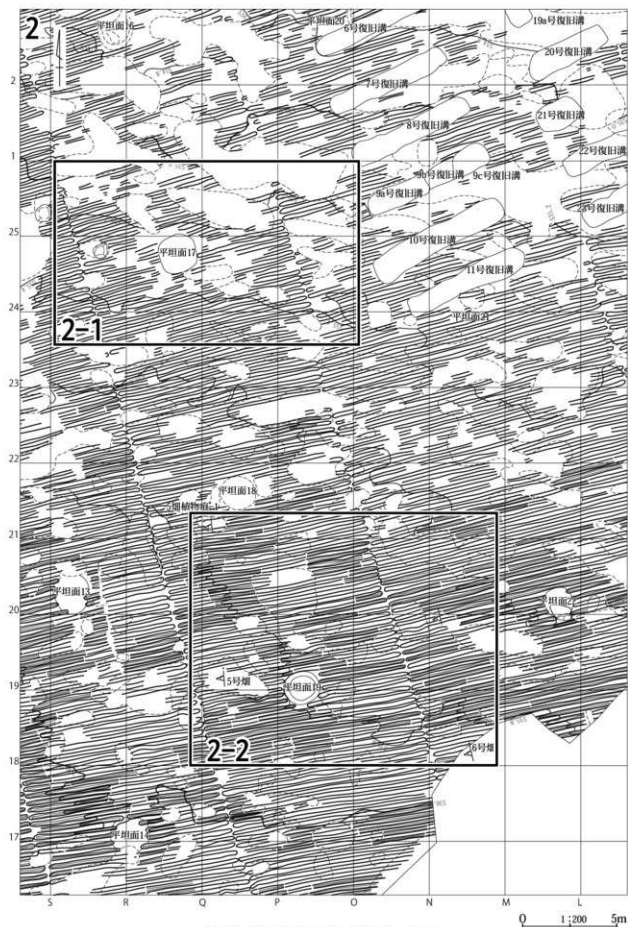
2号畑



A. 天明泥炭層

1. As-A降下軽石 畑の畝間に堆積。
2. 褐色土(7.5YR4/1) 白色粒子をわずかに含む。3層と同質だが還元されて変色している。
3. 暗褐色土(7.5YR3/4) 白色粒子をわずかに含む。上位に鉄分の凝集がある。
4. 褐色土(7.5YR4/3) 砂を含む。
5. 暗褐色土(7.5YR3/3) 白色、褐色粒子をわずかに含む。やや砂質。

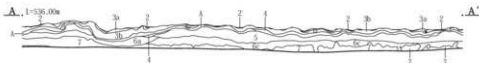
第24図 第2面畑セクション1 1/60



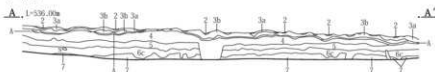
第25図 第2面畑第1区画 部分図2 1/200

第2章 調査された遺構と遺物

5号畑



6号畑



5号畑

1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 褐色土(10YR4/3) やや青色、細砂含み、鉄分沈着あり。As-A下畑耕作土。
- 3b. 3a層より青味強い。
4. 褐色土(10YR4/4) 細砂混じり、斑鉄見られ、ザラついた層。
5. くすんだ黄褐色土 黄色細砂(洪水層)混じり。
- 6a. 黄色洪水層ブロックと褐色土混上。
- 6c. 暗褐色土 わずかに洪水砂小ブロック含む。
7. 黒褐色土(10YR2/2) やや粘性あり。小石含む。

6号畑

1. 天明泥流。
 2. As-A降下軽石。
 - 3a. 褐色土(10YR4/3) やや青色、細砂含み、鉄分沈着あり。As-A下畑耕作土。
 - 3b. 3a層より青味強い。
 4. 褐色土(10YR4/4) 細砂混じり、斑鉄見られ、ザラついた層。
 5. くすんだ黄褐色土 黄色細砂(洪水層)混じり。
 - 6a. 黄色洪水層ブロックと褐色土混上。
 - 6c. 暗褐色土 わずかに洪水砂小ブロック含む。
 7. 黒褐色土(10YR2/2) やや粘性あり。小石含む。
- A. 鉄分凝縮層。

0 1:60 2m

第26図 第2面畑セクション2 1/60

第3項 畑遺構

畑の記載は道や水路、石垣などで結界された区画(第19図)を基本として行う。また、第7区画で見られるAs-A降下後の耕作具痕跡についてもここで述べる。畑内に残される「平坦面」と通称される遺構については次項で別に扱う。

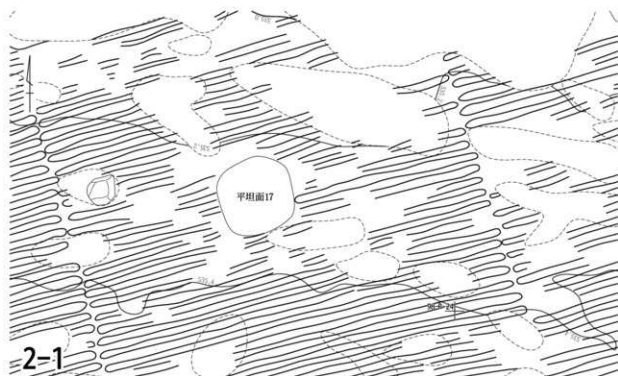
畑面はAs-Aおよび天明泥流に覆われるが、泥流による削剥も受けている。特に第2区画は吾妻川の屈曲部に当たって特に強く削剥されていて、畝、畝間溝が残されていない部分も多い。土層断面の記録によると、現地表を含め厚さ1mを越える泥流下に、特に畝間溝を中心に1～3cmほどのAs-Aがあって畑面を覆う。畑の耕土は白色粒子を含む暗褐色土で、厚さ20～25cmほどある。旧地表面近くでは厚さ3～7cmほどにわたって、還元環境

にあったためか灰褐色を呈する。畑表面には鉄分が凝集して作物かと思われる植物を示す痕跡や、炭化物の集中地点などが見られる。

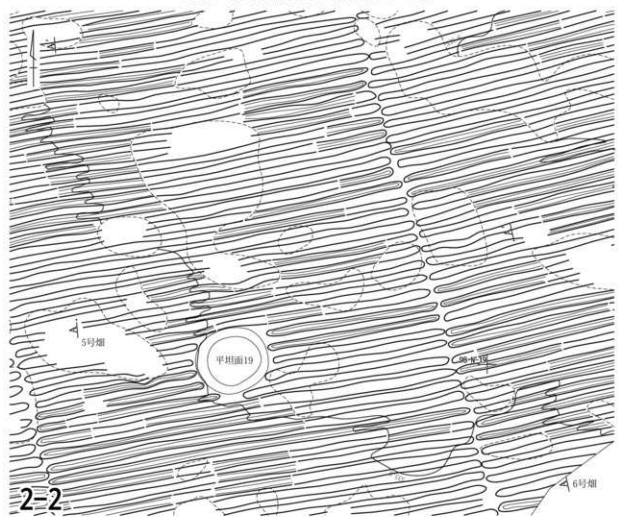
畑は作付け面である畝が主役たるべきではあるが、遺構としての記載は畝を盛り上げ、維持する機能を持つ畝間溝を中心とした図が中心とならざるを得ない。畝間溝間が畝であり、畝・畝間溝の繰り返しが並列して畝群を形成する。同時に、畝間溝は、食い違ふ部分はあるものの、ほぼ端部を突き合わせるように次の畝間溝と直列する。こうして、畝群が東西に連続して形成されることになる。この畝群で構成される面が畑の最小耕作単位と思われる。

(1) 第1区画

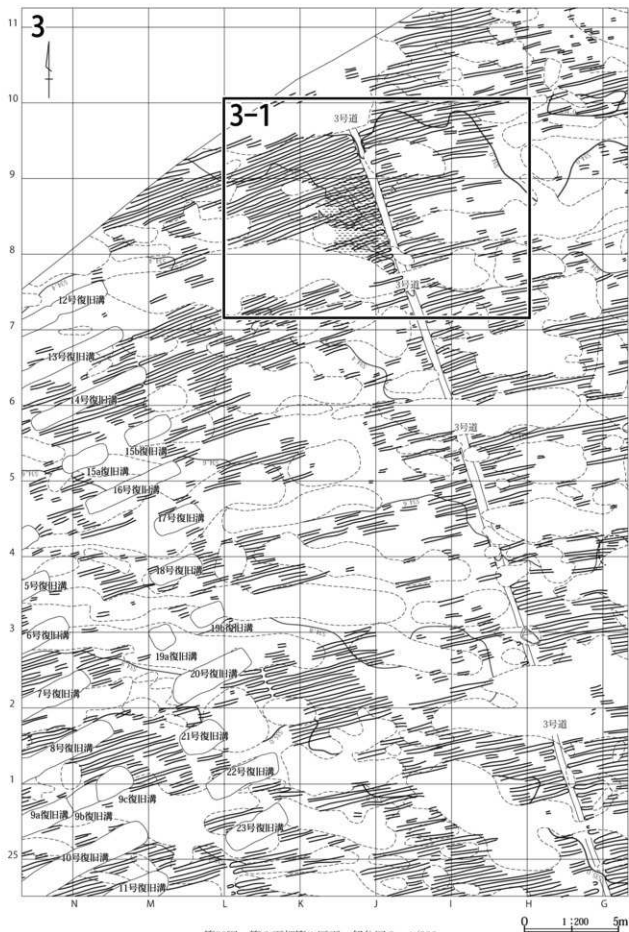
第1区画は北を段丘崖、南を7号道、東を3号道に囲まれ、西は調査区外で切られる。およそ南西-北東方向



第27図 第2面畑第1区画 部分図2-1 1/100



第28図 第2面畑第1区画 部分図2-2 1/100



第29図 第2面畑第1区画 部分図3 1/200



第30図 第2面畑第1区画 部分図3-1 1/100



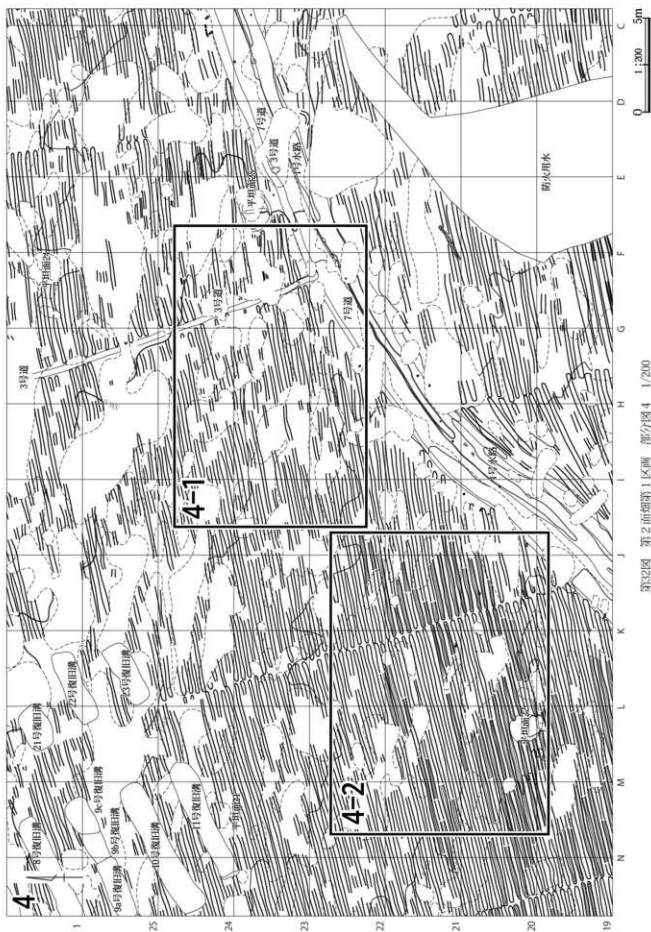
- 3a. 褐灰色土(10YR4/1) 細砂、炭化物混入。やが還元。
 3b. 褐灰色土 3aより炭化物少ない。
 4. 暗褐色土(10YR3/3) 小石含む。炭化物少量含む。
 A. 鉄分沈着。

第31図 第2面畑セクション3 1/60

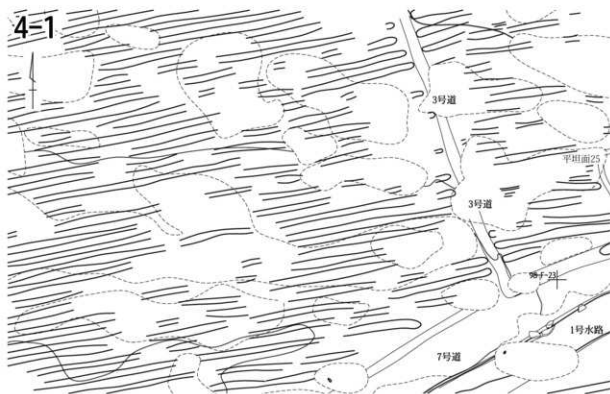
に長い長方形の平面形を呈する。ここでは調査区界近くにごくわずかにかかる1号畑から東に7号畑まで、7つの耕作単位が認められた。

第1区画1号畑 調査区西端にあって畝群東端部のみ三角形状に調査されている。狭い範囲で、畝間溝の最大確認長は1.81mにすぎないが、北端から南端の確認されている最終畝間溝の南端までは21.07mあり、調査された面積は27.52㎡ほどである。一部泥流削痕により不明瞭な部分があるものの、この間に54条の畝間溝が切られている。平均溝間隔は39cmほどとなる。2号畑との境界はN-9°-Wで、これにほぼ直交する方向で畝が作られる。2号畑の同位置での畝方向はN-72°-E内外であるので、やや傾きを異にすることになる。

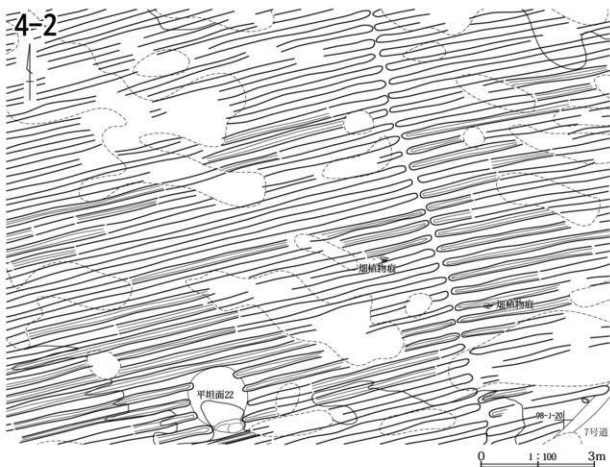
第1区画2号畑 調査区西端にあって、南西部は調査区外となるため、全体を把握することはできない。南端も大部分が調査区外となるが、1号水路・7号道に達する。北は段丘崖に区切られ、東は3号畑と接する。南北は71.3m、畝間溝両端がはっきりと残る北部では、東西9.0～9.4mほどの長さである。面積は588.31㎡ほどとなる。この中に178条の畝間溝が切られている。平均すると溝間距離は40cmほどとなるが、段丘崖際では溝間がやや広く、南端の1号水路・7号道沿いでは畝間溝間が狭くなる。畝間溝の方向は先述の通りN-72°-Eほどで揃う。3号畑との境界は北端部近くではN-19°-Wを示すが、以南ではN-10°-W内外となって西に広がる。畑面には1～6号平坦面がある。



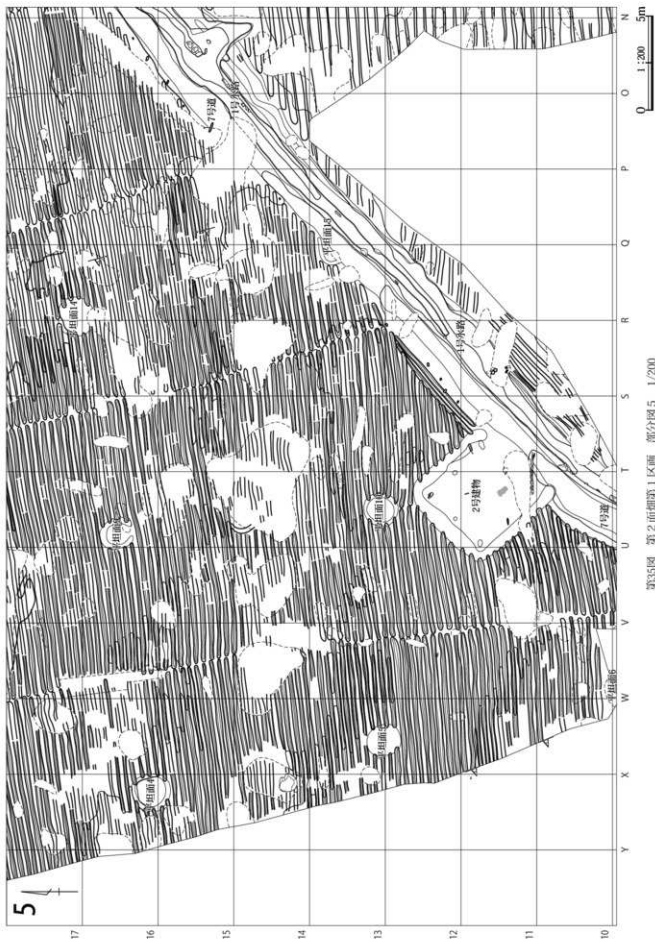
第32図 第2面地帯第1区画部分図4 1/200



第33図 第2面畑第1区画 部分図4-1 1/100



第34図 第2面畑第1区画 部分図4-2 1/100



第355図 第2面第1区画 部分図5 1/200

2号畑

A, 1-539.50m

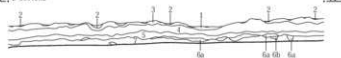


1



4号畑

A, 1-536.50m



0 1:60 2m

第36図 第2面畑セクション4 1/60

第1区画3号畑 北端が段丘崖に達し、南端は7号道に至る。東西は2号、4号畑に接して、畝間溝の端部同志はほぼ接し、あるいは若干食い違いを見せる。2号建物が介在するものの、隣の4号畑とともに畑全体を把握することができる。西辺長73m、東辺長63.6m。畝間溝は北部では10.5～11.0mほどだが、10号平坦面北では16mを計る。面積846.69㎡。調査区界で畝間溝の連続が不明確な部分があるが、180条ほどが数えられる。畝間溝間の平均幅は40.6cmほどとなるが、2号畑と同じく段丘崖近くはやや広く、南端の水路、道際はやや狭くなる。畝間溝は2号建物を囲む溝を切っている。2号建物は泥液により倒壊したものとみられるので、建物がたっている状態でも、周囲ぎりぎりまで耕作されていたのであろう。畝間溝はやや蛇行しているが、北部でN-72°-75°-E、中部でN-80°-83°-E、南部ではN-85°-90°-Eで、2群と類似した方向性が示される。畑中には7～10号平坦面がある。

第1区画4号畑 北が段丘崖、南北が7号道に達して、東西は3号、5号畑に接する。畑全体が把握できる。西辺長62.2m、東辺長59.0m。3号畑との境界である西辺は、両畑の畝間溝端を結ぶ線がうねるように蛇行するが、5号畑との境界に当たる東辺は直線性が高い。畝間溝は特に西辺の蛇行によって長短があるが、9.0～13.5mほ

1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
3. 観察所見なし。
4. 褐色土(10YR4/4) 細砂混じり、斑鉄見られ、ザラついた層。
5. くすんだ黄褐色土(10YR) 黄色細砂(洪水層)混じり。
- 6a. 黄色洪水層ブロックと褐色土混じり。
- 6b. 6a層より洪水層多く含む。
7. 黒褐色土(10YR2/2) やや粘性あり。小石含む。

どで、南端を除いてはさほど顕著な差はない。南端では畝方向と水路・道が斜行して形成された三角形の地片に畝を充填するかのような形状となり、最南端の三角地頂点では、わずか1.7mほどの長さの畝間溝が掘られている。各畝間溝はわずかに蛇行している。北部でN-65°-70°-E、中部でN-73°-77°-E、南部ではN-80°-83°-Eであるが、先に見た最南端の短い畝間溝はN-63°-Eを示して周辺とは大きく異なる。調査区界や泥液による削平で不明瞭な部分もあるが、181条の畝間溝が切られる。畝間溝間の平均幅は34.3cmほどとなり、2・3号畑より狭い。調査面積は673.92㎡ほどとなる。畑中には11～15号平坦面がある。15号平坦面は7号道にかかる。

第1区画5号畑 北端が段丘崖に達し、南端は1号水路・7号道に至る。東西は4号、6号畑に接していて、北部では泥液による削割がやや強いが、畑全体をほぼ把握することができる。西辺長68m、東辺長66.5m。調査区界や泥液による削割で畝間溝の連続が不明確な部分があり、さらに北部の段丘崖上部では痕跡的にしか畝間溝がとらえられていないので、全体の畝間溝数は把握できない。西辺で把握しやすい延長65mの範囲で160条ほどが数えられ、これによると畝間溝間の平均幅は40.6cmほどとなる。東西両畑との境界線は直線性が高く、畝間溝の長さも10.5～11.0mほどにまとまる。畝間溝はやや

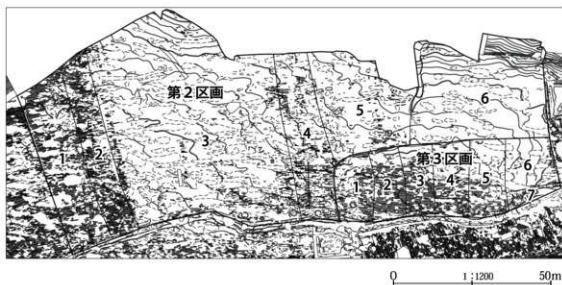
第2章 調査された遺構と遺物

蛇行しているが、北部でN-65°-E程度、中・南部でN-75°-Eほどと、これも他に比してまとまりが良い。畑全体の面積は625.97㎡ほどとなる。畑中には16～19号平坦面がある。中央やや南寄りの西端近くで鉄分凝集に置換された草本の茎と思われる植物痕跡が認められている。

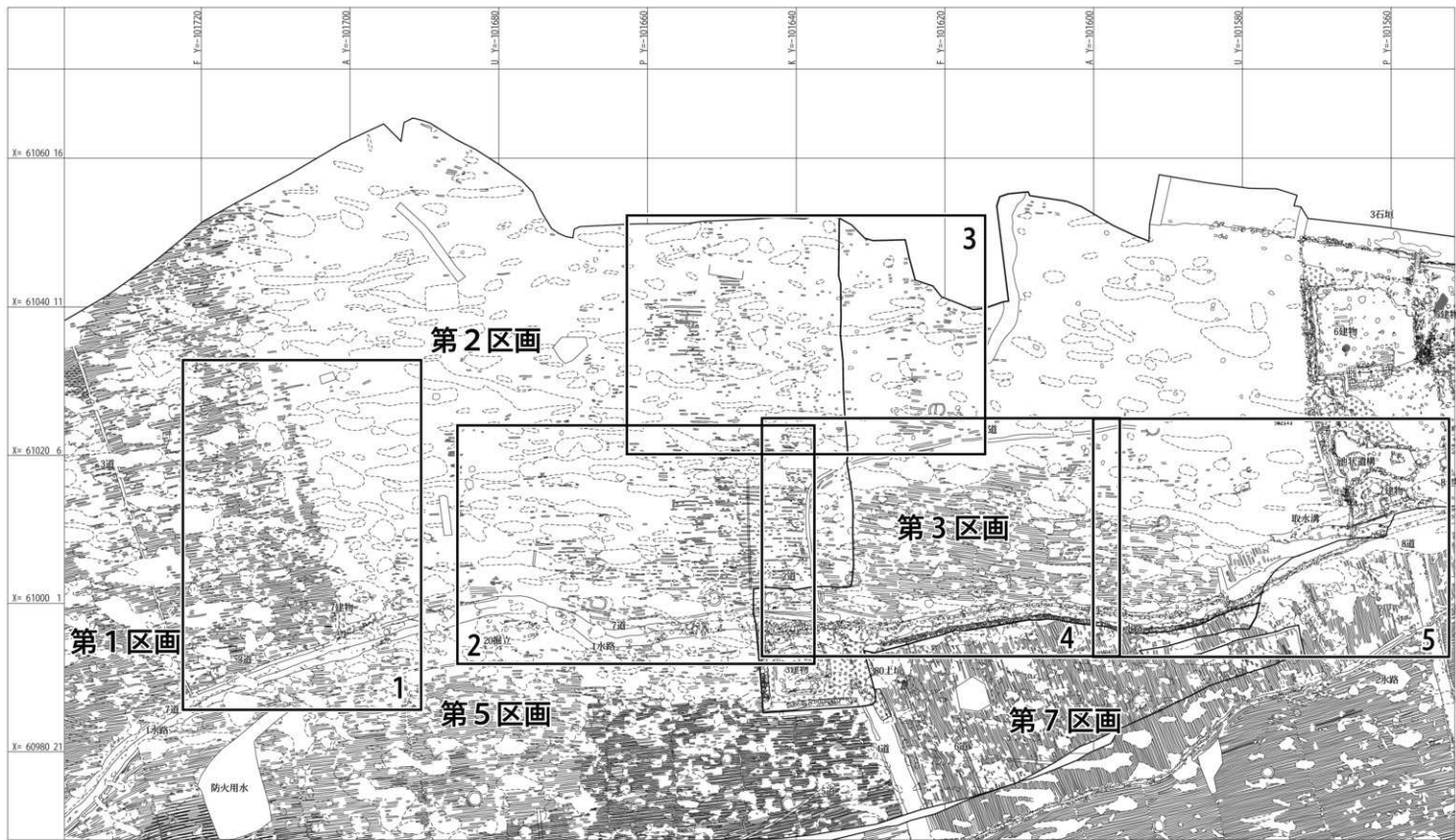
第1区画6号畑 北端が段丘崖に達し、南端は1号水路・7号道に至る。東西は5号、7号畑に接しているが北部に上面の復旧溝群があって、畝間溝が不明瞭になる。西辺長66.5m。東辺は23号復旧溝南端と7号道の間が22.8mあり、これを段丘崖上部まで延長すると55.1mとなる。泥流による削剥もあって全体の畝間溝数は把握できず、最大限復元しても150条強程度であるが、残りの良い南部では30m間に80条が数えられて、溝間隔は37.5cm程度となる。東西両畑との境界線は直線性が高く、南部での畝間溝の長さは15～15.7mほどにまとまる。かなり長い畑である。畝間溝の直線性も高く、23号復旧溝南でN-74°-E、中部・南部でもN-76°-Eと、整った平行線状を示す。復旧溝群位置以北は畝間溝が不明瞭になる。復旧溝の東列西端が畝間溝東端の延長に近い位置にあって、これが7号畑との境界をなすかとも思われるのだが、13号復旧溝南東隅に1条、14号復旧溝東端に2条、20-21号復旧溝間東部に5条、22-23号復旧溝間東部に1条、畝間溝東端部が見いだされていて、7号畑の畝間溝西端と接するものも多い。こうすると、6号畑は復旧溝位置

で東に幅を広げるΓ状の平面形であったことが想定される。中間に復旧溝があるため直接とらえることはできないが、ここでの畝間溝の長さは18～19mほどとなる。また、方位はN-70～72°-Eほどを示す。想定される畑面積は987.78㎡ほどとなる。畑中には20～22号平坦面があるが、22号平坦面以外は痕跡的に認められるにとどまる。また、南端近くで鉄分凝集に置換された草本の茎と思われる植物痕跡が認められている。

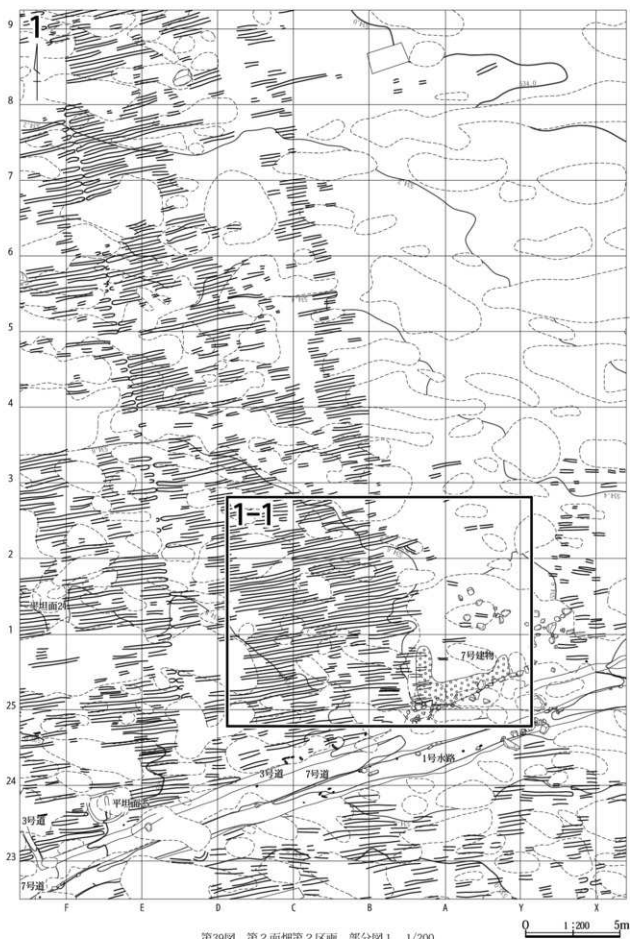
第1区画7号畑 第1区画東端の畑である。北端が段丘崖に達し、南端は1号水路・7号道に至る。西は6号畑と接し、東は3号道で区画される。6号畑との境界である西辺は先述の通り推定長で55.1m、東辺は3号道の確認長で48.6mある。面積は839.67㎡となる。以西の畑に比して泥流の削剥が激しく、畑表面の把握が困難な部分が多いが、畝間溝は160条ほどが数えられる。6号畑と同じく23号復旧溝南端までは比較的残りがよく、22.8m間に60条ほどが数えられ、溝間距離は38cmほどとなる。畝間溝長は南部で19m前後と長いに対し、北部では6号畑とは逆に復旧溝東端まで狭まるため、13.5～15m弱程度となる。南部の畝間はN-78～80°-E程度で比較的直線的だが、北部はゆるく蛇行していて、方位も南部ではN-77°-E程度だが北に行くにつれて振れ、北端近くではN-69°-E程度となる。平坦面は認められない。北部の3号道に沿いに、南北5m、東西3mほどの範囲で不整形に広がる炭化物の集中箇所が記録されている。



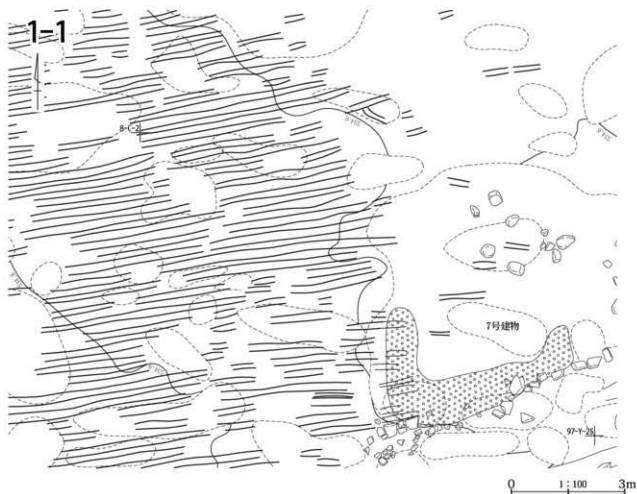
第37図 第2面畑第2・3区画概念図 1/1200



第38图 第2面畑第2・3区画 1/500



第39図 第2面畑第2区画 部分図1 1/200



第40図 第2面畑第2区画 部分図1-1 1/100

写真では炭化した材小片が黒褐色土中に散っているように見えるが、詳細はわからない。また、南端近くで鉄分凝集に置換された草本の茎と思われる植物痕跡が認められている。

(2)第2・3区画

第2・3区画は調査区の北半中部にあって、北は吾妻川に至る段丘崖、南は7号道・1号水路、西を3号道、東は寺院跡の石垣に画される。さらに南東部の2号道に西および北を囲まれた区画を第3区画とする。第2区画は全体に天明泥流による削剥が激しく、西部の1・2号畑では畑面の観察が可能であるものの、他は畝間溝の痕跡がわずかに認められるに過ぎない。以東について、畝間溝端の確認できる状態によって畑番号を付した。3号畑は東部でわずかに畝間溝の状態を把握することができるが、細分はためらわれる。5号畑と6号畑の間は小さな谷が入っており、これを境界としている。畑面はほとんど確認できない。従って、1～6号畑は畑番号が耕作

単位を反映したものにはなっていない。第3区画も必ずしも畑面の状態は良くなく、畝間溝の密集度や端部把握により1号から7号畑として番号を付している。1号、2号畑間の畝端部は比較的明瞭でありまた、7号は畝方向を異にしている他との差違が明確であるものの、他の畑間は確定できず、特に4号から6号にかけての北部は削剥が著しい。

第2区画1号畑 北端は調査区外となるが段丘崖に近い。南端は1号水路・7号道に至る。西は3号道で画され東は2号畑に接している。西辺は3号道と7号道の接点から調査区端まで51.7m、東辺は7号道から調査区端まで57.2mある。面積は715.48㎡ある。全体に泥流による削剥があり確定できないが、この間におよそ150条程度の畝間溝が切られている。残りの良い南部で20m間に51条が数えられ、溝間は39cmほどと想定される。全形をとらえられる畝間溝がなく、畝の幅を確定することも困難だが、南部では畝間溝長が10mほどと狭いが、中部で

は12～13m、北部では14.6mほどと、西辺は3号道で規制されるため、東辺が開く、細長い逆台形の平面形状が示される。北端近くでは開きが大きくなっていて、畝間溝長は19mに達する可能性がある。各畝間溝は直線性が高いが、南半では中位がわずかながら北に曲がって弓状を呈するものもある。方向は南部でN-80°-E、北部でもN-75°-78°-Eである。中位に23号平坦面、南寄りに24号平坦面があるが、ともにごく痕跡的な残存である。南端には25号平坦面がある。

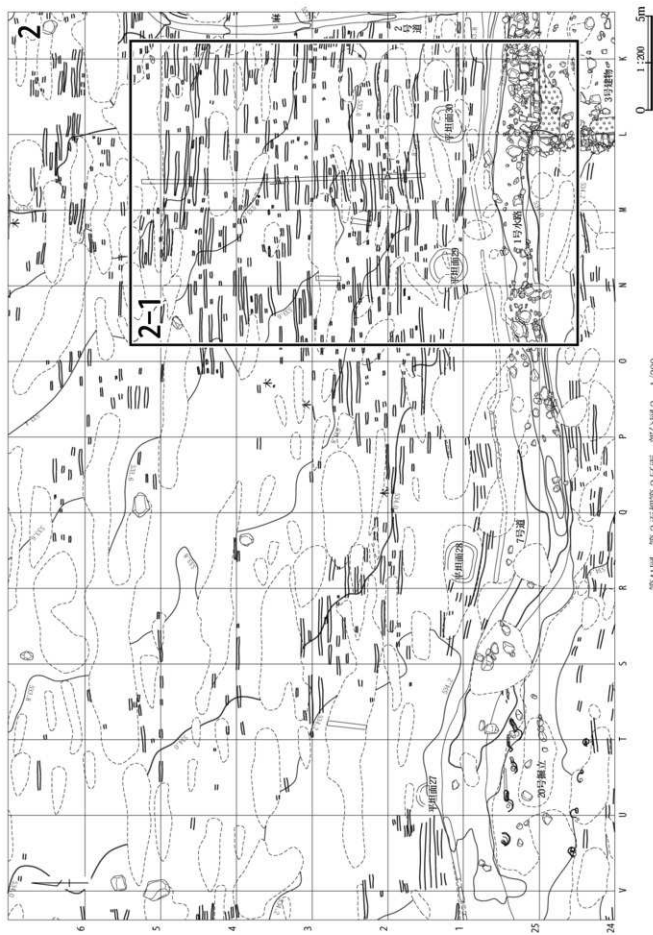
第2区画2号畑 北端は調査区外となるが段丘崖に近い。南端は1号水路・7号道に至る。西は1号畑に接している。東端が明確な畝間溝および西端が明確な西側畝間溝がないため、東辺は確定できない。畝間溝痕跡が比較的密な領域を区切って畑番号を付した。東西幅はおおよそ16mほどである。西辺長は1号畑東辺に接して57.2m、東辺長は60mほどある。面積は710.12㎡ある。160条ほどの畝間溝が数えられる。比較的残りの良い南部の15m間で42条、畝間溝西端が明瞭な北部では20m間に51条が切られていて、前者では35.7cm、後者では39.2cmの間隔がある。畝間溝の方位も確定したいが、南端近くでN-82°-E、中部ではN-75°-77°-E、北部ではN-74°-Eが測れる。確実な平坦面はとらえられていないが、北部C-10グリッド北東隅(1号)に、畝間溝の方向とは異なり、弧状を示す痕跡が記録されていて、これが平坦面だとすると、他例が畑幅の中央近くに作られていることから見て、第1区画6号畑北部のような幅広の畑であった可能性も考えなくてはならない。7号道際には7号建物があり、この軒先から落ちたものであろうAs-Aの堆積下にも畝間溝が達する。また、建物内にも溝表現があって、建物の性格や畑との関係把握が難しい。

第2区画3号畑 北端は調査区外となる。南端は7号道に接する。西は2号畑、東は4号畑であるが、ともに明確に分界できない。調査区内の南北最大長66m、最短長42m、東西幅は70.8mほどある。泥流による削割が著しく、東西方向に切られた畝間溝の痕跡が点々と残される。畝間溝の形状や条数は捉えたいものの、以西の畑と大きくは異ならないようである。方位も正確には捉え難いが、南部ではほとんど東西方向を示す。南端7号道際に27号から29号平坦面があり、28号平坦面北にも平坦面とは認識されていないが、円形の痕跡が記録されている。これ

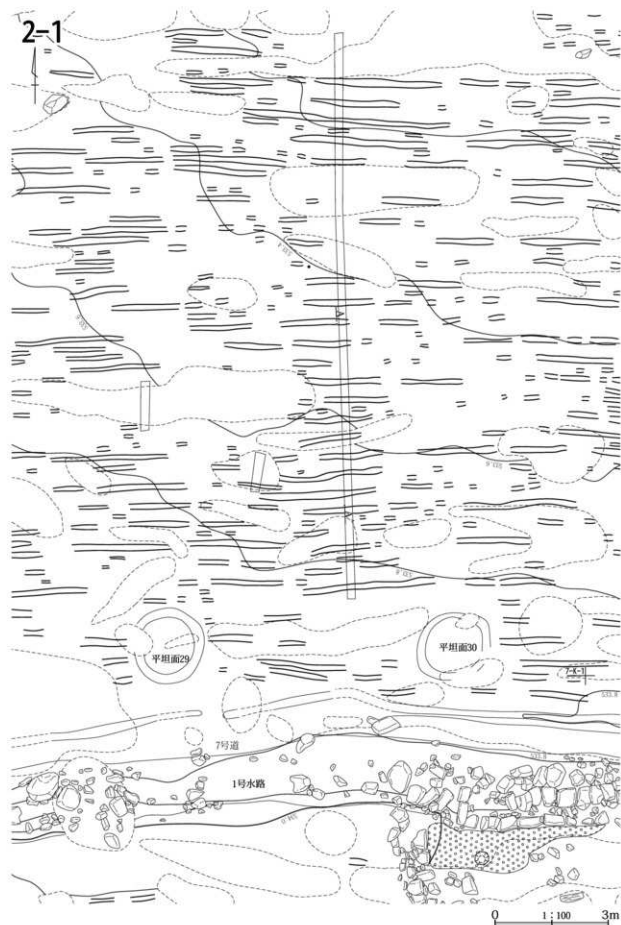
らを含む、南北に長い複数枚の畑が並列してあったものと想定される。29号平坦面北のトレンチは「15号畑」のものとして調査されており、この範囲に6枚の畑面を想定していたようである。ここの面積は3905㎡ほどであるので、1枚あたり650㎡相当となる。なお、このトレンチでは泥流下旧表土面直下に、粘質の青灰色土があるとされている。

第2区画4号・5号畑 3号畑の東から寺院西辺の石垣・溝までの間も、泥流による削割が著しく、畑面の痕跡はわずかに残るに過ぎない。北辺は調査区外であり、南は2号道で画されるが、2号道自体も東部ではその痕跡をたどることができなくなる。東西67.4m、南北30mほど、面積1675㎡ほどの範囲である。第2～3面の畑があったものと考えられるが、畝間溝を追う限りでは区分できない。やや西寄りに、蛇行しつつ南から北に下る狭い谷状地があるため、この谷状地の西側を4号畑、東側を5号畑とした。4号畑では点々と微弱な畝間溝痕跡を追うことができるが、条数や幅を定めることは難しい。おおよその方位は、北寄りでは東西からやや北に振れ、南部ではやや南に振れていて、3号畑に近いようである。また、2号道沿いでは道に沿うように掘られた畝間溝が認められている。4号畑の南東に30号平坦面がある。5号畑はさらに畑痕跡が乏しくなる。畝間溝の痕跡も点的にしか捉えられない。おそらく他の畑と同様に東西方向に延びる畝間溝が作られていたものと思われる。

第3区画1号・2号畑 西から北にかけて2号道に囲まれ、南は7号道に接する。東側3号畑との境界は両畑を構成する畝間溝端部が明瞭である。2号道の南北に延びる部分と、2号、3号畑界との間は20mから最大24m程度あるが、その南部中央近くのみ、畝間溝の両端部が接する部分がある。この接続部延長線の西側を1号、東側を2号とした。1号畑は東西最大13m、南北は2号畑との間を最大として22.3mあり、面積は240㎡ほど。50条以上の畝間溝が切られていたらしい。残りの良い最南部では、4m間に10条の畝間溝が認められ、溝間は40cmほどであったものと思われる。畝方向はN-92°-94°-E内外であるが、2号道が東へ屈曲する部分では、これに合わせた方向で畝間溝が切られている。2号畑は南部で1.4m、北部で11mほどで、面積は240㎡ほどと1号畑とほぼ等しい。南部の残りの良い8m間での畝間溝は18条、



第41図 第2面第2区画 部分図2 1/200



第42図 第2面畑第2区画 部分図2-1 1/100

第2章 調査された遺構と遺物

15号畑

A, 1:534.00m



1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
3. 茶色、鉄分沈着、細粒・黄色粒 径1mm混じり。
4. 青灰色土 粘性あり、上層からの浸透水の影響で変質か細砂混じり。
5. 周色土(10YR4/4) 4層との境に強い鉄分沈着あり(1cm弱)くすんだ黄褐色土の攪乱みられる。
- 6a. 周色土 炭粒、小石わずかに混じる、攪乱。
- 6b. 6a層より炭粒少なく、しまりあり。
7. 6層上にローム小ブロック、黒色土小ブロック。
8. くすんだローム土とローム混土、薄位層。
9. くすんだ周色土とローム小ブロック混土。下位土坑の埋土。

0 1:60 2m

第43図 第2面畑セクション5 1/60

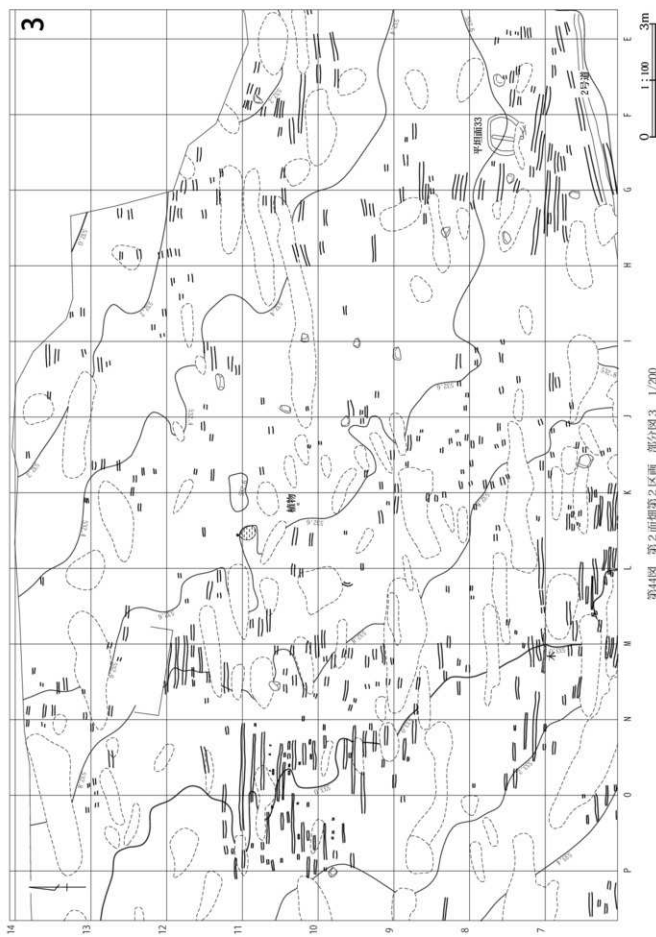
間隔が44cmほどとなって1号畑より広い。畝間溝方向はN-94°-E前後で、1号畑に近い。1号畑の西南に31号、32号平坦面がある。2号畑内には平坦面はない。中部では1・2号両畑にまたがって延びる畝間溝が複数見られることや、1号畑には平坦面が2か所あるが2号畑にはないことなど、両畑間に何らかの関係があったことがうかがわれる。

第3区画3号畑 北は2号道、南は7号道に画される。西は2号畑と接する。東辺南部で3号畑と4号畑の畝間溝端部が接する状況が見られる。これは35号平坦面の西端に揃う位置で、この平坦面の北2条まで見られるが、以北では泥流による削削でわからなくなる。南北長は20.7mほどで、南北に長い長方形を呈し、面積は189.66㎡。42条程度の畝間溝が切られていたと想定され、これによると間隔は49cm程度となる。両端が推定できる畝間溝の東西長は9.2～10m程度、方位はN-94°-E前後である。南端近くに34号平坦面がある。

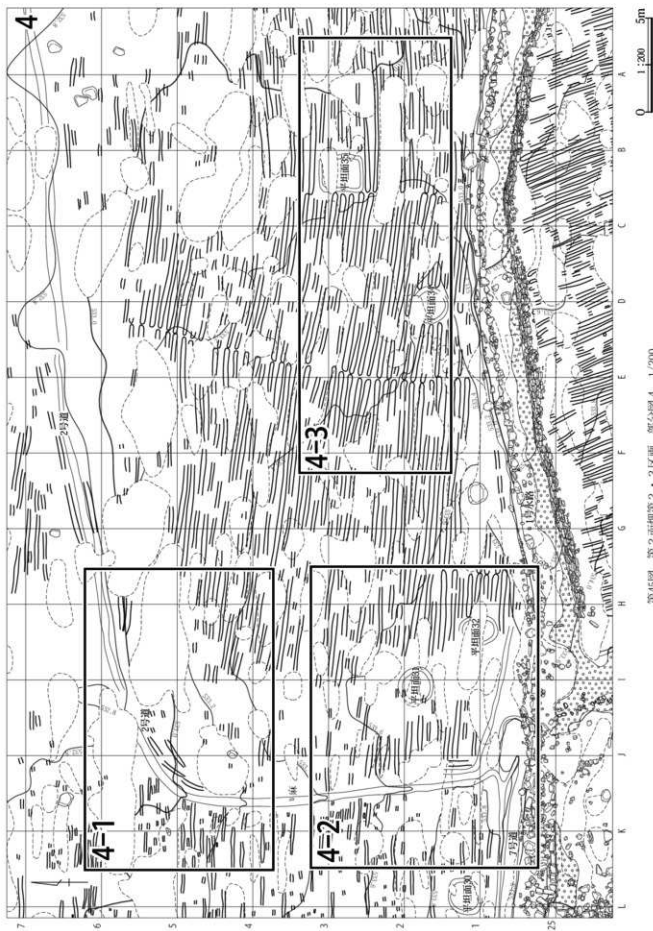
第3区画4号畑 北は2号道、南は7号道に画される。南北長は22.3mほど。北部は特に泥流による削削が激しい。西は3号畑と接し、東は南北の中間位置に5号畑の畝間溝との接点がわずかに見られるので、これを境界とした。ここでの東西幅は11.2mほどある。面積は256㎡。攪乱が激しく、畝間溝の数を推定することも困難だが、密度は3号畑と大差ないように思われる。方位はわずかに角度を変えて、N-89～90°-Eを示す。南部には、西辺が3号畑との境界に沿うような、長方形の平面形を呈する35号平坦面がある。

第3区画5号畑 北部は大きく乱され、ごく部分的にしか畝間溝の痕跡を捉えることができない。北端は2号道で画されるものと思われるが、2号道自体がこの部分では明確でない。南部でも西の4号畑との接点は先述の通り点的な把握にとどまる。南東部は7号道・1号水路から北へ分岐する番号を付されていない水路が東の7号畑との境界となる。この水路もわずかに3.5mほど延びて以北は攪乱されてしまうのだが、この延長線を東辺と捉え、2号道の延長線と結ぶと、長さ22.5mほどとなる。東西を確認できる畝間溝はないのだが、南部で最大12.5m、北部では8mほどとなる。北辺が短い台形の平面形で、249㎡ほどの面積とした。畝間溝条数は把握できないが、4号畑との接点に当たる、端部の明確な畝間溝3条から推定すると、溝間隔は40cmほどとなる。方位はN-90～94°-Eを測る。北の2号道の延長線にかかるように36号平坦面、中央東寄りに37号平坦面がある。

第3区画6号畑 東の寺院との境界付近では畝間溝末端が捉えられているが、他はごく点的にしか畝間溝痕跡を把握できない。西は5号畑との境界、北辺は5号畑と同じく、2号道の延長線を想定する。南は西半で畝方向を異とする7号畑と接し、東半は溝状の窪地で画されるが、この窪地は東西両方向に泥流削痕と連続しており、泥流下の自然地形であるのか、泥流削痕であるのか、図上では判然としない。東西16mほど、西辺は7号畑畝間溝末端まで17mあり、東辺は2号道延長線と寺院西辺溝の交点から溝状窪地上縁まで14.5mある。面積は253㎡ほどである。東辺で見られる畝間溝は50cm～1m間隔で、



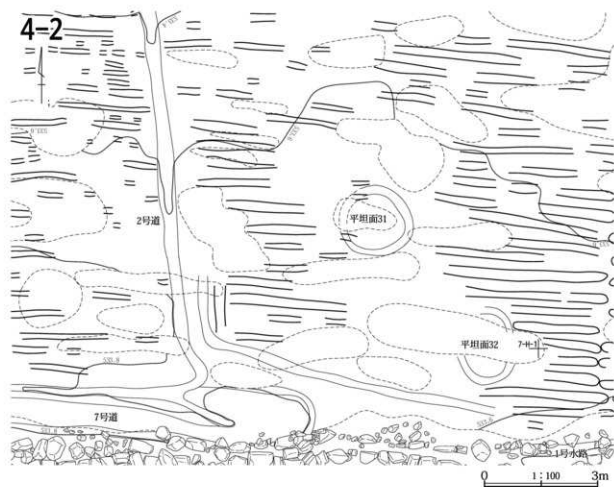
第44図 第2面第2区画 部分図3 1/200



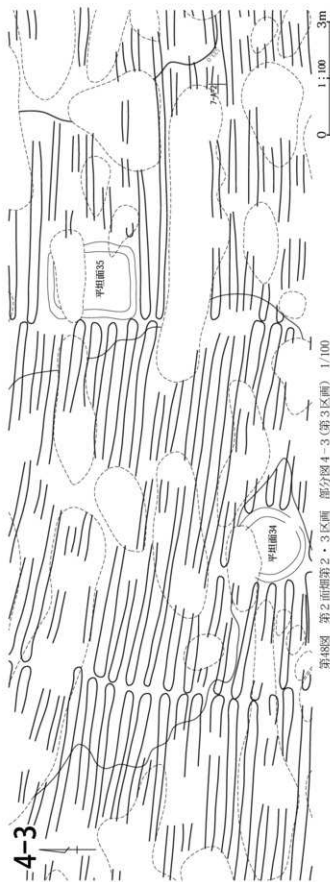
第45図 第2面図第2・3区画 部分図4 1/200



第46図 第2面畑第2・3区画 部分図4-1 1/100



第47図 第2面畑第2・3区画 部分図4-2 1/100



第48図 第2部第2・3区画 部分図4-3(第3区画) 1/100

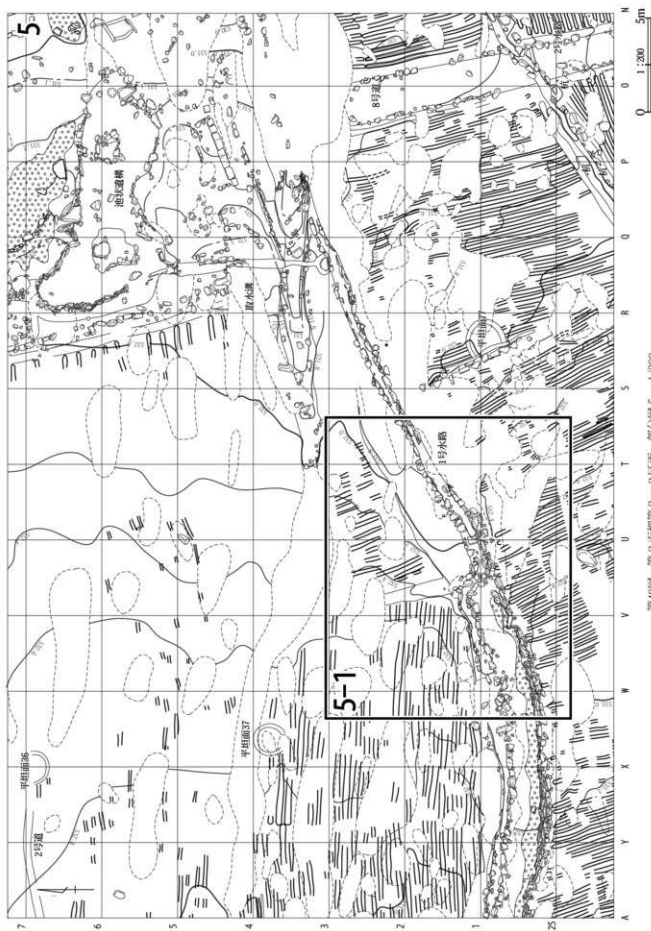
他に比してかなり疎である。畝間溝の残存が短く、方位を確認できないが、N-71°-82°-E程度が想定され、この区画の他の畑より北に傾く。平坦面はない。

第3区画7号畑 6号畑の南西にある。畝間溝が南北方向を示して、6号畑と区別されるが、境界は把握できない。南は7号道・1号水路、西はこれから北に延びる小溝とその延長線で5号畑と画される。東側は溝状の窪地に至らずに畑痕跡が消えていて、末端を把握できない。東西8m、南北4m、50m足らずの範囲に浅い畝間溝の痕跡が18条ほど、まばらに残されている。畝間溝間隔は粗密があり、確定しがたい。方位も明確ではないが、N-65°-67°-Eが計測される。後述する第8区画の畑に近い方向である。平坦面はない。

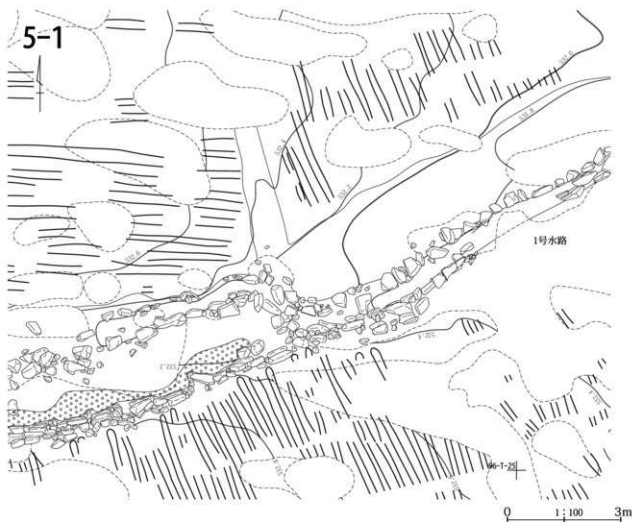
(3) 第4～7区画

調査区南西部および南部拡張区で調査された畑を扱う。7号道・1号水路以南、4号道以西および以南にあたる。4区画は調査区西端にあって南北と西が調査区界に切られる狭い区画である。番号の付されていない道状の遺構を挟んで東の第5区画と隣接する。第5区画は東西150m、南北90mの大きな区画で、西は第4区画および調査区界、東は4号道、北は7号道・1号水路で画される。南は12号石垣、調査区界および南北から東西に屈曲する4号道を境とする。北側が平成26年度、南側が平成27年度に調査されていて、両年度調査区間にわずかながら空白域があり、これを境として南北の様相が異なる。総体としては畝間溝が東西に走り、南北に長い形状を示して、畑中には平坦面が点在するなど、特に北部は第1区画と似た様相にある。しかし南北で畝間溝の終端線が大きく食い違うことも多く、また南部では畑の形状が横長のものも見られる。調査区界には調査前に水路があったとのことである。調査手法等による表現の差異も見受けられるが、この水路が泥流下の何らかの地割りを反映したものであったことが差違を生じる原因なのかもしれない。

7号道・1号水路に沿って、西部に8号建物、中部東寄りに20号掘立柱建物、東部の4号道との交点に観音堂とされる3号建物がある。また、3号建物の南には畝間溝と斜行して畑を切るように走る5号道がある。南西部には畝間溝と平行するように5号石列が作られている。第6区画は第5区画西南の一角を占める。畝間溝の方向



第49図 第2面第2・3区画 部分図5 1/200



第50図 第2面畑第2・3区画 部分図5-1(第3・8区画) 1/100

や連続性からは第5区画の一部としてもおかしくないが、北部を4号石列、東部を溝に画されることと、特にこの部分のみが畑上面を削平されていることから別区画とした。第7区画は北から西に折れる4号道の東西走部分と、これから東に分岐する9号道を北限とし、他の3方は調査区界となる半楕円形の区画で、調査時には南拡強区と呼ばれている。西北部は他例と同じ東西走る畝間溝を有する畑だが、東部では微弱的な畝間溝痕跡が南北に認められ、さらにAs-Aを動き込んだ耕作具痕跡が確認されている。

第4区画 南北および西側が調査区外となる。東は3号畑との間を両側に側溝を持った道によって画される。東西幅6.4m、西端の道に沿った南北長17.04m、面積90㎡。43条の畝間溝が切られており、溝間距離は40cm弱である。各畝間溝は良好に保存されており、上端、下端が把握されている。方向もN-77～78°-Eで揃う。平坦面はない。

第5区画1号畑 北から西にかけて1号水路があり、南は調査区界となる。東は2号畑と接する。東西幅13.5m、南北長2.0m、面積22㎡ほどの狭い調査範囲である。畝間溝の残存も不良だが、7号道、2号水路に沿って切られており、N-46～56°-Eが示される。第4区画や第5区画の他の畑とも異なる方向である。平坦面はない。

第5区画2号畑 1号水路に沿って南西-北東に延びる狭小な調査区画で、東西長11.95m、南北幅1.9m、面積15㎡ほどしかない。畝間溝は残りが悪く、15条程度しか確認できない。方向はN-83～88°-Eを示し、4号畑と近似する。平坦面はない。

第5区画3号畑 南北は調査区界で切れる。西は第4区画との間を道状遺構に画され、東は4号畑b部と接する。南北長20.5m。東西幅11.38m、面積210㎡。東西方向に走る畝間溝が48条あり、その中央やや南寄りに、他の半分ほどの短い畝間溝が食い違うように切られる箇所があ

る。この北部では長さ11.38m、 $N-89^{\circ}-E$ で溝間44.6cm、南部では10.4mほどやや短く、 $N-86^{\circ}-E$ 前後を示し、畝間もやや狭く39cmほどとなる。中央北部に方形の38号平坦面、南部に円形の39号平坦面がある。

第5区画4号畑 ほぼ中央で平成26年度調査区と27年度調査区が分かれ、若干の空白地があるが、以後の畑とは違って南北にさほどの差がなく、一連の畑として差し支えないと思われるので、北部をa部、南部をb部として記載する。

a部は西部と南部が調査区界、北部は1号水路に接し、東部は北端で8号建物、以南は5号畑と接する。東西最大幅10.65m、南北24.56m、面積200.62㎡。49条の畝間溝が切られており、溝間の平均距離は50.1mと広い。溝方向は $N-85^{\circ}-86^{\circ}-E$ 。南端中央に隅丸方形の40号平坦面がある。

b部は北が調査区界、東西を3号、7号畑に挟まれる。中部が膨らんでいて、東西最大幅13.65mだが北部では9.4mほど、南部は12号石垣およびその直下にある溝に沿って、11m前後から徐々に長さを減じる。南北23.55

m間に48条の畝間溝が切られていて、平均溝間距離は49cmほどとなるが、北部20条では46.5cm、南部20条では52.5cmあって、3号畑とは逆に南部溝間の方が広い。面積は244.63㎡。南端の12号石垣下の溝を切るように、円形の41号平坦面がある。

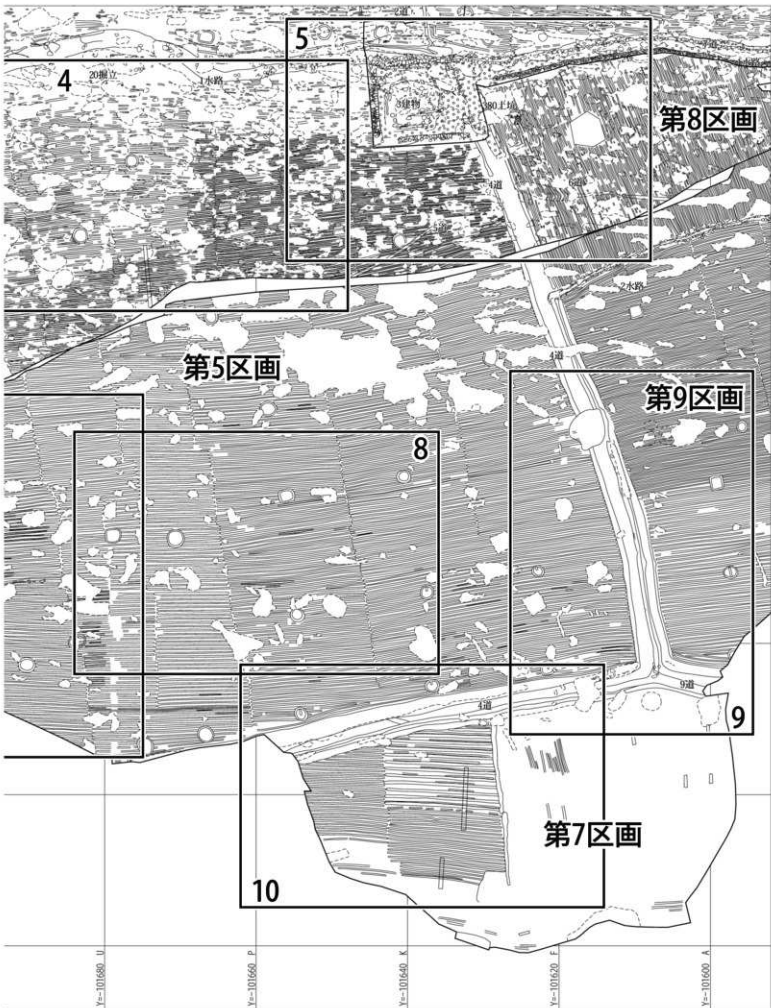
第5区画5号畑 北辺西部は8号建物、東部は1号水路に接する。南部は西辺が4号畑a部東辺の延長上にある7号畑東辺とほぼ一致しているので、7号畑と接するはずだが、調査区界に切られる。7号畑は東西に長く、5号畑東辺相当位置には境界がない。西は4号畑a部、東は6号畑と接する。南端近くでの東西最大幅15.25m、南北長29.3m、面積397.74㎡。畝間溝の残りはさほど良好ではないが、58条が数えられ、溝間の平均距離は50.5cmほどとなるが、北部で残存が悪いせいか60cmほどを示す。北端部では1号水路の走行にさほど関わりなく $N-70^{\circ}-E$ 前後で畝間溝が切られるが、8号建物南辺近くの12条ほどの方向が変化し、8号建物南では $N-85^{\circ}-E$ 、以南では再び $N-67^{\circ}-70^{\circ}-E$ を示す。南部東寄りに42号平坦面がある。



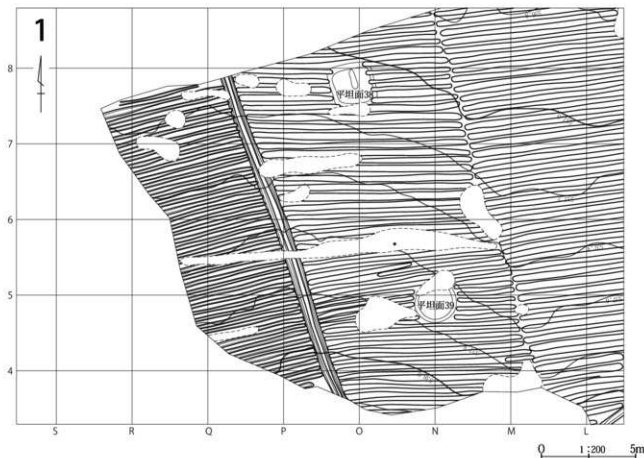
第51図 第2面畑第4～7区画概念図 1/1200



第52図 第2面畑第4～7区画 1/500



0 1 : 500 20m



第53図 第2面畑第4～7区画 部分図1(第4・5区画) 1/200

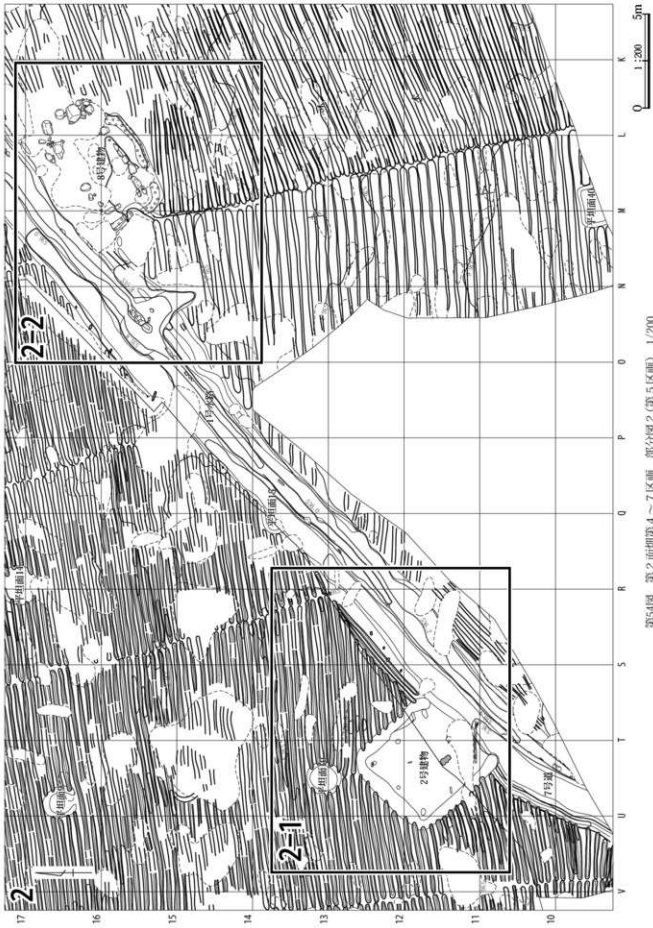
第5区画6号畑 北辺は1号水路に接し、東西を5号畑と8号畑に挟まれる。南部は7号畑東部に接するはずだが、調査区界に切られる。6号畑東辺延長線と7号畑東辺のずれはわずかしかない。東西最大幅10.5m、南北最大長36.65mとやや細長い形状で、面積は347.89㎡ある。畝間溝は81条が数えられ、平均距離は45.2cmほどとなるが、特に北部の残りが悪く、南部20条では30cmほどとなっている。溝方位も、北端では1号水路に沿うようにN-57°-Eを示し、北部四半部でN-64°~70°-Eほどを示すが、中部以南ではN-79°~80°-Eとなる。南部中央近くに43号平坦面がある。また、泥流に流されたと思われる木片が点々と認められる。

第5区画7号畑 北辺は調査区で切れるが、西部は5号畑、東部は6号畑となる。東西は4号畑および10号畑北部に接し、南部は4号石列を介して第6区画と接する。東西25.9m、南北14.6mの横長の区画で、面積は325.05㎡ある。東西に伸びる畝間溝が33条数えられ、溝間の平均距離は44.2cm、中央がやや北に膨らむ弧状をなすが、

N-75°-E前後の方位を示す。南端東部に44号平坦面がある。

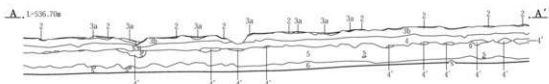
第5区画8号畑 北辺が1号水路に接し、東西を6号畑および9号畑に挟まれる。南辺は調査区界で切られる。最大長39.6m、最大幅20.85mで、面積は763.58㎡ある。東西に走る畝間溝は北部で特に残りが悪いが97条数えられ、溝間の平均距離は40.8cmほどとなる。北辺近くの1号水路沿いでも、畝間溝はこれに沿わず、N-77°-Eほどの角度で切られる。中部ではN-80°-E、南部ではN-82°-E前後と徐々に角度を変える。南部中央やや西寄りに45号平坦面がある。また北部には木片が残され、南西側には泥流削痕と近い方向あるいは直交するような方向に繊維方向をそろえる植物痕跡が認められる。

第5区画9号畑 北辺は1号水路に沿い、西辺は8号畑に接し、東辺は11号畑に接する。南辺は調査区界となる。最大長39.55m、最大幅16.40mで、面積は621.57㎡ある。東西に走る畝間溝は8号畑に近い様相を見せる。北部で特に残りが悪いが87条数えられ、溝間の平均距離は45.5



第5図 第2面加第4～7区画 部分図2(第5区画) 1/200

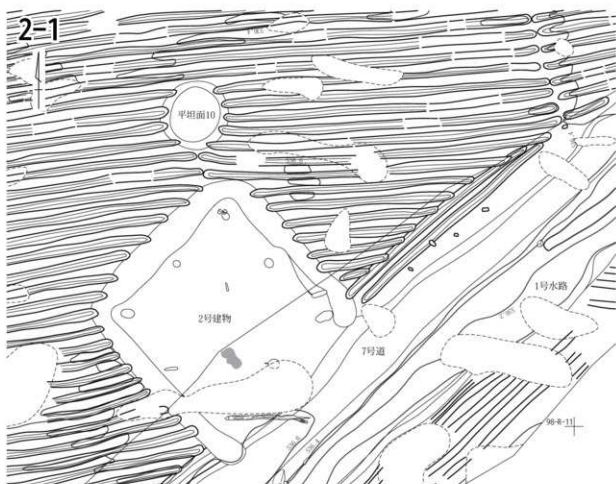
第2章 調査された遺構と遺物



1. As-A.
 2. 青褐色土。
 3. 青灰褐色土 5B6G/1.
 - 3'. 浅黄褐色砂 10YR9/4 下層4面畑の畝間に堆積した洪水砂層。
 4. 黒褐色土 白少量含む。
 - 4'. 浅黄褐色砂 10YR9/4 下層4面畑の畝間に堆積した洪水砂層。
 5. 暗褐色土 白少量含む。砂礫含む。
 6. 黒褐色土 白わずかに含む。
 7. 暗褐色土。
- ※ 上層図と上層観望所見が整合しない。他の断面を参照すると、1層とされており断面図中に表記のないものが天明記流、2層がAs-A降下軽石、3a(3)層が土質境界にあって還元した層、3b(3')層が2面畑の耕作上に相当すると思われる。

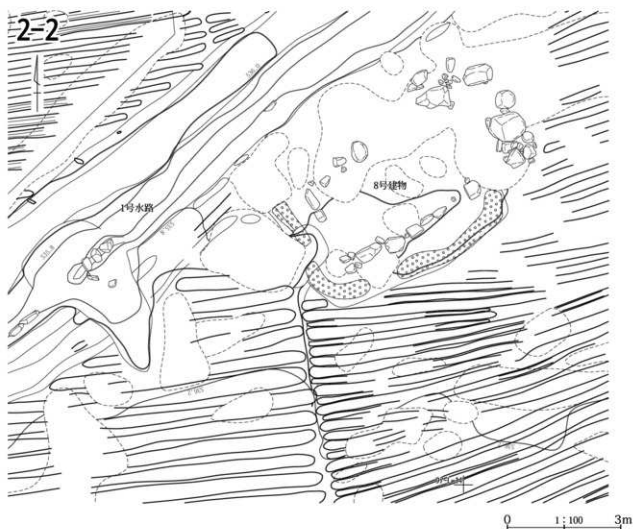
0 1:60 2m

第55図 第2面畑セクション6 1/60



0 1:100 3m

第56図 第2面畑第4～7区画 部分図2-1(第5区画) 1/100



第57図 第2面畑第4～7区画 部分図2-2(第5区画) 1/100

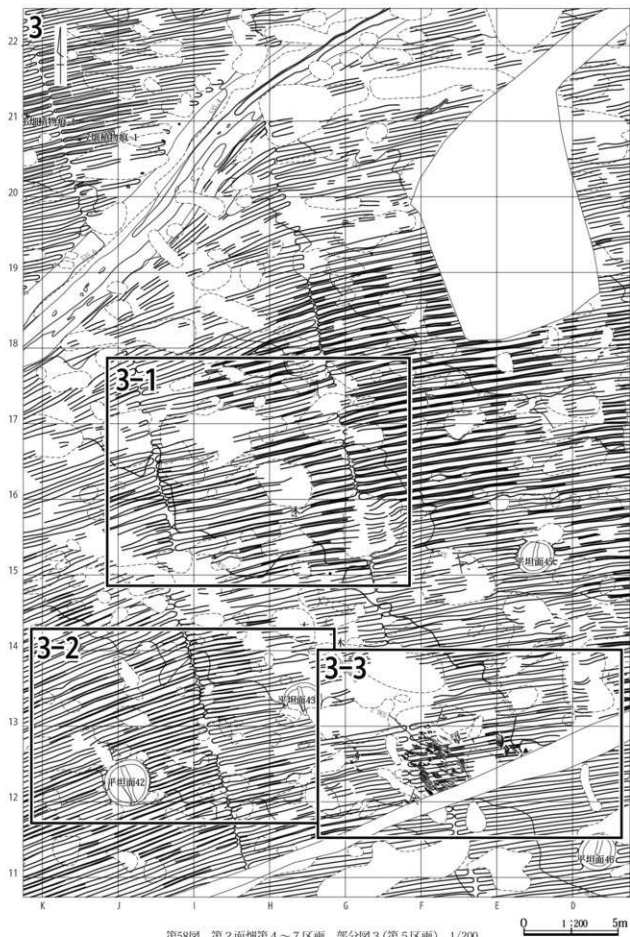
cmほどとなる。北辺近くの1号水路沿いでも、畝間溝はこれに沿わず、 $N-77^{\circ}-E$ ほどの角度で切られる。中部では $N-84^{\circ}-E$ 、南部では $N-85^{\circ}-E$ 前後とわずかに角度を変える。中央近くに48号平坦面、南部西寄りに49号平坦面がある。

第5区画10号畑 東西最大幅30.25m、南北最大長40.25m、面積の範囲であるが、短い畝間溝が直列する部分や石列があって、後述する21号、23～25号畑のような明瞭な境界は認められないが、6つの小部分に分かれるものと思われる。

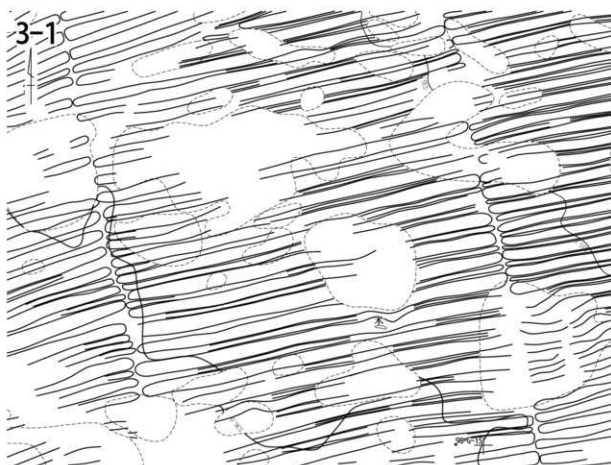
10号畑北端では南北の調査区が接していて、図上では連続的に捉えられるにもかかわらず、北部では8・9号畑に別れるはずの畝間溝が連続している(a部)。10号畑西辺北端は8号畑西辺南端より1.5m東により、10号畑東辺北端は9号畑東辺南端より3.3mほど西による。10号畑北端の畝間溝長は29.25mほどで8号、9号畑を合

わせた長さよりだいぶ短くなる。ただし方位は $N-84^{\circ}-E$ と9号畑南端とごく近い方向を示す。a部の畝間溝間隔は43.5cmほどが示される。

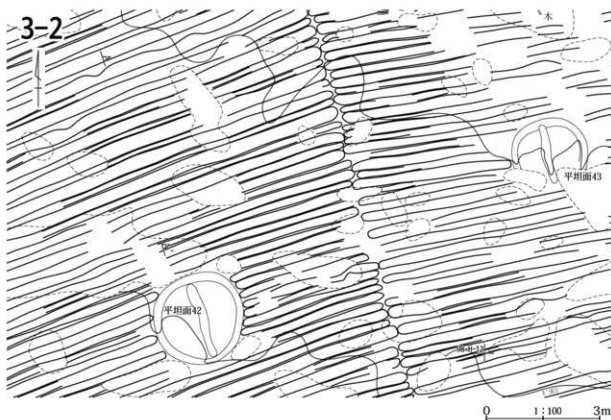
その南では南北7.4mに渡って、西側26条、東側24条の畝間溝が並ぶ部分がある。西側(b部)は畝間溝長13.9m、 $N-83^{\circ}-E$ で溝間距離28.5cm、東側(c部)は長15.38m、方位 $N-85^{\circ}-E$ 、溝間距離30.8cmである。さらにそこから22条ほどは畝間溝が再び連続して延びる(d部)。東辺が東にやや膨らむため、畝間溝長は30.25mに達する。方位は $N-87^{\circ}-E$ 、溝間距離は33.2cmほどである。中央よりやや南には5号石列が延びるが、石列の北2～3条では畝間溝の終端が畑の境界をなして東西に二分され、これが南端まで続く。西側(e部)は南部で第6区画が東に張り出すため畝間溝長は12.1mほどと短い。方位は $N-84^{\circ}-E$ 、溝間距離は46.8cmとなる。東側(f部)は畝間溝長15.3m、方位 $N-88^{\circ}-E$ 、溝間距離47.5cmある。



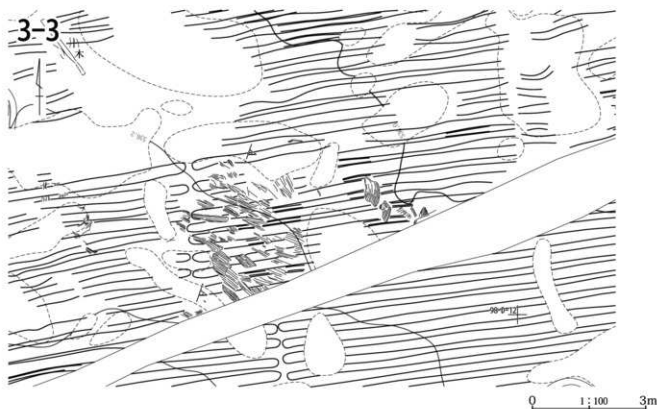
第58図 第2面畑第4～7区画 部分図3(第5区画) 1/200



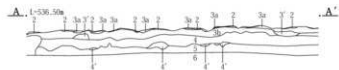
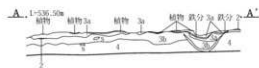
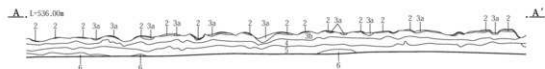
第59図 第2面畑第4～7区画 部分図3-1(第5区画) 1/100



第60図 第2面畑第4～7区画 部分図3-2(第5区画) 1/100



第61図 第2面畑第4～7区画 部分図3-3(第5区画) 1/100



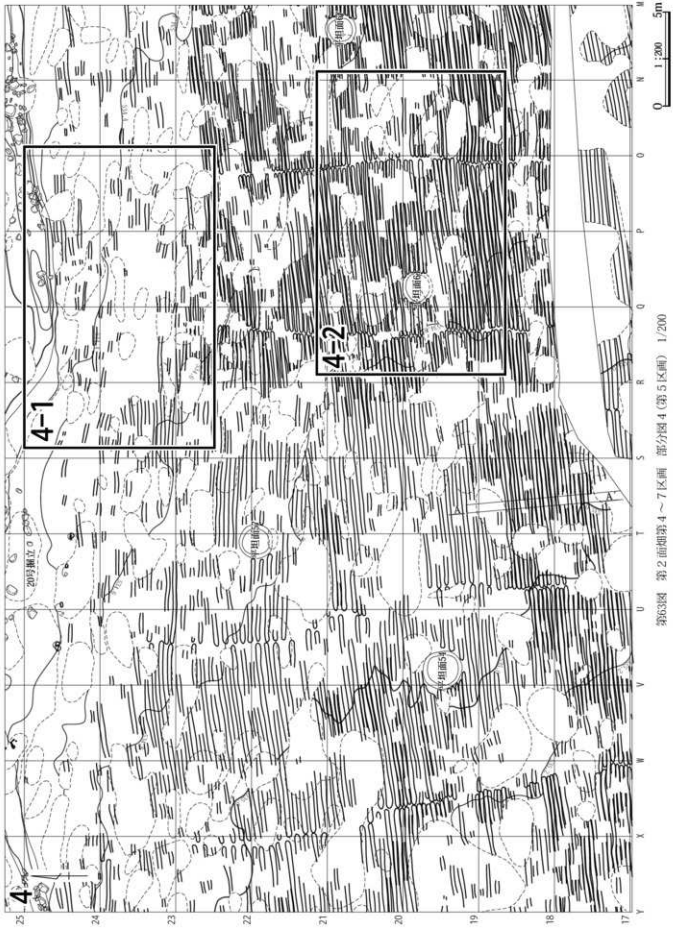
1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 上部に鉄沈着ある青灰色に変色した層。軽石粒、小石混じり。
- 3b. 褐色土 わずかに軽石、小石含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 3層小ブロック、5層ブロック混在。黄色細砂ブロック状に含む。
5. 黒褐色土(10YR3/2) しまり、粘性あり。黄色細砂ブロック含む。
6. 灰黄褐色土(10YR5/2) 粘性強い、5層土混じり。

1. As-A。
2. 青褐色土。
3. 青灰褐色土 5R6.4/1。
- 3'. 浅黄褐色砂 10YR9/4 下層4面畑の畝間に堆積した洪水砂層。
4. 黒褐色土 白少量含む。
- 4'. 浅黄褐色砂 10YR9/4 下層4面畑の畝間に堆積した洪水砂層。
5. 暗褐色土 白少量含む。砂礫含む。
6. 黒褐色土 白わずかに含む。

※ 土層図と土層観察所見が整合しない。他の断面を参照すると、1層とされてい断面図中に表記のないものが天明泥流、2層がAs-A降下軽石、3a(3)層が上質境界にあって還元した層、3b(3')層が2面畑の耕作土に相当すると思われる。

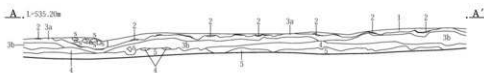
0 1:60 2m

第62図 第2面畑セクション7 1/60



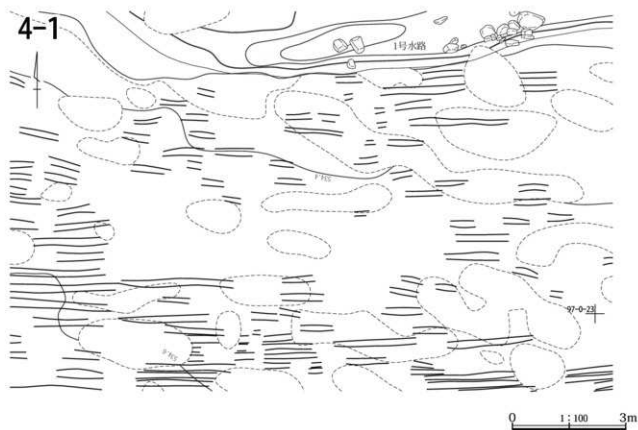
第33図 第2面地質4～7区画 部分地4(第5区画) 1/200

第2章 調査された遺構と遺物

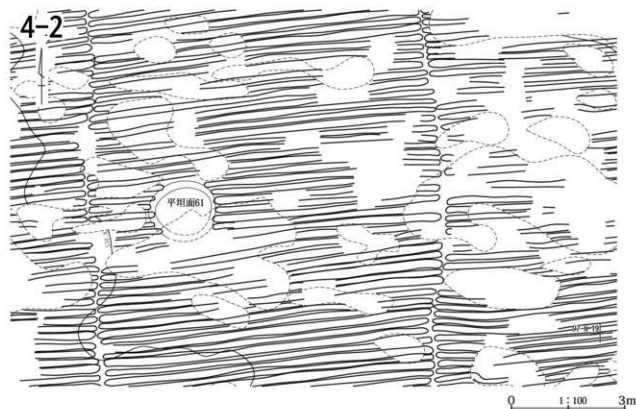


1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 上部に鉄沈着のある青灰色に変色した層。軽石粒、小石混じり。
- 3b. 褐色土 わずかに軽石、小石含む。
4. 灰黄褐色土(10YR4/2) 3b層小ブロック、5層ブロック混土。黄色細砂ブロック状に含む。
5. 黒褐色土(10YR3/2)しまり、粘性あり。黄色細砂小ブロック含む。

第64図 第2面畑セクション8 1/60



第65図 第2面畑第4～7区画 部分図4-1(第5区画) 1/100



第66図 第2面畑第4～7区画 部分図4-2(第5区画) 1/100

横長のa部、d部と、東側のc部、f部では畝間溝の方向がN-85～88°-Eと9号畑からの連続を思わせる溝方向が示され、西側のb部、e部ではN-83～84°-Eと8号畑からの連続を思わせる。なお、b部北端中央に46号、c部北端中央近くに50号、d部南端に東西に並んで47・51号平坦面があり、f部中央南寄りに52号平坦面がある。また、f部東辺北寄りに12号畑にまたがって53号平坦面がある。

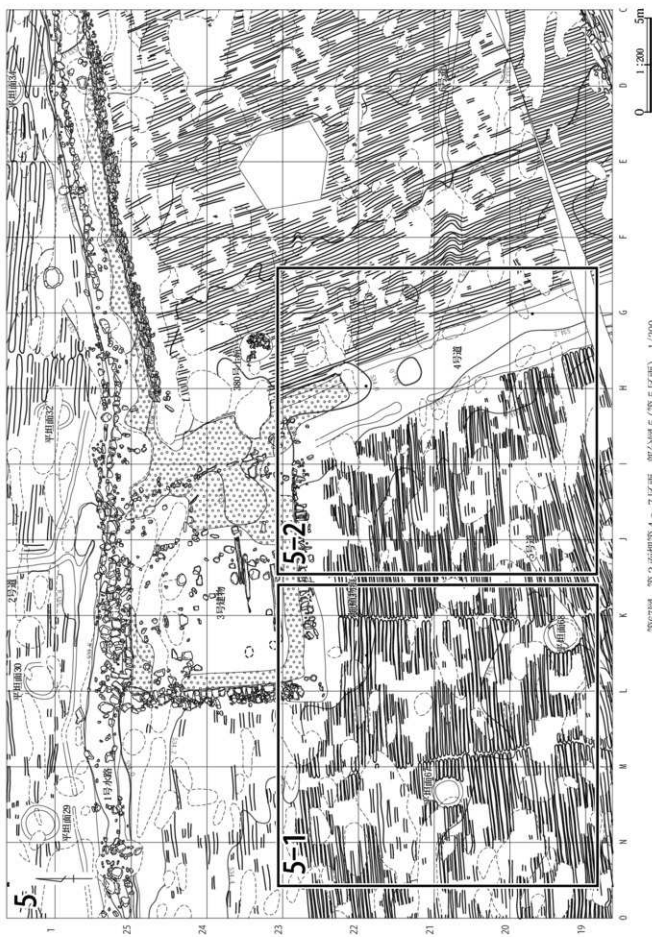
5号石列 97-V-8から98-A-7グリッドにかけて、延長15.7m、N-82°-Eに延びる石列。1石が並ぶのみで、積み重ねられていない。51号平坦面近くでいったん切れ、2.6mほどの間隔を置いて西側8.5m、東側4.5mの長さで直列する。10号畑d部境界からe部・f部にまたがるが、畑の中間にあって、かつ畝間溝の方向とはわずかながら斜行する。e-f部間にあっては、d部との境をなすべき畝間溝端部がこの石列の北3条まで認められていて、区画としての機能は乏しいものとする。さらに、各石は畝間溝上に置かれていて、作物収穫後の配列を思わせる。

第5区画11号畑 北辺が1号水路に沿い、西は9号畑、東は14号畑に接する。北東端に20号掘立柱建物がある。東西両辺は中部で東にややずれを見せる。南部は調査区

界に切られているが、ほとんど12号畑と接する状態にある。東西最大幅10.48m、南北最大長37.4mと南北に細長い形状で、面積は397.71㎡ある。畝間溝は80条以上が数えられ、平均距離は45cmほどとなるが、特に北部の残りが悪く、南端20条を採ると38cmほどとなっている。溝方位は比較的揃っておりN-84°-Eほどを示す。中央南東寄りに54号平坦面がある。

第5区画12号畑 北辺は調査区界であり、北の9号畑と11号畑の境界が北辺中央近くに当たる。西辺は10号畑に接していて、中央やや北寄りで東側にはらみ出すように湾曲する。東辺は15号畑に接するが、途中2段階で東側に屈曲して張り出す。南部は13号畑に接するが、境界部の畝間溝は一段深く掘削されて明瞭に残る。東西最大幅12.5m、南北最大長49mと縦に細長い形状で、面積は510.75㎡ある。畝間溝は95条が数えられ、平均距離は51.6cmほどとなる。溝方位は、北部ではN-84～86°-Eを示し、南部ではN-87～89°-Eとなる。中央やや東寄りに55号平坦面が、西辺南寄りには10号畑f部にまたがって53号平坦面がある。

第5区画13号畑 調査区南端にある狭小な区画である。北辺はやや深い耕作溝を介して、西部が12号畑、東半



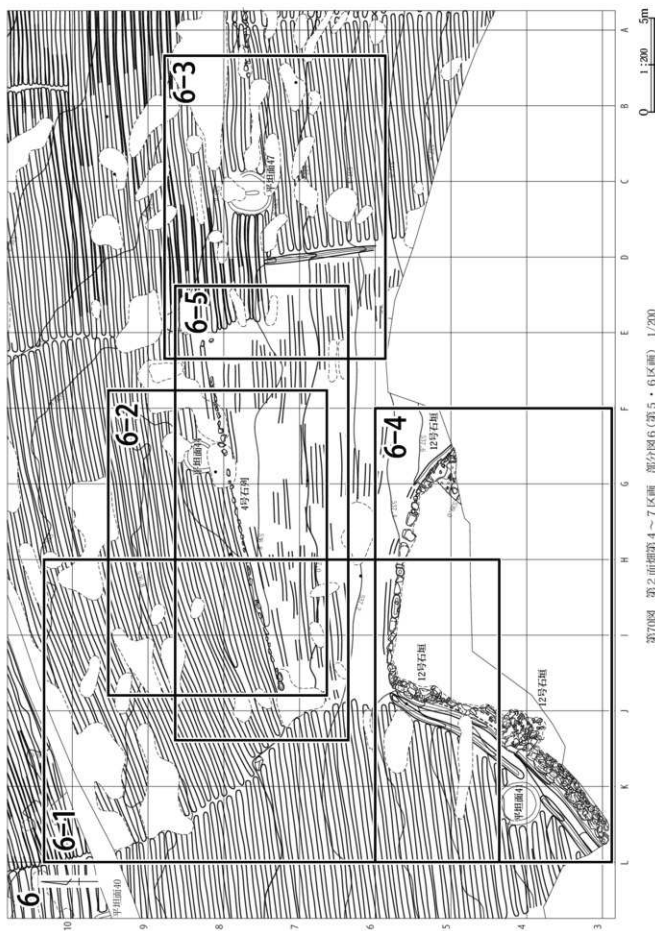
第367図 第2面知第4～7区画 部分図5(第5区画) 1/200



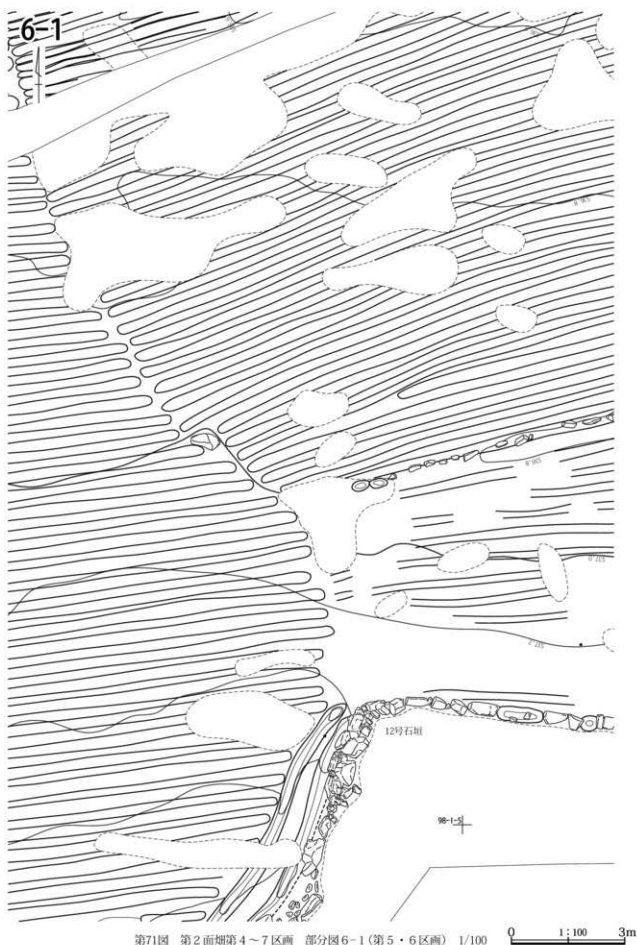
第68図 第2面畑第4～7区画 部分図5-1(第5区画) 1/100



第69図 第2面畑第4～7区画 部分図5-2(第5区画) 1/100

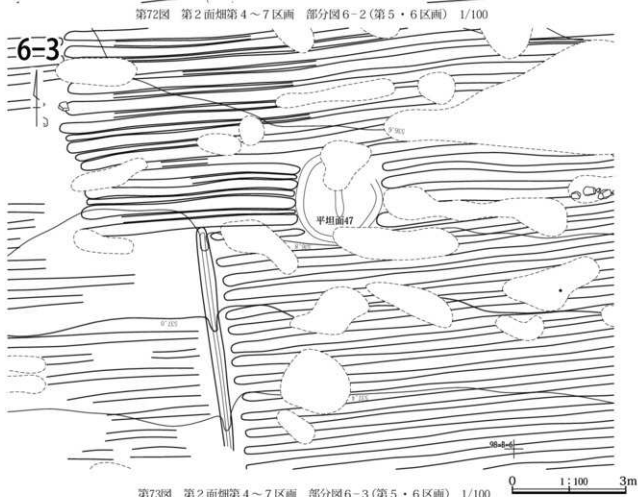
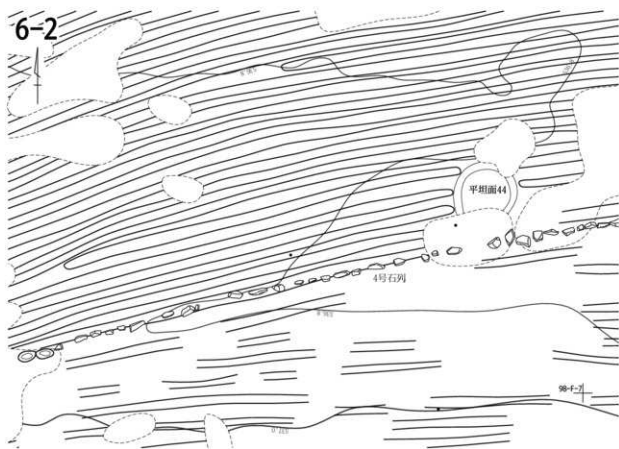


第700図 第2面図第4～7区画 部分図6(第5・6区画) 1/200



第71図 第2面畑第4～7区画 部分図6-1(第5・6区画) 1/100

0 1 100 3m



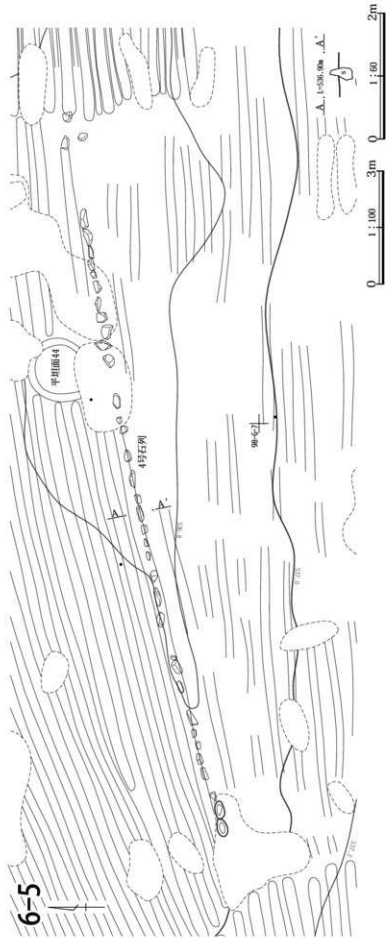


第74図 第2面図第4～7区画 部分図6-4 (12号石垣) 1/100・1/60



0 1:60 2m

第75図 第2面畑第4～7区画 12号石垣立面 1/60

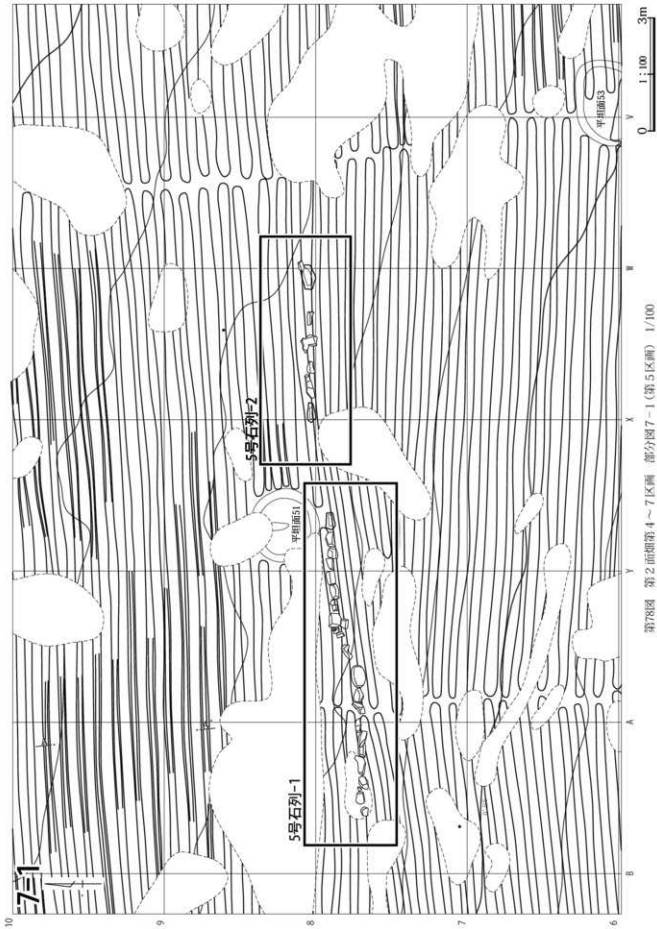


0 1:100 3m 0 1:60 2m

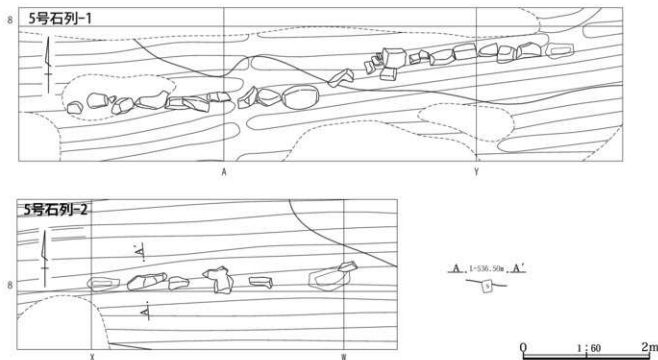
第76図 第2面畑第4～7区画 部分図6-5(4号石列) 1/100・1/60



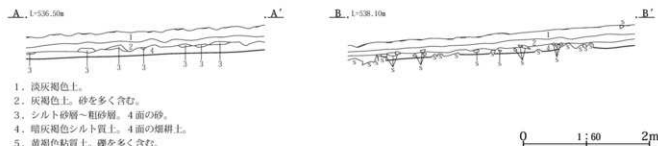
第77図 第2面図第4～7区画 部分図7(第5区画) 1/200



第78図 第2面部分第4～7区画 部分図7-1(第5区画) 1/100



第79図 第2面畑第5区画5号石列 1/60



第80図 第2面畑セクション9 1/60

が15号畑と接する。東西は10号、18号畑に挟まれるが、西辺は12号畑西辺の、東辺は15号畑東辺の延長である。南は第7区画との境界をなす細い溝で画される。南北7.1m、東西20.9m、面積117㎡。畝間溝の方位はN-88°-Eを示して、12号、15号畑と変わらない。南端に東西に並んで56号、60号平坦面がある。

第5区画14号畑 北辺西部は20号掘立柱建物に接し、以東は1号水路に接する。東西を11号畑と16号畑に挟まれる。南部は調査区界に切られる。東西最大幅16.85m、南北最大長31.55mとやや幅広の形状で、面積は459.43㎡ある。畝間溝は67条が数えられ、平均距離は47cmほどとなるが、特に北部の残りが悪い。南部20条は非常に詰まっていて、22cmほどとなっている。溝方位は、北部ではN-89°-Eを示し、南部ではN-84°-Eとなる。中央西寄りに57号平坦面がある。

第5区画15号畑 北辺は調査区界に当たるが、11号、14号畑とごく近い。両畑の境界線が北辺の中央やや西寄りに当たる。西辺は12号畑との境界で、2段の階段状を呈して東にずれるが、17号畑との境界となる東辺は北部で一回だけ屈曲して、以南は東へ徐々に広がる。南部は13号畑に接する。東西最大幅12.34m、南北最大長53.70mと北部より幅の狭い、細長い形状で、面積は553.24㎡ある。畝間溝は104条が数えられ、平均距離は51.6cmほどとなる。北部で11.2m、南端では12.1mほどの長さがある。溝方位は、N-89°-Eで揃う。中央西寄りに59号平坦面がある。

第5区画16号畑 北辺は1号水路に接し、東西を14号畑と19号畑に挟まれる。南部は調査区界に切られる。東西最大幅9.1m、南北最大長26.45mと南北に細長い形状で、面積は222.09㎡ある。畝間溝は61条が数えられるが、特

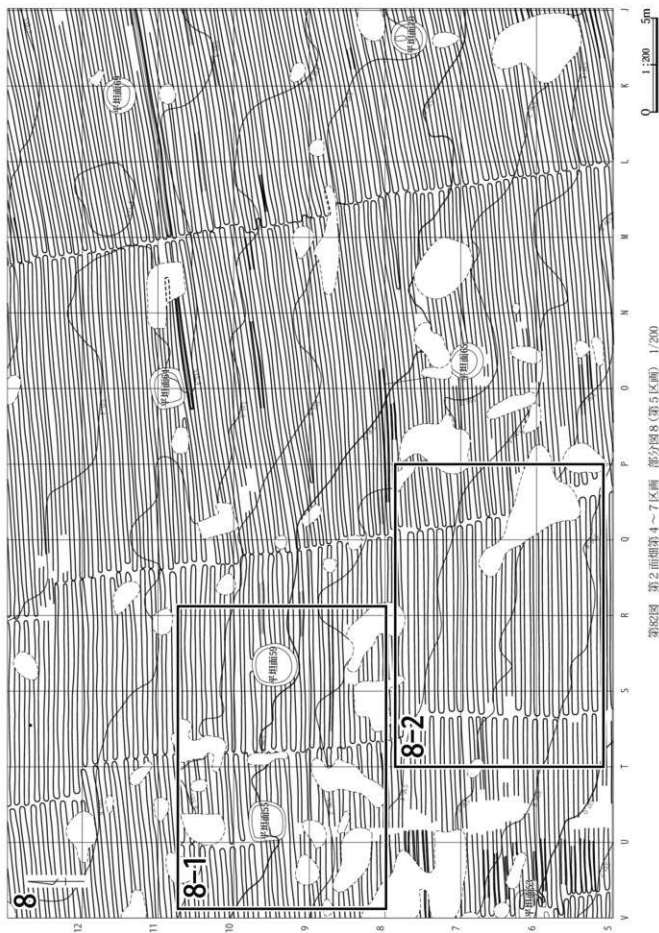


第81図 第2面畑第4～7区画 部分図7-2(第5区画) 1/100

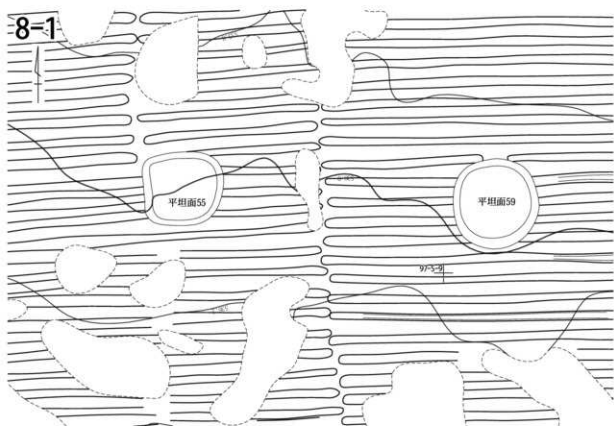
に北部の残りが悪く、南部20条の畝間溝間距離は25cmほどとごく密である。溝方位はN-83°～84°-Eで揃う。南部西寄りに61号平坦面がある。

第5区画17号畑 西を15号畑、東を21号、24号畑と接する。東西最大幅18.6mと比較的幅広く、南北最大長53m、面積は922.79㎡ある。畝間溝は114条が数えられ、平均距離は46.5cmほどとなる。溝方位は、北端近くではN-83°-Eを示すが、以南ではN-85°～86°-Eで揃う。北西端に62号平坦面があるほか、中央近くに南北に並ぶように63～65号平坦面がある。

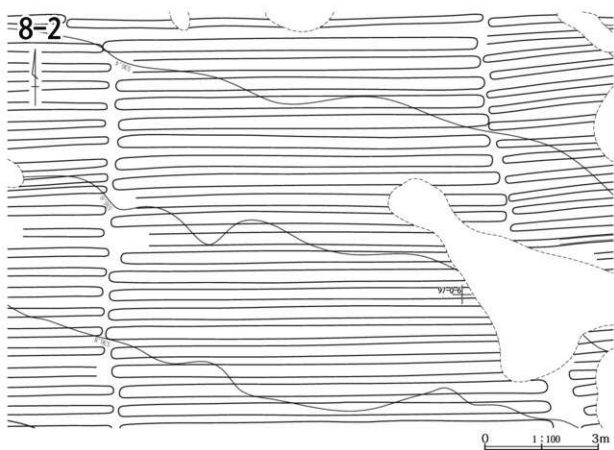
第5区画18号畑 北辺西部は17号畑、東部は25号畑西半に接する、長い畝間溝である。東西を13号畑と25号畑に挟まれる。南部は4号道北側の溝で界される。東西最大幅28.95m、南北最大長3.7mであるが、東辺は1.7mほどしかない。東西に細長く狭い台形状で、面積は79.33㎡である。畝間溝は西側8条、東側5が数えられ、平均距離は40cmほどとなる。西側南端の畝間溝は4号道のカーブに合わせて湾曲する。おおよその溝方向はN-85°-E。西端近くに66号平坦面、東端近くには25号畑に食い込むように71号平坦面がある。



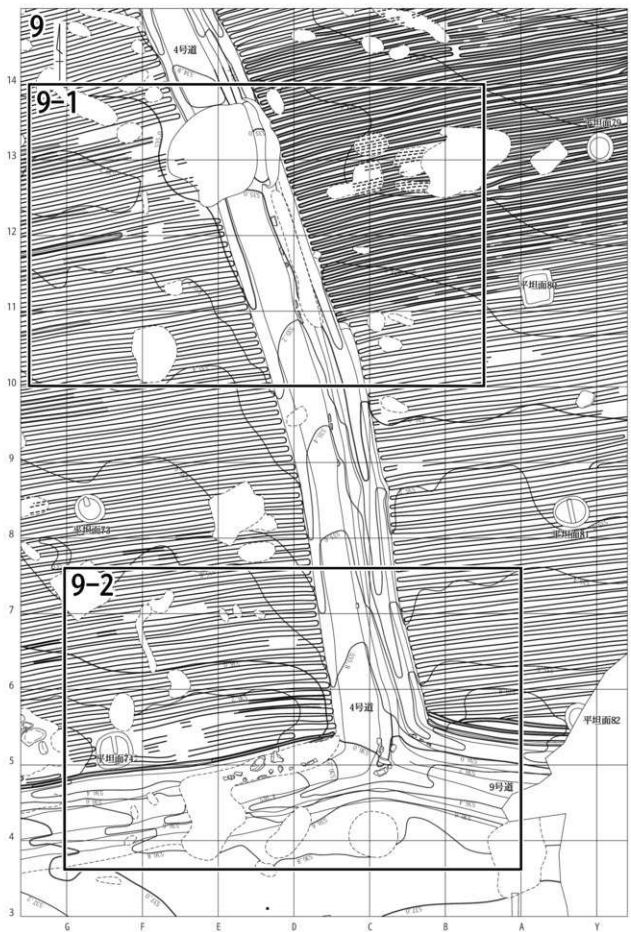
第82図 第2面図第4～7区画 部分図8(第5区画) 1/200



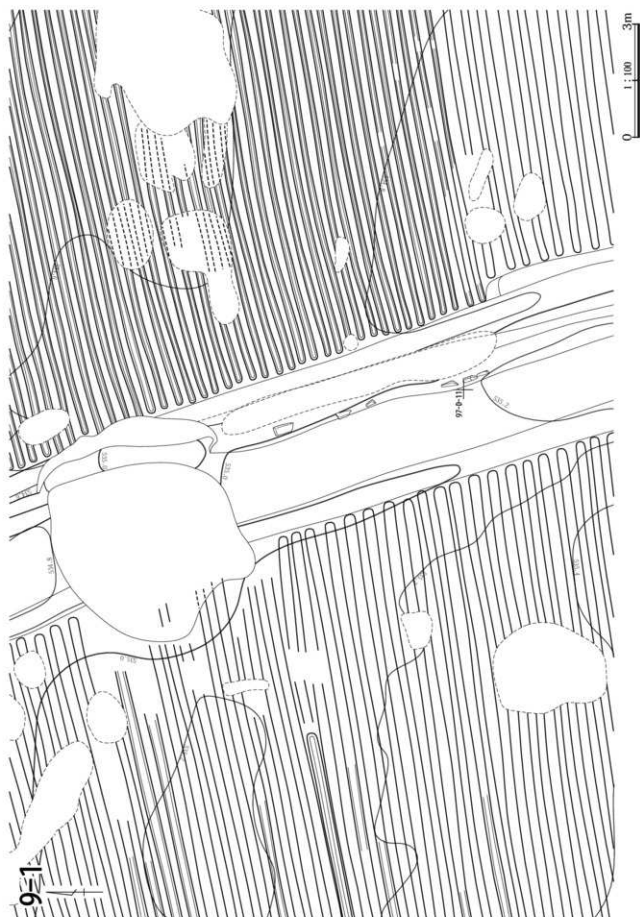
第83図 第2面畑第4～7区画 部分図8-1(第5区画) 1/100



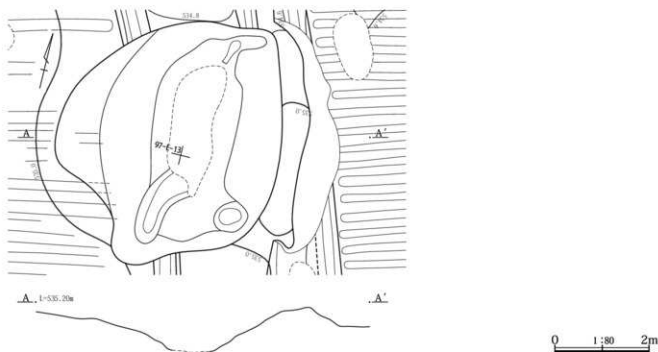
第84図 第2面畑第4～7区画 部分図8-2(第5区画) 1/100



第85図 第2面図第4～7区画 部分図9(第5・7・9区画) 1/200



第86図 第2面細部4～7区画 部分図9-1(第5・9区画) 1/100



第87図 4号地1号落ち込み 1/80

第5区画19号畑 北辺は1号水路に接し、東西を16号畑と20号畑に挟まれる。南部は調査区界に切られる。東南端に5号道が一部かかって北東に延びる。東西最大幅9.6m、南北最大長26.2mと細長い長方形で、面積は245.12㎡ある。畝間溝は59条が数えられ、平均距離は44.4cmほどとなる。溝方位はN-82°-Eとなる。中央南東寄りに67号平坦面がある。

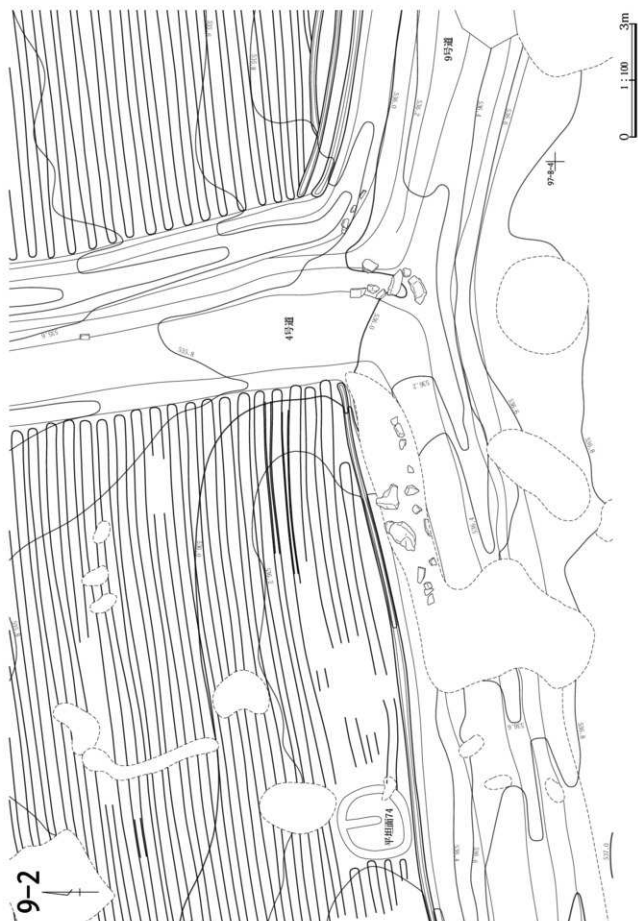
第5区画20号畑 北辺西部は1号水路、東部は3号建物に接する。西は19号畑と接し、東側は北部に3号建物があり、南部は22号畑と接する。南西端から北東方向に5号道が横切る。南部は調査区界に切られる。東西最大幅8.18m、南北最大長26.90mと北辺がやや長く細長い台形状で、面積は171.37㎡ある。畝間溝は55条が数えられるが、特に北部の残りが悪く、南部20条では39.5cmほどとなっている。溝方位も、中央北寄りでN-87°-E、南部ではN-78°-Eとなる。東辺南端近くに接するように68号平坦面がある。

第5区画21号畑 北辺は調査区界を介して西部は19号畑、東部は20号畑と接する。後述するように、畝間溝間距離では19号畑に、方位では20号畑に近いが、図上では畝表現の違いも大きく、どちらかの畑と連続するようには見えない。19号、20号畑にある5号道は推定延長部が

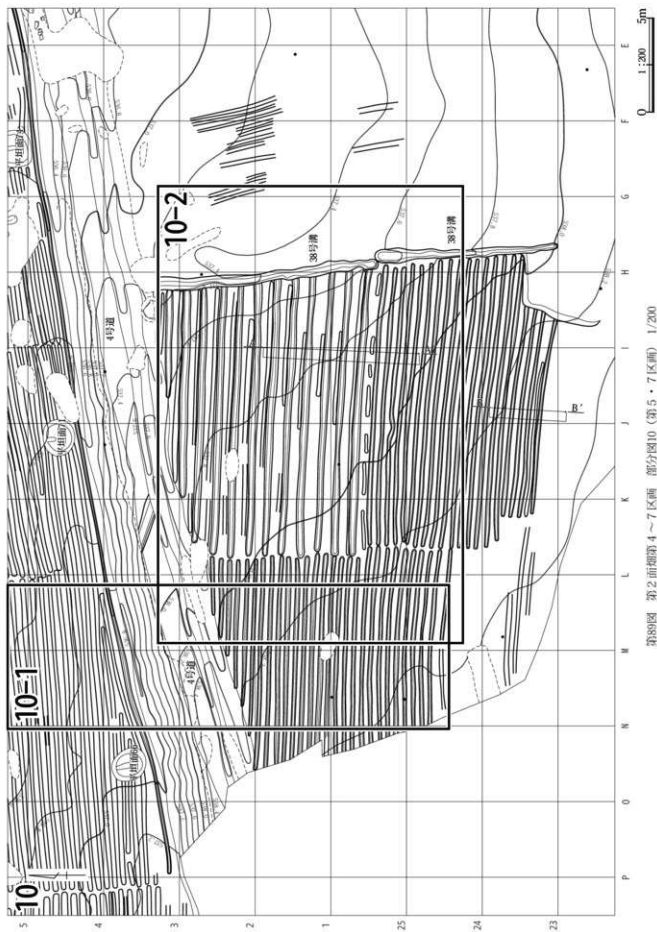
泥流痕跡にあたって把握できない。西は17号畑、東は23号畑、南部は24号畑に接する。東西最大幅16.7m、南北最大長34.92mの南北に長い長方形で、面積は563.81㎡ある。畝間溝は79条が数えられ、溝間距離、方向ともに比較的揃っている。溝間平均距離は44.2cmほど、溝方位は北端でN-76°-E、中部、南部でN-79°-Eを示す。南部には東の23号畑西部まで連続するやや深い畝間溝があって、10号畑のようにさらに細分される可能性もあるが、溝間距離、方位ともに南北で差がない。南寄り中央近くに69号平坦面がある。

第5区画22号畑 北辺は3号建物に接する。西辺は20号畑、東辺は4号道に接する。南辺は調査区界で23号畑と画されるものとしたが、東辺がともに4号道であり、西辺南端と24号畑西辺北端想定線はごく近い。図上では差違が目立つが、同一畑であった可能性もなしとしない。西南から北東方向に畝間溝と斜行して5号道が横切るが途中で把握できなくなる。東西最大幅13.4m、南北最大長16.5mと南西部がやや膨らんだ台形状で、面積は195.31㎡ある。畝間溝は40条が数えられ、溝間の平均距離は41.25cmほどとなっている。溝方位は、北部でN-86°-E、南部ではN-75°-Eとなる。平坦面はない。

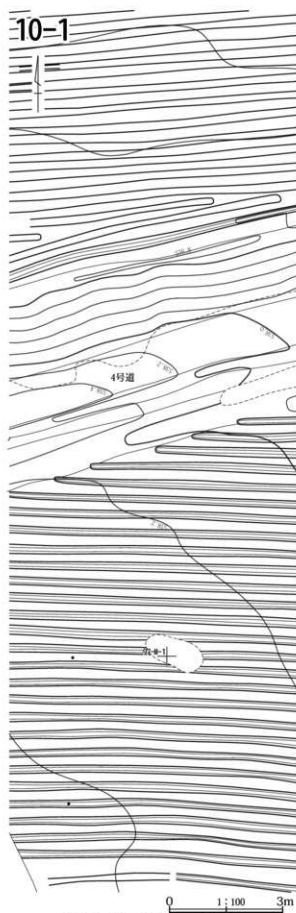
第5区画23号畑 北辺は調査区界を介して22号畑と接す



第888図 第2面跡第4～7区画 部分図9-2(第5・9区画) 1/100



第38図 第2面地第4～7区画 部分図10 (第5・7区画) 1/200



第90図 第2面畑第4～7区画
部分図10-1(第5・7区画) 1/100

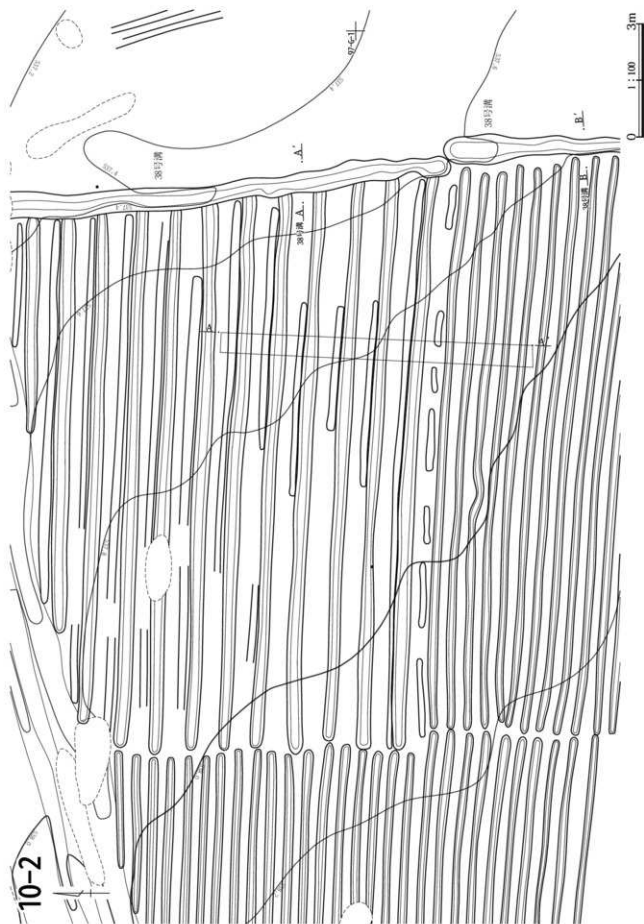
る。先述のように、同一畑であった可能性もなしとしない。西は21号畑、東は4号道、南部は24号畑に接する。東西最大幅17.4m、南北最大長34.7mの南北に長い長方形形状で、面積は533.62㎡ある。畝間溝は76条が数えられ、溝間距離、方向ともに比較的揃っている。溝間平均距離は45.7cmほど、溝方位は北端でN-78°-E、中部、南部でN-80°～82°-Eを示す。南部に21号畑まで連続するやや深い畝間溝があるが、溝間距離、方位ともに以北と差がないことは21号畑と同じである。北寄り中央近くに72号平坦面がある。なお、4号道にかかって1号落ち込みがあるが、東側が盛り上がる断面形状から見て、泥液に含まれた礫の衝撃による変形、地表面の攪乱であって、人為的なものではないと考える。

第5区画24号畑 北辺は21号、23号畑に接するが、畝間溝が両畑を繋ぐ長い畝間溝が現れるのみで、明確な境界を持たない。西は17号畑、東を4号道と接する。南部は西側が18号畑、東は25号畑となる。東西最大幅34.4m、南北最大長17.2mと東西に長い長方形形状で、面積は606.83㎡ある。畝間溝は37条が数えられ、南端近くでは短く途切れるものが見られるが、溝間距離、方位ともに揃っている。平均距離は46.5cmほど、N-81°-Eである。北部に東西に並んで70号、73号平坦面がある。

第5区画25号畑 北辺は24号畑、西辺は18号畑に接し、東辺と南辺は4号道に画される。東西最大幅22.1m、南北最大長2.6mと東西に細長い形状で、面積は48.04㎡ある。畝間溝5条で、平均距離は52cmほどとなる。方位は北端ではN-81°-E前後である。中央に74号平坦面がある。

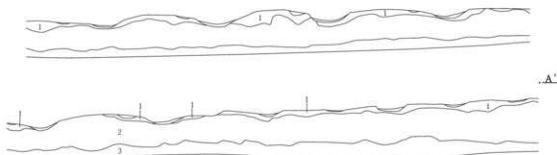
第6区画 調査区南端にある。北辺は4号石列を介して第5区画7号畑と接し、西辺は4号畑b部東辺の膨らんだ部分に接する。東辺は南部で10号畑e部に食い込むように張り出し、この部分は南北方向の溝で画される。南辺は東部が調査区外となるが、西部は12号石垣で界されている。北辺26.5m、南辺20.5m、東辺14.6m、西辺11.1mで、面積は199.73㎡ほどである。ちょうどこの区画の上面のみが削平されており、畝間溝の残りがすこぶる悪い。17条程度を数えられる。南東部8条間が4mほどであるので、畝間溝間は50cmほどとなるうか。平坦面は確認できない。

12号石垣 第5区画4号畑b部南辺から第6区画南辺

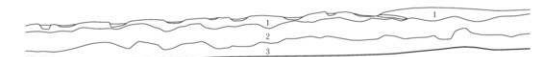


第91図 第2面跡第4～7区画 部分図10-2(第7区画) 1/100

A, L=538.10m



B, L=538.80m



1. 灰褐色砂質土。
2. にぶい褐色砂礫混土。

3. 暗灰褐色土。シルト質で、砂礫を多く含む。炭化物を少量含む。

※ Bセクションは、Aに比べて砂礫の量が多く、特に敵のない南端では2層がブロック混土状でこなれていない。また、層厚も薄く、3層との境はでこぼこしており、耕作期間が少ないように見える。

0 1:60 2m

第92図 第2面畑セクション10 1/60

A, L=537.70m



B, L=538.00m



0 1:60 2m

第93図 38号溝高低図 1/60

にかけて築かれた石垣で、調査担当者によると、この石垣の上部に発掘調査前まで使用されていた石垣が重ねられていたとのことである。天明泥流下の地割りが現代まで踏襲されていたことを示す事例である。第5区画4号畑b部との境界は、北東から南西に15mほどの長さで延び、調査区外に延長する。方位はN-39°-Eを示すが、中部が東側に湾曲する。基部は比較的大きな角礫を横積みになっているが、上部はかなり崩れて、中小型の礫がランダムに積まれたような状況を示す。最大高2.2mほどある。第6区画との境界で屈曲し、東へ延びる。石垣の脇には幅40cmほどの浅い溝が設けられる。屈曲部近くの基部には比較的大きな角礫が用いられる。第6区画南端部の石垣は長さ13.4mほどで調査区外にさらに延びる。方位はN-105°-Eほどだが、北側にやや膨らむ。比較的残りの良い部分では横長の礫を6段、1mほどの高さで

積む様子が見られる。この部分の石垣下にも、幅の狭い溝があったらしい。

4号石列 第5区画7号畑と第6区画を区分する石列で、98-E-8～I-7グリッドにかけて、18.8mに渡って延びる。西端は2石分が抜けた痕跡として捉えられ、これから東に、N-73°-E方向で36石が断続的に置かれる。複数段で積まれることはないが、各石は基部を埋め込まれる。

第7区画 調査区南端にある。北辺は4号道で画され、他の三方は調査区界である。東西に大きく二分され、西部は東西方向の畝間溝を持つ畑で、北西部には明瞭な畝間溝を持つ畑が2枚ある。西南部ではこの畑が認められなくなり、1号畑南部に同方向に走行する畝間溝の痕跡がわずかに3条、2号畑南端の畝間溝からやや離れて、1～2条の畝間溝痕跡が残されるのみとなる。南端近くの畝間溝痕跡は38号溝の延長想定線を越えて東に延びて

第2章 調査された遺構と遺物

いる。38号溝より東の部分では、明確に畑として捉えられる遺構はさらに乏しく、南北方向に走る畝間溝痕跡が北部に11条まとまってあり、中部でも2条確認されている。また、東南部では西部から連続するように東西方向に伸びる畝間溝痕跡があって、より複雑な地割りがあったことを思わせる。土層断面には畝間溝痕跡の乏しい東南部が1・2号畑部分の残りより一段高くなっていたことが示される。平面図には図示されておらず、写真記録でも細部観察ができないため詳細を表現できないが、この部分の基本土層断面にはAs-A降下後にこれをすき込んで耕作した際の耕作具痕が記録されている。この耕作具痕は東部でも広く見られ、As-A降下後に耕作行動があったことを示すものである。調査担当者によると、As-A降下に対応した復旧的行動、As-A降下に対応して新たな畑を拓こうとした復興的行動、収穫後の畑を後作のために耕すという通常の農作業の合間にAs-A降下があったという3様の解釈が想定されたとのことであった。

以下、北西部の畑について記載する。

第7区画1号畑 北辺は4号道、東辺は2号畑に接する。西辺は調査区界となる。南側は明確な境界を持たずに畝間溝が確認できなくなり、調査区界に至る。はっきりと確認できる畝間溝は28条あり、この部分までの南北長は12.7mある。4号道に規制された短いものを除くと、両端が明確な畝間溝はなく、確認最大長は11.2mであった。この範囲の面積は122.73㎡、溝間の平均距離は45cmほどとなる。畝間溝は東西に走り、方位はN-86°-88°-Eで揃う。4号道際に至っても走行は変化せずに以南の畝間溝と平行を保つ。平坦面はない。

第7区画2号畑 北辺は4号道、西辺は1号畑に接する。東は38号溝で以東と画される。南東隅は切り欠くように削り込まれている。南側は明確な境界を持たずに畝間溝が確認できなくなり、調査区界に至る。東西最大幅15.6m、畝間溝が確認できる範囲での南北長20.7m、面積289.48㎡ある。畝間溝の方位はN-86°-88°-Eで、4号道沿いでも走行が変化しないなど、1号畑と共通する。しかし南北では様相がやや異なる。北部は畝間溝間隔が広く、10条で8.6m、溝間距離86cmほどになり、畝上の平坦面も捉えられている。南部20条を計測すると9mあり、溝間距離は45cmとなる。南北の境界には特別な構造を認めたいが、38号溝が途切れる部分と合致する。南

北二つの異なる畑とすべきかもしれない。

(4) 第8区画・第10区画

調査区東南部にある。北辺は1号水路、南辺は2号水路、西辺は4号道、東辺は8号道であり、地割り全体が把握できる。東西に細長い区画だが、畝間溝は他の多くの畑とは異なって南北方向に切られる。東部に短い石列と溝があって、これを境として畝間溝方向が変化するため、東西2畑に分けた。第10区画は8号道を挟んで第8区画と接する。1号水路と2号水路との間の狭い範囲であるが同じく畝間溝方向を南北にとる。

第8区画1号畑 北辺は1号水路、南辺は2号水路、西辺は4号道、東辺は2号畑と接する。東西長59m、西辺が最も長く28.5m、東に向かって狭くなり、中央より東でくびれるように狭まって12mほど、2号畑との境界である東辺では14.5mほどである。面積は120.17㎡。畝間溝は南北に伸び、南北の水路際に端部がある。168条が数えられ、溝間の平均距離は平均35.1cmとなる。走行はN-23°-24°-Eほどに揃う。西部の畝間溝を潰すように、北西から南東にかけて6号道が走る。中央近くで途切れるが、延長12mが遺構として捉えられている。しかし、その南東延長部には道の想定線をなぞるように攪乱が入り、攪乱を抜けた地点には道が認められなくなる。また、北西部には遺構としては認められないものの、道の想定線に沿って畝間溝の変形が記録されており、さらにその位置に重なるように泥溜痕跡が示される。中央北西寄りに75号平坦面、東寄りに76号平坦面がある。

第8区画2号畑 北辺は1号水路、南辺は2号水路、東辺は8号道、西辺は1号畑に接する。1号畑との境界は角礫が積み重ねられずに、一段のみが南北に並ぶ石列である。走行はN-29°-Eを示して、1号畑の畝間溝方向に近い。西辺14.5m、東辺13.5m、北辺14.5m、南辺11.3mの台形状を呈し、面積は176.19㎡である。畝間溝は1号畑と同じく南北走行だが、N-16°-Eと角度が異なる。北辺は攪乱で不明瞭だが、南辺では2号水路際の溝直前に終端部があって41条が数えられる。溝間の平均距離は28cmほどである。1号畑との境界石列の東に接して、幅の狭い溝が掘られている。これに西部を切られるように77号平坦面がある。

第10区画 北辺が1号水路、南辺西部は2号水路、東部は19号礎石建物に接する。西辺は8号道、東辺は調査区

界となる。南北最大長12.3m、東西幅16mほどで、面積は130㎡程度である。畝間溝の残りは必ずしも良くないが37条以上を数えることができ、溝間の平均距離は40cm前後となろう。西部8条ほどは畝間溝が南北に二分される。この部分ではN-14°-W前後、東部ではN-19°-E前後となるが、特に東部では西にはらむように湾曲するものが多い。

第9区画 北辺が2号水路、西辺が4号道、東辺が8号道で画される。南辺は調査区界で切られるが、南西端は4号道と東に分岐する9号道の交点となっており、この延長に畑界があるものと思われる。畝間溝方向は東西で、他の区画と等しい。5枚の畑を想定したが、1-3号間は畝間溝終端部が食い違って見だされている。78～96号平坦面があって、これも規則性を持って並ぶかに見えるが、1号畑ではやや異なる。他の畑と異なる耕作単位の編成があったのだろうか。

第9区画1号畑 北辺が2号水路、西辺が4号道、南辺は2号畑と接する。東辺は北辺から南へ下る辺と、2号畑東辺の延長として南の調査区外から北へ延びる辺が、南北4.5m、東西3.5mほどの間で重複する。北端での東

西幅18.4m、中部での最大幅20.7m、南北最大長32.4mで、面積は627㎡ほどある。畝間溝80条が数えられ、溝間の平均距離は40.5cm。北部でN-75°-E、南部でN-79°-Eの走行を示す。北端2号水路沿いでは水路の走行に応じてゆるやかに曲がり、また北から5条ほどはカーブの頂点で一度畝間溝を切って方向を変えている。3号畑との重複部分では畝間溝が乱れて切り合ったり、不規則に断絶したりする。南端2号畑との境界には特別な施設はないが、1号畑の畝間溝では下端線が明瞭で細いのにに対し、2号畑の畝間溝は下端表現がなく、幅広である。北部中央近くには方形の78号平坦面、南部東寄りに円形の79号平坦面、南辺中央に2号畑にまたがって方形の80号平坦面がある。

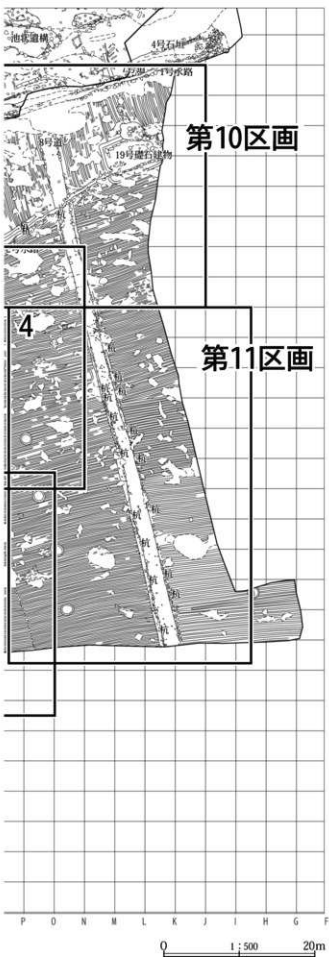
第9区画2号畑 北は1号畑に接し、西辺が4号道、南辺は西端が9号道となるが、東部は調査区界となる。東辺は細い溝を介して3号畑と接する。東西19.95m、南北22.3m、面積386.59㎡で、東西走する畝間溝が45条数えられる。中央部でやや乱れがあるが、比較的良好揃っており、方位もN-80～83°-Eを示す。溝間の平均距離は49.6cmで、この区画の他の畑よりかなり広い。中央や

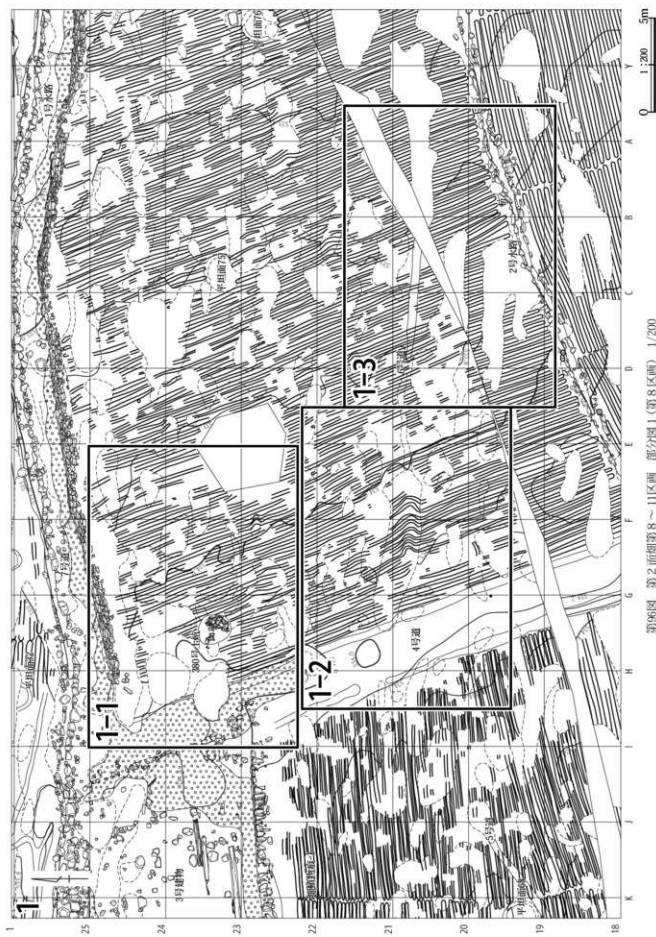


第94図 第2面畑第8～11区画概念図 1/1200



第95図 第2面畑第8～11区画 1/500

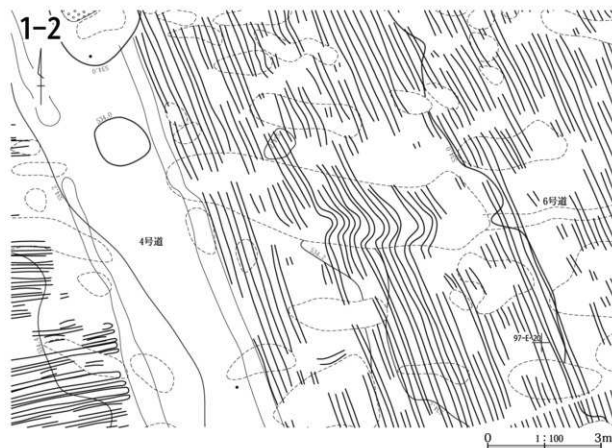




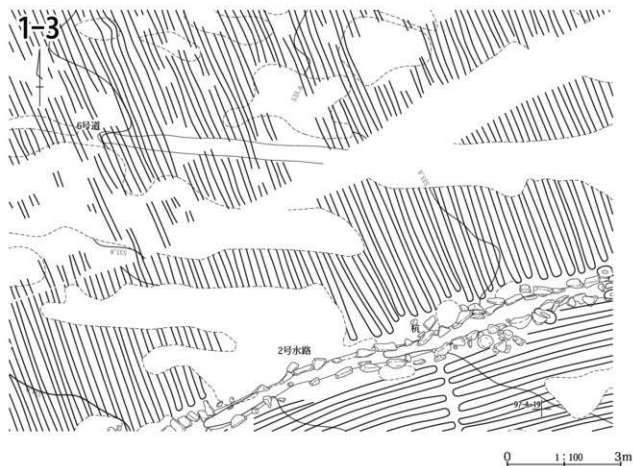
第96図 第2面図第8～11区画 部分図1(第8区画) 1/200



第97図 第2面畑第8～11区画 部分図1-1(第8区画) 1/100



第98図 第2面畑第8～11区画 部分図1-2(第8区画) 1/100



第99図 第2面畑第8～11区画 部分図1-3(第8区画) 1/100

や南寄りに81号平坦面、南端に82号平坦面がある。ともに円形の平面形である。

第9区画3号畑 北辺は2号水路、西辺北部は1号畑、南部は2号畑、東辺は4号畑に接する。北部は東西18.3mほどあるが、2号水路の屈曲に沿って畝間溝が湾曲し、特に北辺東半では北に大きく曲がる。この曲率の変換点で畝間溝がいったん途切れており、40条ほどは東西に幅9m強の溝が2列並ぶことになる。南から延びる1号、2号畑との境界が途切れる位置以南は東西に分かれない、幅約14mの溝が並列する。南北長は46.6mあり、面積は683.54㎡。135条の畝間溝が数えられ、溝間の平均距離は34.5cmとなる。北端の2号水路沿いを除くと、畝間溝の方位はN-76°-Eに揃う。中央に83～87号平坦面がある。83号と85号は方形の平面形である。南東部には4号畑にかけて植物痕跡が見られる。

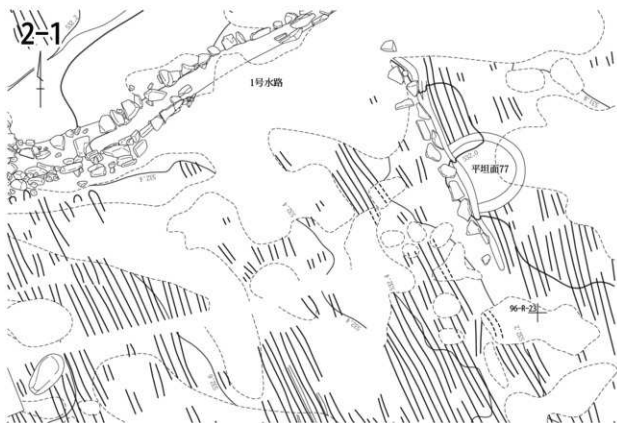
第9区画4号畑 北辺は2号水路、西辺は3号畑、東辺は5号畑と接し、南辺は調査区界となる。東西最大幅15.1m、南北長50.70m、面積は695.47㎡。畝間溝は146

条が数えられ、溝間の平均距離は34.7cm。北端で2号水路に沿ってゆるやかに湾曲するが、他はN-77°-79°-Eと方向をそろえる。中央部に南北に並んで、いずれも円形の88～91号平坦面がある。南部には3号畑から5号畑にかけて植物痕跡が見られる。

第9区画5号畑 北辺は2号水路、西辺は4号畑、東辺は8号道と接する。南辺は調査区界となる。東西最大幅19.8m、南北長57.75m、面積は991.04㎡。畝間溝は155条が数えられ、溝間の平均距離は37.25cm。北端で2号水路に沿ってゆるやかに湾曲するが、北部N-75°-E、南部はN-79°-E方向をそろえる。中央南部に南北に並んで、いずれも円形の92～95号平坦面があり、この列から外れて北部の8号道近くに方形の96号平坦面がある。南東部には3号畑から続く植物痕跡が見られる。

第11区画 調査区東南端の区画で、北は2号水路、19号建物を介して10区画と、西は8号道と接する。東および南は調査区界となる。南北両端が張り出すような形状で、南端近くでの東西の最大幅16.4m、南北長62.5m、

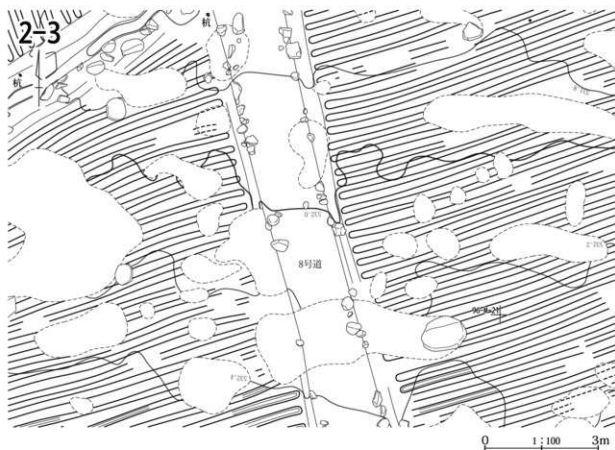




第101図 第2面畑第8～11区画 部分図2-1(第8区画) 1/100

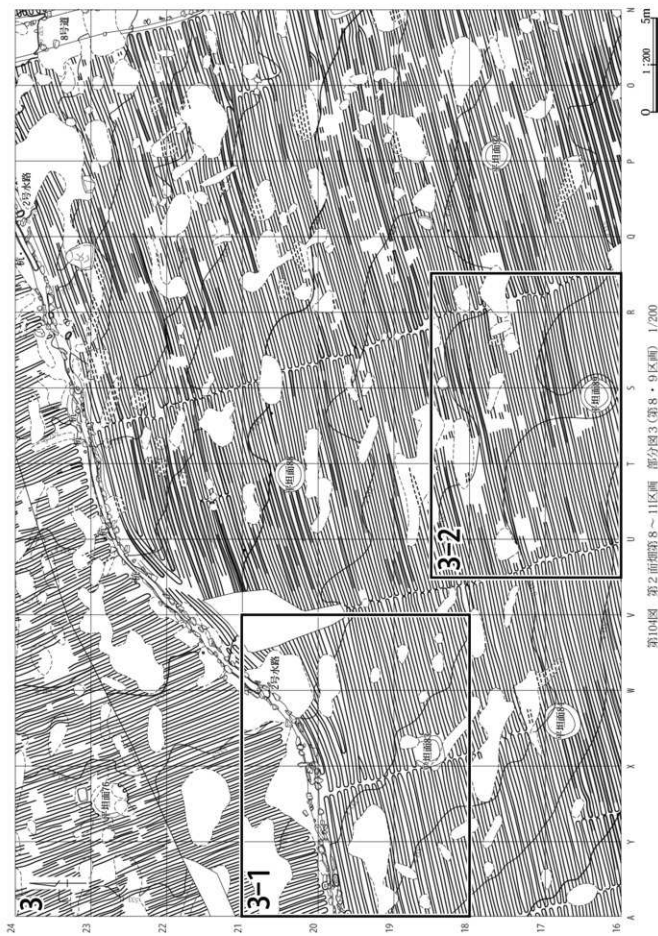


第102図 第2面畑第8～11区画 部分図2-2(第8・10区画) 1/100



第103図 第2面畑第8～11区画 部分図2-3(第9・11区画) 1/100

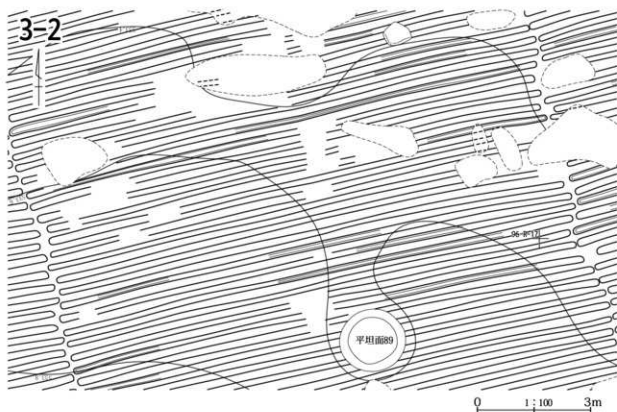
面積592.27㎡。畝間溝は160条数えられて、溝間の平均距離は39cmほどとなる。総体的に第9区画の畑と共通する印象があるが、2号水路際の畝間溝はさほど湾曲せず、N-71～72°-Eで調査区の中程まで揃う。中央近くで溝方向が乱れる部分があり、以南はN-80～84°-Eを示すようになり、畝の形状もやや異なる。第9区画でも南北で残存状況の違いや、傾斜度に起因すると思われる溝方向の違いが見られたが、ここでは方向の変化が明瞭であり、南北が別の単位であった可能性もある。南端近くに97号平坦面がある。



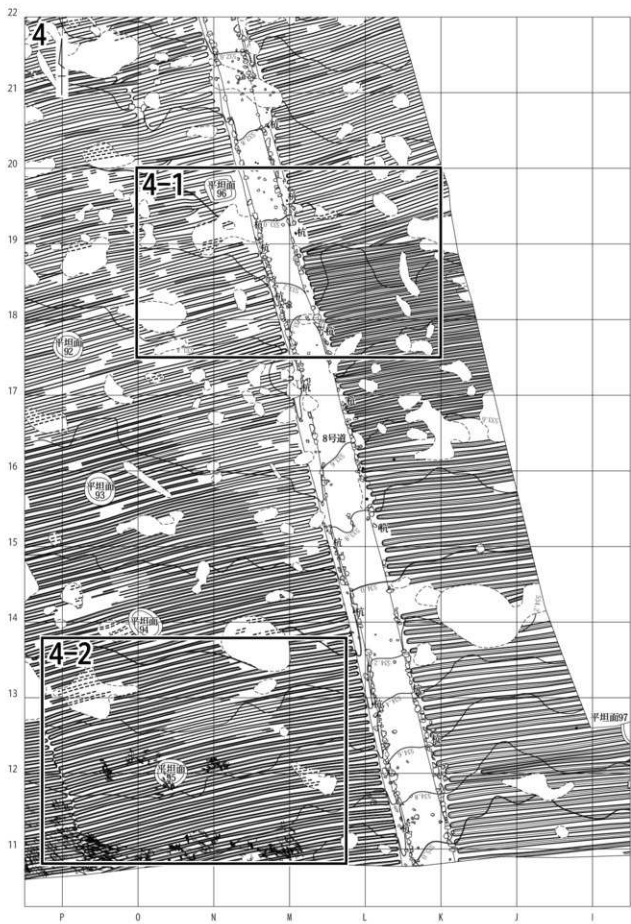
第104図 第2面跡第8～11区画 部分図3(第8・9区画) 1/200



第105図 第2面畑第8～11区画 部分図3-1(第8・9区画) 1/100

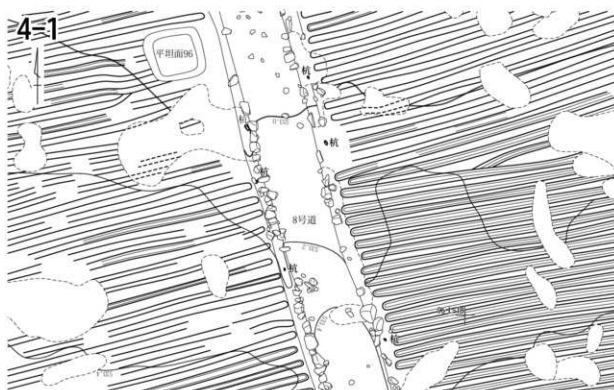


第106図 第2面畑第8～11区画 部分図3-2(第9区画) 1/100

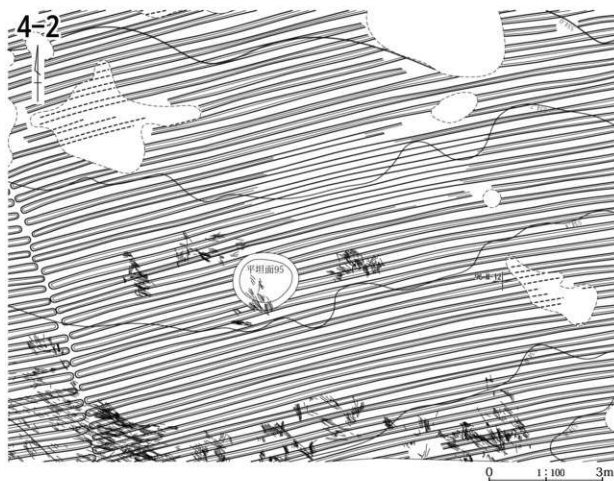


第107図 第2面燧8～11区画 部分図4(第9・11区画) 1/200

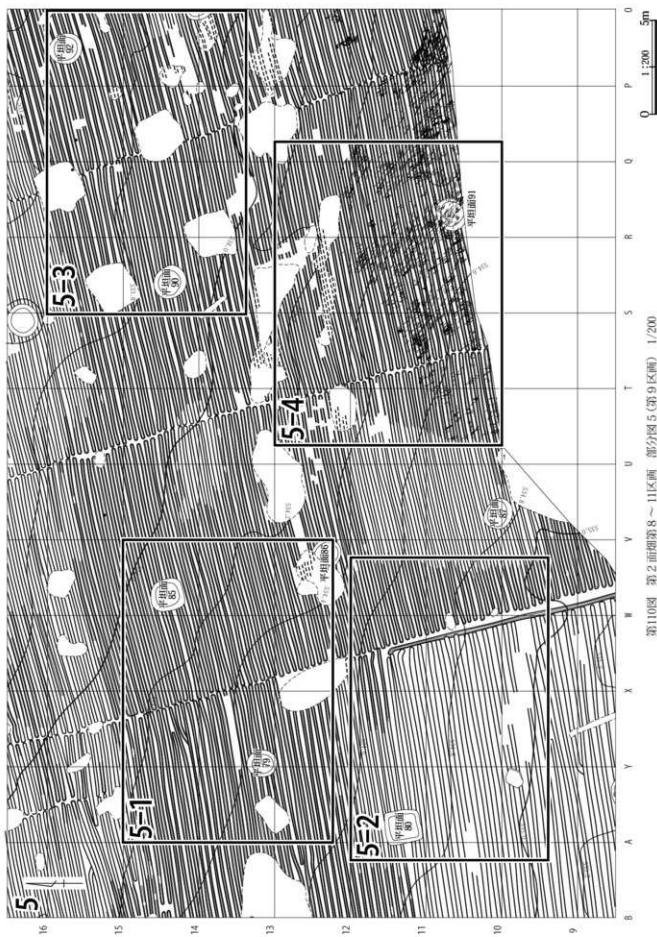
0 1:200 5m



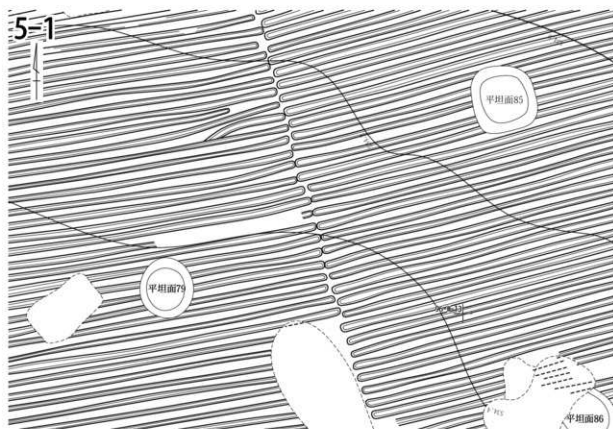
第108図 第2面畑第8～11区画 部分図4-1(第9・11区画) 1/100



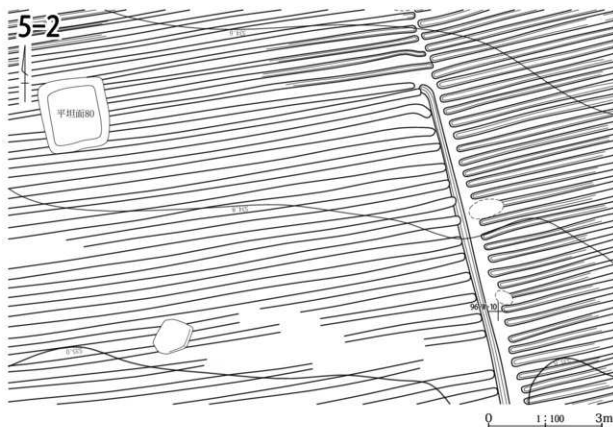
第109図 第2面畑第8～11区画 部分図4-2(第9区画) 1/100



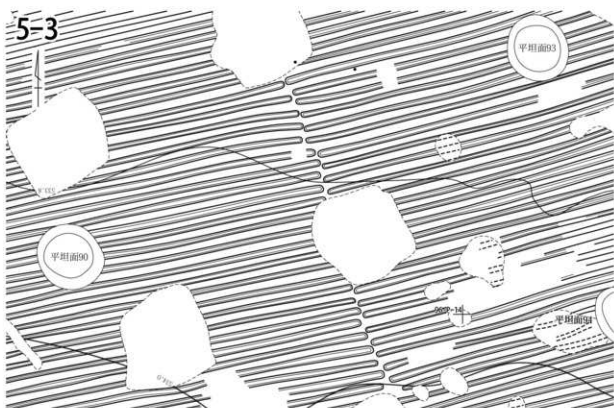
第110図 第2面図第8～11区画 部分図5(第9区画) 1/200



第111図 第2面畑第8～11区画 部分図5-1(第9区画) 1/100



第112図 第2面畑第8～11区画 部分図5-2(第9区画) 1/100



第113図 第2面畑第8～11区画 部分図5-3(第9区画) 1/100



第114図 第2面畑第8～11区画 部分図5-4(第9区画) 1/100

0 1:100 3m

第4項 「平坦面」

畑面に残された円形ないし四角形を呈し平坦な箇所を「平坦面」として調査している。ハツ場ダム地域の天明泥流下畑にあっては通常かつ特徴的に見られるものである。直径1.5～2.5mで、平面形が円形/方形、周囲に溝がある/ない、畑の畝間溝が平坦面を切る/切らない、中央に溝がある/ないなどによっていくつかの類型が考えられている。半切り桶を置いた跡、あるいは作物種子と堆肥を混ぜ合わせる作業の場などの性格が想定されている。

本遺跡で記載された確認面の状況も、今まで調査されてきた平坦面事例との共通点が多い。個別に見ると「平坦面」の内容が「水平」ではなく、畝間溝痕跡を残さないという「均平」程度にとどまるものが少なくないこと、中央溝のある平坦面がまとまる部分が見られることなど、いくつかの特徴が見られ、これらの分析により平坦面形成に至る作業と畑耕作との関係を理解する手がかりが得られるものと思われる。

1号平坦面 98-Y-25グリッド 第1区画2号畑北部中央にある。2号畑では1～4号平坦面が直線的に並ぶ。長軸推定長1.76m、短軸残存長1.60m。平面形は円形を呈すると思われるが全体に微弱な痕跡であり、北部は調査区外となって不明。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切り、平坦面内部まで達する。2号平坦面まで10.5m。

2号平坦面 98-X-Y-22・23グリッド 第1区画2号畑北部中央にある。長軸長1.98m、短軸長1.90m。平面形は南東部が攪乱されるが、円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切って端部が確認され、平坦面内までは達しない。平坦面の南端に接する畝間溝は平坦面溝に切られる。3号平坦面まで12.5m。

3号平坦面 98-X-19グリッド 第1区画2号畑中部中央にある。長軸長2.12m、短軸長2.08m。平面形は北部が攪乱されるが、南端が開くC字状。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切って端部が確認され、平坦面内までは達しない。4号平坦面まで13.8m。

4号平坦面 98-X-15・16グリッド 第1区画2号畑中部中央にある。長軸長2.05m、短軸長2.0m。平面形は

円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切るが、平坦面内までは達しない。5号平坦面まで12.5m。

5号平坦面 98-W-12・13グリッド 第1区画2号畑南部中央にある。長軸長1.78m、短軸長1.62m。平面形はほぼ円形だが、比較的弱い痕跡で、北部が不明瞭。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切るが、平坦面内までは達しない。6号平坦面まで12.5mほど。

6号平坦面 98-V-W-9・10グリッド 第1区画2号畑南端中央にある。長軸残存長1.60m、短軸残存長0.55m。平面形は円形と思われるが、ごく痕跡的にしか残っていない。中央溝は確認できない。畝間溝はこの周囲では捉えられていない。

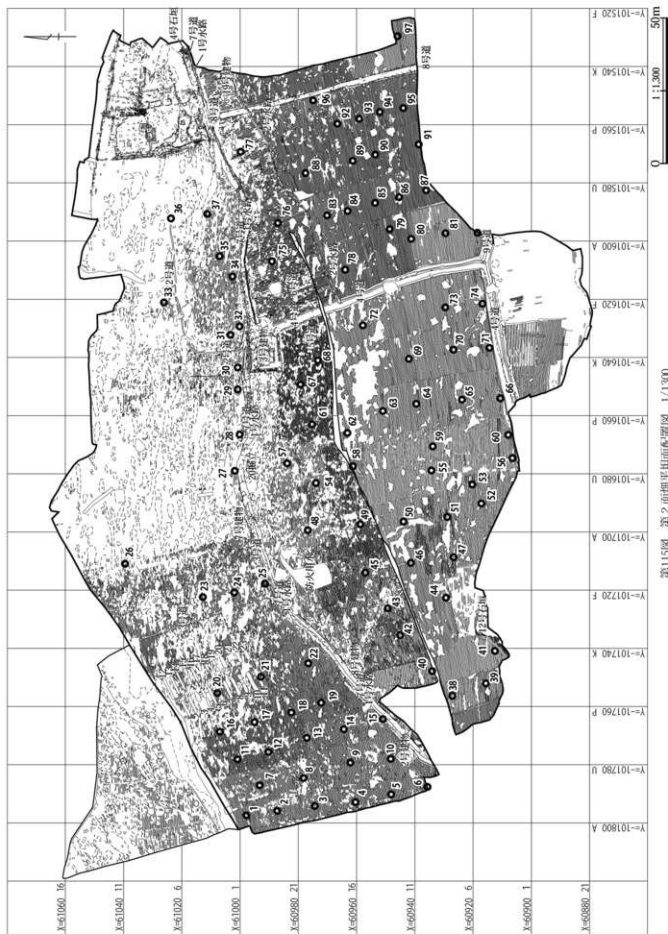
7号平坦面 98-V-W-24グリッド 第1区画3号畑北部中央にある。3号畑では7・8・10号平坦面が直線的に並び、9号がやや東にずれる。長軸長1.98m、短軸長1.93m。平面形は南端が開くC字形であるが、開口部東は短く途切れた溝となっている。中央溝はない。周囲の畝間溝は北部、南部では平坦面溝を切るが、中部では平坦面溝と接して止まる。8号平坦面まで15.5m。

8号平坦面 98-U-V-20グリッド 第1区画3号畑中部中央にある。長軸長2.06m、短軸残存長1.80m。平面形は南部が乱されているが、北部が比較的大きく開くC字形であろう。中央溝はない。周囲の畝間溝は周囲の攪乱で明瞭さを欠くが、北部の平坦面溝開口部では切り合わない。9号平坦面まで16m。

9号平坦面 98-T-U-16グリッド 第1区画3号畑南部中央にある。長軸長1.92m、短軸長1.65m。平面形は南端が開くC字状を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は西部では平坦面溝と接し、東部ではわずかに切り込む。10号平坦面まで13.5m。

10号平坦面 98-T-U-12・13グリッド 第1区画3号畑南部中央にある。長軸長1.84m、短軸長1.80m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切って端部が確認され、平坦面内までは達しない。2号建物まで1.5mほどしかない。

11号平坦面 8-T-1グリッド 第1区画4号畑北部中央にある。長軸推定長1.65m、短軸推定長1.62m。円形と思われる輪郭がたどれるが、痕跡的にしか残っていない。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面を切る。12号平坦面まで10.5m。



第115図 第2面の相平断面配置図 1/1,300

12号平坦面 98-S-23グリッド 第1区画4号畑北部中央にある。長軸推定長1.70m、短軸残存長0.75m。平面形は円形と思われるが、東半部のみが痕跡的に残っている。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切る。13号平坦面まで13.5m。

13号平坦面 98-R-20グリッド 第1区画4号畑中部中央にある。長軸長2.05m、短軸長1.83m。平面形は北端が攪乱されるが、円形を呈するかと思われる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切って端部が確認され、平坦面内までは達しない。14号平坦面まで12.8m。

14号平坦面 98-Q・R-16・17 第1区画4号畑南部中央にある。長軸長2.15m、短軸長1.95m。平面形は円形を呈すると思われる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切るが、平坦面内までは達しない。15号平坦面まで13.5m。

15号平坦面 98-P・Q-13グリッド 第1区画4号畑北端中央やや西寄りにある。長軸残存長1.88m、短軸残存長0.55m。平面形は円形と思われるが、南部は7号道にかりり痕跡が追えなくなる。中央溝は確認できない。畝間溝は西部のみ確認されており、平坦面溝手前で止まる。

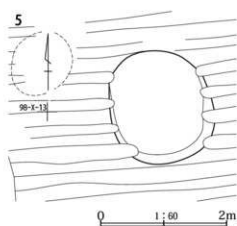
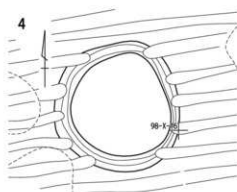
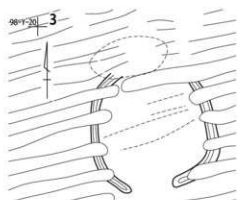
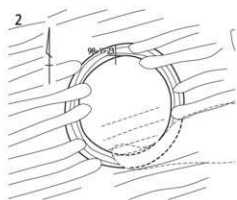
16号平坦面 8-Q・R-2グリッド 第1区画5号畑北部中央にある。長軸推定長1.80m、短軸残存長1.45m。やや南北に長い円形の平面形と思われるが、北端が攪乱され、全体に残りは悪い。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。17号平坦面まで12m。

17号平坦面 98-Q-24・25グリッド 第1区画5号畑北部中央にある。長軸長2.18m、短軸長2.15m。平面形はやや南北に長い隅丸長方形。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。18号平坦面まで13m。

18号平坦面 98-P-21グリッド 第1区画5号畑中部中央にある。長軸推定長1.85m、短軸推定長1.80m。円形と思われる輪部がたどれるが、痕跡的にしか残っていない。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は微弱だが平坦面に切られる。19号平坦面まで10.6m。

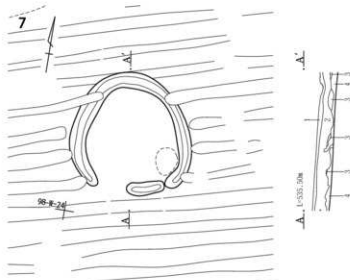
19号平坦面 98-O-18・19グリッド 第1区画5号畑南部中央にある。長軸長1.93m、短軸長1.70m。平面形は円形を呈する。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝の手前で止まる。7号道まで14m。

20号平坦面 8-N・O-2・3 第1区画6号畑北部中央あるいは西寄りにある。長軸残存長0.75m。平面形は



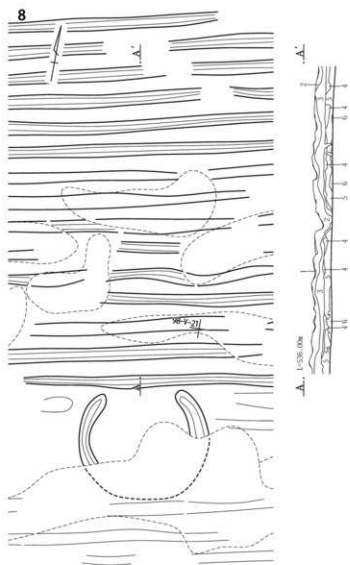
第116図 第2面畑平坦面 1/60

第2章 調査された遺構と遺物



平坦面7

1. As-A降下軽石 畑の畝間に堆積。
2. 褐灰色土(7.5YR4/1) 白色粒子わずか含む。土壌としては3層と同じ。色調が変化。
3. 暗褐色土(10ve7.5YR3/4) 白色粒子わずか含む。上位に鉄分付着。
4. 褐色土(10ve7.5YR4/3) 砂混じり、白色粒子わずか含む。

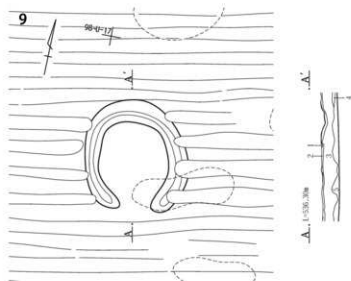


平坦面8

1. As-A降下軽石 畑の畝間に堆積。
2. 褐灰色土 7.5YR4/1 白色粒子わずか含む。土壌としては3層と同じ。
3. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子わずか含む。上位に鉄分付着。
4. 褐色土 7.5YR4/3 砂混じり、白色粒子わずか含む。
5. 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒子わずか含む。やや砂質。
6. 黒褐色土 7.5YR2/2。

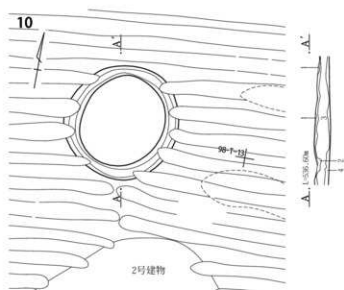
0 1:60 2m

第117図 第2面畑平坦面 2 1/60



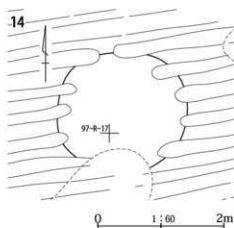
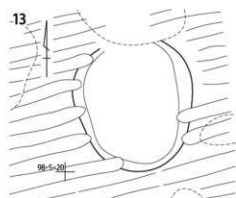
平坦面9

1. As-A降下軽石。
2. 褐色土 7.5YR4/1 白色粒子をわずかに含む。土壌としては3層と同じ。
3. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子をわずかに含む。上位に鉄分付着。
4. 褐色土 7.5YR4/3 砂混じり、白色粒子をわずかに含む。
5. 暗褐色土 7.5YR3/3 白色、褐色粒子をわずかに含む。やや砂質。



平坦面10

1. As-A降下軽石。
2. 褐色土 7.5YR4/1 白色粒子をわずかに含む。土壌としては3層と同じ。
3. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子をわずかに含む。上位に鉄分付着。
4. 褐色土 7.5YR4/3 砂混じり、白色粒子をわずかに含む。



第118図 第2面畑平坦面 3 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

円形と思われる輪郭がたどれるが、痕跡的にしか残っていない。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面を切る。21号平坦面まで13m。

21号平坦面 98-M-24グリッド 第1区画6号畑北部中央あるいは西寄りにある。長軸残存長1.32m、短軸残存長1.10m。平面形はほとんどわからず、円弧の一部と思われる痕跡が認められるのみである。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面を切る。22号平坦面まで16.5m。

22号平坦面 98-L-19・20グリッド 第1区画6号畑南部中央にある。長軸長1.62m、短軸長1.60m。平面形は円形を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面を切るが、平坦面内までは達しない。7号道まで8m。

23号平坦面 8-F・C-3・4グリッド 第2区画1号畑中部中央にある。長軸推定長1.66m、短軸残存長0.80m。平面形は円形と思われるが、南半は攪乱され、北部も痕跡的にしか残存しない。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面を切る。24号平坦面まで10mほどである。

24号平坦面 8-F-1グリッド 第2区画1号畑南部中央にある。長軸推定長1.76m、短軸推定長1.65m。円形と思われるが、痕跡的にしか残っていない。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面を切る。25号平坦面まで11mほどである。

25号平坦面 98-E-23グリッド 第2区画1号畑南端近く中央にある。長軸残存長2.0m、短軸長1.90m。平面形は円形ないしやや横長の隅丸長方形を呈すると思われる。東部を攪乱される。中央溝は南北方向にあり、平坦面溝までは達しない。周囲の畝間溝は平坦面溝手前で止まる。南端と7号道まで0.5mしかない。

26号平坦面 8-C-10・11グリッド 第2区画2号畑北部に、西端線から12mほどの位置にある。長軸残存長0.75m。平面形は北端に円弧の一部と思われる痕跡が確認されたのみである。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は攪乱のため確認できない。

27号平坦面 7-T-1グリッド 第2区画3号畑南端にある。長軸長1.50m、短軸残存長0.66m。平面形は円形と思われるが、南部は7号道に接して不明瞭である。中央溝はない。畝間溝は周辺には残っていない。東の28号平坦面まで13m、西の7号建物まで18m、2号畑東端まで23m。

28号平坦面 7-Q-1、97-Q-25グリッド 第2区画3号畑南端にある。長軸長2.25m、短軸残存長2.1m。平面形は東西に長い隅丸長方形を呈す。中央溝はない。周囲の畝間溝は残りが悪く、関係を把握できない。7号道までは1mほど、29号平坦面まで16m。

29号平坦面 7-M-1、97-M-25グリッド 第2区画3号畑東部南端にある。長軸長2.0m、短軸長1.9m。西端部が攪乱されているが、平面形はほぼ円形を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は残りが悪く、平坦面との関係を把握できない。7号道まで1.7m、30号平坦面まで7.8m。

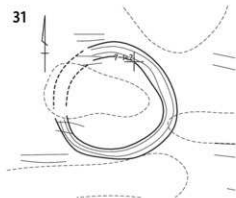
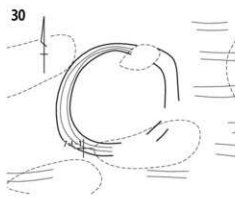
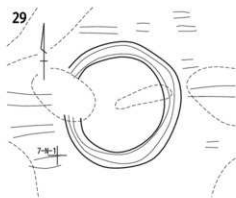
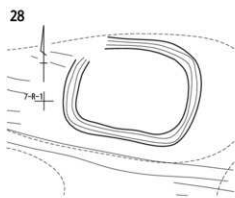
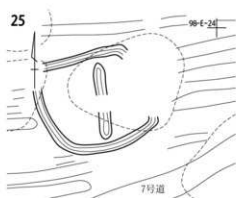
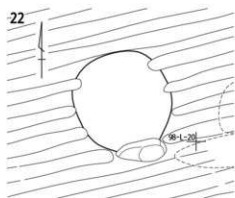
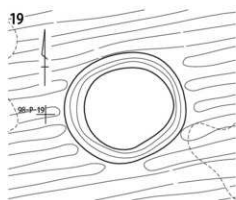
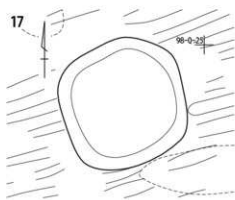
30号平坦面 7-K・L-1、97-K・L-25グリッド 第2区画4号畑東南端にある。長軸推定長1.95m、短軸長1.79m。東半が攪乱されているが、平面形はほぼ円形を呈するものと思われる。中央溝はない。周囲の畝間溝は残りが悪く、平坦面との関係を把握できない。7号道まで0.8m、2号道まで5.6m。

31号平坦面 7-H・1-1・2グリッド 第3区画1号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.90m、短軸長1.90m。平面形は円形だが北西部を攪乱される。中央溝はない。周囲の畝間溝は残りが悪いが、平坦面溝は切られていない。7号道まで4.2m、2号道まで4.4m、2号畑との境界まで6.4m。32号平坦面は南東4.5mにあり、他例に比してごく近い。

32号平坦面 7-H-1、97-H-25グリッド 第3区画1号畑南端にある。長軸長2.02m、短軸残存長1.6m。平面形は南北に長い楕円形を示すと思われる。中央溝はない。畝間溝は東側で確認できるが、平坦面溝直前で止まる。南端から7号道まで0.4mしかない。

33号平坦面 7-E・F-7グリッド 第2区画5号畑南部に孤立的な状態にある。長軸残存長2.3m、短軸長2.05m。平面形は東西にやや長い扁円形だが、南西部が攪乱される。中央溝は南北方向。平坦面溝までは達しない。中央溝の方が平坦面溝底より2cmほど浅い。畝間溝は周辺でごく薄く、関係を把握できないが、平坦面溝上端は切られていない。2号道までの間は3.4m。

34号平坦面 7-C・D-1グリッド 第3区画3号畑南端にある。長軸長1.98m、短軸残存長1.75m。平面形はほぼ円形を呈すと思われるが、北西、南東の一部を欠く。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。



0 1:60 2m

南端から7号道まで1.2m。

35号平坦面 7-B-2・3グリッド 第3区画4号畑南端の西辺にある。長軸長2.75m、短軸長2.70m。平面形は北東の一部を欠くが、やや南北に長い方形を呈す。中央溝はない。西部が3号畑との境界をなす。東部の畝間溝は明確ではないが平坦面溝は切られていない。5号畑との境界まで10mほど、南端から7号道まで5.4m。

36号平坦面 6-W・X-6グリッド 第3区画5号畑北端相当部のやや西寄りにある。長軸長1.80m、短軸残存長0.85m。北半を欠くが、平面形はほぼ円形を呈するものと思われる。中央溝はない。周辺の畝間溝は残りが悪いが、平坦面溝は切られていない。北部は2号道延長上にある。南の37号平坦面まで12.5m。

37号平坦面 6-W-3グリッド 第3区画5号畑中央部やや西寄りにある。長軸長1.78m、短軸長1.72m。平面形は南端を欠くが、ほぼ円形と思われる。中央溝はない。周辺の畝間溝は残りが悪いが、平坦面溝は切られていない。4号畑まで4.5m、6号畑との境界推定線まで6.5m、7号道まで11.5m。

38号平坦面 98-N・O-7・8グリッド 第5区画3号畑北部中央やや東寄りにある。長軸長3.00m、短軸長2.80m。平面形は南部を攪乱されるが、ほぼ方形。中央溝は南北方向に延び、北部に偏つてある。中央が深く、北部では浅い。周囲の畝間溝は平坦面溝を切り、東部では端部が平坦面内まで達する。第4区画との間の道まで6.5m、2号畑との境界まで5.5m。39号平坦面まで13m。

39号平坦面 98-M・N-4・5グリッド 第5区画3号畑南部中央やや東寄りにある。長軸長2.25m、短軸残存長1.7m。平面形は北端を攪乱されるがほぼ円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。第4区画との間の道まで6.5m、2号畑との境界まで4.5m。

40号平坦面 98-L・M-9グリッド 第5区画4号畑中央近くにある。長軸残存長2.27m、短軸残存長1m。平面形は南半が調査区界で失われるが、ほぼ方形。中央溝はない。東西の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。平坦面溝北辺は畝間溝を切るように表現される。1号水路まで25.8mほど。3号畑との境界まで4.5m。

41号平坦面 98-J・K-3・4グリッド 第5区画4号畑南端にある。長軸長2.42m、短軸長2.26m。平面形はほぼ円形。中央溝はない。北部の畝間溝は平坦面を切るが、

他は平坦面溝直前で止まる。12号石垣下の道側溝を切る。

42号平坦面 98-I・J-11・12グリッド 第5区画5号畑南部東寄りにある。長軸長2.40m、短軸長2.35m。平面形はほぼ円形。中央溝は南北方向。平坦面溝までは達しない。北が浅く、南が深い。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。4号畑まで10.8m、6号畑との境界推定線まで5m、1号水路まで23m。43号平坦面まで10.7m。

43号平坦面 98-G-13グリッド 第5区画6号畑南部中央にある。長軸長2.02m、短軸残存長1.7m。平面形は南半が攪乱されるが、ほぼ円形を呈するものと思われる。中央溝は南北方向。北部で平坦面溝を切る。中央で7cmほどの深さがあり、南はやや浅い。周囲の畝間溝は残りが悪いが、平坦面溝は切られていない。5号、8号畑との境界推定線までそれぞれ5.6m、1号水路まで26.5m。45号平坦面まで15.5m。

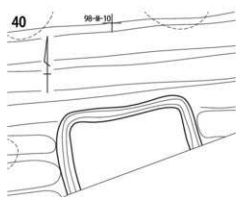
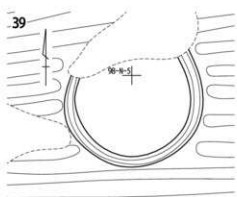
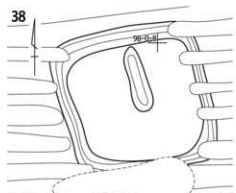
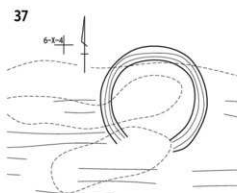
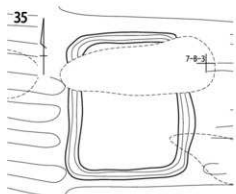
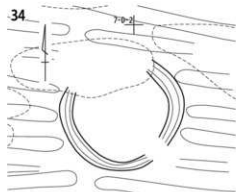
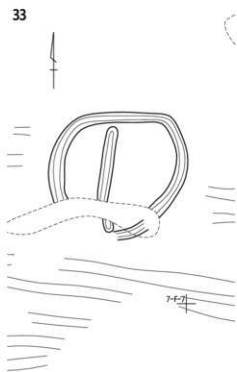
44号平坦面 98-F-8グリッド 第5区画7号畑南部東寄り。4号石列に接するようにある。長軸長1.70m、短軸残存長1.25m。平面形は南半が攪乱されるが、ほぼ円形を呈するものと思われる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。4号畑との境界まで16.5m、10号畑との境界まで7.0m。

45号平坦面 98-D-15グリッド 第5区画8号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長2.02m、短軸長1.80m。平面形はほぼ円形。中央溝は南北方向で、北側に偏つてある。中央での深さが11cmほどあり、平坦面溝より深い。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。6号畑との境界まで9.2m、9号畑との境界まで12.5m。46号平坦面まで15.0m、49号平坦面まで18.1m。

46号平坦面 98-C-11グリッド 第5区画10号畑北部西寄りにある。長軸長2.0m、短軸長1.90m。平面形はほぼ円形。中央溝は南北方向で、北側に偏つてある。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。7号畑との間7.2m。

47号平坦面 98-B・C-7グリッド 第5区画10号畑南部西寄りにある。長軸長2.35m、短軸残存長2.25m。平面形は北部が攪乱されているが、ややゆがんだ円形を呈する。中央溝は中央部に痕跡的に残る。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。第6区画北部との距離は7.5m、南部東端の溝まで4m。調査区界まで9.5mほどある。

48号平坦面 97-Y-20、98-A-20グリッド 第5区画9号畑北部中央やや西寄りにある。長軸長1.65m、短軸残存長1.



第2章 調査された遺構と遺物

0m。平面形は南半が攪乱されているが、ややゆがんだ円形を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。1号水路まで17.5m、8号畑との境界まで8.2m、11号畑との境界まで9.4m、49号平坦面まで17.5m。

49号平坦面 97-Y-15グリッド 第5区画9号畑南部西寄りにある。長軸長1.92m、短軸長1.90m。平面形は南東部が攪乱されるが、円形。中央溝は南北方向で、北側に偏してある。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まるが、一部平坦面溝に接するように表される。8号畑との境界まで5.5m、11号畑との境界まで10.2m。50号平坦面まで15.2m。

50号平坦面 97-X-Y-11・12グリッド 第5区画10号畑にある。この部分では畑が西にずれるように作られるため、北部の平坦面と直線上に並ぶが、畑のほぼ東部に位置することになる。長軸長1.92m、短軸長1.87m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。9号畑との境界まで8.5m、12号畑との境界まで8.2mほどである。51号平坦面まで16m。

51号平坦面 97-X-7・8グリッド 第5区画10号畑中部東寄りにある。長軸長1.95m、短軸長1.85m。平面形は北端、南西部を攪乱されるがほぼ円形。中央溝は南北方向の溝が中央から北部にかけて痕跡的に残る。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。5号石列東端の北に接するようである。5号石列の北で9号畑との境界が東にずれるので、9号畑まで24.8m、12号畑までは10mほどとなる。52号平坦面まで13.2m。

52号平坦面 97-W-5グリッド 第5区画10号畑南部東寄りにある。長軸長2.29m、短軸長2.0m。平面形は東西にわずかに長い扁円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前、あるいは接して止まる。第6区画境界まで21m、12号畑境界まで8.1m。

53号平坦面 97-U・V-5・6グリッド 第5区画10号畑と12号畑の境界南部にある。長軸長2.42m、短軸長2.02m。平面形は東西にわずかに長い扁円形で南端が一部開き、C字状を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は西側10号畑のものは平坦面溝直前、あるいは接して止まり、東側12号畑のものは平坦面溝を越えて平坦面内部まで達する。52号平坦面は南西8mにあり、55号平坦面は北東15.5mにある。

54号平坦面 97-U・V-19グリッド 第5区画11号畑中

部南寄りやや東寄りの位置にある。長軸長2.12m、短軸長2.02m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。北の1号水路まで24m、9号畑との境界まで7.4m、14号畑との境界まで4.5m。55号平坦面まで39.2m。

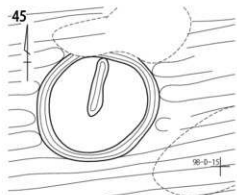
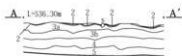
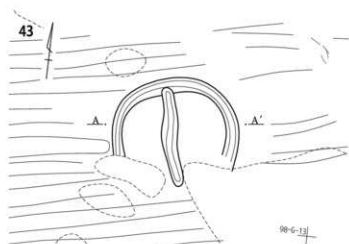
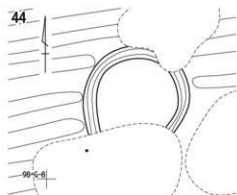
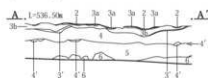
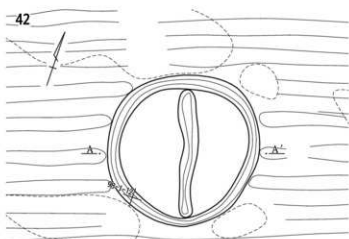
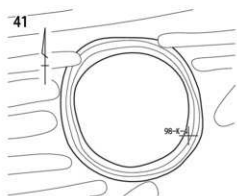
55号平坦面 97-T-9・10グリッド 第5区画12号畑中部やや東寄りにある。長軸長2.35m、短軸長2.28m。平面形は南北と西辺は直線的、東辺は弧状を描く。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。10号畑まで7.5m、15号畑まで3.7m。この平坦面から北8条の畝間溝は平坦面西辺の延長線状に端部をもっている。56号平坦面まで28.4m、59号平坦面まで9m。

56号平坦面 97-S-2グリッド 第5区画13号畑南端西部にある。長軸長2.53m、短軸長2.10m。平面形は北部がふくらむ波瀾状。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号道に沿った溝を切るように作られる。北の15号畑まで5.5m、10号畑まで7.4m、60号平坦面まで8.5m。12号、15号畑間の延長線とは2mほどである。畑としては13号畑に作られるが、12号畑から連続する平坦面群として捉えられるように思われる。

57号平坦面 97-S・T-21・22グリッド 第5区画14号畑北部西寄りにある。長軸長1.83m、短軸長1.80m。平面形は南端が攪乱されるが、円形を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。20号掘立柱建物まで10.3m、11号畑まで5.7m、16号畑との境界まで10m。58号平坦面まで21m。

58号平坦面 97-T-16グリッド 第5区画15号畑北部西寄りにある。長軸残存長1.4m。平面形は方形を呈したものである。北部は調査区界、西部は攪乱されたものらしい。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は東側では平坦面溝直前で止まる。西側は残りが悪いが一部平坦面内まで延びるように表現される。12号畑まで3.5m、17号畑まで9m、南の59号平坦面まで28m。62号平坦面まで11.5m、類似した方形平坦面である55号平坦面まで27m、64号平坦面まで30mほどである。

59号平坦面 97-R-9グリッド 第5区画15号畑中央部やや西寄りにある。長軸長2.42m、短軸長2.39m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。12号畑との境界まで4.7m、17号畑まで6.3m、60号平坦面まで26.5m。

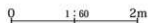


42号平坦面

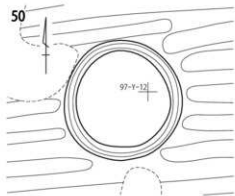
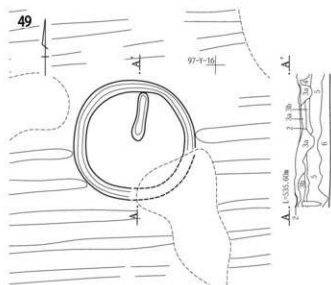
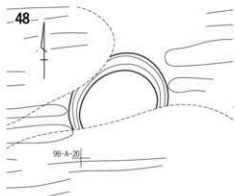
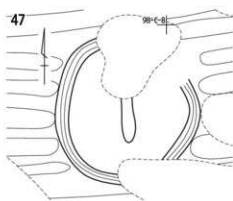
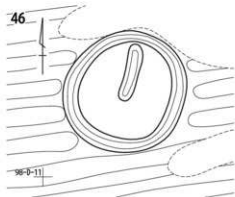
1. As-A降下軽石。
 2. 青褐色土。
 3. 青灰褐色土 58C4/1。
 - 3'. 浅黄褐色砂 10YR9/4。
 4. 黒褐色土 白少量含む。
 - 4'. 浅黄褐色砂 10YR9/4 4面畑の畝間に堆積した洪水砂層。
 5. 暗褐色土 白少量含む。砂礫含む。
 6. 黒褐色土 白わずかに含む。
- ※ 上層図と上層観察所見が整合しない。他の断面を参照すると、1層とされて断面図中に表記のないものが天明泥流、2層がAs-A降下軽石、3a(3)層が土質境界にあって還元した層、3b(3')層が2面畑の耕作土に相当すると思われる。

43号平坦面

1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 上部に鉄沈着のある青灰色に変色した層。軽石粒、小石混じり。
- 3b. 褐色土 わずかに軽石、小石含む。
4. 灰黄褐色土 10YR4/2 3b層小ブロック、5層ブロック混上。黄色細砂をブロック状に含む。
5. 黒褐色土 10YR3/2 しまり、粘性あり。黄色細砂の小ブロックを含む。

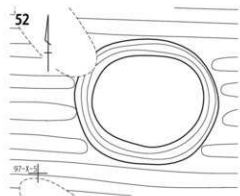
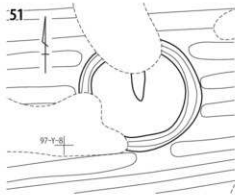


第121図 第2面畑平坦面 6 1/60

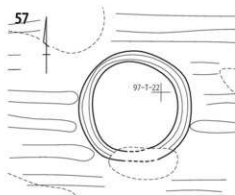
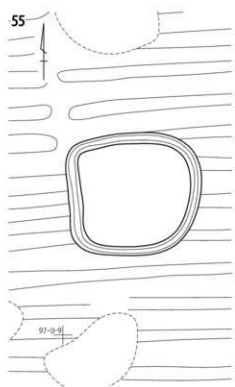
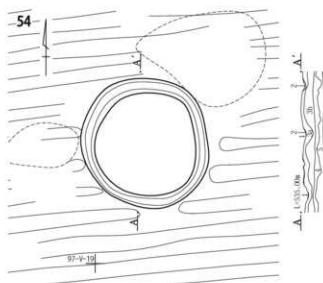
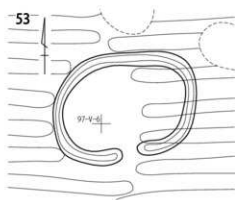


49号平坦面

1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 上部に鉄沈着のある青灰色に変色した層。軽石粒、小石混じり。
- 3b. 褐色土。わずかに軽石、小石含む。
4. 灰黄褐色土 10YR4/2 3b層小ブロック、5層ブロック混上。黄色細砂をブロック状に含む。
5. 黒褐色土 10YR3/2 しまり、粘性あり。黄色細砂小ブロックを含む。

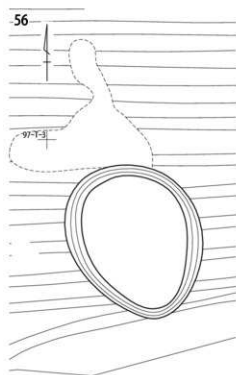


0 1:60 2m

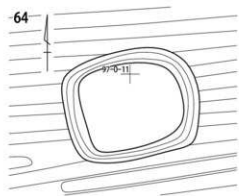
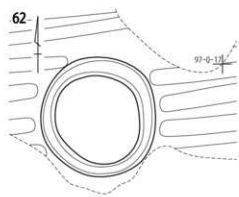
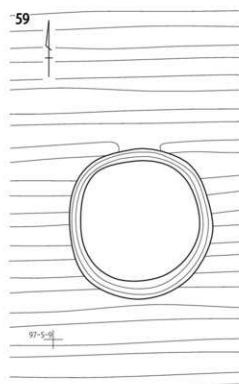
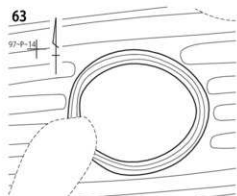
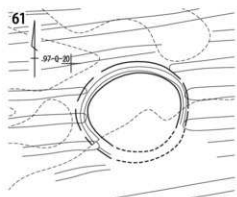
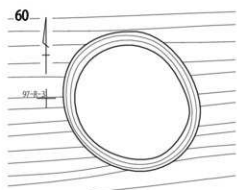
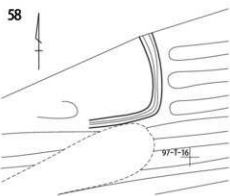


54号平坦面

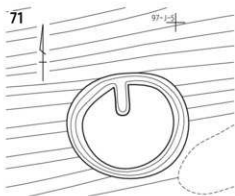
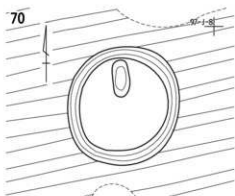
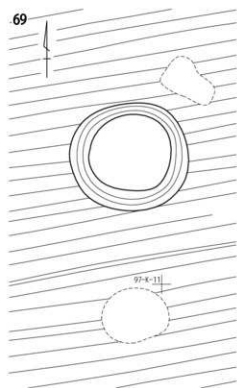
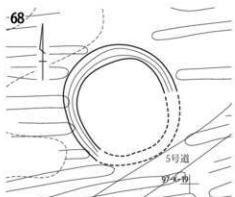
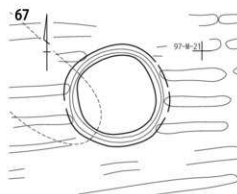
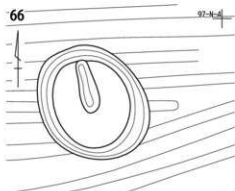
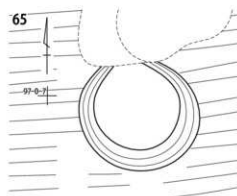
1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
- 3a. 上部に鉄沈着のある青灰色に変色した層、軽石粒、小石混じり。
- 3b. 褐色土 わずかに軽石、小石含む。
4. 灰黄褐色土 10R4/2 3b層小ブロック、5層ブロック混土。黄色細砂ブロック状に含む。



0 1:60 2m



0 1:60 2m



0 1:60 2m

第2章 調査された遺構と遺物

60号平面 97-Q-2・3グリッド 第5区画13号畑南端東部にある。長軸長2.28m、短軸長2.04m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号道に沿った溝に接するように作られる。北の15号畑まで4mほどしかない。18号畑まで6.8mあり、12号、15号畑間の延長線とは7mほど離れる。畑としては13号畑に作られるが、15号畑から連続する平坦面群として捉えられるように思われる。

61号平面 97-P-19・20グリッド 第5区画16号畑南部西寄りにある。長軸長1.80m、短軸残存長1.6m。平面形は南部がかけの、やや東西に長い偏円形で中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝をわずかに切る。1号水路まで20.5m、14号畑まで2.7m、19号畑まで7.2m。62号平坦面まで11.4m、67号平坦面まで14.2m。

62号平面 97-Q-16・17グリッド 第5区画17号畑北西部西寄りにある。長軸長1.93m、短軸長1.88m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。15号畑まで3.3m、21号畑まで13.5m。15号畑は南が幅広になる。畑内の西寄りにあって、相対的な位置は北の61号平坦面に近いが、61-63-65と並ぶラインからは西に大きく外れる。63号平坦面まで14.5m。

63号平面 97-O-13グリッド 第5区画17号畑中部中央やや東寄りにある。長軸長2.25m、短軸長1.99m。平面形はやや東西に長い偏円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。15号畑まで10.7m、21号畑まで8.5m、64号平坦面まで11.8m。

64号平面 97-N・O-10・11グリッド 第5区画17号畑中部中央やや東寄りにある。長軸長2.30m、短軸長2.18m。平面形はやや東西に長い隅丸長方形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。15号畑まで10m、21号畑まで8.3m、65号平坦面まで15.8m。

65号平面 97-N-6・7グリッド 第5区画17号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.95m、短軸長1.78m。平面形は円形だが平坦面溝幅が南部で広く北部で狭くなる。北端部は攪乱される。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。15号畑まで8.8m、24号畑まで9.8m、66号平坦面まで13m。

66号平面 97-N-3グリッド 第5区画18号畑西寄りにある。長軸長1.96m、短軸長1.63m。平面形は南北にやや長い偏円形。中央溝は南北方向で、北側に偏してある。

周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。16・17号畑の61-63-65号平坦面ラインよりやや西にずれる。4号道に接するように作られる。13号畑まで6m、71号平坦面まで17.5m。

67号平面 97-M-20・21グリッド 第5区画19号畑中部東寄りにある。長軸長1.66m、短軸長1.66m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝をわずかに切る。1号水路まで18.5m、16号畑まで7.7m、20号畑まで1.8m、68号平坦面まで10.5m、69号平坦面まで38m。

68号平面 97-K-19グリッド 第5区画20号畑南部東側に接するようにある。長軸残存長1.96m、短軸長1.80m。平面形は円形。南に5号道があり、これに沿うように平坦面溝が浅くなって確認できなくなる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝をわずかに切る。3号建物南端まで13.5m、19号畑まで6m。

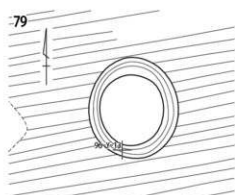
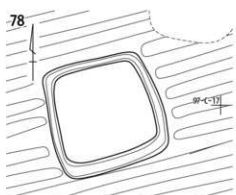
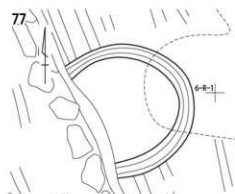
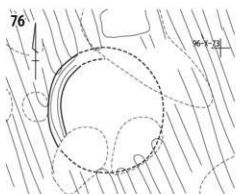
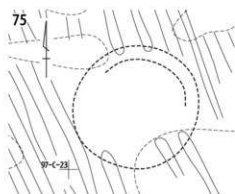
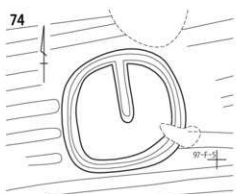
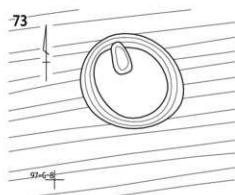
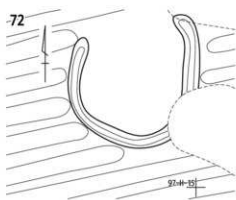
69号平面 97-J・K-11グリッド 第5区画21号畑中央にある。長軸長1.9m、短軸長1.75m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。南に24号畑と連続する深い畝間溝がある。17号畑との間8.5m、23号畑との間9.0m。70号平坦面との間15.5m。

70号平面 97-J-7グリッド 第5区画24号畑北西寄りにある。長軸長1.95m、短軸長1.81m。平面形は円形。中央溝は南北方向にあるが直径の1/3ほどと短く、北側に偏している。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。21号畑まで6.3m、17号畑まで8.5m、71号平坦面まで12.3m、73号平坦面まで15m。

71号平面 97-I・J-4グリッド 第5区画18号畑東寄りにある。長軸長1.93m、短軸長1.65m。平面形は円形。中央溝は南北方向にある。北部の平坦面溝に接し、直径の1/4ほどの長さしかない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号道に接するように作られる。平坦面直径が19号畑の南北長とほぼ等しい。25号畑まで5.3m。

72号平面 97-G・H-15グリッド 第5区画23号畑北部中央にある。長軸長2.38m、短軸残存長2.05m。平面形は円形を基本とするが、北が広く開口し、C字状を呈する。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。3号建物との間が28mほど。21号畑まで7.0m、4号道まで8.0m、24号畑まで23m。

73号平面 97-F-8グリッド 第5区画24号畑北東部にある。長軸長1.66m、短軸長1.50m。平面形は円形。中央溝は南北方向にある。平坦面溝北部に接し、直径の



0 1:60 2m

第2章 調査された遺構と遺物

1/4ほどの長さしかない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。23号畑まで6.5m、25号畑まで11m、4号道まで12m。

74号平坦面 97-F-4・5グリッド 第5区画25号畑やや東寄りにある。長軸長2.15m、短軸長2.05m。平面形は円形ないし胴張りのある隅丸方形。中央溝は南北方向にある。北部の平坦面溝に接し、中央をやや越える位置まで延びる。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。南は4号道に接し、北の24号畑まで1.8mほどしかない。18号畑まで11.2m、南北走る4号道まで12.5m。

75号平坦面 97-B-23グリッド 第8区画1号畑西部中央やや北寄りにある。長軸長2.05m、短軸長1.95m。平面形は円形と思われるが痕跡的に残るのみである。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切る。1号水路まで9m、2号水路まで15m、4号道まで22m、6号道まで10m、76号平坦面まで13.3m。

76号平坦面 96-X-22グリッド 第8区画1号畑ほぼ中央にある。長軸長2.0m、短軸長1.86m。平面形は円形と思われるが西辺以外は痕跡的に残るのみである。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝を切る。1号水路まで9.6m、2号水路まで10.5m、2号畑まで27m。

77号平坦面 6-R-1、96-R-25グリッド 第8区画2号畑西端北寄りにある。長軸長2.10m、短軸残存長1.5m。平面形は円形を基本とするものと思われるが、石列およびこれに伴う溝に西部を切られる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。1号水路まで6.3m、2号水路まで9.5m、8号道まで13m。

78号平坦面 97-C-16・17グリッド 第9区画1号畑北部中央にある。長軸長2.25m、短軸長2.25m。平面形は隅丸方形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。2号水路まで6.8m、4号道まで9.5m、3号畑まで10.2m。79号平坦面まで20.3m、方形の80号平坦面まで25m。

79号平坦面 96-X・Y-12・13グリッド 第9区画1号畑南部東寄りにある。長軸長1.60m、短軸長1.43m。平面形はわずかに南北に長い扁円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号道まで17.4m、3号畑まで4.5m、2号畑まで8m。80号平坦面まで8.6m、81号平坦面まで19.5m。

80号平坦面 96-Y-11、97-A-11グリッド 第9区画1

号畑境界中央にある。長軸長2.33m、短軸長2.30m。平面形は隅丸方形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。1・2号畑の境界に位置する。4号道まで11.5m、3号畑まで10m、81号平坦面まで12m。

81号平坦面 96-Y-8グリッド 第9区画2号畑南部中央にある。長軸長1.93m、短軸長1.65m。平面形はやや東西に長い円形。中央溝は南北方向にあり、両端が平坦面溝に達する。北端は端部が観察され、南部は平坦面溝に切られるように表現される。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号道まで10.3m、3号畑まで10.8m、80号平坦面南辺まで10.7m、82号平坦面まで11m。

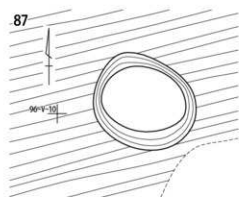
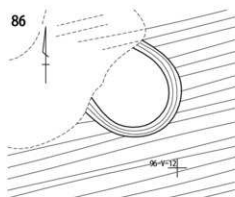
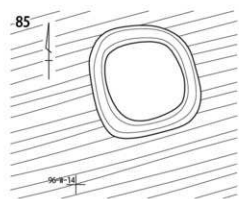
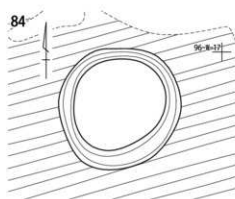
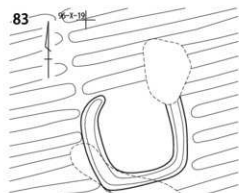
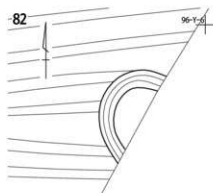
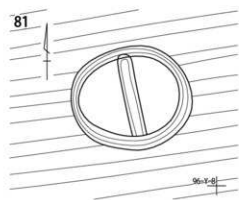
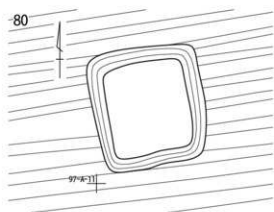
82号平坦面 96-Y-5グリッド 第9区画2号畑南端やや西寄りにある。長軸長1.55m、短軸残存長0.73m。平面形は円形を呈したものと思われるが、東半部が調査区外となる。中央溝は確認できない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。9号道に接する。4号道まで8m。

83号平坦面 96-W・X-18グリッド 第9区画3号畑北部中央やや東寄り。西辺が畑内の畝間溝に接する位置にある。長軸長1.95m、短軸残存長1.15m。平面形は隅丸方形を呈すかと思われるが、北辺が開き、コ字状となる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝直前で止まる。2号水路まで5.7m、1号畑まで9.7m、4号畑まで8.3m、84号平坦面まで7.0m。

84号平坦面 96-W-16・17グリッド 第9区画3号畑中央部西寄りだが、1・3号畑間の畝間溝が食い違う位置にある。長軸長2.06m、短軸長1.90m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。南からの畝間溝境まで5.5m、北からの畝間溝境まで9.1m、4号畑との境まで8.4m、85号平坦面まで10m。畑内の畝間溝境が北頂点で止まる。

85号平坦面 96-V-14グリッド 第9区画3号畑中央やや西寄りにある。長軸長1.96m、短軸長1.90m。平面形は円形ないし胴張りのある隅丸方形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。1号畑まで5.5m、4号畑まで8.2m、86号平坦面まで8.7m。

86号平坦面 96-U・V-12グリッド 第9区画3号畑中央やや西寄りにある。長軸残存長1.3m、短軸長1.48m。平面形は円形と思われるが北西部を攪乱される。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。1号畑まで5.5m、4号畑まで8.3m、87号平坦面まで9.4m。



0 1:60 2m

第2章 調査された遺構と遺物

87号平坦面 96-U-9・10グリッド 第9区画3号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.65m、短軸長1.50m。平面形はやや東西に長い扁円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。2号畑界の溝まで5.5m、4号畑まで8.8m。

88号平坦面 96-S・T-20グリッド 第9区画4号畑北部中央やや西寄りにある。長軸長1.76m、短軸長1.58m。平面形はほぼ円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。2号水路まで9m、3号畑まで7.5m、5号畑まで5.2m、89号平坦面まで16.7m。

89号平坦面 96-R・S-16グリッド 第9区画4号畑中部中央やや東寄りにある。長軸長1.76m、短軸長1.66m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。3号畑まで7.5m、5号畑まで6.3m、90号平坦面まで8m。

90号平坦面 96-R-14グリッド 第9区画4号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.9m、短軸長1.9m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。3号畑まで7.6m、5号畑まで7.1m、91号平坦

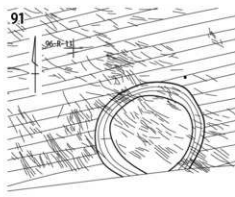
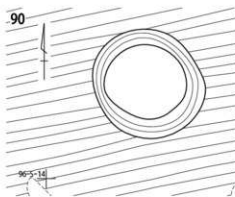
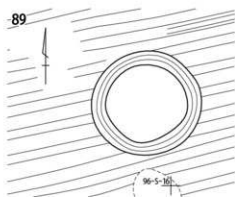
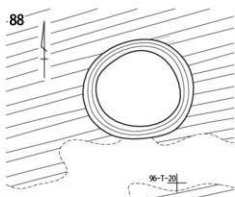
面まで15.4m。

91号平坦面 96-Q-10グリッド 第9区画4号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.86m、短軸残存長1.55m。平面形は円径だが南端が調査区外となる。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。周辺に植物痕が多く残る。3号畑まで7.4m、5号畑まで7.9m、東の95号平坦面まで13.5m。

92号平坦面 96-O・P-17グリッド 第9区画5号畑中部中央やや西寄りにある。長軸長1.65m、短軸長1.55m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。2号水路まで24.7m、4号畑まで7.6m、8号道まで11.2m、92号平坦面まで7.8m、96号平坦面まで11.5m。

93号平坦面 96-O-15グリッド 第9区画5号畑中部中央やや西寄りにある。長軸長1.7m、短軸長1.72m。平面形は円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号畑まで6.4m、8号道まで11.3m、94号平坦面まで7.4m。

94号平坦面 96-N・O-13・14グリッド 第9区画5号



0 1:60 2m

第128図 第2面畑平坦面 13 1/60

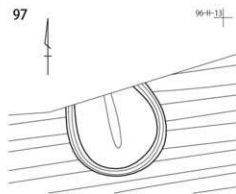
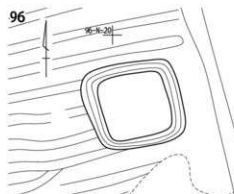
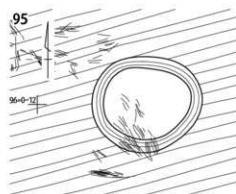
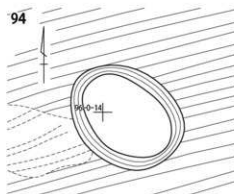
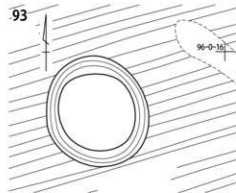
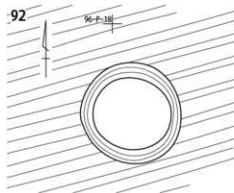
畑中部中央やや西寄りにある。長軸長2.03m、短軸長1.64m。平面形は北西-南東に長い扁円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号畑まで6.5m、8号道まで10.4m、95号平坦面まで7.9m。

95号平坦面 96-N-12・13グリッド 第9区画5号畑南部中央やや西寄りにある。長軸長1.71m、短軸長1.63m。平面形は東西にやや長い扁円形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。4号畑まで5.4m、8号道まで10.9m。

96号平坦面 96-M・N-19グリッド 第5区画5号畑北

部東端にある。長軸長1.80m、短軸長1.70m。平面形は隅丸方形。中央溝はない。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。8号道に接するようにある。2号水路まで20.5m、4号畑まで17.5m。

97号平坦面 96-H-12グリッド 第11区画1号畑の調査区南端にある。長軸長1.68m、短軸残存長1.43m。平面形は円形だが北部が調査区外となる。中央溝は南北方向。北端は不明だが、南端は平坦面溝までは達しない。平坦面溝より深い位置に達する。周囲の畝間溝は平坦面溝に切られる。8号道まで11m。



0 1:60 2m

第5項 道・水路

ここでは、天明泥流直下で確認された道と水路に関する記載を行う。調査区中央近くを東西に走る7号道とその南に接して作られた1号水路は現代まで踏襲された、ここでの幹線的な道・水路である。これを境に畑の様相が異なることは先に見たとおりであり、また、この道に沿って寺院を含む建物が作られている。

4号道も幅の広い道で、調査区の中央東寄りて7号道とT字状に交差して南に伸び、調査区南端近くで西に折れるとともに、東に伸びる9号道と分岐する。7号道との交差点には、仏堂とみられる3号建物がある。9号道北辺、4号道東辺に接して2号水路がある。途中4号道から分かれて東に折れ、8号道をまたいで19号建物の中を通過する。

8号道は寺院の山門と目される寺院内7号建物から南に向かって伸びる。非常に直線的に作られた道で、寺院への参道的な機能が想定される。

調査区西部で7号道から北に分岐する3号道は、直線性は高いものの幅は狭く、溝に近い線状の窪地的な形態を示す。同じく7号道から北に分岐し、次いで東に屈曲する2号道も幅が狭く、かつ泥流による削割のため東部が確認できない。一部は両側に側溝状の構造を伴うが、基本的には溝状の形態である。畑第4区画と第5区画を分ける番手の付されていない道があることは先に見たとおりだが、短い区間の調査ながら、3号道、4号道と近い走行で南北に伸び、直線性も高い。これらの道や水路が、地割りや畑区画の骨格をなして、畑の畝間溝はこれらの道に何らかの形で規制されている。

これらに対し、5・6号道はともに、他の道とも畑の畝間溝の走行とも異なる方位を示し、かつ畑の畝間溝を潰すように走る。畑に関わる作業に使用した臨時的な道、あるいは道としては意識されていない作業痕跡であるか、あるいは人為的なものではないなど、他の道とは異なる性格を有する可能性が考えられる。

以下各道、水路について遺構番号順に述べる。

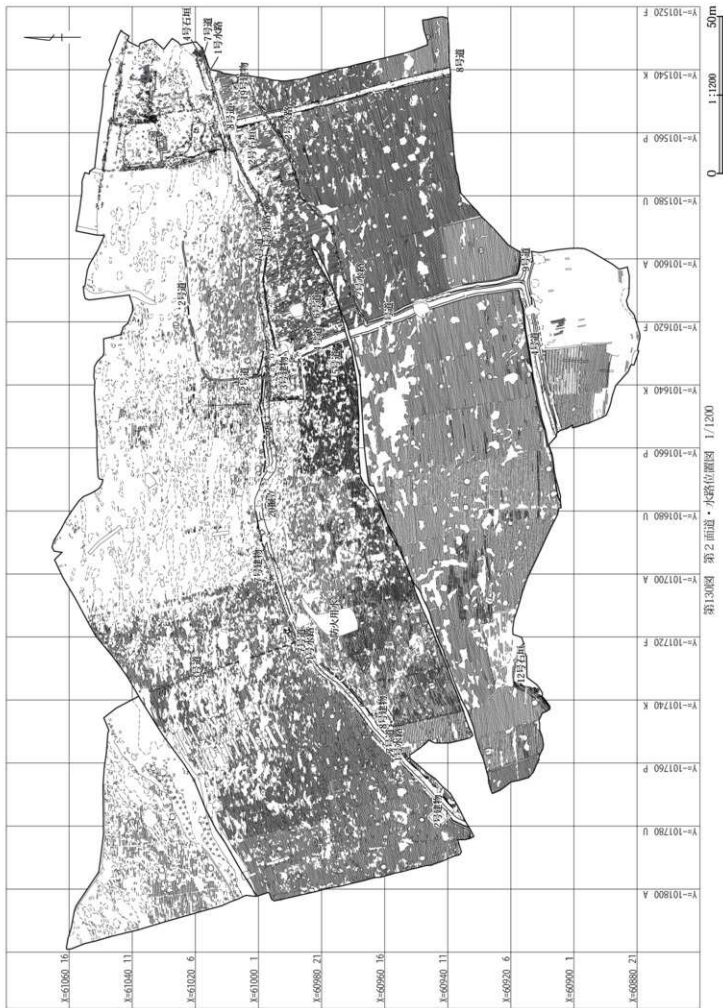
2号道

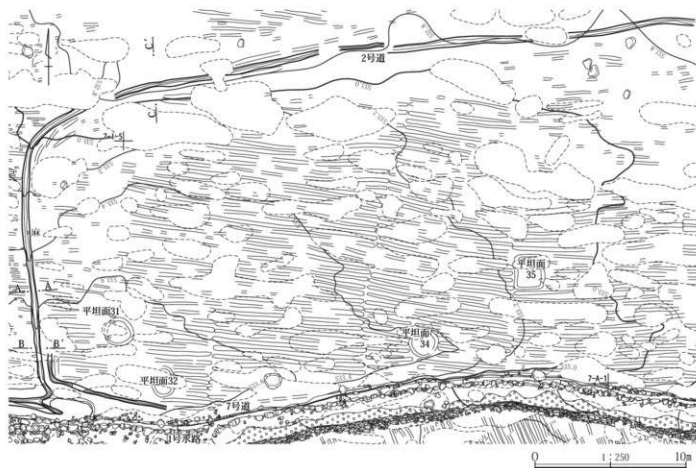
調査区北東部にある。中央東寄りて、調査区を東西に貫く7号道から北に分岐し、17mほど進んでから向きを変え東に屈曲する。東部は擾乱が激しく、41.5mほどの

延長が確認できるが、東端は把握できない。寺院内6号建物(本堂)の南辺延長線と寺域境界の石列との交点近くに達する可能性が高いものと思われる。第3区画1号畑北西隅付近の畝間溝痕跡はこの道のカーブに合うように切られているため、この畑に先行して存在した道であったことがわかる。道の構造は1号水路・7号道との交差点近くとそれ以北で異なっている。最初に着手された南北に走行する部分の調査では、As-A降下軽石で埋没した溝状の遺構が2号道として表現されている。上端幅35cm、深さ8cmほどで、底面が丸みを持っており、浅い碗状の断面形を示す。硬化面等の記載はない。後に調査された1号水路・7号道との交差点近くでは、水路・道の北側溝から張り出すように屈曲して北に伸びる、前年度の2号道に相当する溝状遺構と連続するものを西側溝、第3区画1号畑の西辺から南辺にかけての境界となる溝を東側溝とした平坦面が2号道として捉えられている。東側溝は上端幅35cmほど、西側溝は幅27cmほど、平坦面幅は40cmほどである。硬化状況等の記載を欠く。東西走する北部でもこの形態が想定されていたらしい。断面Cラインでは北側に長く線が設けられていて、溝状遺構が道の東側溝に相当する可能性が考慮されていたらしい。最終的には初期に想定された3号道を追認することになっている。交差点近くでは両側溝が設けられたものの、以後は特別な施設を持たない踏み分け道であったのだろう。

3号道

第1区画畑と第2区画畑の境界をなす、南北に直線的に伸びる道として捉えられた。98-F-22グリッドで7号道から分岐して北に向かい、調査区界に達する。南北方向部分は確認長49.45m、N-14.5°-Wで直線的に伸びる。第1区画7号畑から7cm、第2区画1号畑から5cmほど低い溝状を呈する。上端幅28.4cmほどで、底部は丸みを持っており、上部の開いた碗状の断面形を示す。As-A降下軽石に埋没する。畑耕作土である暗褐色土がほぼんだ状態にあって、さらに下層の青灰色粘質土まで変形が及ぶ。硬化状況等の記載はない。また、7号道との交点からは7号道北辺に沿って東北に伸び、第2区画1号、2号畑の南境界で、7号道の北側溝的な位置にある。第2区画2号畑東端、7号建物の手前で確認できなくなる。ここまでの確認長は20m、幅38~50cmほどで、N-71°-Eに直線的に伸びる。これ以东も7号道北側溝としては



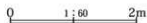


A-A'・C-C'

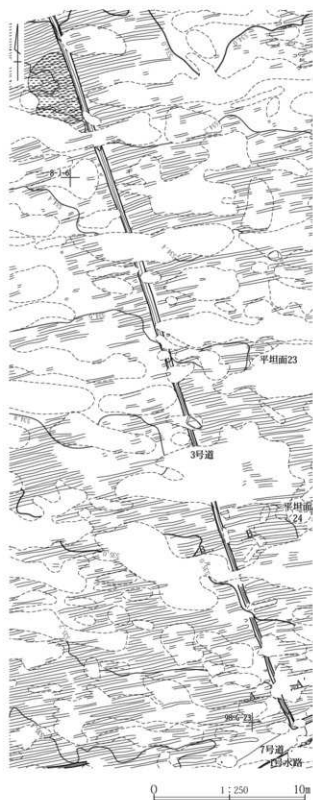
1. As-A配流。
2. As-A降下軽石。

B-B'

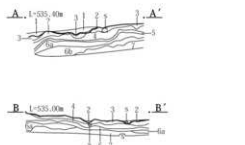
1. As-A配流。
2. As-A降下軽石。
3. 茶色、鉄分沈着、細粒・黄色粒 ϕ 1mm混じり。
4. 青灰色土 粘性あり、上層からの浸透水の影響で変質か細砂混じり。



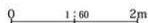
第131図 2号道 1/250・1/60



第132図 3号道 1/250・1/60



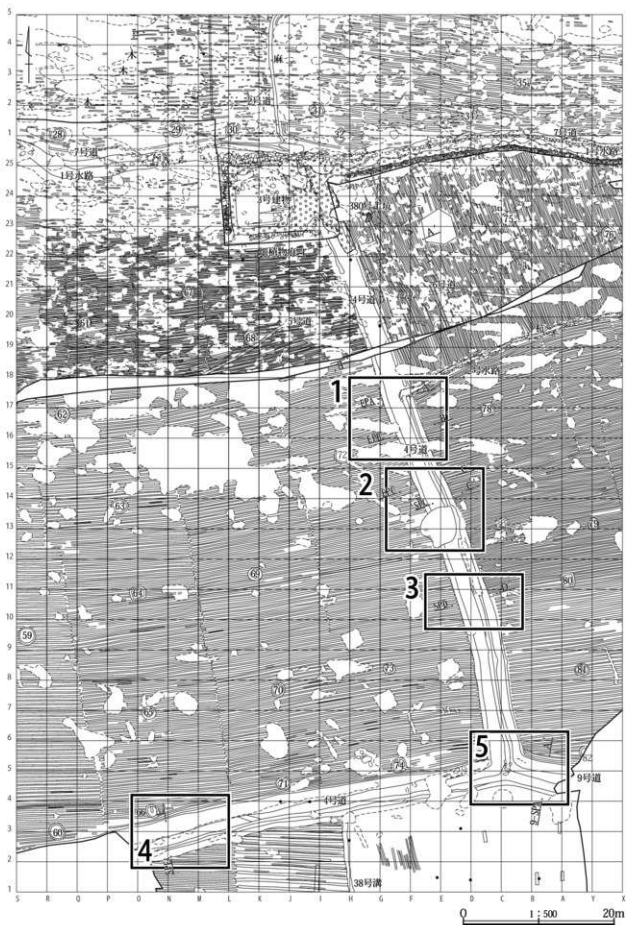
1. As-A配流。
2. As-A降下軽石。
3. 暗褐色土(10YR4/3) 鉄分沈着みられ、白色細粒混じる、耕作土。
4. 青灰色土、粘性、しまりあり、小石含む。
5. 鉄分沈着。
- 6a. 灰黄褐色土(10YR4/2) しまり弱く、サクサクした層。
- 6b. 6a層に黄色汎水砂混土。
7. 黒褐色土(10YR3/2) 土質均質、小石わずかに含む。



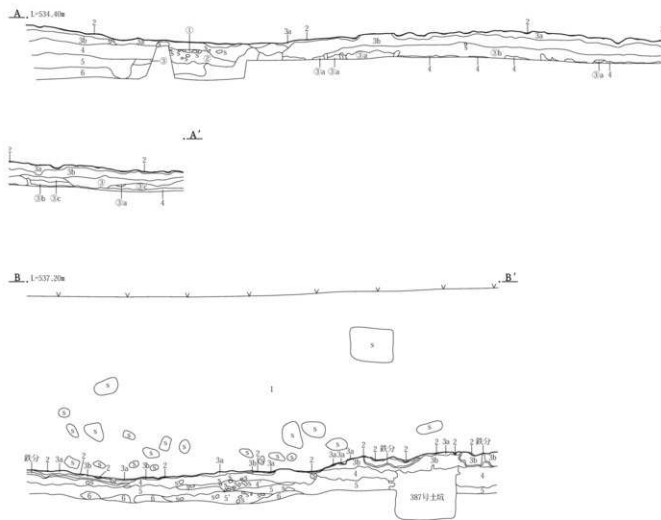
2号道との分岐まで途切れつつも連続する。硬化状況等に関する記載はない。

4号道・9号道

4号道は3号建物の東で7号道から南に分岐する。畑の第5区画と第8・9区画の境界にあたる。調査区南部97-B・C-4・5グリッドで丁字路をなして東西に分岐し、主線である4号道は西へ折れ、東に折れるものを9号道としている。7号道との交点は標高533.8m、9号道との分岐点では536.1m、西へ折れた調査区西端では538.6mである。4号道の南北走る部分はN-17°-Eで長85mにわたって直線的に伸び、南に向かってゆるやかに上る。東西両側に側溝を持つ。西側の側溝は北端から屈曲部を経て西端まで連続する。上端幅50～60cm前後。西側畑からの比高は北端で13cm、中部で19～23cm、南部で8cmほど。路面からの比高は北部で6cm、中部で12～13cm、南部では3cmほどである。東側の側溝は2号水路との分岐点以北は幅50～60cm、東側畑との比高8cm前後、路面との比高9cm前後である。この側溝は2号水路との分岐手前で途切れる。以南は2号水路の南北走部分と併走することになるが、2号水路がこの側溝の延長線上を走り、水路と路面との間に側溝が設けられるため、路面幅がやや狭くなる。2号水路以北では両側溝の上端間2.2mほどであったものが、以南では1.6～1.8m

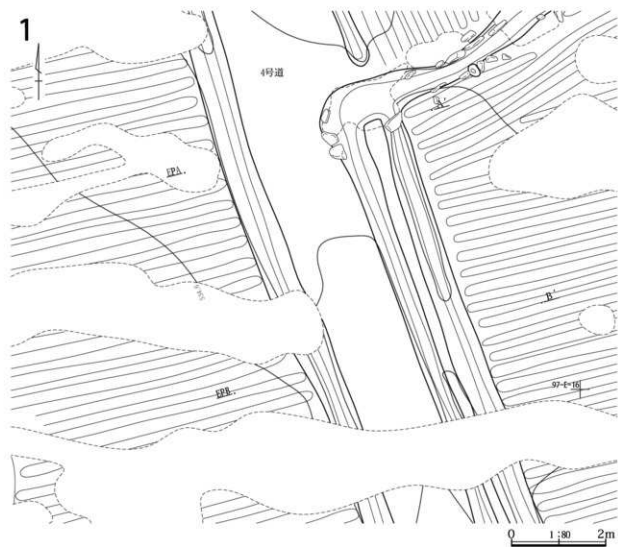


第133図 4号・9号道 1/500

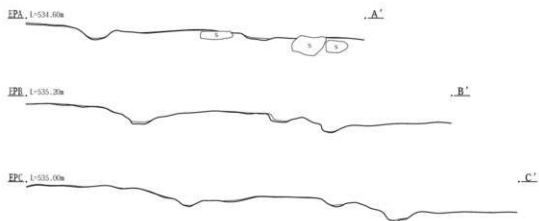


1. 天明泥炭。
 2. As-A降下軽石 発泡のよい白色軽石、径2～4mm位の軽石が主体。
 - 3a. 暗褐色土(7.5YR3/4)白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。鉄分付着。
 - 3b. 暗褐色土(7.5YR3/3)白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。
 4. 黒褐色土(7.5YR3/2)白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。畑の耕作土。
 - 4'. 4層に少塵を多数含む。
 5. 黒褐色土(7.5YR3/2)白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。畑の耕作土。
 - 5'. 5層に少塵を多数含む。
 6. にぶい褐色土(7.5YR5/4)褐色粒子を少量含む。褐色土粒を少量含む。
- ※4層と5層は図上では区分されるが同一の層相として記載されている。

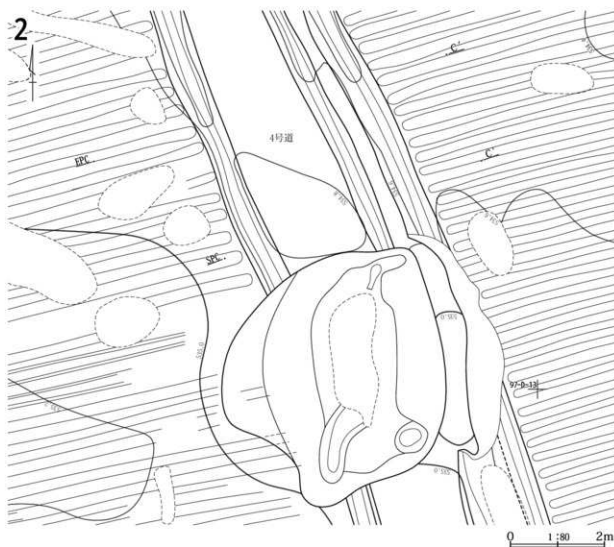
第134図 4号道断面図1 1/60



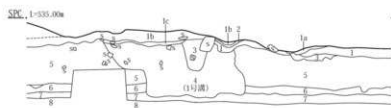
第135図 4号道 部分図1 1/80



第136図 4号道高低図 1/60



第137図 4号道 部分図2 1/80



1. 淡灰褐色土。天明泥流下層の粗土。

1a. 1と同質で、砂礫を多く含む。

1b. 黒灰褐色土。緻密で硬質。炭化物を多く含む。4号道の上。

1c. 1b層と4層の混土。

2. シルト砂層。灰白色もしくは黄白色で、下層に荒い粗砂が入る。

3. 下層溝覆土。下半がラミナ堆積粗砂層、上半が暗灰色粘質土。8mm大の円礫が入る。

4. 下層溝覆土。ラミナ堆積砂礫層と暗灰色粘質土の互層。洪水で一氣に埋没か。

5. 暗灰褐色土。炭化物を少量含む。

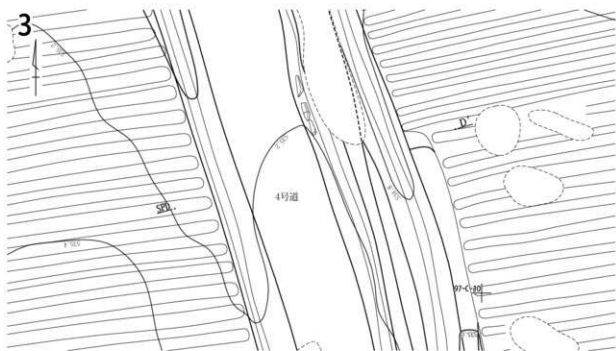
6. 淡灰褐色土。上面に調査面4面の砂礫が入る。炭化物を少量含む。

7. 暗灰褐色粘質土。炭化物を少量含む。

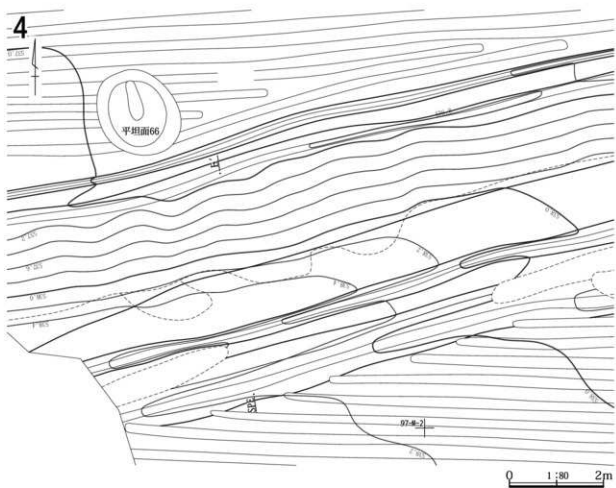
8. 黄白色シルト質土。

※ 下層溝は、天明泥流直下の下から確認された大溝で、中世段階からラインを継承する主要水路と考えられる。中世段階の溝の形状は判然としませんが、江戸時代前半段階までには大溝としての形態が完成していたと考えられ、おそらく江戸前半期のある時期(例えば寛保年間)に一氣に埋没したものであろう。その後もこのラインは、天明泥流下の道とそれに伴う水路として継承されている。

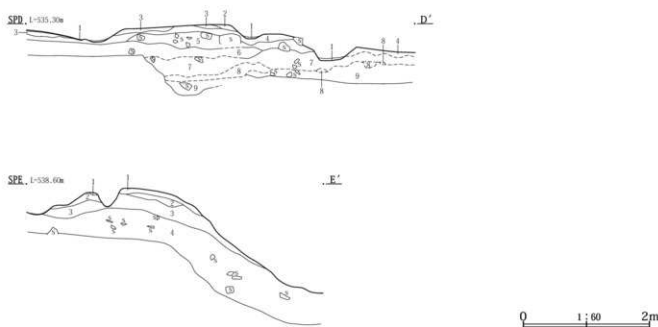
第138図 4号道断面図2 1/60



第139図 4号道 部分図3 1/80



第140図 4号道 部分図4 1/80



第141図 4号道断面図3 1/60

ほとんどになっている。路面の状態も異なり、北部ではほぼ平坦に作られているものの、地形の傾斜に従ってわずかに東が低くなるのだが、南部では本来低いはずの東側がやや盛り上がるような状況も見られる。断面では観察されていないが、側溝や水路の掘削土が道路部分に盛り上げられたかのような印象がある。なお、この道の下には1号溝があって、中世段階からの主要水路であり、おそらく江戸前半期にしたものの、主要な地割りおよび水路としての機能が継承されているとの調査所見が得られている。

9号道との交点から西に折れる。東西の側溝は4号道に従って西走り、2号水路は東に折れて9号道の北を画することになる。分岐点から49.3m分を確認しており、走行はおおよそ $N-103^{\circ}-W$ を示す。この部分では北側の第5区画畑南端と南側の第7区画畑北端の標高差が70cm近くもあって、ここでの4号道は第7区画に属する道として機能している。西側溝から連続する北側溝は斜面下端にあたり、東側溝は4号道南側溝と9号道南側溝と分岐するが、さらに外側に9号道と連続する側溝があって、これが第7区画畑との境界となる。北側斜面の崩落による広狭があるが、道幅はおおよそ0.7～1.5mほどである。

9号道は4号道東側溝と2号水路の間の平坦面が東に

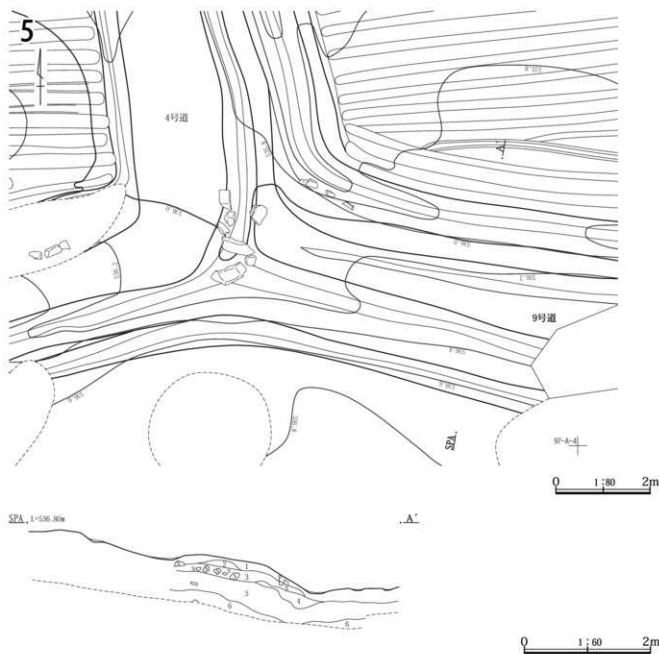
折れて幅を広げるもので、4号道路面と9号道路面とは4号道東側溝で分断される。この接点近くには角礫が散在しており、何らかの構造があった可能性を示す。確認長はわずか9m不足であるが、南側斜面を整形して $N-103^{\circ}-E$ 方向に延びる。北斜面が崩落して道幅には広狭が生じているが、おおよそ0.8～1.1mほどである。

5号道

97-J-19グリッドからL-18グリッドにかけて、12mほどの長さで確認された。東は畑の途中で消え、西端は平成26年度調査区界に達するが、平成27年度調査区ではこの連続は確認されていない。第5区画19号畑から22号畑にかけて延び、方位は $N-55^{\circ}-E$ を示して畑の畝間溝方向とは斜行する。上端幅30～45cmほどの浅い溝状を呈するものとして捉えられているが、ごく微かな痕跡で畝の畝、畝間溝を壊していない。断面、高低および硬化状況等に関する記載はない。

6号道

97-B-20グリッドからE-20グリッドにかけて、12mほどの長さで確認され、このうちC-20グリッドまでの6.5m間が比較的明瞭に捉えられている。方位は $N-3^{\circ}-E$ でほぼ東西走り、第8区画1号畑の畝方向とは斜行する。東端は平成26年度調査区界に達するが、平成27年度調査



第142図 9号道 平面図1/80・断面図1/60

区ではこの連続は確認されていない。西部は97-D-20グリッド以西で痕跡が不明瞭となり、E-20グリッド東部で泥流削痕に切られて確認できなくなる。一方、同グリッドの西部では泥流削痕下で畑の畝、畝間溝が削痕の示す泥流下方向にたわむように変形する状態が捉えられている。人為以外の成因も考慮されるべきだが、断面、高低および硬化状況等に関する記載はなく、写真記録も残されていないため、調査者による道との判断に依る。

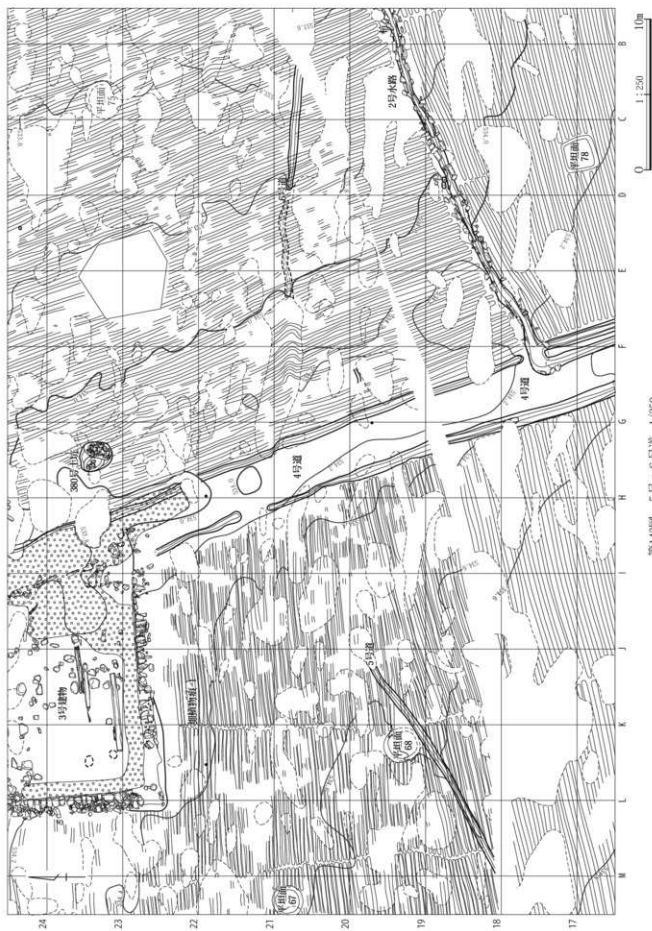
7号道・1号水路

調査区のはほぼ中央を東西に貫く幹線道路である。調査

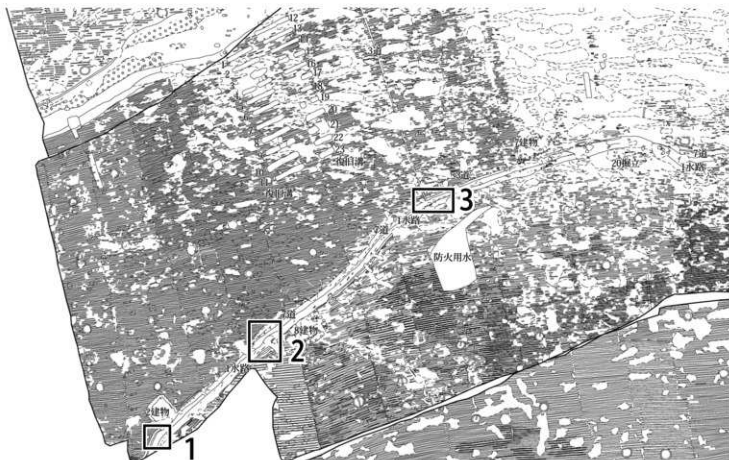
区西端から東北方向に向かい、ゆるやかに角度を変えて東に向かい、小さく蛇行しながら調査区東端に至る。延長281m余となるが、4号道との分岐点である3号建物を挟んだ東西で、道、水路ともに様相を異にする。

西端近く(部分図1)ではN-24°-Eで北上し、2号建物の西でN-46°-Eへと向きを変え、3号道との交点付近ではN-66°-Eとなる(部分図3)。20号掘立柱建物の東では小さく蛇行して南に下がり、東西方向に走って3号建物に至る。この部分までは石垣、石組みを伴わない。

部分図1は西端近くから2号建物西部にかけてを示し



第10384 5号・6号道 1/250



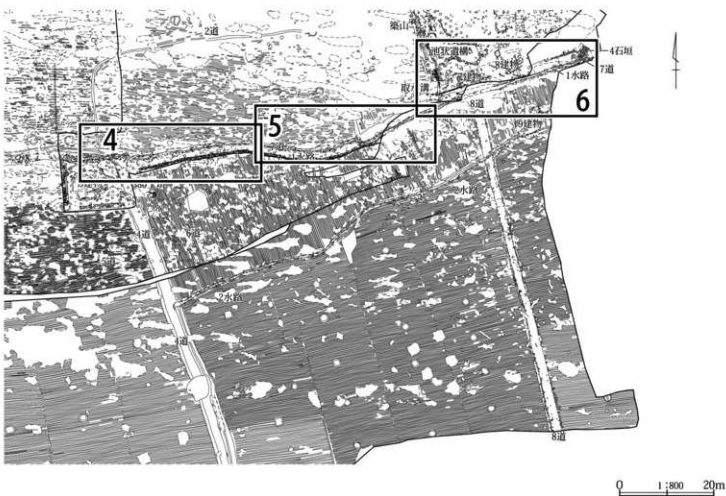
第144図 7号道・1号水路 1/800

たが、北側溝は7号道北端を南辺とし、第1区画2号畑に北辺を置く。上端幅0.75mほどで、浅い皿状の断面形を呈する。畑の畝間溝に切られている。また2号建物の周溝に切れ、以東に連続しない。2号建物の周溝は路面にまで食い込んでいる。この道と直接的な関係を持った施設であることを示すものかもしれない。南側には1号水路が接する。上端幅1.36m、7号道路面との比高0.44m、第5区画1号畑との比高0.31m。道幅は0.7～1.3m。

部分図2は8号建物の西側に当たるが、泥流の衝撃痕かと思われる変形が記録されている。また、7号道北辺に沿って木製の杭が打たれた痕跡が残っている。調査区界に当たって畑との関係等は把握できていない。ここでは1号溝の断面形状が比較的良好に捉えられており、7号道および南部の畑に向かってなだらかに上端を開くものの、下位の壁は垂直に近く立ち上がり、底面は中央がややくぼむ。断面図と土層観察所見が整合性を欠くが、底

面近くには砂礫の互層が観察されていて、流水があったことが示唆される。

部分図3は北から延びた3号道が7号道との交点で東に折れる部分である。これ以东、3号道は7号道の北側溝的な位置を占める。部分図4および詳細図4-1ではこの北側溝が2号道に連続する部分を示した。ここでの7号道はほぼ東西に走る。また、南側の石垣は3号建物の基部に相当する。1号水路はこの部分以东では円礫を2段ほど積んだ石組を伴う。掘り方上端幅0.6～0.7mで、北側は石列が乱れるが、南側では整った石列が見られる。3号建物石垣の崩落石下で明瞭さを欠くが、7号道と1号水路が交差し、1号水路は7号道の北辺に移動し、7号道南辺は部分図4の2号石垣、部分図5の1号石垣によって第8区画の畑と界される。ともに高さ0.7mほどで、川原石を横積みしに4～5段積み上げている。断面の観察所見では裏込め、控え積みはなく、地山を整形した後に暗褐色土とともに石積みを行ったものよう



である。この石垣が調査区東端まで連続する。石垣上端は攪乱が著しく、畑との関係を把握することができない。7号道の石垣下端部にはAs-A降下軽石の堆積が顕著に見られる。石垣下端から水路石組み外側までの幅は1.2～1.5mほどである。

96-U-25・6-A-25グリッド、東の第3区画7号畑と西の5号畑間で、1号水路が再び7号道を横断して南側に移る(部分図5詳細図3)。水路掘り方の上端幅が0.5mほどに狭まり、7号道路面の幅は1.6mほどとやや広くなる。また、これ以东ではAs-A降下軽石の堆積は見られなくなる。

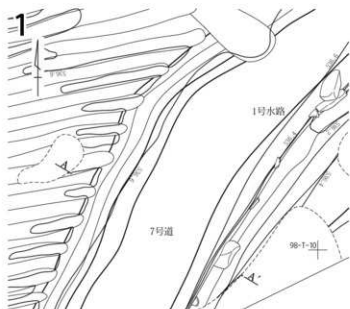
部分図6および同詳細図1は、7号道、1号水路が寺院跡の南辺を走る部分に当たる。東端の調査区界では4号石垣が崩れているが、石垣と道、水路の構造が良好に残されている。ここでの方位はN-73°-Eを示す。北の4号石垣は寺院南辺を画するもので、整えられた角礫が7～8段、1.4mほどの高さで積まれる。石垣下端か

ら1号水路の北端掘り方上端までの路面幅1.7～1.8m、1号水路の上端幅0.6m、深さ0.42mほどである。

8号道

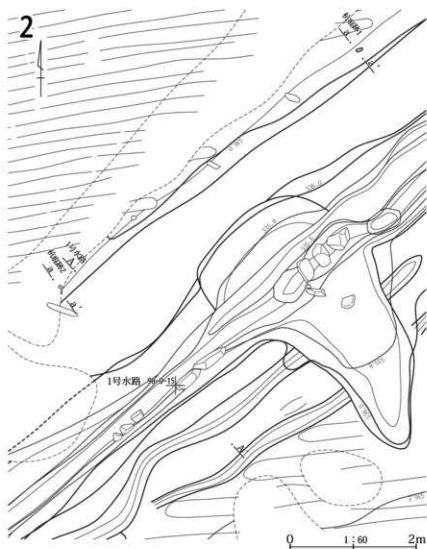
7号道・1号水路との接点が攪乱により失われているが、寺院の本堂とみられる6号建物および山門が想定される寺院内7号建物の正面にあたり、両側に石列を持って直線的に南に延びるところから、寺院への参道的な機能を持った道とみられる。方位はN-14°-W、確認長約70m、北端部の路面中央での標高531.38m、南端部では535.1mである。2号水路との交点を境に、南北で道両側の構造が異なる。

北端(詳細図1)は6-N・0-2グリッドで、第8区画2号畑と第10区画の間にあり、西側にのみ上端幅20～25cmほどの狭い側溝を持つ。路面西部の標高は531.41mが測られており、西側溝底との比高6cm、西側畑面との比高4cmでわずかに路面が高い。路面東端の標高は531.31mで、路面自体は西から東にわずかに下がってい

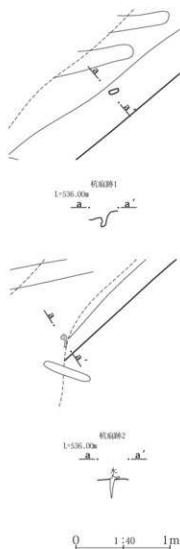


第145図 7号道・1号水路 部分図1 1/60

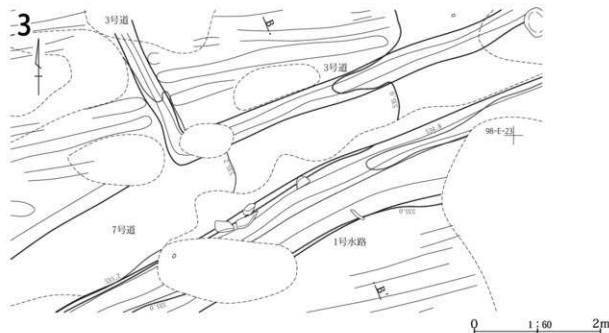
0 1;60 2m



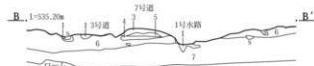
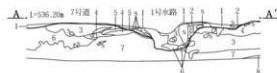
第146図 7号道・1号水路 部分図2 1/60



第147図 7号道・1号水路 杭 1/40



第148図 7号道・1号水路 部分図3 1/60



詳細図1 SPA-A'

1. 褐灰色土 10YR4/1 粗砂、小石混じり。炭化物含む。
2. 灰黄褐色シルト質土 10YR5/2 炭化物わずかに含む。
3. 黒褐色土 10YR3/1 小石混じり、砂混じり、固くしまる。
4. 黒褐色土 10YR3/2 少礫混じりの粘質土。
- 5a. 黄色細砂、シルト、鉄分凝集層が互層に堆積。しまり非常に強い。
- 5b. 5a層に灰色シルト互層に堆積。
6. 黄色砂主体、非常に固くしまる。
- ①. 暗褐色土 10YR3/3 小石含む。
- ②. 基本土層3a層 泥炭高耕作土。
- ③. 灰黄褐色土 10YR4/2 洪水砂混じりの耕作土。基本土層3b。

詳細図2 SPA-A'

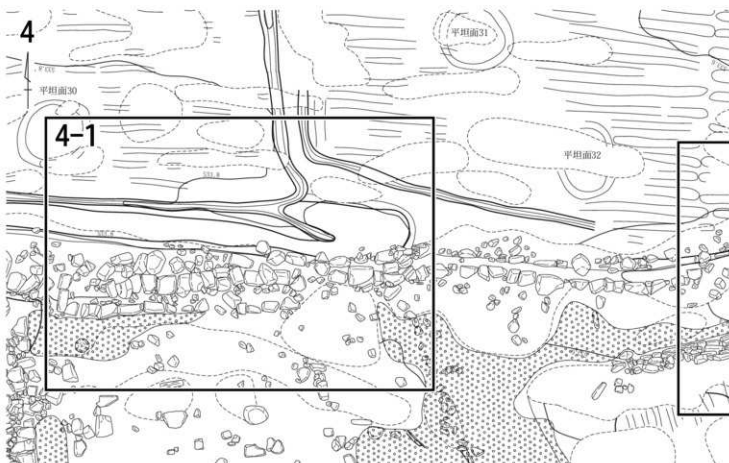
1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
3. 青灰色土 中や粘性あり。部分的に鉄分沈着あり。泥流に含まれる大礫により押し込まれた層。
4. 褐灰色土 10YR5/1 しまり弱く、ホクホクした層。わずかに鉄分沈着あり。
5. 黄色砂層。
6. 細砂、砂、小石互層に堆積。流水堆積層。

詳細図3 SPB-B'

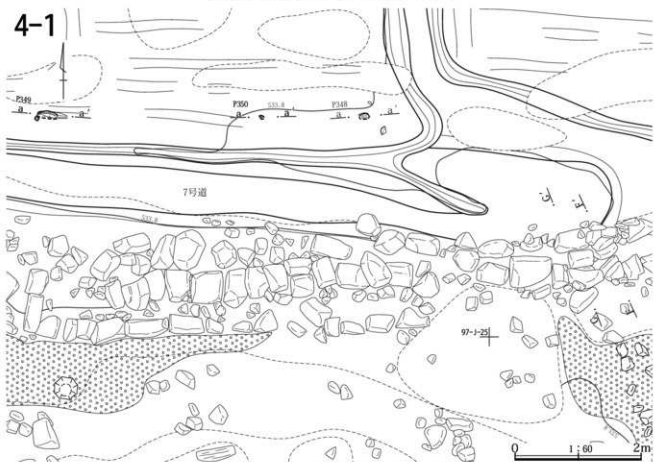
1. 天明泥流。
2. As-A降下軽石。
3. 青灰色土 中や粘性あり。部分的に鉄分沈着あり。泥流に含まれる大礫により押し込まれた層。
4. 褐灰色土 10YR5/1 しまり弱く、ホクホクした層。わずかに鉄分沈着あり。
5. 黄色砂層。
6. 細砂、砂、小石互層に堆積。流水堆積層。

0 1:60 2m

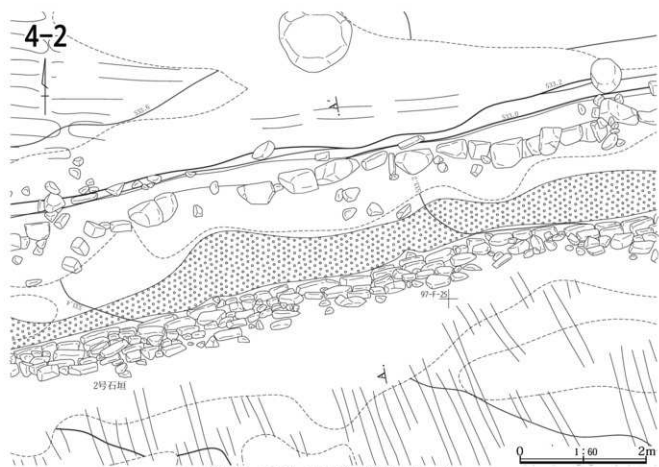
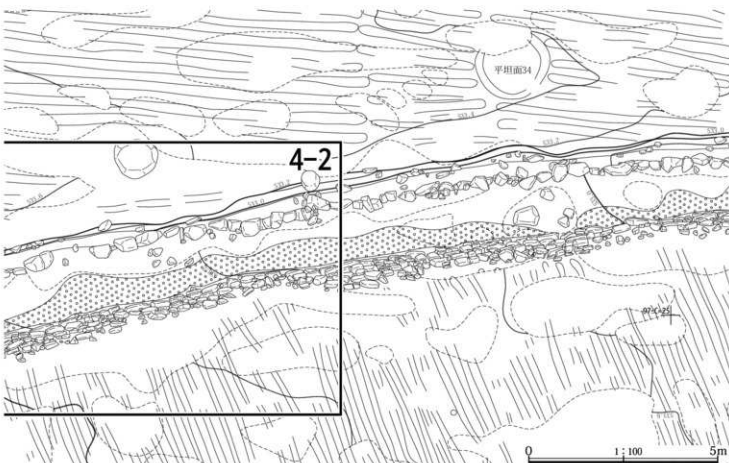
第149図 7号道・1号水路断面図 1/60



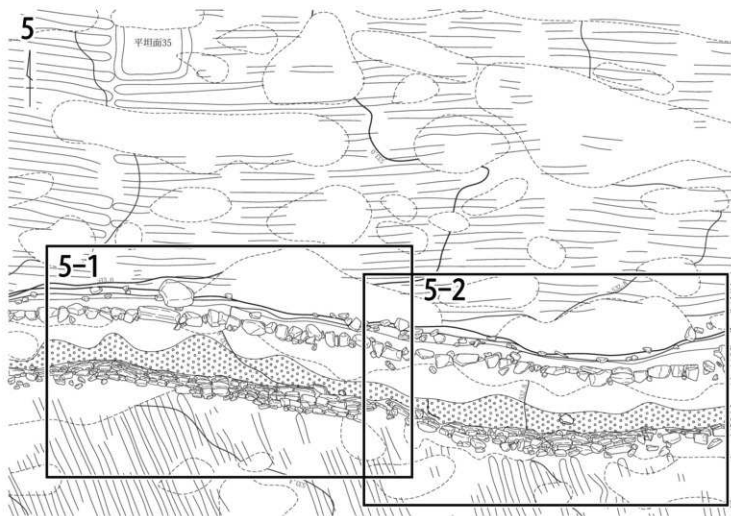
第150図 7号道・1号水路 部分図4 1/100



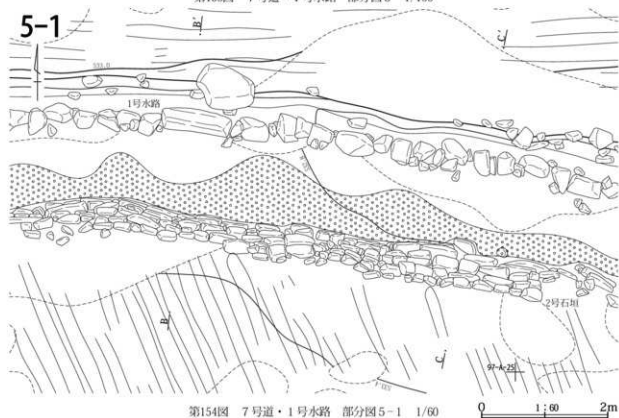
第151図 7号道・1号水路 部分図4-1 1/60



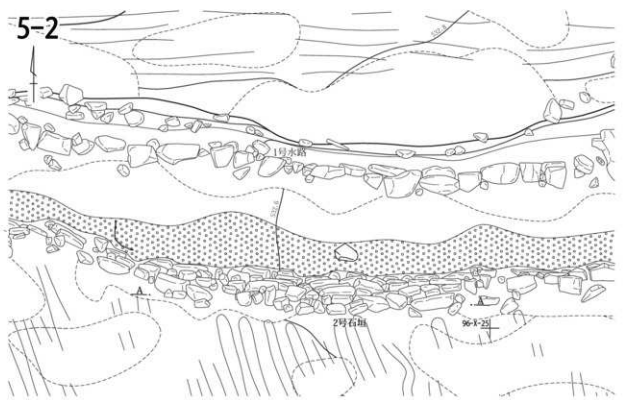
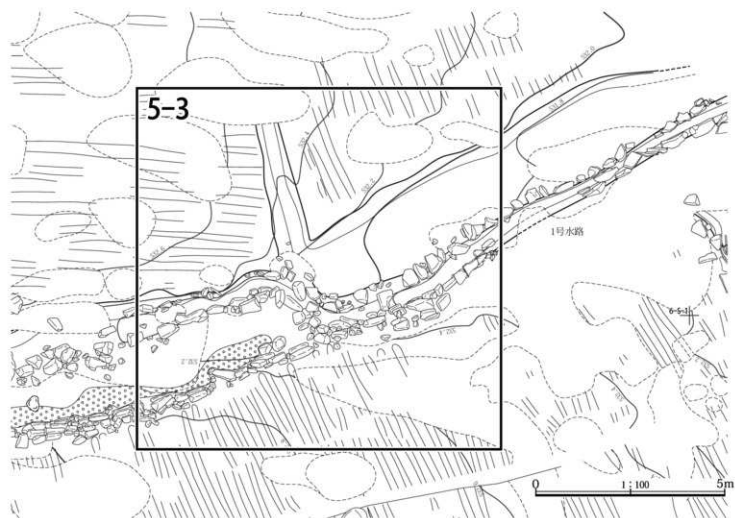
第152図 7号道・1号水路 部分図4-2 1/60



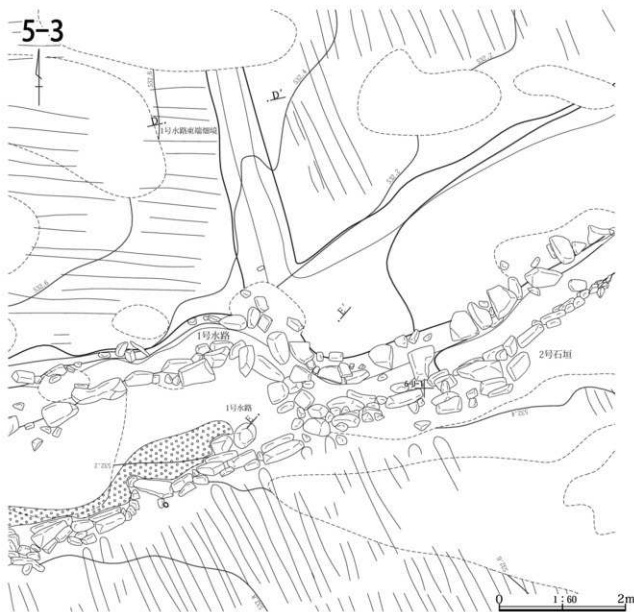
第153図 7号道・1号水路 部分図5 1/100



第154図 7号道・1号水路 部分図5-1 1/60



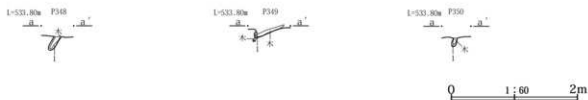
第155図 7号道・1号水路 部分図5-2 1/60



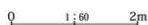
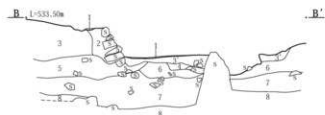
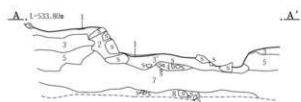
第156図 7号道・1号水路 部分図5-3 1/60



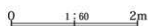
第157図 1号水路高低図 1/60



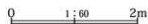
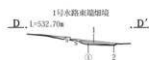
第158図 348・349・350号ピット断面図 1/60



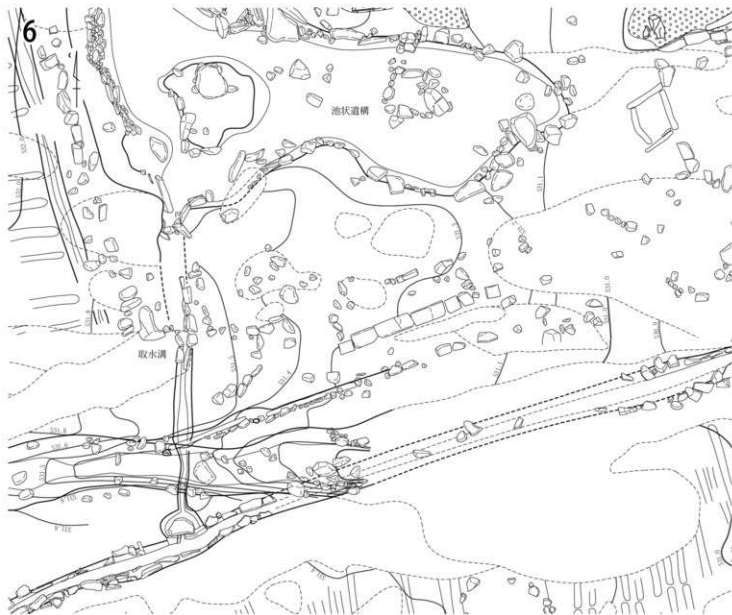
第159図 2号石垣断面図 1/60



第160図 2号石垣立面図 1/60



第161図 1号水路断面図 1/60



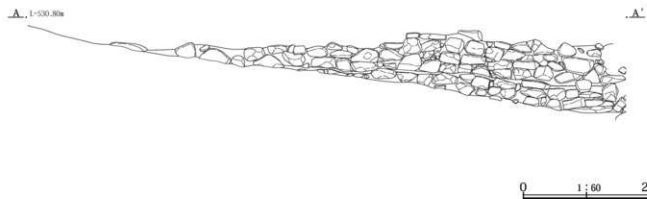
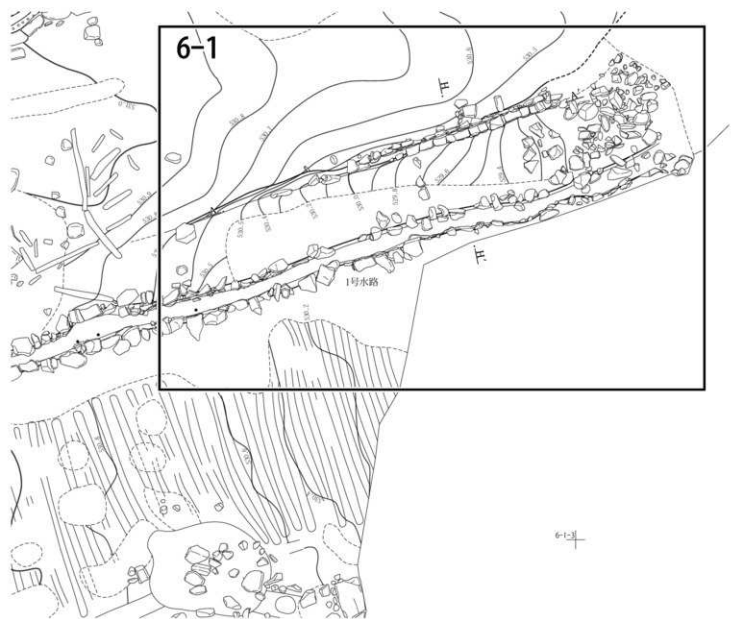
第162図 7号道・1号水路 部分図6 1/100

る。東側畑との差はほとんどないか、路面がやや低い。

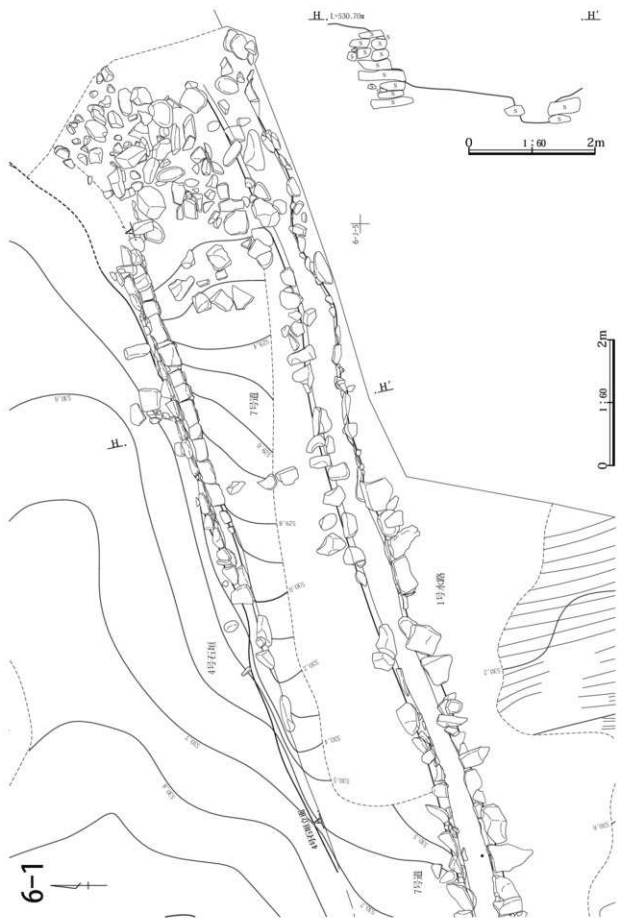
96-N-25グリッドで2号水路の両側石列が8号道を横断する。周辺がやや乱れるため、道側溝と水路との関係が把握できない。交差点以南ではL-19グリッドに至る25.5mにわたって、道の東にも側溝が作られる。2号水路北での路面は幅2m、南では1.7～1.8mで、東側溝は上端幅35～45cm、路面からの深さは5～13cm、東の第11区画畑からの深さは3～6cmほどである。西側溝は上端幅24cmと東側溝よりやや狭く、路面からの深さ2～8cm、西の第9区画5号畑からの深さは2～9cmほどである。東側溝の終端は明確でないが、第11区画畑の畝、畝間溝がさほどはつきりしない部分と比較的明確な部分

との境目にあたり、畑が明瞭な南部で側溝が認められないことになる。西側溝はL-17グリッドでわずかに屈曲して西に張り出すが、他は大きな変化なく南端の調査区界に至る。

道の東西に杭が点在する。道の西側に9本、東側で8本が確認されたが、西辺の最も北の杭は2号水路との交点近くにあり、次の杭までの間は23.8mある。8号道に伴う杭とすると孤立的であり、同じく両側に杭列を持つ2号水路に付属するものと考えた方がよいだろう。これを除くと、西側はM-19グリッド以南の側溝の道寄り斜面に8本が打たれている。間隔は一定せず(北から順に1.4、2.3、5.1、8.5、3.6、4.9、6.8m)、規則性も認め



第163図 4号石垣立面図 1/60



6-1

第164図 7号道・1号水路 部分図6-1 1/60

がたい。東側の杭列は北端がM-20グリッドにあり、側溝中に打たれている。こちらも間隔は一定せず(北から4、1.8、5.4、10.8、8.9、3m)、1.8mを意識しているかのように感じられる部分もあるが確実ではない。西2本目と東3本目、西7本目と東7本目では道を挟んで東西の杭が並び、西5本目と東6本目もこれに近い。また、東側最南端の杭は道からやや東に離れて、畑の畝間溝中に打たれている。

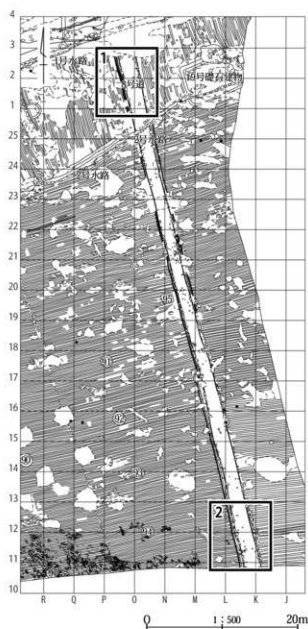
2号水路

4号道の記載で一部触れたが、4号道に沿って南から北に下り、F-18グリッドでほぼ直角に方向を変えて東

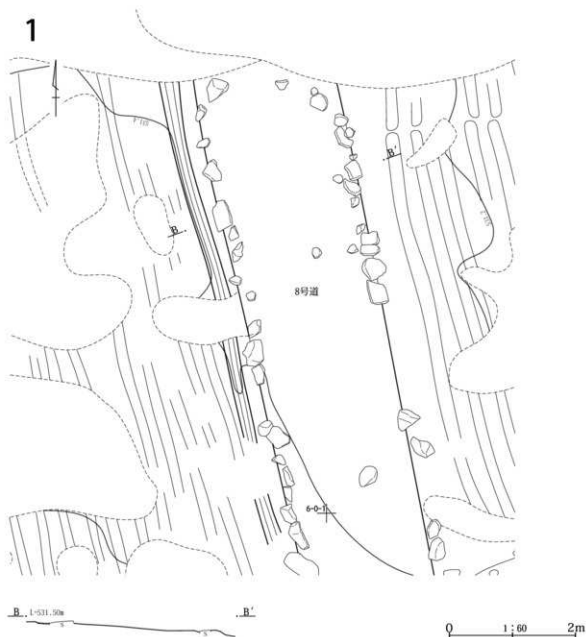
に延びる水路がある。このうち4号道1号落ち込み以北が2号水路として調査されている。

4号道に沿って南北走する部分は長16.3mあり、As-A泥流下の旧地表面では上端幅60～65cm、4号道路面からの深さ35cm、第9区画1号畑からの深さ13cmで、断面形がU字状ないし逆台形を呈する溝であるが、下位には石組みを伴う。東辺はかなり乱れて、南半で径10cm前後の小円礫が列状に残されるのみであるが、西辺は長50cm、幅30cm前後の長方形の角礫を長手に並べた状態がよく残っていた。残存状況から見ると、東側には当初から石列はなく、西側壁の土留めとして石が配されたものかもしれない。水路底面のレベルと比較するとAs-A直下では534.59m、石組み底部では534.38mで、20cmほど埋まっていたようである。4号道から東へ屈曲する部分ではAs-A下での標高534.12m、石組み底部の標高は533.79mで33cmの差がある。傾斜の度合いから見ても、As-A下では南北差47cmに対し石組み底部では59cmあって、石組み水路が南から流れた土壌によって徐々に埋まった様子がかがかわれる。

東西走部分はAs-A直下の地表面に石組みが見えており、ゆるやかに蛇行しつつ東へ下る。92m分を調査しており、東端は19号建物内に取り込まれながら調査区界に達する。部分図1に示した土層断面Dラインおよび部分図3のFラインでは、As-A下面から石組み底面までの構造がよく捉えられる。D・Fラインともに北側に比較的大型の礫を並べて、南側にはやや小ぶり、あるいは薄い礫を重ねている。礫間の水路幅はDラインで30cm、Fラインでは18cmほどである。Dラインでは両側石の底面より水路底面がさらに下がって、小礫を含む5層が堆積する。Fラインでは特に南壁の礫が埋め込まれるように据えられて、水路底面はやや高い位置にある。また、ここでは5層が観察されていない。この水路については土層にかかる観察所見や写真が残されていないので確定できないのだが、最上層で畑の畝間溝を埋めているのがAs-A降下軽石であろう。そうすると、As-A降下時点ではDラインでは水路がほぼ埋まっていた、第8区画畑の耕作土が水路内に流れ込んだ状態にある。Fラインにおいても上位礫によって水路の形状は保たれているものの、半分ほどが埋まった状態にあったことがわかる。調査状況写真で見える限り、4層土は流水を示すような砂礫層ではな



第165図 8号道 1/300



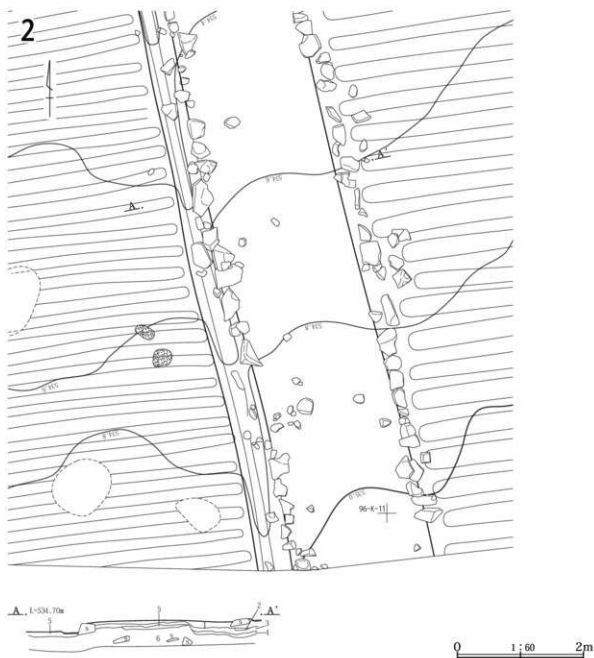
第166図 8号道 部分図1 1/60

いので、As-A噴火直前には水路としての機能はかなり低下していたように思われる。

Fラインの東、U-22グリッドから点々と木杭が打たれている。水路の北側には7本、南側には先述の8号道際最北部のものを合わせて2本が確認されている。北辺7本は間隔は一定しない(西から2.9、5.2、1.2、9.3、1.1、3.9m)が、西から3・4本目および5・6本目が近接してセットをなすように見える。また、南側最西端の杭は北側東端の杭と水路を挟んで向かい合う位置にある(部分図5)。これと2号水路際の杭との間は3.2mある。8

号道以東では杭は認められない。

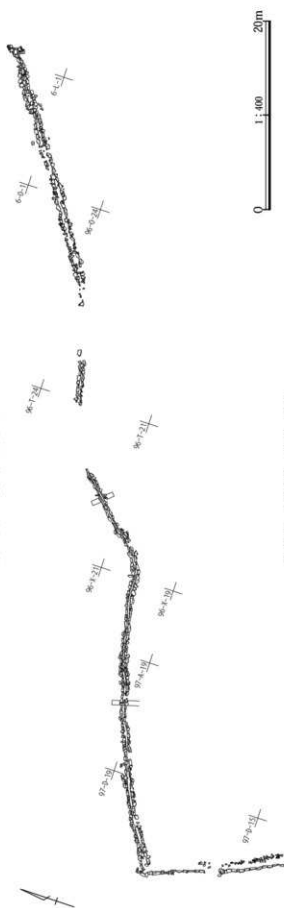
東端部は19号建物の西壁南部から東壁中央部に向かって延びる。この建物はAs-A噴火以前に放棄されていたものらしく、部材等は残っておらず、床面も乱れている。水路は壁外に達するが、石列がみだれていて調査区外に連続するものかどうか確認できない。建物と水路の時間的な関係は捉えられておらず、19号建物で採取された高低図でも地下の水路状況は把握できない。



第167図 8号道 部分図2 1/60

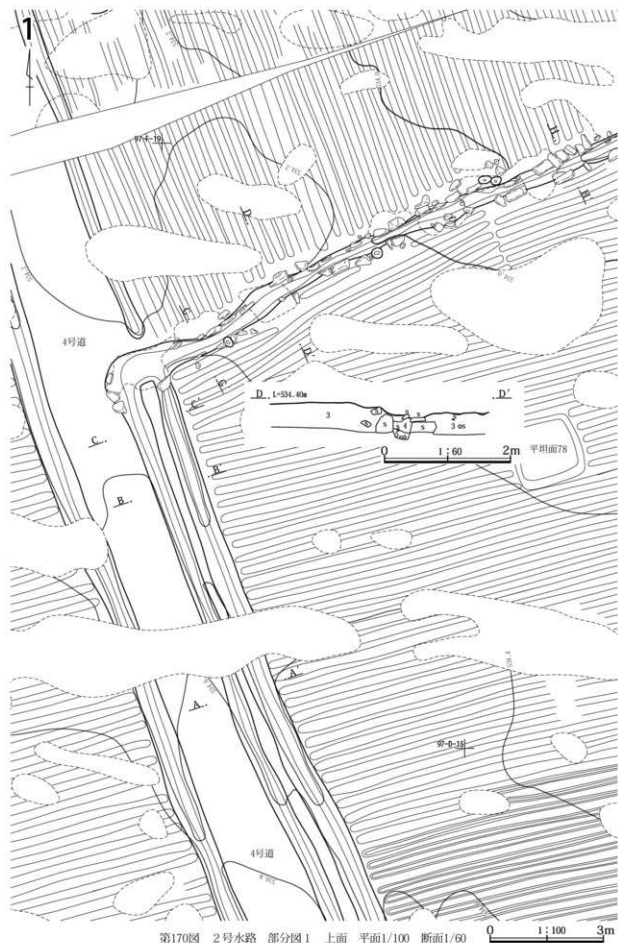


第168図 2号水路 上面 1/400

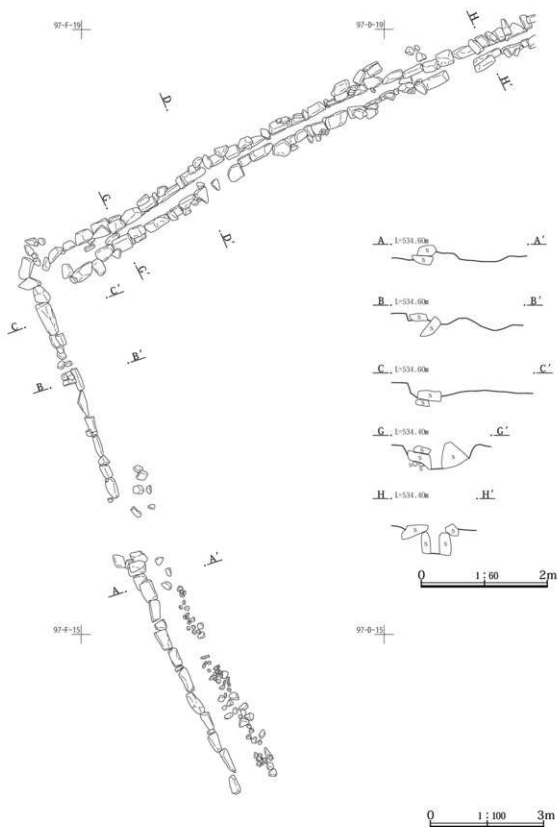


第169図 2号水路 下面 1/400

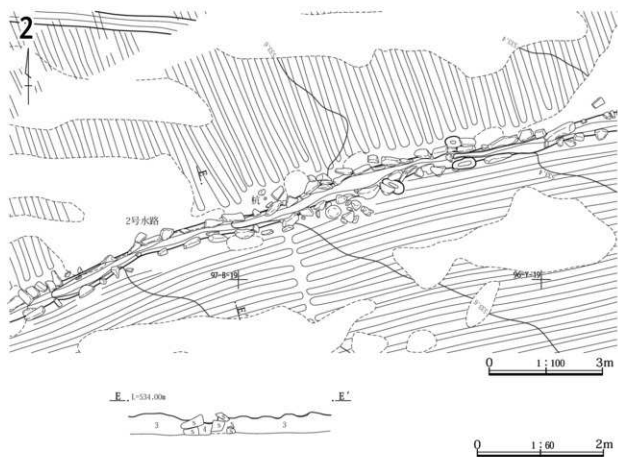
0 1:400 20m



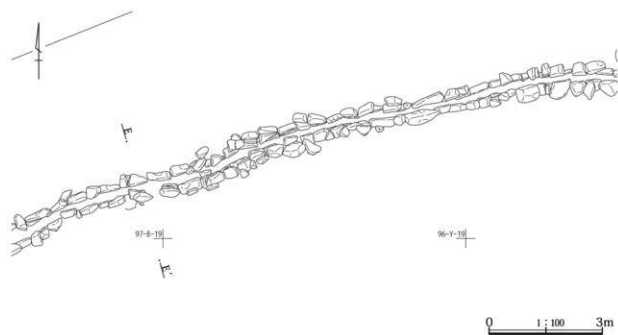
第170図 2号水路 部分図1 上面 平面1/100 断面1/60



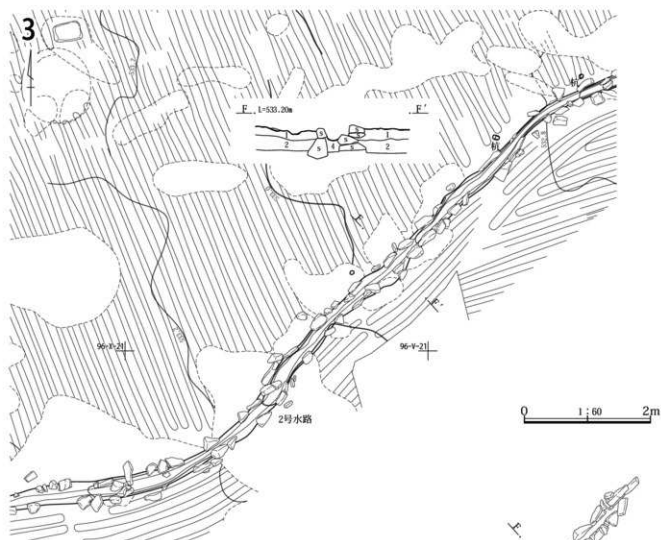
第171图 2号水路 部分图1 下面 平面1/100 断面1/60



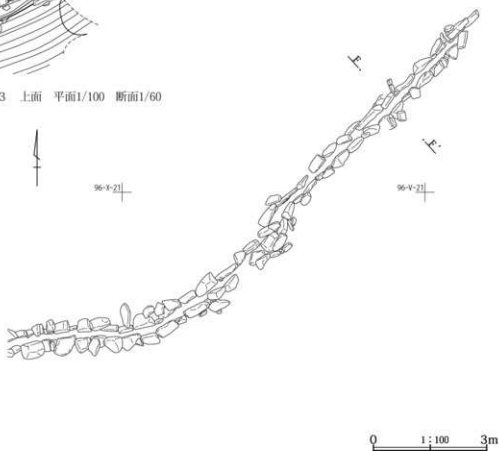
第172図 2号水路 部分図2 上面 平面1/100 断面1/60



第173図 2号水路 部分図2 下面 1/100



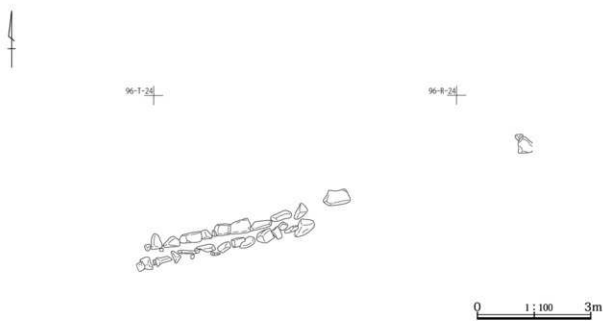
第174図 2号水路 部分図3 上面 平面1/100 断面1/60



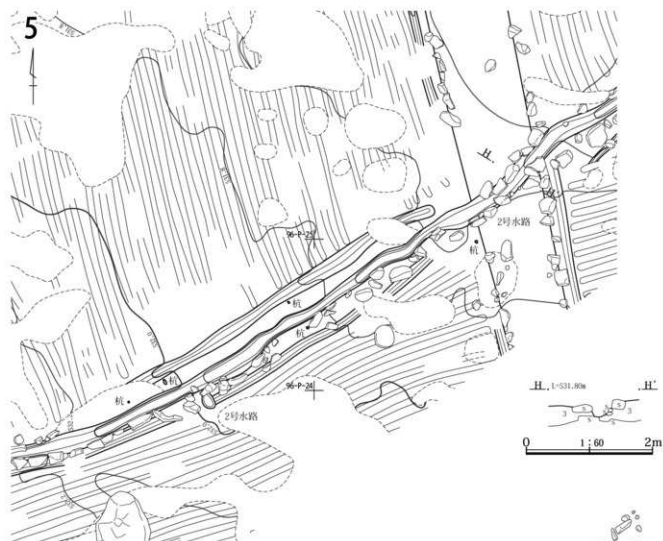
第175図 2号水路 部分図3 下面 1/100



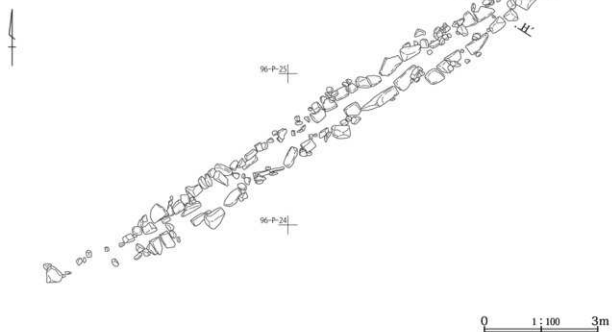
第176図 2号水路 部分図4 上面 平面1/100



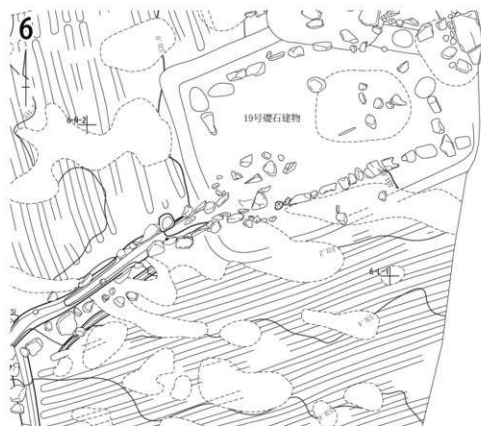
第177図 2号水路 部分図4 下面 1/100



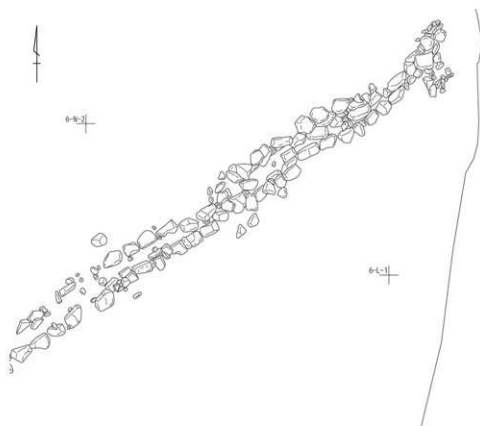
第178図 2号水路 部分図5 上面 1/100 断面1/60



第179図 2号水路 部分図5 下面 1/100



第180図 2号水路 部分図6 上面 1/100



0 1:100 3m

第181図 2号水路 部分図6 下面 1/100

第6項 建物

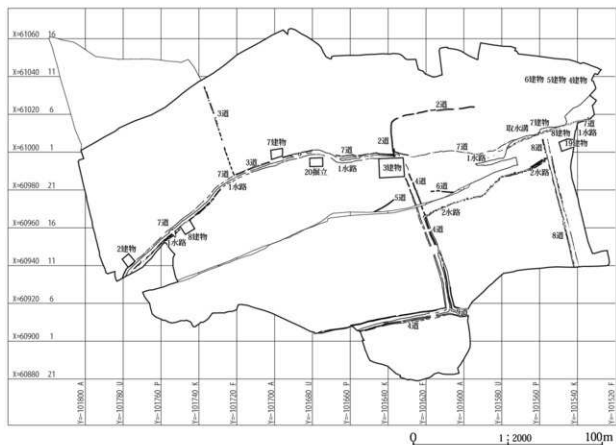
ここではAs-Aテフラ下面で調査された、2・3・8・19号建物、20号掘立柱建物を扱う。寺院跡内にある4・5・7・8号建物および寺院と密接な関係を持つと思われる3号建物については別に扱う。2号水路東端にある19号建物を除くと、寺院跡を含めて、ここの幹線道路と考えられる7号道・1号水路に沿って建てられている。2号、7号および寺院跡が道・水路の北側に、8号、3号建物と20号掘立柱建物が南側に位置する。寺院跡を除くと、火所など生活を示す設備を伴う建物はなく、作業や収納などに使用された建物である可能性が高いものと思われる。

2号建物

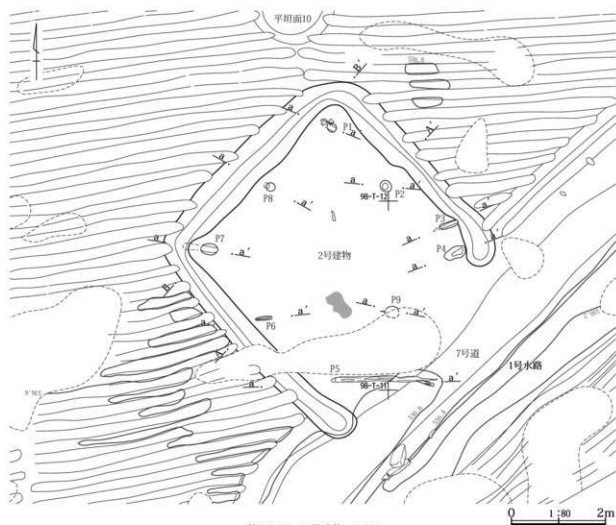
98-S・T-10～12グリッドにある。周溝を伴う2間×2間の側柱の掘立柱建物である。第1区画3号畑内において、7号道に面する。7号道に面した南東辺が開口するコ字状の周溝を巡らす。周溝外端での南西-北東長5.72m、南西辺長5.72m、北東辺長5.40m、上端幅1.7

～2.1m。畑面からの深さは5～13cmで、南西辺南端は7号道路面を切り込み、路面からの深さは20cmほどに達する。また、北東辺南端も7号道から畑面へ下る斜面を切り込んでいて、直近上面からの深さは13cmほどある。周溝の外縁は畑の畝間溝に切られていて、畑耕作に先だってこの建物が建てられていたことがわかる。道の形成→建物建設→畑耕作という過程が示される。

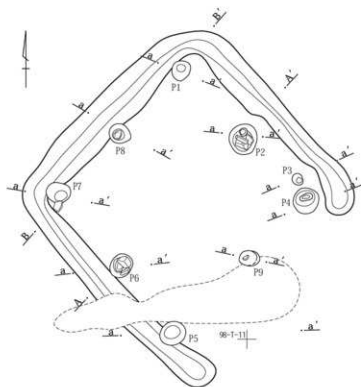
周溝内には掘立柱建物が建てられる。主柱穴8本のうちP1・3・5・7には柱の木質が残り、P4・6・8にも明らかに柱材が抜けた痕跡と思われる空洞がある。特にP5では径10cm、長さ2.5mにもおよび材が倒れた状態で残されている。芯々長で北西辺(P1-P7)3.72m、北東辺(P1-P4)3.72m、南西辺(P7-P5)3.76mあり、南東辺(P4-P5)は4.0mあるが、中間のP9がやや北東に寄っていて、P5-P9間2.2m、P4-P9間1.8mを測る。このほかP4の北にP3があって、小さな柱穴ではあるが倒れた柱の木質が残る。P1ではAs-A降下軽石直下の建物外側地面から柱穴掘り方底面までの深さが46cmほどあり、掘り方のほぼ底面まで柱根



第182図 第2面建物位置図 1/2000

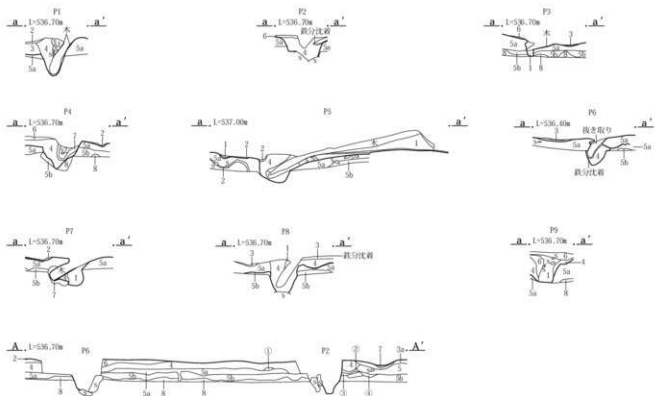


第183図 2号建物 1/80



第184図 2号建物振り方 1/80

第2章 調査された遺構と遺物



1. As-A配流。
2. As-A降下軽石。
3. 鉄分沈着見られ、やや硬化。灰色層砂わずかに含む。
4. 灰黄褐色土 10YR4/2 黒色小ブロック、黄色洪水層砂小ブロックわずかに含む。
- 5a. ぶい黄褐色土 小石混じり。洪水砂の耕作土。
- 5b. 5a層に洪水差ブロック、黒色小ブロック混じり。
6. 褐色土 洪水砂小ブロック、黒色土、炭粒わずかに含み、やや締まりあり。床面。
7. 褐色土 粘質土 小石わずかに含む。4層の還元土。
8. 黒褐色土 10YR3/2 洪水砂小ブロック含む。粘質土。

- ①黒色土 10YR3/1 シルト質の炭化土。4層ブロック混じり。
- ②灰黄褐色土 10YR4/2 ぶい黄褐色シルトブロックに炭化物混じり。
- ③①層に鉄分付着。
- ④5b層より洪水砂ブロック多く混じる。

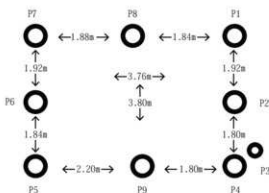
第185図 2号建物断面図 1/60

0 1:60 2m



第186図 2号建物高低図 1/60

0 1:60 2m



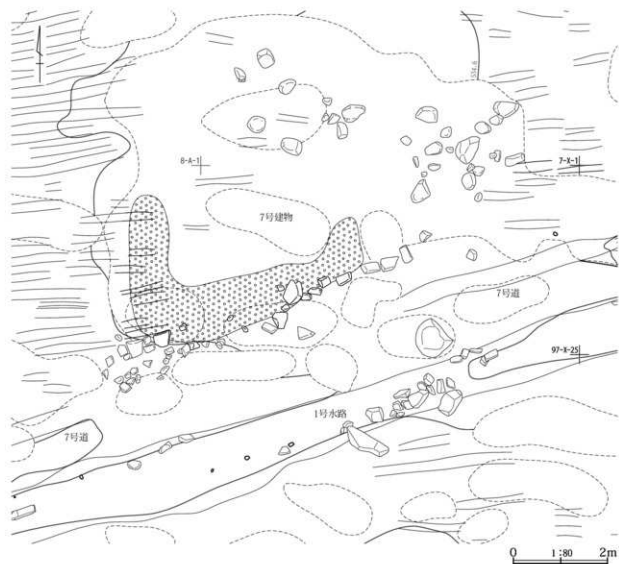
第187図 2号建物柱穴計測模式図

が違ふ。他の柱穴でもやはり40～45cmほどの根入れが認められる。掘り方に柱を立て、黒色土小ブロックおよび下位の洪水層起源の黄色細砂の小ブロックを含む灰黄褐色土で埋めている。また、P6では掘り方側面および底面に礫を据えており、P2でも掘り方側面に平たい礫を重ねて補強している。P8も底面に礫があるが、これは地山に含まれるものらしい。

柱穴で開かれた内部は周溝外の畑面よりわずかに高く、洪水砂や黒色土の小ブロック、炭質微粒などを含む褐色土を貼っていて、ゆるやかに波打つがほぼ平らに作られている。南隅近くに36×60cmほどの範囲で不整形の焼土がある。As-A軽石降下時には屋根があったものらしく、柱穴ラインより外側にはAs-A軽石の堆積があるが、内部ではこれが観察されていない。

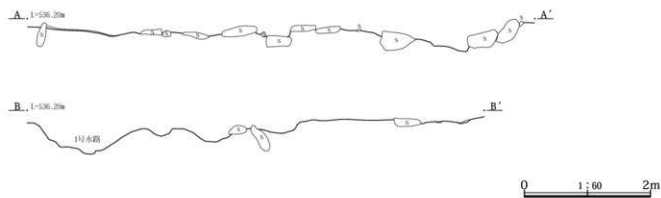
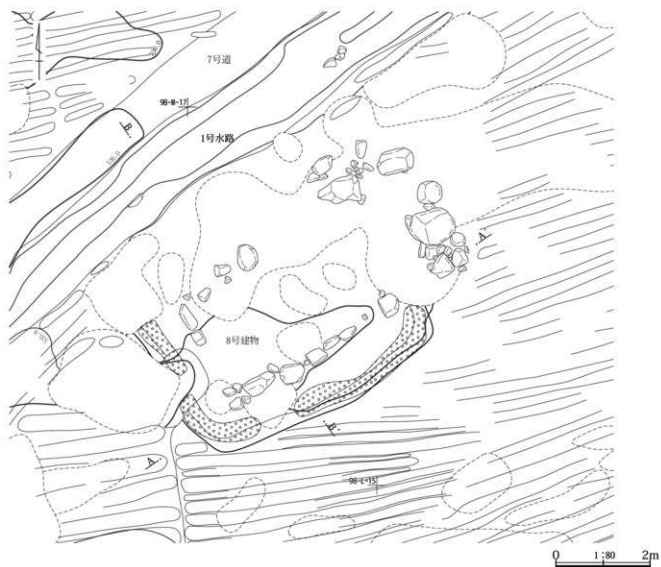
7号建物

97-X-25・98-A-25グリッドにある。建物周囲が泥流による削剥を受けているため原形把握ができない。また、平面図以外の記録を欠くため詳細を把握できないが、7号道の北側溝に沿って、大小の礫による乱れた石列や、As-A降下軽石の堆積が認められたため、建物の痕跡と判断された。石列は、一辺30cmほどの角礫から径10cmに満たない円礫まで大小の礫が混在する。東側では長方形礫を長手に並べたように見える部分もあるが、7号道を挟んだ1号水路側や道からやや離れた北東方向にも礫がある。As-A軽石は北に開口したコ字状に堆積しており、7号道に沿った東西幅5m、西辺の南北長3.3mで、幅1mほどの帯状に広がる。建物の屋根から落ちた軽石が軒先に積もったものと思われる。明確な礎石や柱穴など建

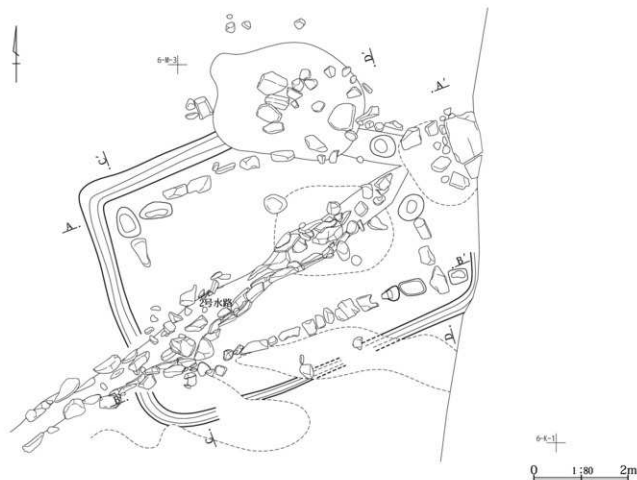


第188図 7号建物 1/80

第2章 調査された遺構と遺物



第189図 8号建物 平面1/80・高低1/60



第190図 19号建物 1/80

築物としての遺構は確認されていないため、建物構造はわからず、出土遺物もない。同様の石列や軽石の堆積は次の8号建物でも認められるところから、建物痕跡と見てよいものと思われる。軽石の分布からは寄せ棟の屋根構造が推定されるが、8号建物より軽石堆積の幅が広いこと、また屋根下に相当すると思われる軽石堆積部の内側でも畑畝間溝の痕跡が確認されていることなどから、8号建物とは構造、機能が異なっていたものと思われる。

8号建物

98-K~M-15・16グリッドにある。1号水路の南に接して、一段低く方形に掘り込まれた中に、石列および帯状のAs-A軽石堆積層が確認されている。第5区画4号畑東端から5号畑にかけての場所にあたり、畑の畝、畝間溝を切って作られている。南東部は比較的良好に残っているが、北西部の1号水路沿いは攪乱が著しい。南東辺の掘り込み上端長5.4m、EP、Bラインでの掘り込み上端から1号水路南壁上端までの距離5.48m。南西の掘り込み上端から1号水路南壁上端までの距離5.4mである。東

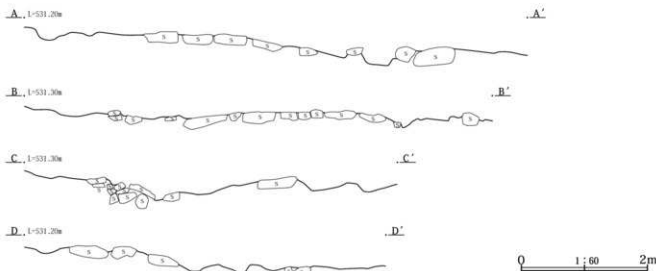
南辺での畑面と掘り込み底面の比高は東北端で22cm、中部で4~7cm、南西端で13mほどある。掘り込み底面は周囲がやや低く、中央の石列内がやや高い。

残りのよい南東辺を見ると、掘り込み上端から1m弱内側に石列がある。大きなものでは長軸長70cm近い角礫を長手に直列している。掘り込みの端部近くの礫までの長4.16m。N-56°-Eを示し、1号水路と平行する。南西辺は残りが悪いが、南角から4石、2.5mを確認することができる。この礫上に大引きを載せて基礎としたものかと思われる。掘り込み壁に沿った低い部分にAs-A軽石が堆積する。北西に開口した浅いコ字状を呈しており、7号建物と同じく、寄せ棟の屋根に降下した軽石が軒先に積もった状況を思わせる。

19号建物

6-K~M-1・2グリッドにある。他の建物とは異なり、7号道・1号水路から南にやや離れて、2号水路と交差する位置にあたる。周溝を巡らした中に方形の石列を置く、8号建物に近い構造と思われる。周堀に囲まれ

第2章 調査された遺構と遺物



第191図 19号建物高低図 1/60

た部分は残りの良い南辺の長8.4m、西辺長5.88mの隅丸形状の平面形を呈するが、北辺東半から東辺にかけて大きく乱されている。南部辺の周溝は上端幅28～30cm、南の畑からの深さ2～4cm、内部床面からはわずかにくぼむ程度らしく、0～1cmほどの差しかない。西辺では上端幅36～40cm、西側畑からの深さ8～17cm、内部床面からの深さ4～7cm、北辺では上端幅が50cmあり、北側畑からの深さ11cm、内部床面からの深さ9cmあって、北西側が深い。

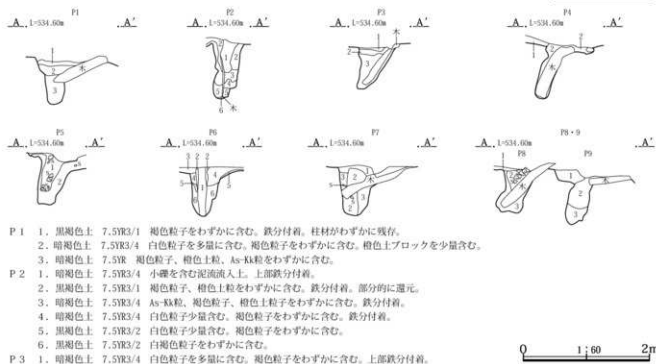
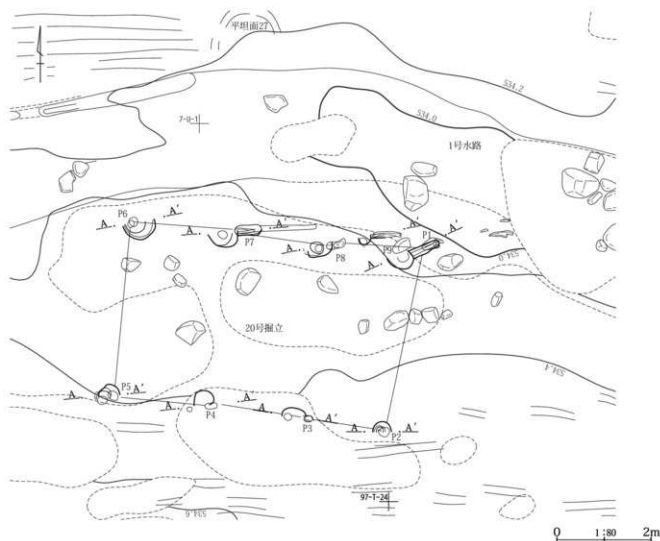
石列は南辺が最もよく残っている。長60cmを越えるものを含む長方形の礫を並べる。長いものは長手に置くが、方形に近いものは小口に並べている。長6.8mあり、この辺の方位はN-70°-Eを示している、離れているものの、北の7号道・1号水路に近い。他の3辺では明確な列をなさないが、長手に置かれた長方形礫が並ぶ。南北長は6m弱である。石列内部の床面は攪乱を受けているが、攪乱を受けていない部分でもかなり凹凸が多く、平らな印象はない。

東辺の中央および北部に礫が敷かれた痕跡と思われる凹みがある。中央のものは長軸長60cm、短軸長47cmのゆがんだ楕円形の平面形で、直近床面から24cmほどくぼむ。北のものは長軸長55cm、短軸長47cmほどの不整形の平面形で、直近床面から同じく24cmほどくぼむ。この二つの凹みの間を2号水路が通過する。As-A直下面では水路は西壁を切っているものの以東では床面下において確認されていない。

この建物周辺ではAs-Aの堆積は記録されていない。また、有機物の残存も含め、出土遺物はない。

20号掘立柱建物

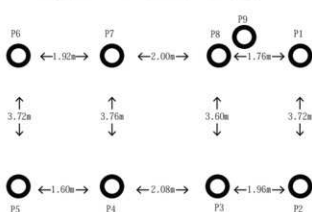
97-S～U-24・25グリッドにある。第5区画14号畑の北端に当たる。7号道、1号水路に沿った東西に長い1間×4間の側柱建物で、東西14.1～14.2m、南北9～9.4mの柱間を測り、北辺の方位はN-100°-E。As-A泥流除去時には東方向にほぼ方向をそろえて倒れた、上部の折れた柱材が各ピットに残っていた。これにより、泥流到達時には柱が立っていた建物であることがわかる。また、周辺を含め泥流削痕による攪乱により地表面が荒れているが、柱で囲まれた範囲には畑の畝、畝間溝は観察されていない。北東部P1には径16cmほどの柱材が半ば引き抜かれたような状態で倒れている。掘り方は径28cm、深さ75cm。南東隅のP2は径35cm、深さ95cmの掘り方内に直立した柱材の痕跡が残されていた。P3は柱が倒れたことにより柱穴が変形しており、径を捉えるのは困難だが、深さは65cmほどで、柱穴内部に木質が残っている。P4は径22cm、深さ88cmの掘り方で、やや傾きながら底部まで達する柱が残されていた。P5、P6には柱は残っておらず、抜けた穴に泥流が流れ込んでいる。P5の掘方は深さ80cm、下部径27cmで柱が抜けたことによる変形がみられる。P6は深さ78cmで、下部径27cmほどの掘り方で、真上に引き抜いたような柱痕の空洞に泥流が流れ込んでいる。P7・8はともに比較的長い柱材が残る。P7は深さ80cmの掘り方の中位から地表に横た



第192図 20号掘立柱建物 平面1/80・断面1/60

第2章 調査された遺構と遺物

2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒子、褐色土粒をわずかに含む。褐色土ブロックを少量含む。
 3. 暗褐色土 7.5YR3/4 As-Kk粒、白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。褐色土ブロックを少量含む。
- P 4 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。上部鉄分付着。
 2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。鉄分付着。部分的に還元
- P 5 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 小礫を含む泥流土。上部鉄分付着。
 2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。鉄分付着。部分的に還元。
- P 6 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 小礫を含む泥流土。上部鉄分付着。
 2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。鉄分付着。部分的に還元。
 3. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色土ブロックを多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。
 4. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子少量含む。褐色粒子をわずかに含む。鉄分付着。
 5. 褐色土 7.5YR3/2 白色粒子、褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。
 6. 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒子をわずかに含む。



- P 7 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 小礫を含む泥流土混入。上部鉄分付着。
 2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。鉄分付着。部分的に還元。
 3. 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロックを多量に含む。白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。鉄分付着。
- P 8 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 小礫を含む泥流土混入。上部鉄分付着。
 2. 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。鉄分付着。部分的に還元。
 3. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色土ブロック多量に含む。褐色粒子をわずかに含む。鉄分付着。
- P 9 1. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を少量含む。褐色粒子をわずかに含む。上部鉄分付着。
 2. 褐色土 7.5YR5/1 As-Kkを少量含む。褐色粒子、褐色土粒子をわずかに含む。部分的に還元する。
 3. 褐色土 7.5YR5/1 As-Kkをわずかに含む。還元している。

第193図 20号掘立柱建物柱穴計測模式図

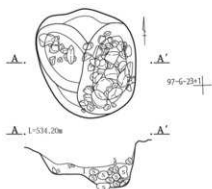
わるように長さ2mほども材の痕跡が残る。P 8は深さ70cmほどの掘り方で、底面下位が倒れた柱により変形を受けている。これも1.7mほどの長さで木質が残されている。P 1の北東、P 1との間にP 9がある。これにも泥流になぎ倒された柱材が残っていて、掘立柱建物の一部を構成した可能性がある。掘り方の深さ88cm、下部径33cmほどである。覆土は他の柱穴と異なり、褐色土を主体とする。なおAs-A降下軽石に関する記載はない。土層観察所見中の白色粒子がAs-A降下軽石だとすると、P 4・6・7周辺では外側にこれがあることになるが、写真では軽石は見えず、P 8・9では埋没土最下層にこれがあってAs-A降下軽石としては合理的な説明が難しい。

第7項 その他の遺構・第2面出土遺物

本項では前項までで述べた、畑や建物などに直接関連しないものとして、土坑1基と遺物を記載する。また、遺物は畑面に点在する陶磁器片や鉄製品、銭など、泥流に流されてきたものである。

380号土坑 97-G-23グリッド 長軸長185cm、短軸長156cm、深さ78cm、長軸方位N-38°-W。覆土は白色粒子

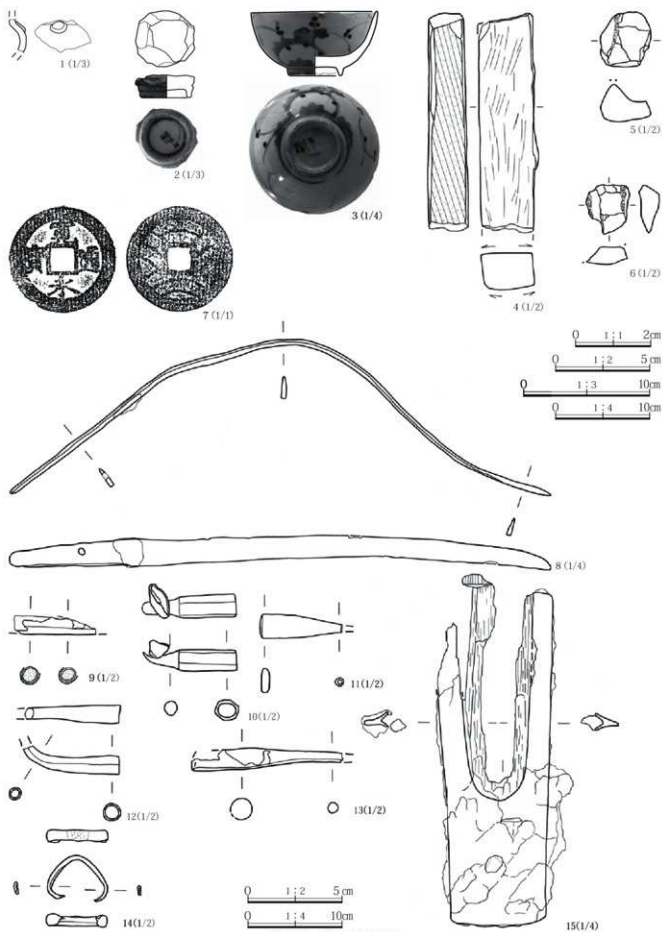
を多く含む暗褐色土。下位に大小の礫を多量に含む。泥流到達時に開口していたものとして調査された、数少ない例である。畑を切っており、この土坑が掘削された時点では作物の収穫が終わっていたことが示される。覆土上位の記載を欠くが、下位の覆土には白色粒子が多量に含まれるとの注記がある。分析、同定されていないが、これがAs-Aの降下軽石であれば、軽石降下後、泥流到達前になされた行為の痕跡ととらえることができる。



1. 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒子を多量に含む。褐色土粒をわずかに含む。大小の礫を多量に含む。

0 1;60 2m

第194図 380号土坑 1/60



第195図 第2面出土遺物

第4節 第3面の調査

第1項 第3面の概要

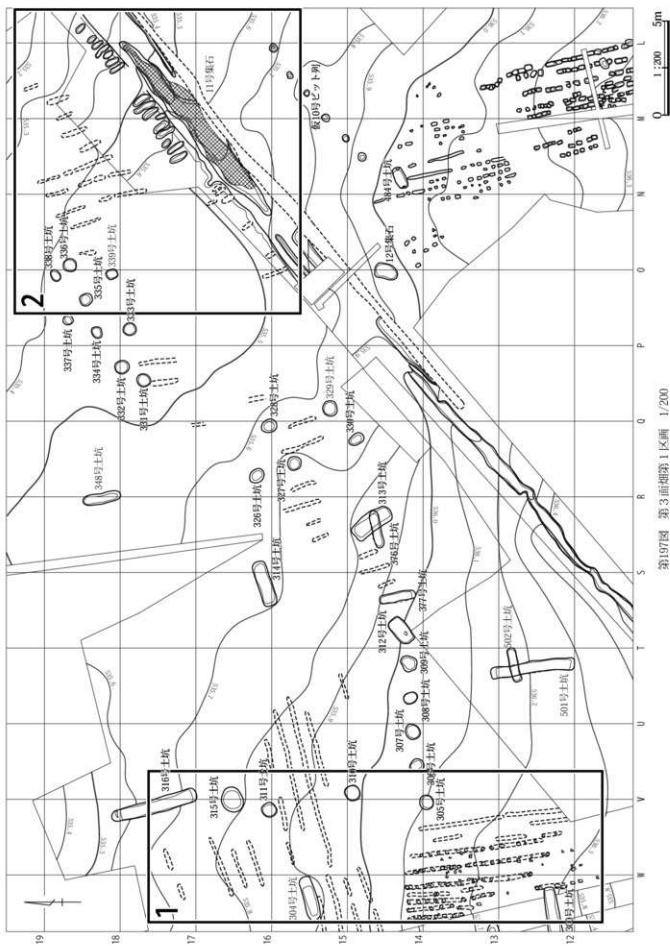
第3面は明黄褐色の細砂およびこれを含む黄褐色土を鍵層として第2面と区分される。第2面とは異なり、旧地表面として保存されたものではない。この細砂層に覆われるものと、上位から掘り込んで覆土に細砂をブロック状などの形態で含むものの両者がある。年代を確定するに足る資料は得られていないが、近世に属するものであろう。畑のほか、掘立柱建物1、ピット列1、柵列2、小鍛冶遺構1、溝6、石列1、集石3、焼土遺構3、土坑166、ピット115を調査している。なお、第3面および下層の第4面の遺構は平成26、27年度調査時点では帰属面が一定しておらず、調査終了後に調査担当者間で協議調整して各面の帰属遺構を決定した図を作成している。このため、調査時点での重複関係理解と最終的に決定された帰属面による遺構の新旧関係が整合しない場合がある。

この面における畑遺構は、上位を覆う砂層の分布域が限られることもあって、部分的に見いだされるにとどまり、耕作単位の全体を把握できるような広範囲を持って確認できることはない。また旧地表面が確認されず、畝間溝内の堆積物により確認された遺構であるため、畑面の残存も良い状態ではなく、畝、畝間溝の形状を異にし、あるいは耕作痕跡のみが残された部分などがある。また、第2面畑と比較して、類似する部分、様相を異にする部分がある。次項では畝、畝間溝のまとまりとして9つの区画を設定して記載を行う。

掘立柱建物は天明泥流下の7号道・1号水路に面した位置にあり、ピット列もこれに沿う方向を示す。柵列と小鍛冶遺構は天明泥流下の7号道・1号水路と4号道との交点にあたり、仏堂的性格を持つと考えられる3号建物の下にある。2条の柵列とされているが、1棟の掘立柱建物として捉えられる可能性もある。1号溝は2面4号道から1号水路の東部に連続する。2号溝も1号水路の一部をなすかのような位置にある。4号溝は寺院の西辺を画する位置にある。22・23号溝は4号道の東西走部



第196図 第3面畑区画 1/1800



第197図 第3面(第1区画) 1/200

第2章 調査された遺構と遺物

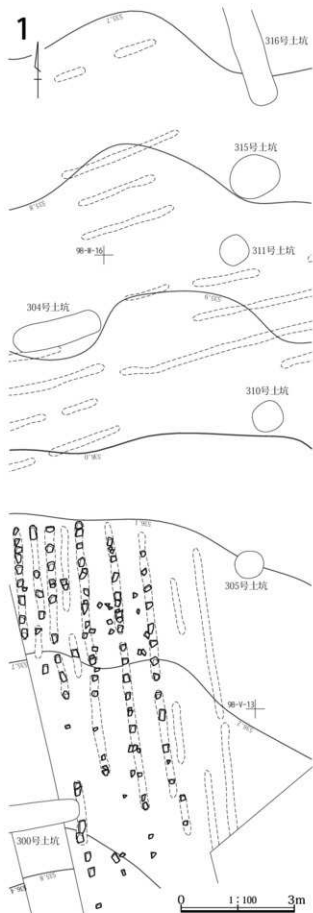
に平行する。いずれも第2面の地割りの前身的な位置を示す。一方、16号溝は孤立的に存在する67号復旧溝に連続し、臨時的な溝であった可能性が示唆される。土坑中に礫が集中する集石は次の第4面に顕著な遺構だが、この面では調査区の東に19号集石、西に11・12号集石があり、形態や礫の入り方がそれぞれ異なる。焼土遺構は火熱により酸化赤変した土粒子やブロックを多く含む土壌の不定型な広がりであり、この地域の遺跡ではよく見られるものである。斜面崩落土が連続的に堆積するという地形的な特性から、崩落土下の旧地表面が部分的に保存されたために通常では捉えがたい遺構が残されていると解釈される。ここでは確認面が直接焼けている26・42号焼土と土坑内に焼土がある41号焼土の二者があるが、用途、機能の特定は難しい。

土坑、ピットは調査区北部に集中する。土坑には平面形が円形のもの、方形、長方形のもの、狭長なものがあり、円形ものは西端部と東端部に、狭長なのが中西部に多い。ピットは小鍛冶遺構周辺と第2面の寺院敷地下に集中し、他ではほとんど認められない。

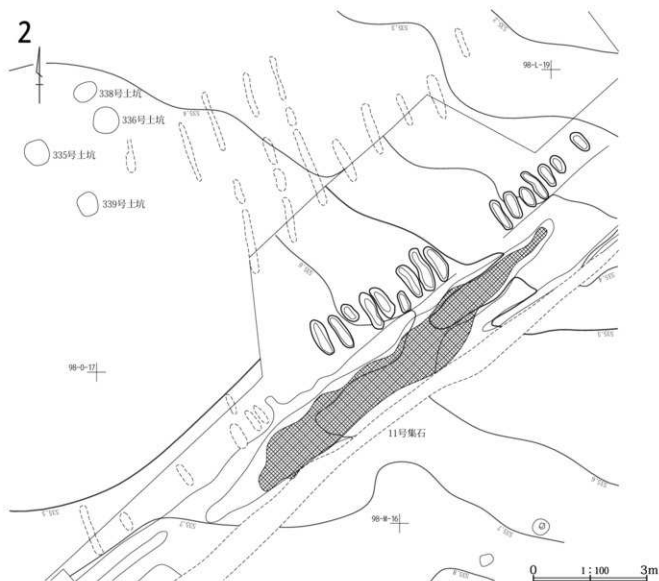
第2項 畑・復旧溝

畑は黄褐色砂層およびこの混土により畝間溝あるいは耕作具痕跡が埋没したものとして捉えられる。2面畑に比すれば微弱な痕跡で、必ずしも旧地表面が保存された状態ではないため、すべての畑痕跡が同時に存在したものは確定できない。断面観察によると、第3ないし第4面の畑が重層することが確認されていて、平面図に表された畝間溝や耕作具の痕跡がそれぞれの層に帰属する畑痕跡であるかは定めがたい。おおよそ、下図に示した9区画で認められており、各区画ごとに記載を行う。**第1区画** 98-K~Y-9~22グリッドに畑痕跡が集中して認められるが、このうち7号道、1号水路とこの下に当たる11号集石より北の部分第1区画とする。この道・水路はこの面でも地境となっている。畑痕跡は区画内西北部、西南部、東部、および11号集石の北辺近くの4か所で異なる形態の畑痕跡が認められる。

西北部では東西13.5m、南北7.5mほどの範囲内に畝間溝の痕跡が残る。等高線に沿うように、N-73°-E方向に走る9条の畝間溝で、残りの良い中央部での溝間距離は0.85m前後を測る。次に述べる西南部のような耕作



第198図 第3面畑第1区画 部分図1 1/100



第199図 第3面畑第1区画 部分図2 1/100

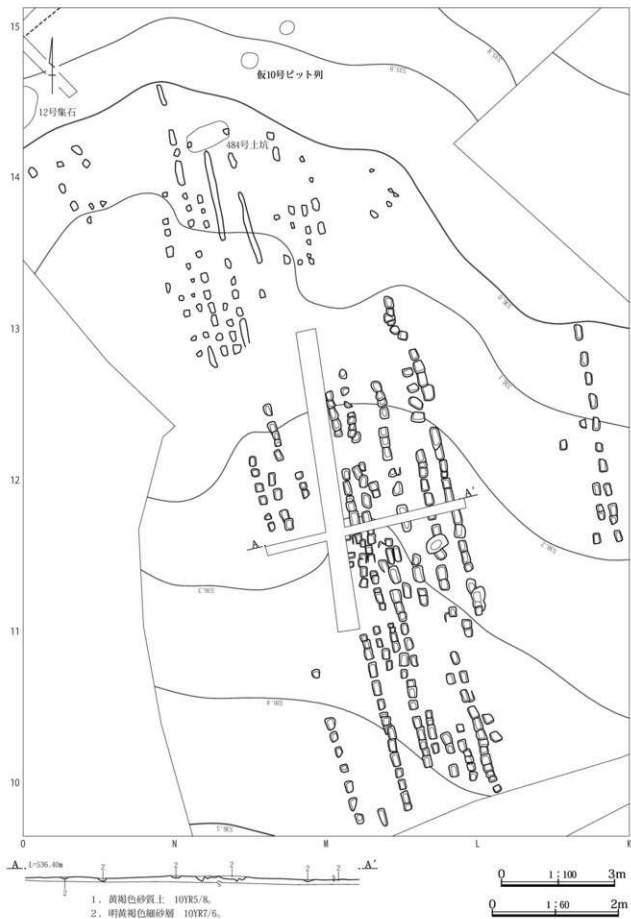
具痕跡は認められず、耕作具を地表面に鋭角に入れて表土を切削するような耕作行動が示唆される。周辺の304号土坑、314号土坑はこれに近い方向を示しているが、304号土坑はこの畑を切っているように表現される。

西南部では東西4.5～5m、南北10mほどの範囲に、畝間溝とその底部の耕作具痕跡が残っている。畝間溝の方向は北の畑とは異なるN-8°-Wを示す。畝間溝は10条を数えることができ、畝間溝間の距離は35～75cmとばらつく。東部で顕著認められる畝間溝底の連続した耕作具痕が中部の畝間溝間にも残されていて、実際の溝間はかなり狭く、35cmほどが基準となっていた可能性がある。詳細平面や断面記載を欠くため耕作具の詳細がわからないが、東端部では長2.9mの畝間溝痕跡に10個の耕作具痕跡が残されていて、平先の耕作具を連続的にか

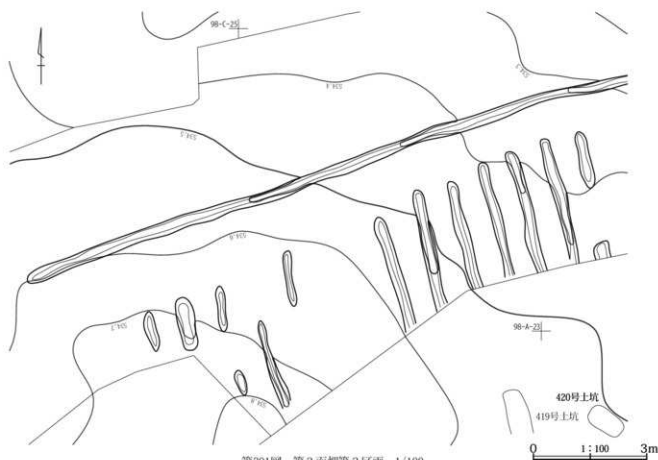
り密に、地表面に対して鈍角で打ち込む耕作行動が示唆される。

東部中央近くの畑痕跡は、東西34mほどの間に狭い带状に残されている。短く途切れ途切れの状態で、東側の比較的長く残された畝間溝痕跡の連続を採っても長さ4.6mほどしかない。畝方向を定めることも難しいが、西側はN-17°-W前後、中程の畝間溝がやや希薄な部分が残るものはN-2°-W、東部ではN-19°-W前後で、東西と中間でそれぞれまとまりがあった可能性もある。

東南部のものは、18mほどの幅で1号集石の北辺に沿って残された、長さ0.5～1.2mほどのごく短い畝間溝群である。上記東部中央の畑東部に連続するものとも見られるが、走行がN-30°-E前後に比してやや西に傾いていることから別群として扱った。断面や底部レベル



第200図 第3面畑第2区画 平面1/100 断面1/60



第201図 第3面畑第3区画 1/100

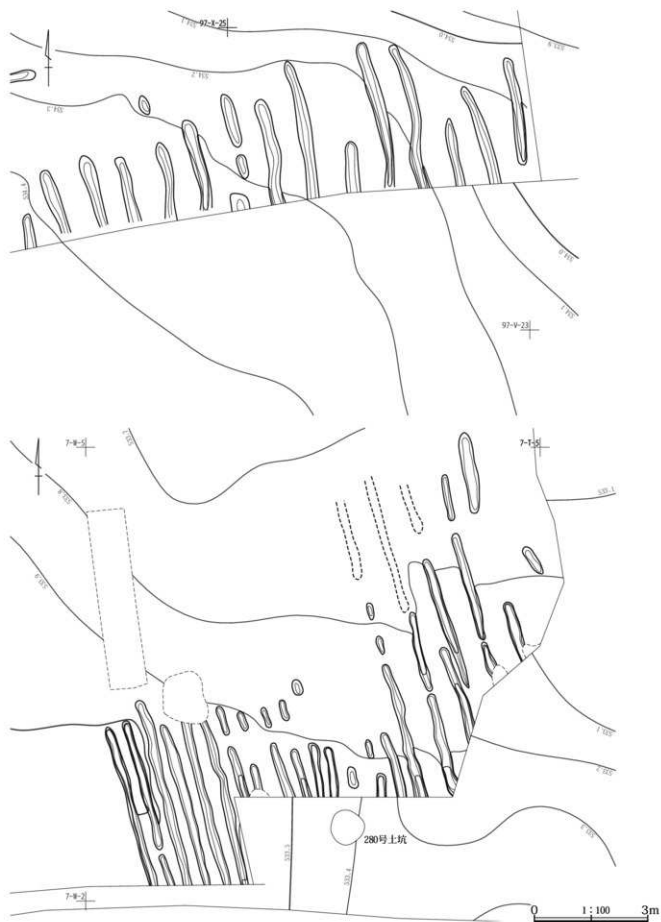
に関する記載を欠くが、写真を見ると集石際の帯状の凹み底部をさらに掘削していて、掘り込みが深いにもかかわらず、北側にはその連続を追うことができない。溝底部間は0.6m前後あるが、上端が接するものもある。

第2区画 98-K~N-9~14グリッドにある耕作具痕群である。北部は下端表現のない浅いものと思われる耕作具痕が散在的にあり、南部では断面図に示されるように明黄褐色細砂を覆土とする、明確な下端表現を伴う比較的深い耕作具痕の連続が集中的に捉えられている。両者の間にはわずかな空白域があり、形状も異なっているが、方向が揃っている。北部に散在する耕作具痕の西端から南部の耕作具痕列東端までの幅12.6m、南北は22mほどの範囲にある。耕作具痕列の方位は西部でN-19°-W前後、東部ではN-12°-17°-W前後を示す。北部の耕作具痕は浅いが一部は連続して畝間溝の形状を示す。上端幅12~15cmで北側が平らな長方形の平面形状で図示されており、平先の耕作具を北端部から浅い角度で打ち込んで使用したものかと思われる。南部の耕作具痕列は、上端幅15~22cmで北短辺が直線的で南辺が丸みを持つ列と、南辺が直線的なものとの両者がある。また、各耕

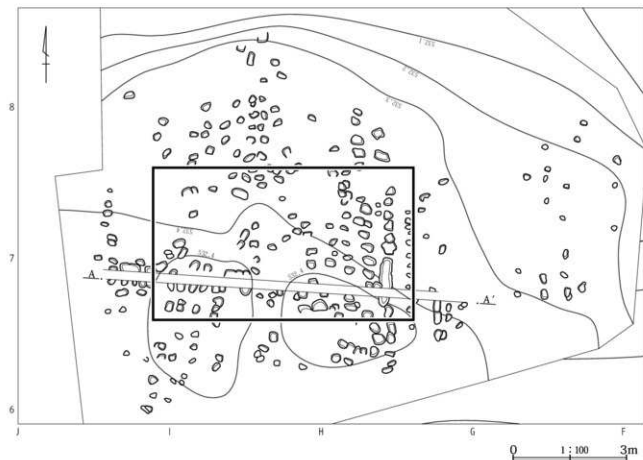
作具痕は切り合わずに列をなす場合もあるが、多くは切り合って連続する。北側が南側を切る場合、南側が北側を切る場合両者がある。これらは耕作行動が往復運動を採っていたことを示すものとも考えられるが、必ずしも規則的ではない。土層断面では耕作具痕は明黄褐色細砂に埋没していることが観察されており、黄褐色細砂が一定の厚みを持って堆積した後に、耕作行動が行われ、掘削された空間内部に落ち込んだと考えるのが妥当であろう。

第3区画 97-V~Y-23・24、98-A~C-22~24グリッドにある。7号道、1号水路の南にあたる。東西27mほどの範囲に畝間溝が27条見られる。残りの良い西部6条はN-16~18°-Wに延び、溝間距離は比較的良好揃っていて、いずれも95cmほどである。北端は完結し、その北部に水路・道に沿ったかと思われる浅い溝がゆるく湾曲しながら東西に延びる。南部は調査区界で切られて、以南では確認されない。畝間溝は東部の長いもので確認長4mほど、西側では比較的直線的だが、東側ではゆるやかに蛇行する。断面形、埋没土に関する記載を欠く。

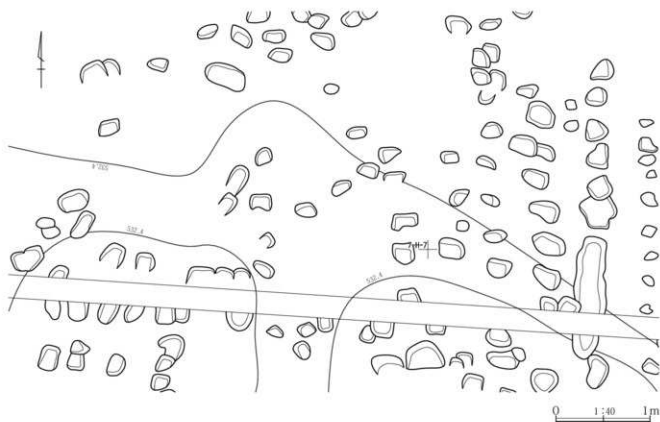
第4区画 7-T・U-2~5、V・W-2・3グリッド



第202図 第3面畑第4区画 1/100

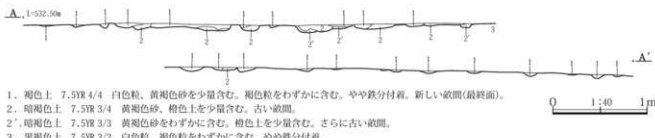


第203図 第3面畑第5区画 1/100



第204図 第3面畑第5区画 部分図 1/40

第2章 調査された遺構と遺物



第205図 第3面畑第5区画断面図 1/40

にある畝間溝群である。東西幅12.5m間に22条が数えられる。東側は北に行くに従って徐々に確認できなくなり、南は調査区界で切られて以南では確認されない。最大確認長8.7mほど、畝間溝の方位はN-15°-W前後、溝間の距離は84～93cmある。西部では北端が完結し、南は調査区界で切られて以南では確認されない。最大確認長5mほどで、畝間溝の方位はやはりN-15°-W前後だが、溝間距離は45～55cmと狭い。2面畑とは畝間溝方向が一致せず、第3区画や南側に多く見られる狭長な平面形の土坑に近い。

第5区画 6-F～1-6～8グリッドにある耕作具痕跡である。東西14m、南北10mの範囲に多数の耕作具痕跡が認められるもので、一定方向を示す部分もあるが、先の第2区画のような明確な列状はなさない。それぞれの耕作具痕は上端幅5mから8.5cmほどで、深さ6cmほどで一端が深く他端に向かって浅くなる断面形を示す。深い方の端部は刃部が打ち込まれた痕跡と考えられるが、先端部が直線的に切れているものが多いため、平先で刃部先端幅5cm前後の耕作具が想定されることになる。刃部先端が北にあるものが多いが、東部では南を向くものもある。断面観察によると3回の耕作行動の痕跡が重複しているとの見えが得られている。いずれも覆土中に黄褐色砂を含むことから、この層の堆積後に行われた耕作行動が重複した痕跡とみられる。

第6区画 6-X-3から7-K-1グリッドにかけて残された畝間溝の痕跡群である。東西48m、南北最大14mほどの範囲で、東西端はやや粗で、中央がやや密な状態にある。黄褐色砂を含む幅10～40cmの短い溝状痕跡が断続的な線状に残されている。中央部では幅25～40cmの痕跡が東西に広がる。土層観察所見では黄褐色砂を含む褐色土を覆土とする最も新しい畝間溝と、同じく黄褐色細砂を含むが暗褐色土で埋まる一段階古い畝間溝があり、黄褐色の砂礫を含むさらに古い段階の畝間溝の3段

階があるとされており、第5区画と同様にこの三者がともに同一面で確認されている。東西36mほどの間に50条以上の畝間溝痕跡を確認しているが、この三者が混在していることになる。方位はおおよそ北西-南東方向を示すが、N-45°-W前後のもの、N-40°-W前後のものこれよりやや東に触れるものがあり、こうした差を反映したものかもしれない。

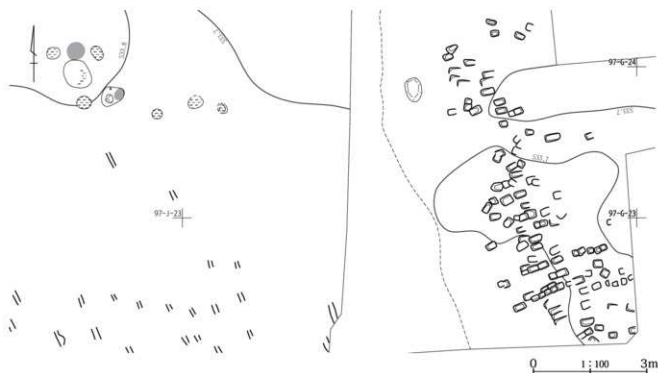
東端近く7-B-1・2グリッドでは、7条のみであるが端部の形状が捉えられる畝間溝が残されていた。幅13～26cm、最長確認長90cmほどで、ぼらつきはあるが北からやや東に傾く方向を示す。覆土は黄褐色砂を含む褐色土で、土層観察所見によるとここでもこの畝間溝を最新とし、これ以前に耕作された畑痕跡を2面分確認している。

西端部の7-1～K-1グリッドでは東西12mの間に14条分の痕跡が残されている。散在的であるが、最も密な部分でみると畝間溝間は40cm内外である。幅は10cmほどと狭く、長さも短いため方位を確定しがたいが、ほぼ南北の畝間方向を示していて、以東の畑や南の第7区画の畑とは異なる。断面や覆土に関する記載がないが、他とは異なる時点での畑痕跡を捉えている可能性がある。

第7区画 西部97-I・J-22・23、K-22グリッドに散在する畝間溝痕跡と、東部97-E-20、F-19グリッドからH-24グリッドにかけて見られる耕作具痕跡群がある。

西部の畝間溝群は幅10～20cmほどの狭く短い痕跡が東西9m、南北6mほどの範囲に散在するもので、北西-南東方向に列状をなす。断面や覆土に関する記載はない。

東部の耕作具痕跡群は南北20m、東西6mほどの範囲で、1号溝に沿って認められる。1号溝沿いの西部により明確な痕跡が残される。南北で調査時期が異なるため、図の表現に差があるが、各耕作具痕は上端幅13～20cmで一端が直線的に深く掘られ他端に向かって浅くなる。各耕作具痕は切り合わずに列をなす場合もあるが、多くは



第206図 第3面畑第7区画 1/100

切り合って東西方向に連続する。西側が東側を切る場合、東側が西側を切る場合両者があり、単独のものにも東が深いものと西が深いもの両者があるが、単独では西側が深く、連続する場合には西のものを東のものが切る場合が多い。覆土は明黄褐色細砂である。全体として第2区画の耕作具痕列に近い印象がある。北部ではN-67°-E前後、南部ではN-60°-63°-Eの走行を示す。

南部の耕作具痕下には痕跡的ながら、1号溝に沿って南北方向に平行して走る数条の溝状痕跡が記録されていて、さらに下層の畑があった可能性がある。また、第2面畑の円形平坦面を思わせる一部が開いた円弧状の痕跡が記録されている。平面図以外の記載はなく、写真記録でも確認できないが、As-Aテフラ下面以外で円形平坦面の存在は知られておらず、注意すべき存在である。

第8区画 97-C-5グリッドからT-11グリッドにかけて見られる畝間溝の痕跡群である。黄褐色砂のブロックが混入した攪乱が、断続的ながらほぼ南北方向に連続するもので、畝間溝の端部が確認できるものはない。溝の走行方向により、大きく4群に分けられる。調査区西端からグリッドN-Oライン間にある調査境界までの間、東西24mほどに渡っては、特に南部で長く、高密度で残された畝間溝群があり、N-5°-W前後の方向を示す。溝痕跡の上端幅は10～20cmで、溝間距離は30～40cmある。個別痕

跡を見ても、長いものでは10m近く連続する。中間の空白域を挟んで北にも短く、やや粗な一群があるが、これもおよそ同方向を示していて、南北40m以上にわたる一連の耕作行動の痕跡である可能性があるものと思われる。

N-Oライン間調査区界から10mほどの幅ではN-20°-W方向の畝間溝群が認められる。西の群に比して各畝間溝痕跡が短く、やや粗だが、幅はほぼ等しい。西群北部にまでは達しないものの、調査区北寄りに同方向の畝間溝痕跡があって、こちらも南北25mを越える範囲で連続的な耕作が行われていたであろう。

これより東側の南半部には広く、短く途切れ途切れの痕跡が認められる。粗密様々であるところから畝間溝間距離などを数的に示すことができないが、ほぼ南北ないしやや東に傾く方向を示す。中間に空白域を挟んで調査区東北部にも一群がある。散在的で、溝方向にもばらつきがあるが、およそN-10°-22°-Wを示して、南の群とは連続しない可能性がある。

これらの畝間溝群は密に接する部分はあるものの相互には切り合わないことが記録されている。広い区画を一連のものとして耕作する農業経営が行われていたことを示唆するものであろう。

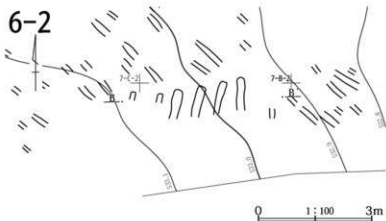
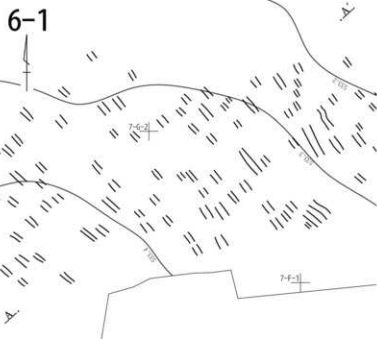
そのほか、調査区東南隅には確認面の高さが異なりN-35°-Wをしめす一群があり、22号、23号溝の南に沿っ



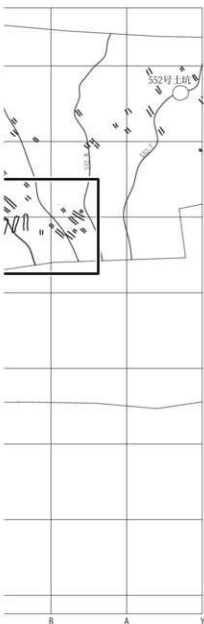
第207図 第3面畑第6・7区画 1/200



第208図 第3面畑第6区画断面図 1/40



第209図 第3面畑第6区画 部分図 1/100



0 1:200 5m



▲

1. 褐色土 7.5YR4/4 白色粒、黄褐色砂を少量含む、褐色粒をわずかに含む。やや鉄分付着。新しい収間最終面。
2. 暗褐色土 7.5YR 3/4 黄褐色砂、褐色土を少量含む。古い収間。
- 2'. 暗褐色土 7.5YR 3/3 黄褐色砂をわずかに含む。褐色土を少量含む。さらに古い収間。
3. 黒褐色土 7.5YR 3/2 白色粒、褐色粒をわずかに含むやや鉄分付着。
- 3'. 黒褐色土 7.5YR 3/1 褐色粒をわずかに含む。

0 1:40 1m



第210図 第3面畑第7区画 1/60

て東西走るものやこれと直交するものなど、ごく痕跡的な耕作溝群も認められている。

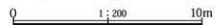
第9区画 調査区の東端近くに散在する畝間溝痕跡であ

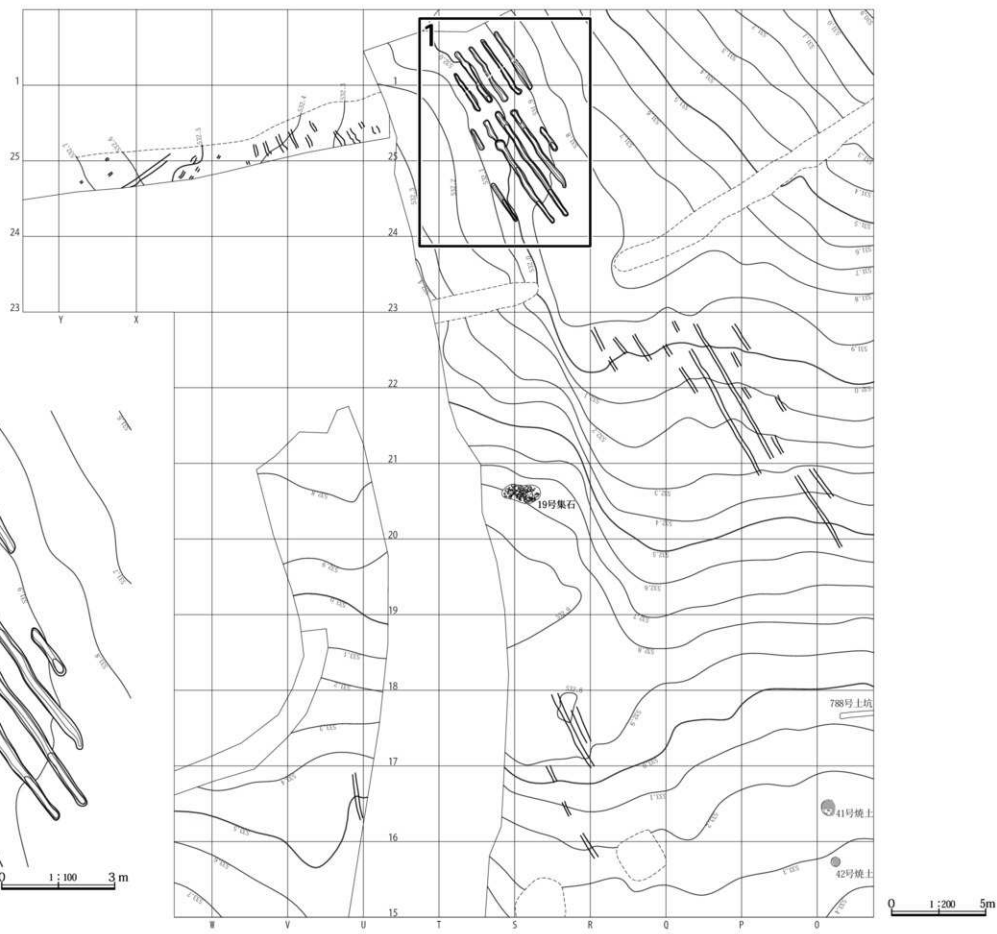
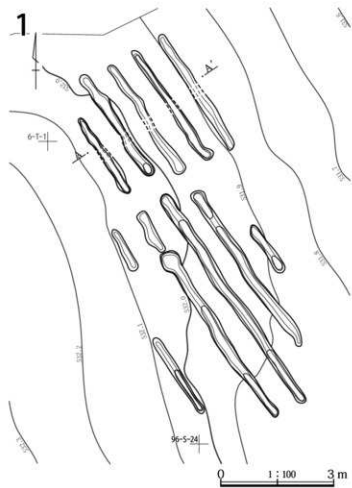
る。大きくは2群に分けられる。

96-W・X-24・25グリッドの畝間溝痕跡は幅6mほどの間に4条分が確認できるもので、1条だけ長さ3mほ

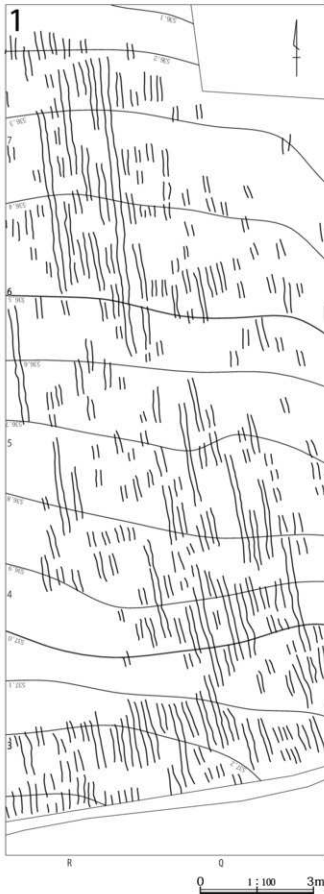


第211图 第3面细第8区图 1/200





第212图 第3面第9区画 1/200 部分图1 1/100



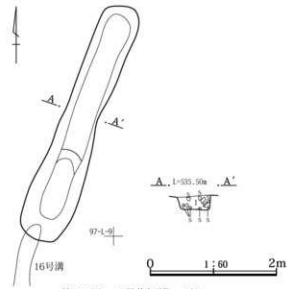
第213図 第3面細第8区画 部分図 1/100

どの連続が捉えられている。方位は $N-47^{\circ}-E$ を示し、他の畝間溝群とは大きく異なる。

96-T \sim W-24 \cdot 25グリッド付近にも弱い畝間溝痕跡がある。両側のラインは乱れており、長さも2mに満たない。方位は $N-20\sim 34^{\circ}-E$ 内外を示す。

96-R-24から6-S-1グリッドにかけては、明確な掘り込みを持った畝間溝が幅5mほどの間に6条認められている。最大長10.2mで畝間溝の上端幅は20 \sim 30cm、最大深さ15cm、溝間距離は70 \sim 90cmほどで、方位は $N-35^{\circ}-W$ 前後を示す。ここから南に、若干の空白区を置いて、96-N-19グリッドからQ-22グリッドにかけても、 $N-32^{\circ}-W$ 前後を示す畝間溝痕跡が8条分ほど残っている。ここでは上端幅15 \sim 20cmの断続的な擾乱痕跡としてしか捉えられないが、長いものでは8m以上にも伸びている。また、西にやや離れた96-Q-15グリッドからR-17グリッドにかけても短い畝間溝痕跡が数条残されている。長いもの4.5mほどであるが、 $N-30^{\circ}-W$ を示していて、上記と近似する。これらの畝間溝群も相互に切り合うことはなく、一連の耕作行動の痕跡とみることができる。南北40mは越える範囲に伸びており、広い畑区画を使用する営農形態が示唆される。

67号復旧溝 97-K \cdot L-9グリッドにある。16号溝に切られる。両端が丸みを持つ、南北に長い狭長な平面形で、断面形は上端が開く鍋状を示す。長軸長1.95m、短軸長0.25 \sim 0.4m、深さは北端で4cm、南端では32cmある。長軸方位は $N-23^{\circ}-E$ 。覆土に多くの礫を含むところから復旧溝と判断したものであるが、孤立的である。



第214図 67号復旧溝 1/60

第3項 掘立柱建物・柵列・ピット列

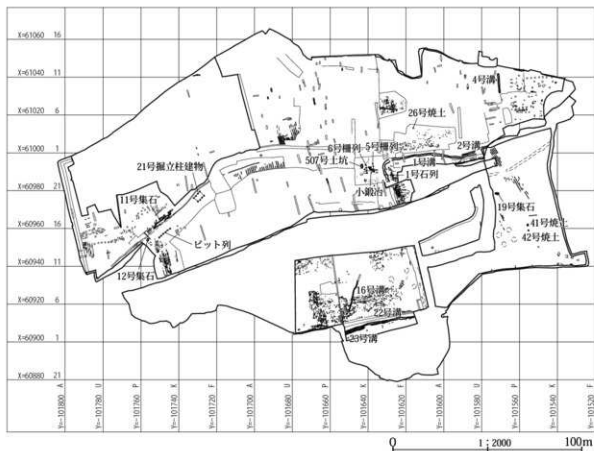
21号掘立柱建物 98-G-19グリッドからH-20グリッドにかけてである。第2面の7号道、1号水路の南に沿う位置に当たる。周辺には同時期の遺構は見られない。1間×3間の側柱建物で、桁行は西北側4.76m、南東側4.54m、梁間は南西が狭く北東が広がっていて2.94～3.22mである。西列のP2、東列のP7がやや東にずれるが、北西辺の方位はN-43°-Eを示す。P4・6・8の上端径がやや大きく、P5・6がやや深い。断面形は上端の開くU字形ないし逆台形を呈するが、土層観察所見を欠くため、柱痕の有無等はわからない。なお、この遺構は調査時には下位の第4面で確認・調査されているが、現地調査終了時にこの面に帰属するものとして整理されている。

5号柵列 97-J-23・24グリッドにある。第2面3号建物の下位にあたる。南端の322号ピットから北端の325号ピットまで4基が南北に並ぶ。延長4.36m、方位は323号ピットがやや西に外れるが、N-11°-Wを示す。各ピットは上端径28～30cmで大きな差はないが、322号ピット

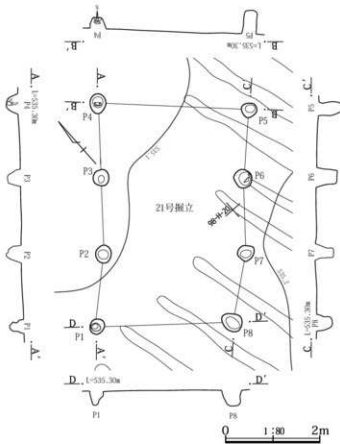
が深く、323号ピットは浅い。ともに炭化物粒をわずかに含む褐色土で埋まり、柱痕は認められない。

6号柵列 97-K-23・24グリッドにある。第2面3号建物の下位にあたる。南端の337号ピットから北端の340号ピットまで4基が南北に並ぶ。延長4.28m、方位はN-9°-Wを示す。337・339・340号ピットは上端径30cm、深さ25～26cmだが、338号ピットは上端径38cm、深さ37cmと大きく深い。ともに炭化物粒をわずかに含む褐色土で埋まり、柱痕は認められない。

5号柵列と6号柵列は平行して、柵列の間には後述する小鍛冶遺構の主要部を挟むことになる。この柵列は調査時には下位の第4面で確認・調査されていて、現地調査終了時にこの面に帰属するものとして整理されている。小鍛冶遺構は当初から3面に帰属する遺構として調査されていて、覆土が鈍い褐色土を中心とするなど異なるため、柵列と小鍛冶遺構は同時存在ではないと判断されている。また、6号柵列と平行して341～344号ピットがあり、これも柵列との関連をうかがわせるが、覆土が黒色砂壤土で柵列とは異なるとして、関連を持たない単独のピットと判断されている。



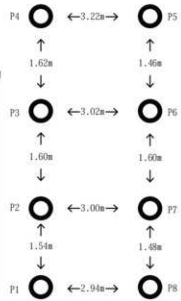
第215図 第3面掘立柱建物・柵列・ピット列・溝等位置図 1/2000



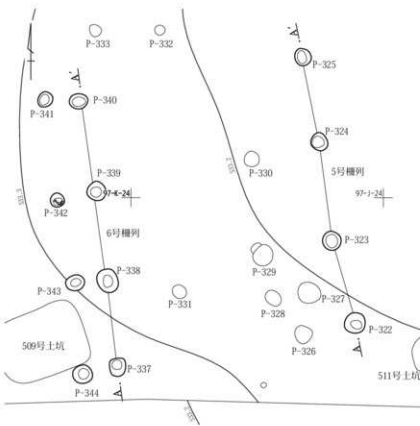
第216図 21号掘立柱建物 1/80

第2表 21号掘立柱建物

	径(cm)	深(cm)
P1	33	30
P2	33	34
P3	33	30
P4	40	23
P5	33	50
P6	40	45
P7	35	35
P8	45	34



第217図 21号掘立柱建物柱穴計測模式図

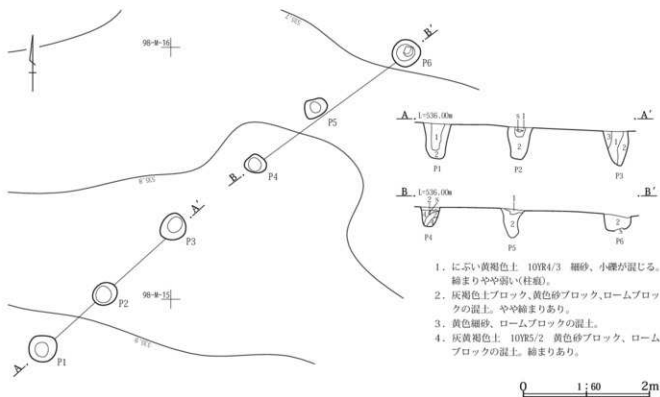


第218図 5号・6号櫓列 1/60



1. ぶい黄褐色土 10YR4/3 細砂、小礫が混じる。締まりやや弱い(柱痕)。
2. 灰褐色土ブロック、黄色砂ブロック、ロームブロックの混上。やや締まりあり。
3. 黄色細砂、ロームブロックの混上。
4. 灰黄褐色土 10YR5/2 黄色砂ブロック、ロームブロックの混上。締まりあり。

第2章 調査された遺構と遺物



第219図 ビット列 1/60

第3表 5号槽列

	径(cm)	深(cm)
P322	30	38
P323	30	8
P324	28	16
P325	28	16



第4表 6号槽列

	径(cm)	深(cm)
P337	30	26
P338	38	37
P339	30	25
P340	30	26

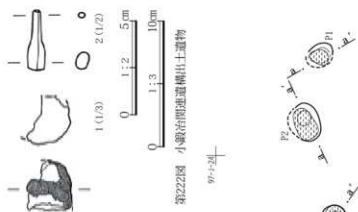


第5表 ビット列

	径(cm)	深(cm)
P1	45	57
P2	40	47
P3	42	53
P4	35	31
P5	37	43
P6	40	24

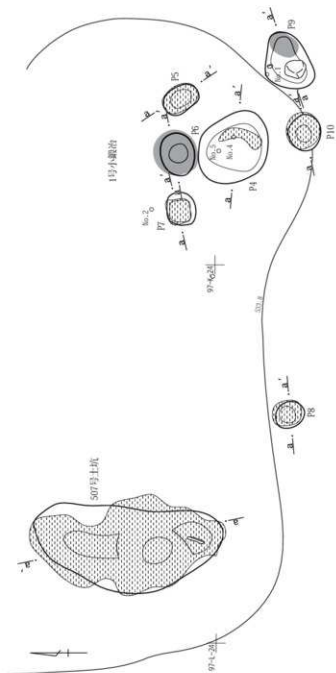


第220図 5号・6号槽列・ビット列 柱穴計測模式図



第222図 小塚治明遺構出土遺物

97-22



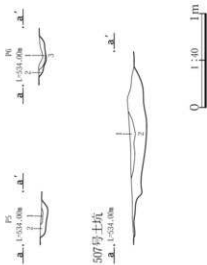
1号小塚治

507号土坑

97-22

0m

第4節 第3面の調査



507号土坑

0 1:40 1m

第221図 小塚治明遺構 1/40

第2章 調査された遺構と遺物

ビット列 98-L・M-14・15グリッドにある。南西のP1から北東のP6まで6基のビットがN-52°-Eを示して、7.4mにわたって並ぶ。2面7号道・1号水路およびこの面の11号集石からやや南に離れるがほぼ並行して作られている。各柱穴間は1.32～1.62mとややばらつく。覆土は灰褐色土、黄色砂、ロームのブロックの混土で、P4・6がやや浅く、柱痕も認められないが、他は中央に細砂や小礫の混じった、にぶい黄褐色土があって柱痕と判断されている。

第4項 小鍛冶遺構

98-I～K-23・24グリッドに焼土、炭化物を含む浅い凹みを10か所確認しており、これを総称して1号小鍛冶としている。このうち、P9には台石かと思われる円礫があり、鞆羽口が設置された痕跡やが壁の破片、大小の粒状滓や鍛造剥片、小塊状滓などが出土していて、鍛冶炉本体に相当するものと思われる。また、鍛冶炉西側のK-24グリッド西部には507号土坑があって、ここにも炭化物が集中し、鍛造剥片が出土している。廃滓坑的な機能が想定される。また、周辺から寛永通寶2枚が出ている。

P1 98-I-23グリッドにある。長径30cmほどの扁円形の凹みの中に炭化物を多く含む褐色土が南北20cm、東西15cmほどの卵形の平面形で厚さ2cmほど堆積する。焼土は観察されていない。地山にも炭化物粒が含まれている。

P2 98-I-23グリッドにある。P1の西に当たる。長径40cm、短径35cm、最大深さ14cmほどのゆがんだ円形の平面形を呈するビット中に34×22cmほどの範囲で炭化物

が集中する。下層に炭化物を多く含むにぶい褐色土が入り、その上位に激しく焼けた橙色の砂が乗る。

P3 98-J-23グリッドにある。30×22cmほどの範囲で焼土粒、炭化物粒を多く含むにぶい褐色土が2cmほど堆積する。明確な掘り込みや凹みは捉えられていない。

P4 98-J-23・24グリッドにある。長径78cm、短径65cmほどのゆがんだ扁円形の平面形を呈し、深さは11cmほどある。覆土は焼土粒を多く含むにぶい褐色土で、南東部に弧状に炭化物が集中する。

P5 98-J-24グリッドにある。長径40cm、短径28cm、深さ9cmほどの長円形の平面形を呈するビットで、覆土は炭化物粒を多く含むにぶい褐色土。中央部に激しく焼けた橙色砂が乗る部分がある。

P6 98-J-24グリッド、P4の北に接し、P5の西側にある。径46cm、深さ9cmほどのゆがんだ円形の平面形を呈するビットで、覆土全体に焼土粒を多く含む、特に西側壁は強く焼けている。炭化物はわずかに含まれない。銅銭の小片が出土している。

P7 98-J-24グリッド、P6の西にある。長径36cm、短径32cmの東西にやや長いゆがんだ円形の平面形で、最大でも3cmほどの深さしかない。覆土は焼土粒、炭化物粒をわずかに含まれないにぶい褐色土であるが、一辺25cmほどの方形の平面形を呈する炭化物の集中部が認められている。

P8 98-K-23グリッドにある。他のビットからは西に外れた位置にあり、507号土坑の南東にあたる。長径32cm、短径27cmほどの、南北にやや長い扁円形の平面形で、深さ5cmほどの浅い凹み状を呈する。覆土は焼土粒、炭化

小鍛冶遺構上層観察所見

- P1** 1 灰褐色土 7.5YR4/2 褐色粒子をわずかに含む。炭化物を多く含む。
2 褐色土 7.5YR4/4 褐色粒子をわずかに含む。黒褐色土を少量含む。炭化物粒少。
P2 1 橙色砂 7.5YR6/6 激しく焼けている。
2 にぶい褐色土 7.5YR5/3 褐色粒子、焼土粒をわずかに含む。炭化物粒を多く含む。
P3 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。焼土粒、炭化物粒多く含む。
P4 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒子、炭化物粒をわずかに含む。焼土粒を多く含む。
P5 1 橙色砂 7.5YR6/6 激しく焼けている。
2 にぶい褐色土 7.5YR5/3 焼土粒をわずかに含む。褐色粒子を少量含む。炭化物粒を多く含む。
P6 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒子、炭化物粒をわずかに含む。焼土粒を多く含む。
2 橙色砂 7.5YR6/6 激しく焼けている。

- 3 にぶい褐色土 7.5YR5/3 白色粒子、炭化物粒をわずかに含む。焼土粒を多く含む。
P7 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 褐色粒子、焼土粒、炭化物粒をわずかに含む。
P8 1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 褐色粒子、焼土粒、炭化物粒をわずかに含む。
P9 1 褐色土 7.5YR6/6 焼土主体。
2 灰褐色土 7.5YR4/2 褐色焼土、炭化物粒をわずかに含む。
P10 1 褐色土。
2 暗褐色土。
3 青白色砂 7.5YR5/4。
4 褐色土。

- 507号土坑 1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。炭化物を多く含む。小骨片をわずかに含む。
2 黒色土 7.5YR2/1 白色粒子、褐色粒子をわずかに含む。やや粘性強い。

物粒をわずかしか含まないにふい褐色土であるが上面を覆うように炭化物の集中が認められている。

P 9 98-J-23グリッドにある。P 3とP 4の間に位置し、西側にP 10がある。北西に頂点を持つ隅丸の三角形状の平面形で、深さは10cmほどある。西部には台石と思われる長軸長20cm大の円礫を置く。東側には焼土の広がりがある。北西の頂点近くに籾羽口があり、鉄滓も出土している。覆土は下層に焼土粒を含む灰褐色土があり、上位に焼土主体の橙色土がある。覆土には炉壁破片、大小の球状滓や鍛造剥片が含まれる。

P 10 98-J-23グリッドにある。P 4の南、P 9の西に当たる。長軸長39cm、短軸長36cmほどのゆがんだ円形の平面形で、深さ10cmほどの凹みである。上面を覆うように炭化物があるが、覆土では焼土、炭化物は確認されておらず、中位に青白色の砂層が入る。

507号土坑 98-K-23・24グリッドにある。長軸長195cm、短軸長90cmの西側が膨らんだ長円形で、最大深さは19cmほどある。底面は凹凸が多い。覆土は黒色土で、上面に炭化物を多く含む黒褐色土が乗る。骨片も少量出土している。

第5項 溝・石列

1号溝 6-U-1から97-H-25グリッドにかけて東西走り、南に折れて97-G-19グリッドで調査区外に至る。東西52m、南北14m以上にわたる。第2面4号道から7号道・1号水路と重なり、2号水路が4号道の途中で東に折れず、1号溝と連続したような印象がある。幅0.9～1.46m、覆土は中位に礫を含む黒褐色土を挟み、上下に暗褐色土が堆積する。底部標高は東端部で532.08m、西の屈曲部で533.40m、南端で533.35mを測っている。なお、調査担当者は中世段階からラインを継承する主要水路と考えており、江戸時代前半段階までには大溝としての形態が完成し、おそらく江戸前半期のある時期(例えば寛保年間)に一気に埋没したものであろうとしている。

1号石列 97-H-23グリッドにある。4石の角礫が1号溝埋没後に、これに直交して渡るように並べられている。西側の3石が接しており、30cmほど離れて東端の一石が置かれる。全体の長は1.6mになる。東端の石の北側に炭化物の集中が見られる。

2号溝 96-U-19-W-25グリッドにあって1号溝の北側に

沿って東西に延びる溝痕跡である。西端は閉じ、東端の北辺は8mほどを追うことができるが、南辺は3.2mほどで確認できなくなる。深さは2cmほどしかない。

4号溝 6-R-8～11グリッドにあって、南北に延びる溝である。第2面では寺院跡の西端にあたり、寺院建立前であっても何らかの地割りが存在したことを示唆する。上端幅55～80cm、西辺から溝底までの深さ5～14cm。南端の溝底標高は531.53m、北端は531.43mで、N-5°-Wを示す。断面および土層に関する記載を欠く。

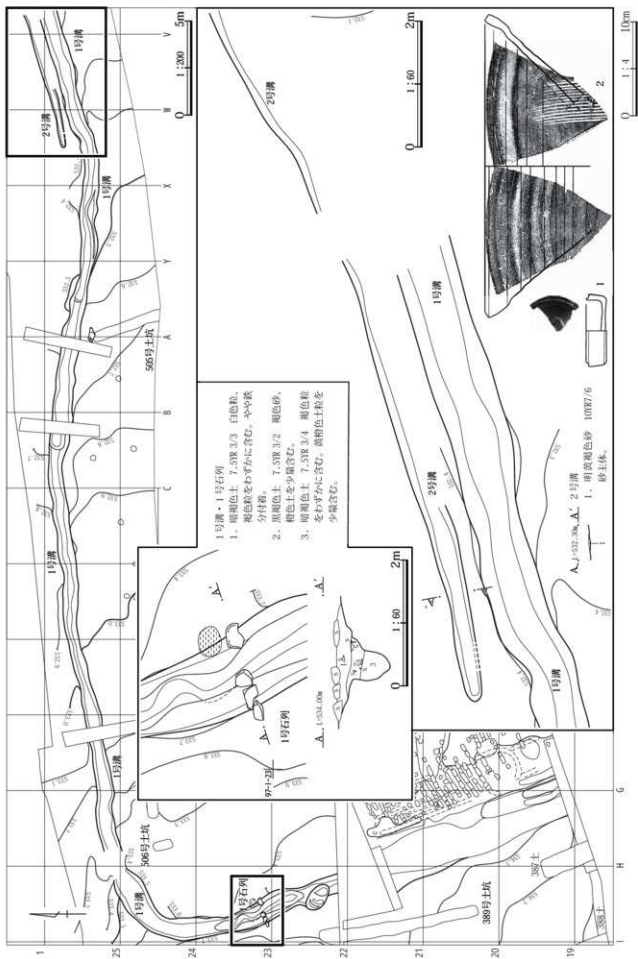
16号溝 96-M-5からL-9グリッドにかけて、北東-南西方向に延びる。北端は67号復旧溝に達してこれを切るが、以北は確認されない。南端は完結する。幅30～40cmで、底面北端の標高は535.21m、南端は536.14m、西辺上端から底面までの深さ15～39cm。やや蛇行しつつN-17°-E方向で16.7m延びる。土層観察所見を欠くが、断面形は上部の開くU字状で、覆土中に角礫を含む。

22・23号溝 97-D-4グリッドからM-1グリッドにかけて東西走る2条の溝で、22号溝が北側に、23号溝が南側にある。ともに西端は調査区外に延びるが、23号溝は途中で途切れ、東部では22号溝に切られて姿を消す。22号溝の長37.4m、底部東端の標高536.35m、西端は537.68m、23号溝は東端標高536.83m、西端標高537.78m。やや北にはらみだして弓なりになるが、およそN-75°-Eを示す。ともに上端幅は50～60cm、22号溝は深さ11～30cm、23号溝は6～19cm。2面では4号道の東西走部にあたり、これも地割りの継続が示唆される。

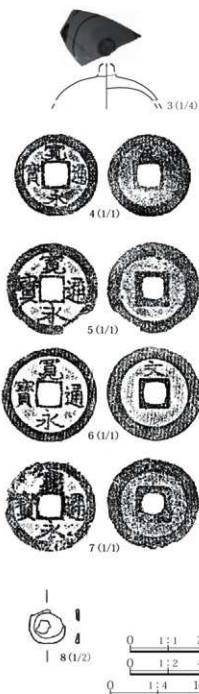
第6項 焼土・集石

26号焼土 7-D-4グリッドにある。長径35cm、短径21cmの偏円形の範囲内が、最大厚2cmほどで焼土化している。炭化物は残されていない。

41号焼土 96-N-16グリッドにある。長径82cm、短径72cmの南北に長い偏円形の平面形、最大深さ6cmほどの規模で、南部には弧状に炭化物が残されている。土層観察所見を欠くため、写真からの読み取りによる構造を示す。皿状の断面形を示す浅い土坑の底部に灰黄褐色の粘質土が貼られる。下層は還元したような灰白色を呈する。南半には炭化物層がある。南端で厚く、中央では薄くなって北部には達しない。形状のわかるような炭化材は確認されない。中央部炭化物層の上位から北部にかけて黄褐



第223図 1号・2号溝 1号石列 平面 1/200 部分・断面/60 1号溝出土遺物1

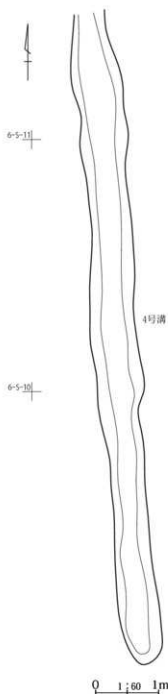


第224図 1号溝出土遺物 2

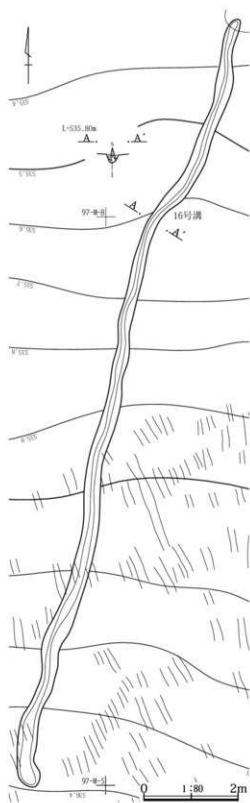
色ロームが乗る。北端部には特に強い焼土化が見られる。使用目的はわからないが、南側を焚き口とした炉の下底面に当たるように思われる。

42号焼土 96-N-15グリッドにある。径45cmほどの整った円形の範囲内が厚さ1cmほど焼土化しているもので、掘り込みは見られない。炭化物は残されていない。

11号集石 98-L-17グリッドからN-16グリッドにかけて、南西から北東に延びる細長い凹みに礫が集積されたものである。第2面7号道・1号水路下に当たり、や

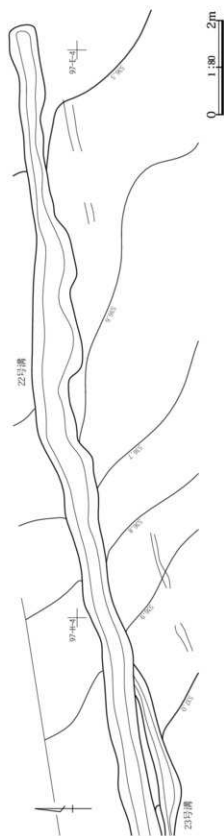
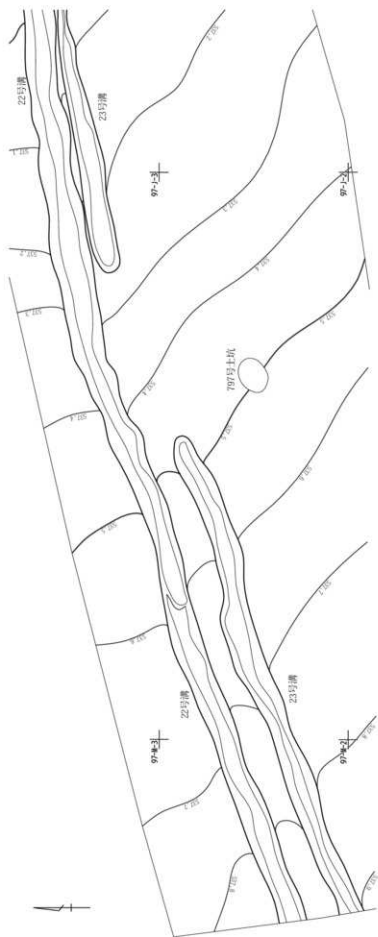


第225図 4号溝 1/60



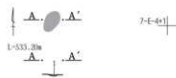
第226図 16号溝 1/80

や南西にずれてビット列が平行する。礫の入る凹みは長さ12.2m、最大幅1.6mほどの細長い紡錘形の平面形で、深さは5～12cmほどある。礫はこの凹みの底面に接して集積されるが、礫の分布状況および覆土に関する記載を欠く。



第227図 22号・23号溝 1/80

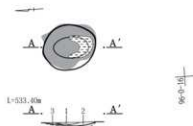
第4節 第3面の調査



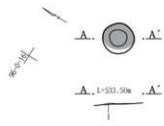
26号焼土

1. 明赤褐色土 5YR6/8 白色粒子、褐色粒子、黒色土粒をわずかに含む。焼けが激しい。

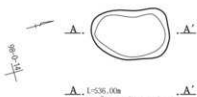
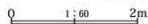
26号焼土



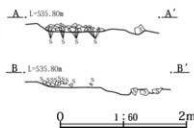
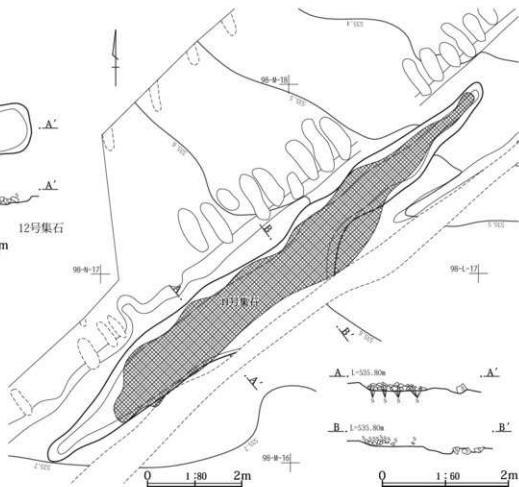
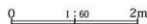
41号焼土



42号焼土



12号集石



11号集石



19号集石



第228図 焼土・集石 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

12号集石 98-N・O-14グリッドにある。長径120cm、短径78cm、深さ8～14cmの長円形平面で浅い鍋状の断面形を呈する土坑の底面に接して礫が入られている。礫の分布状況および覆土に関する記載を欠く。

19号集石 96-R・S-20グリッドにある。東西に長く中央がくびれた弧形の平面形で、長軸長2.2m、短軸長0.8～0.97m、深さは23～37cmの土坑中に大小の礫が集積されている。礫は大きい物では1辺40cm近くある。特定の配置構造を伺うことはできないが、北壁西部にはやや大きな礫が並び、壁を構成したかに見える。土層観察所見を欠くが、覆土下位にあって土坑底面には接しない。

第7項 土坑・ピット

調査区の北部に集中し、南部ではごく希薄である。平面形が円形、長円形、方形、長方形などのや特に狭長なものがあり、貯蔵用と考えられるもののほか、復旧溝の機能を有するものもある。分布にもやや特徴が見受けられる。

部分図1は調査区西端近くであるが、ここでは円形平面の土坑が目立ち、特に305号～309号土坑は直線的に並ぶ。これにやや長い隅丸方形ないし長円形平面の土坑が散在するが、304号、314号土坑などは同面の畑第1区画北部の東西方向と近い方向を取り、501号、313号、377号は同区画南部の南北方向と近似した方向を示す。

これ以东には部分図2で示した、南北方向に長軸を置く幅が狭く長い土坑が並ぶ。断面形では下半が膨らむ袋型を呈する物が多く、復旧溝とすべきものも含まれるだろう。北部ではやや長い隅丸方形ないし長円形平面の土坑が、やはり南北方向に長軸を置いて並ぶ。

部分図3は調査区東部で、第2面の寺院敷地下にあたる。ここでは長円形、長方形の土坑が多数のピットと混在しており、規則性は乏しい。寺院西辺外にはこれと直行するように細長い隅丸長方形の平面形を有するピットが並ぶ。

土坑

147号土坑 7-Q-11グリッド 長軸長223cm、短軸長66cm、深さ37cm、長軸方位N-10°-W。平面形は北短辺が丸みを持った幅の狭い長方形、横断面は上部がやや開いた箱状。底部近くにしまりのある褐色土があり、上位は

灰黄褐色土。土師器片、縄文時代中期後半から後期前半の土器片が出土している。

150号土坑 7-N-11・12グリッド 長軸長151cm、短軸長60cm、深さ70cm、長軸方位N-5°-W。平面形は幅の狭い長方形、横断面は深い箱状。覆土は白色粒、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。磨石と灯火台に使用した平石が出土している。

158号土坑 7-K-12グリッド 長軸長294cm、短軸長63cm、深さ28cm、長軸方位N-1°-W。平面形は幅の狭い長方形。中央部がやや狭まる。断面形は上部がやや開く箱状。覆土は黄白色粒混じりのローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む灰黄褐色土。157号土坑に切られる。縄文土器深鉢の胴部片が出土している。

160号土坑 7-I-11グリッド 長軸長254cm、短軸長50cm、深さ34cm、長軸方位N-4°-E。平面形は幅の狭い長円形。覆土は暗褐色土主体か。

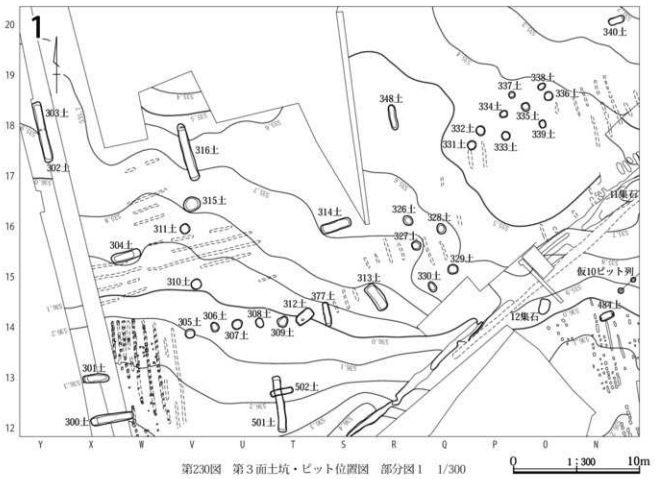
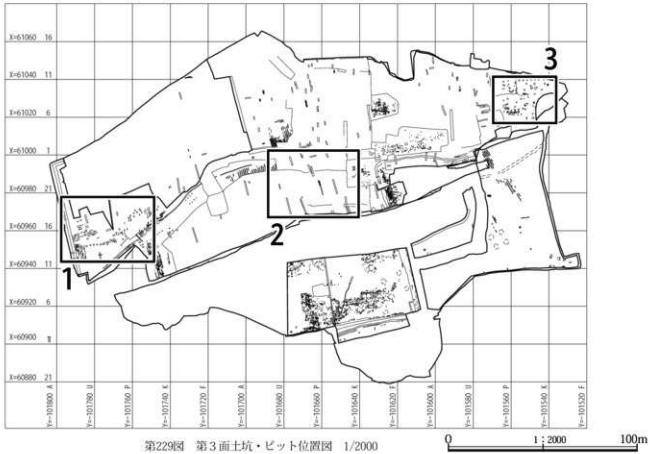
180号土坑 7-Q-10グリッド 長軸長376cm、短軸長48cm、深さ19cm、長軸方位N-10°-W。平面形は狭長な溝状で、両短辺が丸い。横断面は上部に開く鍋状。覆土は灰黄褐色土で下層がやや締まる。

181号土坑 7-Q-9・10グリッド 長軸長289cm、短軸長62cm、深さ31cm、長軸方位N-10°-E。平面形は狭長な溝状で、両短辺が丸い。底部両側が狭りこまれて、断面形では下端がやや広がる覆土下層は灰黄褐色土、上層は褐色土。182号土坑に切られる。183号土坑と接する。

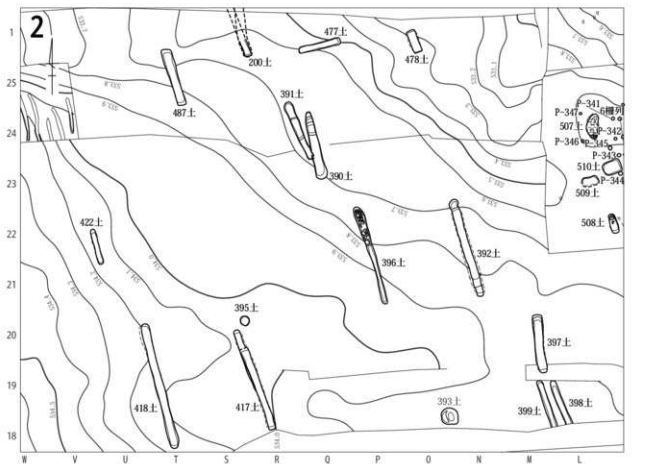
184号土坑 7-R-9グリッド 長軸長248cm、短軸長64cm、深さ33cm、長軸方位N-3°-W。平面形は幅の狭い隅丸長方形。横断面は上端がやや開く鍋形。覆土下層はロームや黒色土の小ブロックを多く含む一括埋設土、上層は黒褐色土。

185号土坑 7-S-10グリッド 長軸長172cm、短軸長80cm、深さ37cm、長軸方位N-13°-W。平面形は北短辺に丸みを持つ隅丸長方形。横断面は底面がややくぼみ、端がやや開く鍋形。覆土は黒色から黒褐色土で黄褐色ブロックを含む。186号土坑に切られる。縄文時代中期後半から後期前半の土器片が出土している。

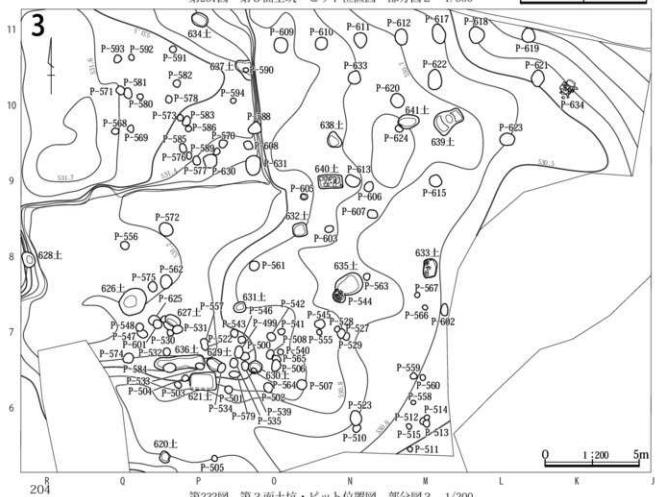
186号土坑 7-S-9・10グリッド 長軸長255cm、短軸長70cm、深さ33cm、長軸方位N-20°-W。平面形は幅の狭い隅丸長方形、横断面は底面がややくぼみ上端がやや開く鍋形。覆土は褐色土。185号土坑を切る。



第2章 調査された遺構と遺物



第231図 第3面土坑・ピット位置図 部分図2 1/300



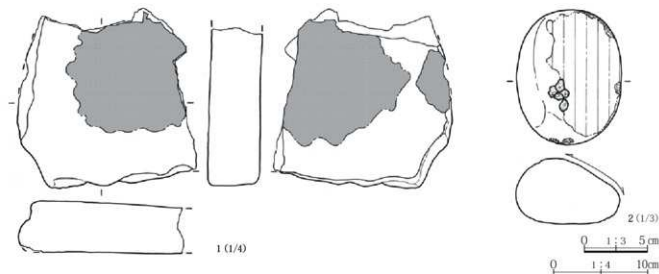
第232図 第3面土坑・ピット位置図 部分図3 1/200

187号土坑 7-P-8グリッド 長軸長166cm、短軸長50cm、深さ5cm、長軸方位N-6°-W。平面形は狭長な溝状で、両短辺が丸い。横断面は底面がややくぼみ上端が開く皿形。覆土は白色粒、黒色土粒、炭質物粒をわずかに含む灰褐色土。

200号土坑 97・7-R-25、7-R-1・2グリッド 長軸長540cm、短軸長60cm、深さ71cm、長軸方位N-23°-W。平面形は狭長な溝状、横断面は深い箱状。覆土はにぶい褐色土で、黄橙色のブロックを少量含む。201号土坑と切り合うが、新旧関係は不明。

201号土坑 97・7-R-25、7-R-1・2グリッド 長軸長802cm、短軸長77cm、深さ42cm、長軸方位N-11°-W。平面形は溝状で、両短辺が丸い。横断面は深い箱状で下端部が両側にやや張り出す。覆土下層は褐色土、上層はにぶい褐色土で、黄橙色ブロックを少量含む。200号土坑と切り合うが、新旧関係不明。

202号土坑 7-Q-2、R-1・2グリッド 長軸長268cm、短軸長66cm、深さ40cm、長軸方位N-78°-E。平面形は狭長な隅丸長方形、底面に丸みを持つが逆台形に近い断面形を示す。覆土は暗褐色土。203号土坑を切る。



第233図 第3面土坑出土遺物1 (150号土坑)

147号土坑

1a 灰黄褐色土 10YR4/2 黄白色粒を含む、ややしまりあり。

1b 1a層よりやや淡色。

1c 1a層に黒色土小ブロックが斑状に混じる。

2 褐色土上 10YR3/1 黒色土小ブロックをわずかに含む。しまる。

150号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの白色粒を、黒色土小ブロックを含む。

1 灰黄褐色土 10YR4/2 径1~2mmの黄白色粒、くすんだローム小ブロック、黒色小ブロックを含む。

160号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒、棕色土粒をわずかに含む。柱粒。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。棕色土ブロックを少量含む。

180号土坑

1a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む。

1b 1a層より各ブロック少なくややしまりあり。

181号土坑

1 褐色土上 10YR3/1 シルト質、黒色土小ブロックを含む。

2 灰黄褐色土 10YR4/2 黒色土小ブロックを含む。炭化物をわずかに含む。

184号土坑

1 黒褐色土 10YR2/2 土質均質、黄白色粒を含む。

2 ローム・黒色土の小ブロックを多く混じる。(一括埋土)。

185号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 黄褐色粒をわずかに含む。白色粒をわずかに含む。

2 黒色土 7.5YR2/1。

3 黄褐色土 7.5YR7/8 ブロック。

186号土坑

1 褐色土上 7.5YR4/1 褐色土ブロック多量を含む。黒褐色土、白色粒を少量含む。

187号土坑

1 灰褐色土 7.5YR5/2 黒色土粒をわずかに含む。白色粒をわずかに含む。炭化物細粒をわずかに含む。

200号土坑

1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 黄褐色土ブロック少量含む。

201号土坑

1 にぶい褐色土 7.5YR5/3 黄褐色土ブロック少量含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 黒色土粒をわずかに含む。黄褐色土粒やブロックを多量に含む。

202号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3。

203号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 黄褐色粒をわずかに含む。

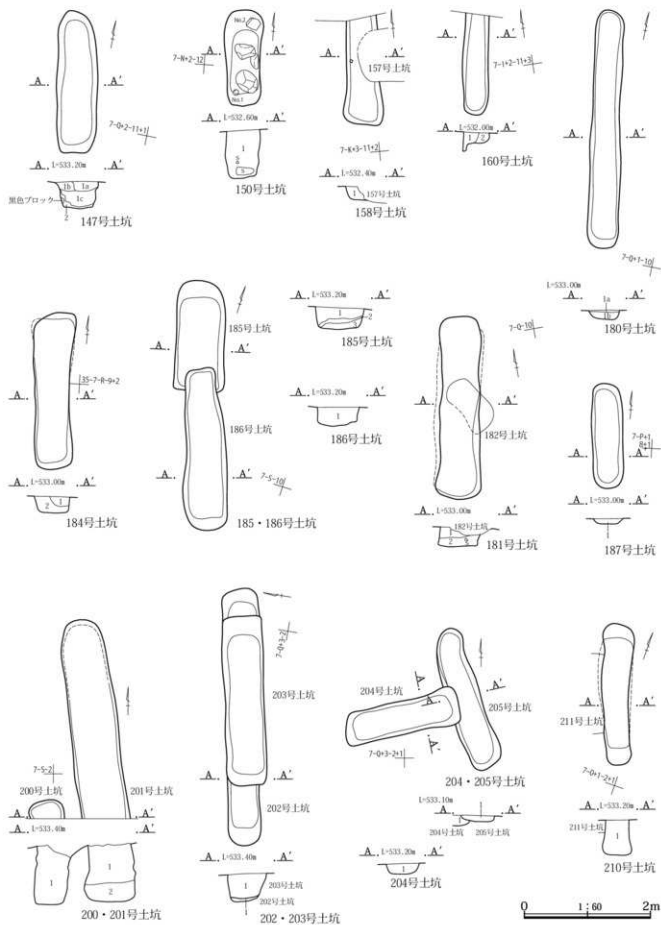
204号・205号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 棕色粒を少量含む。

210号土坑

1 黄褐色土粒を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第234図 第3面土坑 1/60

203号土坑 7-Q-2、R-1・2グリッド 長軸長406cm、短軸長55cm、深さ47cm、長軸方位N-78°-E。平面形は狭長で、両短辺が丸い。断面形は底面にやや丸みを持つが逆台形に近い。覆土は黒褐色土。202号土坑に切られる。

204号土坑 7-Q-2グリッド 長軸長183cm、短軸長62cm、深さ20cm、長軸方位N-76°-E。平面形は狭長な隅丸長方形、上方に開く鍋状の断面形を示す。覆土は橙色粒を少量含む暗褐色土。205号土坑を切る。

205号土坑 7-Q-2グリッド 長軸長229cm、短軸長53cm、深さ10cm、長軸方位N-17°-W。平面形は北短辺が丸い、幅の狭い長方形。横断面は上方に開く鍋状を示す。覆土は橙色粒を少量含む暗褐色土。204号土坑に切られる。

210号土坑 7-O-2グリッド 長軸長224cm、短軸長48cm、深さ62cm、長軸方位N-21°-W。平面形は狭長な溝状で、両短辺が丸い。やや下ぶくれの断面形を示す。覆土は主体層についての記載を欠くが、黄色土粒を少量含む。211号土坑を切る。

223号土坑 7-K-3グリッド 長軸長245cm、短軸長64cm、深さ61cm、長軸方位N-11°-W。平面形は幅の狭い隅丸長方形、横断面は深い箱状。覆土は黒褐色土を主体とする。224号土坑を切る。

242号土坑 7-P-2・3グリッド 長軸長237cm、短軸長84cm、深さ16cm、長軸方位N-8°-W。平面形は幅の狭い隅丸長方形、底部近くがややえぐれるように張り出して、弱い袋状の断面形を示す。覆土は黒褐色土を主体

とする。

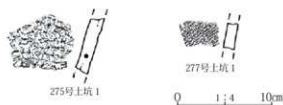
244号土坑 7-Q-4グリッド 長軸長186cm、短軸長52cm、深さ7cm、長軸方位N-7°-W。平面形は北短辺が丸い幅の狭い長方形、横断面は浅い皿状。覆土は灰褐色土を主体とする。

245号土坑 7-P-4・5グリッド 長軸長228cm、短軸長70cm、深さ33cm、長軸方位N-2°-W。平面形は幅の狭い隅丸長方形、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

249号土坑 7-O-4・5グリッド 長軸長195cm、短軸長56cm、深さ33cm、長軸方位N-5°-W。平面形は北短辺が丸い幅の狭い隅丸長方形、箱状の断面形を示す。覆土は暗褐色土を主体とする。

263号土坑 7-P-6・7グリッド 長軸長282cm、短軸長79cm、深さ54cm、長軸方位N-0°。平面形は北短辺が丸い幅の狭い隅丸長方形、下底部がややふくらんだ袋状の断面形を示す。覆土は黒褐色土を主体とする。

264号土坑 7-S・T-9グリッド 長軸長291cm、短軸長46cm、深さ16cm、長軸方位N-11°-W。平面形は狭長で、両短辺が丸い。鍋形の断面形を示す。覆土は灰褐色土を



第235図 第3面土坑出土遺物2 1/4

223号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 黄褐色土ブロック、褐色粒を少量含む。黒色土粒をわずかに含む。

242号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。ローム土粒を少量含む。

244号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土ブロック、褐色粒をわずかに含む。

245号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。

249号土坑

1 暗褐色土 7.5YR 白色粒、褐色粒をわずかに含む。ローム土粒をわずかに含む。

263号土坑

1 暗青色土 5BG3/1 白色粒をわずかに含む。還元。

2 赤褐色土 5YR4/8 鉄分付着。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、橙色土粒をわずかに含む。小礫少量含む。

264号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 白色粒をわずかに含む。褐灰色土粒を少量含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。

267号土坑

1 褐色粒、白色粒をわずかに含む。鉄分付着。

269号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒を少量含む。褐色粒、橙色土粒、小礫をわずかに含む。

273号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、橙色土粒をわずかに含む。

275号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 炭化物粒を多量に含む。焼土粒をわずかに含む。

2 黒褐色土 7.5YR 炭化物粒をわずかに含む。

3 黒褐色土。

276号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒をわずかに含む。褐色土粒を少量含む。上位に鉄分付着。

277号土坑

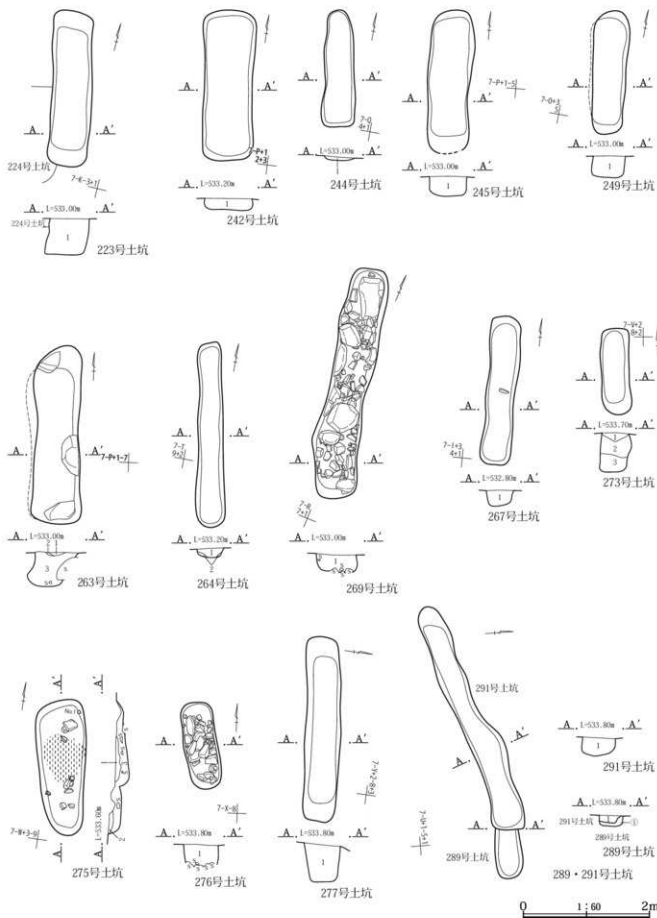
1 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒、黒色土粒をわずかに含む。

280号土坑

① 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

1 褐色土 7.5YR4/1 黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第236図 第3面土坑2 1/60

主体とする。

267号土坑 7-1-4グリッド 長軸長235cm、短軸長47cm、深さ36cm、長軸方位N-0°。平面形は狭長で、両短辺が丸い。横断面はやや深い鍋状。覆土は主体層についての記載を欠くが褐色粒、白色粒を含む。縄文土器片が出土している。縄文土器片が出土している。

269号土坑 7-Q-7、R-7・8グリッド 長軸長370cm、短軸長74cm、深さ5cm、長軸方位N-12°-W。平面形は狭長な隅丸方形、横断面は箱状ないし鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。北部には礫が多く含まれる。

273号土坑 7-V-8グリッド 長軸長136cm、短軸長44cm、深さ64cm、長軸方位N-2°-W。平面形は南短辺が丸みを持つ幅の狭い隅丸長方形。他に比して短く、深い箱状の断面形を示すが、3層部は掘りすぎたものかもしれないとの調査所見がある。覆土は下層が黒色土、中位は黒褐色土、上位は暗褐色土を主体とする。

275号土坑 7-W-9グリッド 長軸長213cm、短軸長76cm、深さ13cm、長軸方位N-13°-W。平面形は北部が広く南部が狭い長円形。南側が浅く、北側は段を持って深くなる。覆土は黒褐色土が主体で、中央の上位に炭化物

粒や焼土粒を含む部分がある。縄文土器深鉢の胴部分が出土している。

276号土坑 7-X-8グリッド 長軸長138cm、短軸長50cm、深さ52cm、長軸方位N-9°-W。平面形は長円形。断面図下位の礫は地山のものではないと思われるので、底面形状は把握できないが壁は垂直に立ち上がっており、箱状の断面形を持つものと思われる。覆土は暗褐色土を主体とする。

277号土坑 7・8-Y・A-8グリッド 長軸長291cm、短軸長53cm、深さ63cm、長軸方位N-83°-E。平面形は狭長な隅丸長方形、横断面は上部に開く逆台形。覆土は黒褐色土を主体とする。縄文土器片、弥生土器製の胴部分が出土している。

289号土坑 7-U-5グリッド 長軸長77cm、短軸長41cm、深さ15cm、長軸方位N-89°-W。平面形は長円形、横断面は鍋形。覆土は灰褐色土を主体とする。291号土坑に切られる。

290号土坑 7-U-5グリッド 長軸長214cm、短軸長46cm、深さ37cm、長軸方位N-78°-E。平面形は狭長な隅丸長方形。横断面は上方に開く逆台形状。覆土は褐色土

290号土坑

1 褐色土 7.5YR4/1 黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

291号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分付着。

292号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 黒色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

293号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒、褐色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/1 黒色土粒を多量に含む。

294号土坑

1 褐色土 7.5YR4/1 白色粒、褐色粒をわずかに含む。黒色土粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR3/2 白色粒をわずかに含む。黒色土粒を少量含む。

3 黒色土 7.5YR2/1。

300号土坑

1 くすんだ黄褐色土 10YR5/2 細砂を含む高耕作土。

2 黄褐色細砂ブロック、褐色土小ブロック。

3 くすんだ黄褐色土 10YR5/2 ローム小ブロックを多くを含む。一括理上。

4 ロームブロック主体で褐色土小ブロックを含む。しまりあり。

301号土坑

1 くすんだ黄褐色土 10YR5/2 ローム小ブロックを多くを含む。一括理上。

302号土坑

1 くすんだ黄褐色土 10YR5/2 細砂を含む。高耕作土。

2 黄褐色細砂ブロック、褐色土小ブロック。

① くすんだ黄褐色土 10YR5/2 ローム小ブロックを多くを含む。一括理上。

③a 褐色土 10YR4/3 ロームブロックと黒色土中、小ブロック散在し、わずかに砂質。

③b a層よりロームブロック小さく、黒色土小ブロックも小粒。

④ くすんだ黄褐色土にロームブロック混じる。黒色土ブロック混入。

5 黄褐色土、漸移層。

6 ローム層。

303号土坑

① くすんだ黄褐色土 10YR5/2 ローム小ブロックを多くを含む。一括理上。

黒褐色土ブロック。

304号土坑

1a 褐色土 10YR4/4 小石多を含む。土質均質。

1b a層よりしまり強い。小石少ない。

2 ロームブロックと褐色土の混入。

305号土坑

1a 黄褐色土 10YR5/6 くすんだ褐色に黄色細砂小ブロックを多くを含む。やや砂質。

306号土坑

1a 黄褐色土 10YR5/6 くすんだ褐色に黄色細砂小ブロックを多くを含む。やや砂質。

307号土坑

1a 黄褐色土 10YR5/6 くすんだ褐色に黄色細砂小ブロックを多くを含む。やや砂質。

2 ロームブロックと褐色土の混入。

308号土坑

1a 黄褐色土 10YR5/6 くすんだ褐色に黄色細砂小ブロックを多くを含む。やや砂質。

309号土坑

1a 黄褐色土 10YR5/6 くすんだ褐色に黄色細砂小ブロックを多くを含む。やや砂質。

土を主体とする。

291号土坑 7-U・V-5グリッド 長軸長382cm、短軸長51cm、深さ34cm、長軸方位N-70°-E。平面形は北短辺が丸みを持つ狭長な溝状の形態だが、南端以外は乱れる。断面形は箱状あるいは中位がやや膨らむ弱い袋状。覆土は灰褐色土を主体とする。289号土坑を切る。

292号土坑 7-W-2グリッド 長軸長136cm、短軸長46cm、深さ48cm、長軸方位N-74°-E。平面形は長円形、横断面は箱形。覆土は灰褐色土を主体とする

293号土坑 7-X-4グリッド 長軸長199cm、短軸長91cm、深さ65cm、長軸方位N-5°-W。平面形は歪んだ長円形、横断面は逆台形。覆土下層は黒褐色土、上層は暗褐色土主体。

294号土坑 7-X・Y-5・6グリッド 長軸長171cm、短軸長56cm、深さ93cm、長軸方位N-5°-W。平面形は長円形、横断面は深いU字状。覆土は下層が黒色土、中位は黒褐色土、上位は褐灰色土を主体とする。

300号土坑 98-W・X-12グリッド 長軸長340cm、短軸長76cm、深さ149cm、長軸方位N-81°-E。平面形は狭長な隅丸長方形、横断面は底面に丸みを持った深い箱形。覆土はくすんだ黄褐色土を主体とし、下底にロームブロックを含む。

301号土坑 98-W・X-12・13グリッド 長軸長206cm、短軸長67cm、深さ78cm、長軸方位N-88°-E。平面形は長円形、横断面は弱い袋状。覆土はくすんだ黄褐色土で一括埋設される。

302号土坑 98-X-17・18、Y-17グリッド 長軸確認長266cm、短軸長68cm、深さ103cm、長軸方位N-13°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。各壁は小さな丸みを持って

やや上方に開きながら立ち上がる。覆土はくすんだ黄褐色土及びロームブロックを含む褐色土を主体とする。303号土坑を切る。

303号土坑 98-X-18、Y-17・18グリッド 長軸確認長220cm、短軸長68cm、深さ91cm、長軸方位N-13°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。各壁は小さな丸みを持ってやや上方に開きながら立ち上がる。302号土坑に切られる。

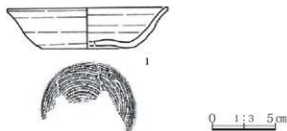
304号土坑 98°-W-15グリッド 長軸長236cm、短軸長72cm、深さ42cm、長軸方位N-75°-E。平面形は狭長な隅丸長方形。横断面は逆台形。覆土は褐色土を主体とする。底部近くにロームブロックが含まれる。

305号土坑 98-U・V-13・14グリッド 長軸長77cm、短軸長71cm、深さ8cm、長軸方位N-86°-E。平面形は円形、横断面は浅い鍋状。覆土は黄褐色土を主体とする。

306号土坑 98-U-13・14グリッド 長軸長77cm、短軸長64cm、深さ11cm、長軸方位N-20°-W。平面形は不整形円形、横断面は浅い皿状。覆土は黄褐色土を主体とする。

307号土坑 98-U-14グリッド 長軸長85cm、短軸長75cm、深さ7cm、長軸方位N-52°-E。平面形は円形、横断面は浅い皿状。覆土は黄褐色土を主体とする。

308号土坑 98-T-14グリッド 長軸長75cm、短軸長58cm、深さ6cm、長軸方位N-22°-W。平面形は不整形円形、



第238図 第3面土坑出土遺物3 (312号土坑) 1/3

310号土坑

1b にふい黄褐色土 10YR5/3 くすんだ褐色土に小石、黄色細砂小ブロックを含む。

311号土坑

1b にふい黄褐色土 10YR5/3 くすんだ褐色土に小石、黄色細砂小ブロックを含む。

312号土坑

1 黄褐色土 10YR くすんだ褐色土と黄色細砂の入り混じった層、やや砂質。

313号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 小石、細砂を含む。
2 灰黄褐色土 10YR4/2 黄色粒を含む。褐色土に黒色土ブロックを含む。

314号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 小石、細砂を含む。
2 灰黄褐色土 10YR4/2 黄色粒を含む。褐色土に黒色土ブロックを含む。

315号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 小石、細砂を含む。
2 くすんだ黄褐色土 10YR4/3 ロームブロックを含む。

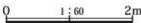
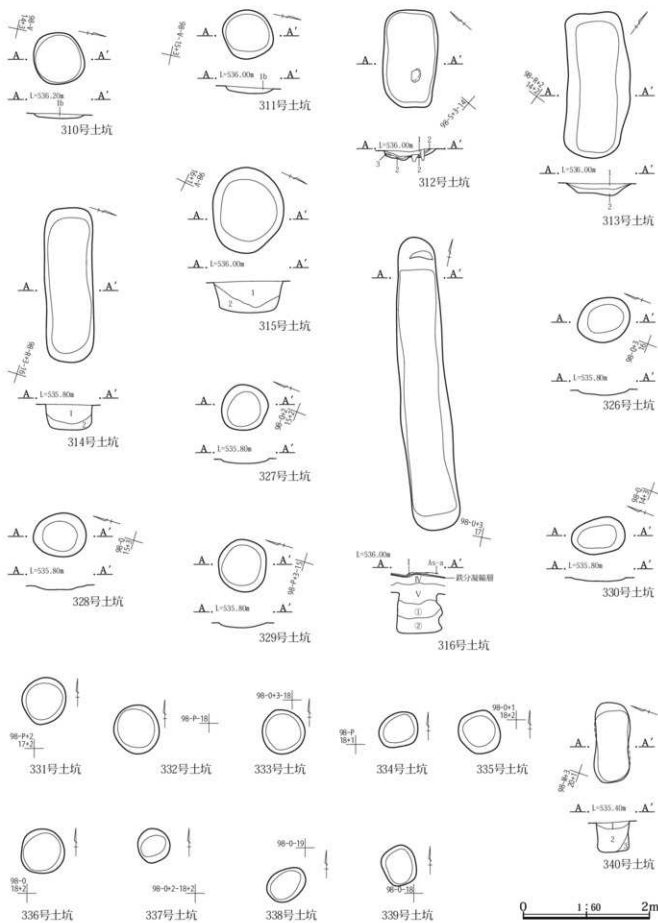
316号土坑

1 大明泥流。
IV 灰黄褐色土 10YR4/2 洪水砂混土。2面晶析作上。
V 暗褐色土 10YR3/3 小石混じり。上質均質。
① 暗褐色土 10YR3/3 ローム小ブロックV層ブロック、黒色土ブロック混土。
② 黒褐色土 10YR2/2 ①層よりローム小ブロック黒色土ブロックを多くを含む。

340号土坑

1 褐色土 10YR4/6 褐色粒をわずかに含む。
2 褐色土 10YR4/4 黄褐色粒を少量含む。黒色土粒をわずかに含む。
3 暗褐色土 10YR3/3 褐色粒はほとんど含まず、黒色土粒をわずかに含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第239図 第3面土坑4 1/60

横断面は浅い皿状。覆土は黄褐色土を主体とする。

309号土坑 98-T-14グリッド 長軸長93cm、短軸長80cm、深さ9cm、長軸方位N-37°-E。平面形は不整形円形、横断面は浅い皿状。覆土は黄褐色土を主体とする。

310号土坑 98-U-14・15、V-14グリッド 長軸長86cm、短軸長80cm、深さ7cm、長軸方位N-28°-E。平面形は不整形円形、横断面は浅い皿状。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

311号土坑 98-V-15・16グリッド 長軸長82cm、短軸長77cm、深さ12cm、長軸方位N-7°-E。平面形は不整形円形、横断面は浅い皿状。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。

312号土坑 98-S-14グリッド 長軸長154cm、短軸長84cm、深さ11cm、長軸方位N-51°-E。平面形は隅丸長方形。覆土は黄褐色土主体か。縄文土器片、須恵器坏片が出土している。

313号土坑 98-R-14グリッド 長軸長228cm、短軸長100cm、深さ18cm、長軸方位N-38°-W。平面形は隅丸長方形。断面図では東西壁が上方に大きく開く。覆土は灰黄褐色土を主体とする。

314号土坑 98-R-16、S-15・16グリッド 長軸長244cm、短軸長76cm、深さ41cm、長軸方位N-72°-E。平面形は狭長な隅丸長方形、横断面は鍋状。覆土は灰黄褐色土を主体とする。

341号土坑

1 褐色土 7.5YR4/4 白色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックを多量に含む。鉄分付着。

2 褐色土 7.5YR4/6 小礫、白色粒をわずかに含む。褐色粒、褐色土粒を少量含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。

4 暗褐色土 7.5YR3/4 小礫、白色粒をわずかに含む。褐色粒、褐色土粒を少量含む。

5 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

6 黄褐色土 7.5YR5/6 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を多量に含む。壁の崩れ。

7 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。

8 黄褐色土 7.5YR5/6 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックを多量に含む。壁の崩れ。

344号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色土粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。白色粒を少量含む。褐色土ブロックを多量に含む。

348号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 白色粒をわずかに含む。

355号土坑

1a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロックを多くを含む。黄色礫粒を含む。

315号土坑 98-U・V-16グリッド 長軸長136cm、短軸長111cm、深さ50cm、長軸方位N-70°-E。平面形は円形、横断面はやや深い鍋状。覆土は下層がくすんだ黄褐色土、上層が灰黄褐色土を主体とする。

316号土坑 98-U-16・17、V-17・18グリッド 長軸長464cm、短軸長80cm、深さ67cm、長軸方位N-16°-W。平面形は狭長な溝状の形状で、横断面は深い箱状。覆土は下層が黒褐色土、上層は暗褐色土を主体とする。

326号土坑 98-Q-16グリッド 長軸長85cm、短軸長70cm、深さ10cm、長軸方位N-38°-W。平面形は円形、横断面は皿状。

327号土坑 98-Q-15グリッド 長軸長75cm、短軸長71cm、深さ9cm、長軸方位N-65°-W。平面形は円形、横断面は皿状。

328号土坑 98-P・Q-15・16グリッド 長軸長83cm、短軸長66cm、深さ8cm、長軸方位N-26°-W。平面形は円形、横断面は皿状。

329号土坑 98-P-15グリッド 長軸長81cm、短軸長76cm、深さ8cm、長軸方位N-89°-W。平面形は円形、横断面は皿状。

330号土坑 98-Q-14グリッド 長軸長84cm、短軸長54cm、深さ6cm、長軸方位N-32°-W。平面形は円形、横断面は皿状。

331号土坑 98-P-17グリッド 長軸長75cm、短軸長67cm、深さ9cm、長軸方位N-14°-E。平面形は円形。

2 黒褐色土ブロック。

1b 1a層よりロームブロック大粒。小礫混じり。

363号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 焼土、白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。炭化物を多量に含む。

364号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロックを多量に含む。白色粒を少量含む。褐色粒を僅かに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロックを多量に含む。小礫、白色粒を少量含む。褐色粒を僅かに含む。

3 暗褐色土 7.5YR4/4 褐色土ブロックを多量に含む。白色粒を少量含む。褐色粒を僅かに含む。

370号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を多量に含む。褐色土粒を少量含む。

376号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 白色粒をわずかに含む。褐色土粒、黒褐色土粒を少量含む。

377号土坑

1 黒褐色土 7.5YR2/2 白色粒、褐色土粒、炭化物をわずかに含む。

387号土坑

1a 黄褐色砂 10YR 8/6 洪水砂主体。

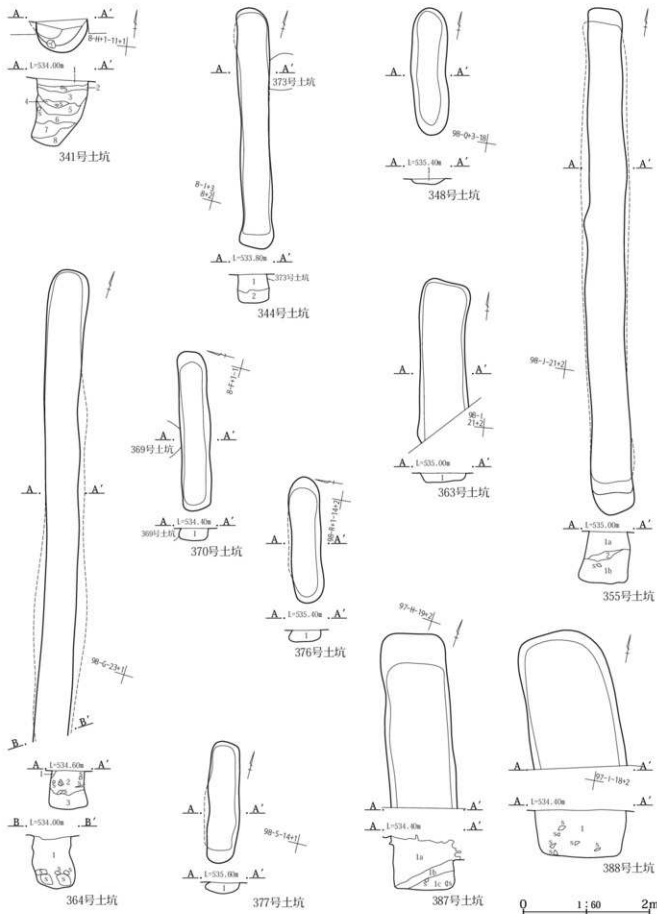
1b 黄褐色砂 10YR 5/8 鉄分付着の洪水砂主体。

1c 黄褐色砂 10YR7/8 やや鉄分の付着した洪水砂主体。

388号土坑

1 明黄褐色土 10YR6/6 洪水砂主体。礫少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第240图 第3面土坑5 1/60

332号土坑 98-P-17・18グリッド 長軸長77cm、短軸

長71cm、深さ4cm、長軸方位N-3°-W。平面形は円形。

333号土坑 98-O-17グリッド 長軸長70cm、短軸長67

cm、深さ7cm、長軸方位N-19°-W。平面形は円形。

334号土坑 98-O-18グリッド 長軸長65cm、短軸長53

cm、深さ8cm、長軸方位N-58°-E。平面形は円形。

335号土坑 98-O-18グリッド 長軸長71cm、短軸長64

cm、深さ8cm、長軸方位N-49°-W。平面形は円形。

336号土坑 98-N・O-18グリッド 長軸長73cm、短軸

長71cm、深さ4cm、長軸方位N-37°-E。平面形は円形。

337号土坑 98-O-18グリッド 長軸長54cm、短軸長50

cm、深さ9cm、長軸方位N-8°-E。平面形は円形。

338号土坑 98-O-18グリッド 長軸長64cm、短軸長49

cm、深さ4cm、長軸方位N-47°-E。平面形は円形。

339号土坑 98-N・O-18グリッド 長軸長65cm、短軸

長56cm、深さ4cm、長軸方位N-7°-E。平面形は円形。

340号土坑 98-M-20グリッド 長軸長125cm、短軸長54

cm、深さ51cm、長軸方位N-68°-E。平面形は長円形に

近い隅丸長方形、横断面は箱状。覆土は底部際に暗褐色

土があるが、主体は褐色土。

341号土坑 8-H-11グリッド 長軸長80cm、短軸長50

cm、深さ58cm。平面形は円形を呈するものと思われる。

断面形は上端のやや開いた歪んだ逆台形に近い。覆土は

壁の崩れた黄褐色土と暗褐色土、黒褐色土が互層をなす。

上位は褐色土を主体とする。

389号土坑

1 黒褐色土 10YR3/2 軽石をわずかに含む。しまり強く粘性あり。

2a 明黄褐色砂層 10YR6/6 小石を含む。しまり強い。

2b 2a層より疎多くを含む。しまり弱い。洪水砂礫堆積層土坑。

390号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 くすんだ黄褐色粒、黒色小ブロックを含む。

一括埋土。

2 褐色土 10YR4/1 1層より黄褐色土、黒色土ブロック大きい。

一括埋土。

3 褐色土 10YR5/1 しまり弱く、フカフカした層。一括埋土。

4 黒褐色土 10YR5/2 3層ブロック、黒色土ブロック混入、ややし

まり粘性あり。一括埋土。

391号土坑

1a 褐色土ブロック、黄色砂質ブロック、黒色土ブロックが入り混じ

る。一括埋土。

1b a層より各ブロック小さく、大礫を多く含む。

392号土坑

1a 暗褐色土 10YR ローム粒、黒色小ブロック、礫を含む。しまりあり。

1b a層より大礫多くを含む。ロームブロック、黒色土ブロックの混入。

一括埋土。

344号土坑 8-I-8・9グリッド 長軸長383cm、短軸

長52cm、深さ47cm、長軸方位N-18°-W。平面形は両短

辺の丸い狭長な溝状の形状で、横断面は箱状。覆土は暗

褐色土を主体とする。373号土坑を切る。

348号土坑 98-Q・R-17・18グリッド 長軸長202cm、

短軸長55cm、深さ9cm、長軸方位N-12°-W。平面形は

幅の狭い長円形、横断面は浅い皿状。覆土は褐色土を主

体とする。縄文土器片が出土している。陶器の裏底部破

片の他、阿玉台式の土器片が出土している。

355号土坑 98-I-20～22、J-22グリッド 長軸長803

cm、短軸長65cm、深さ90cm、長軸方位N-9°-W。平面

形は南北に長い狭長な溝状。横断面は底部がやや張り出

した袋状。覆土は中層に黒褐色土ブロックを挟み、上下

に灰黄褐色土がある。

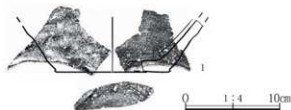
363号土坑 98-I-21グリッド 長軸長250cm、短軸長78

cm、深さ15cm、長軸方位N-2°-W。平面形は狭長な隅

丸長方形。横断面は浅い鍋状。覆土は炭化物を多量に含

む黒褐色土。阿玉台1b式の土器片が出土している。

364号土坑 98-G-22～24グリッド 長軸長744cm、短



第241図 第3面土坑出土遺物4 (392号土坑) 1/4

393号土坑

1 褐色土 10YR4/6 やや砂質鉄分を含む。わずかにローム小ブロッ

クを含む。

2 明黄褐色土 10YR6/6 ロームブロック主体、褐色土ブロックを

含む。

3 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム小ブロックを含む。粘性しまりある

がやや砂質。鉄分沈着あり。

394号土坑

1a 褐色土 炭化物を多く含む。

1b a層と色調似る。炭粒をわずかに含む。礫を含む。

395号土坑

1 黄褐色土 10YR5/8 明黄褐色砂を多量に含む。(崩落砂土の混入か)

白色粒をわずかに含む。黒褐色土粒を少量含む。

396号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。

397号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土粒、白色粒を少量含む。褐色粒をわず

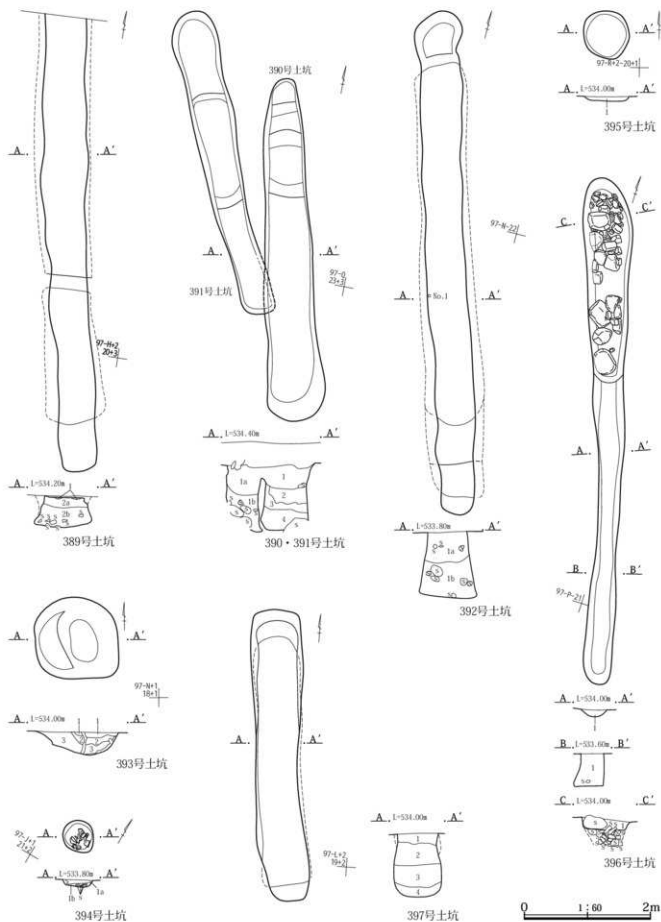
かに含む。

2 極暗褐色土 7.5YR2/3 黒色土粒、褐色土粒を少量含む。褐色粒を

わずかに含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色土粒をわずかに含む。黒色土を多量に含む。

4 黒色土 7.5YR2/1 黒色土主体。



第242図 第3面土坑6 1/60

軸長62cm、深さ69cm、長軸方位N-15°-W。平面形は南北に長い溝状。底部が膨らみ弱い袋状の断面形を示す。覆土は暗褐色土。

370号土坑 98-F-25、8-F-1グリッド 長軸長253cm、短軸長48cm、深さ21cm、長軸方位N-73°-E。平面形は南北に長い溝状。横断面は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。369号土坑を切る。

376号土坑 98-R-14グリッド 長軸長200cm、短軸長50cm、深さ20cm、長軸方位N-78°-E。平面形は長円形。横断面は底部がやや膨らむ弱い袋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

377号土坑 98-S-14グリッド 長軸長193cm、短軸長49cm、深さ19cm、長軸方位N-10°-W。平面形は長円形。横断面は底部がやや膨らむごく弱い袋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

387号土坑 97-G・H-18・19グリッド 長軸確認長276cm、短軸長106cm、深さ82cm、長軸方位N-21°-W。平面形は中が狭く長い長方形を呈すると思われるが、南部が調査区外となる。横断面は深い箱形。覆土は西から東に傾いた黄褐色から黄褐色の洪水砂礫。

388号土坑 97-H-18、I-18・19グリッド 長軸確認長220cm、短軸長148cm、深さ76cm、長軸方位N-19°-W。平面形はやや長い隅丸長方形を呈すると思われるが、南部が調査区外となる。横断面は深い箱形。覆土は黄褐色の洪水砂礫。

398号土坑

1 くすんだ褐色土 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む。一括埋土。

2 褐色土 ロームブロック、黒色土小ブロックを含む。1層よりブロック大きい。

398号土坑

1 くすんだ褐色土 ローム小ブロック、黒色土小ブロックを含む。一括埋土。

2 褐色土 ロームブロック、黒色土小ブロックを含む。1層よりブロック大きい。

400号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。

2 極暗褐色土 7.5YR2/3 褐色土ブロック、白色粒、褐色をわずかに含む。

401号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。

2 極暗褐色土 7.5YR2/3 褐色土ブロック、白色粒、褐色をわずかに含む。

402号土坑

1 灰黄褐色土 10YR4/2 細粒、白色粒、黒褐色小ブロックを含む。しまりあり。

389号土坑 97-H-19～22、I-22グリッド 長軸長843cm、短軸長88cm、深さ72cm、長軸方位N-8°-W。平面形は溝状。横断面は底面がやや広がる弱い袋状。覆土は明黄褐色砂礫を主体とし、小礫を多く含む。洪水による砂礫を埋設した復旧溝。

390号土坑 97-Q-23・24グリッド 長軸長543cm、短軸長90cm、深さ85cm、長軸方位N-12°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は深い箱形。覆土は黒灰色土、褐灰色土を主体とする。

391号土坑 97-Q-23・24グリッド 長軸長492cm、短軸長73cm、深さ91cm、長軸方位N-23°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は深い箱形。覆土は褐灰色土、黄色砂質、黒色土ブロックが入り混じる一括埋土。下層に礫を多く含む。

392号土坑 97-M・N-20/21、N-22グリッド 長軸長798cm、短軸長76cm、深さ127cm、長軸方位N-16°-W。平面形は溝状。横断面は底部の開いた台形。覆土はロームや黒色土のブロック、礫を含む暗褐色土を主体とする。須臾器残片が出土している。

393号土坑 97-N-18グリッド 長軸長130cm、短軸長129cm、深さ38cm、長軸方位N-88°-E。平面形は扇張りのある隅丸方形、横断面は底面が東に偏した碗形。覆土は下層が灰黄褐色土、上位は明褐色土と褐色土を主体とする。

394号土坑 97-J-21グリッド 長軸長56cm、短軸長48

2 くすんだ黄褐色土 ローム粒、細砂黒色土粒を含む。

①a 灰黄褐色土 10YR4/2 ローム中、小ブロック、黒色土中、小ブロックを含む。

①b a層よりロームブロック粒径大きく、量も多い。

①c aとbの中間、ややしまり強い。

402号土坑

1 黒褐色土 10YR2/1 白色粒をわずかに含む。

2 黒色土・黄色汎水砂の混土。

3 褐灰色土 10YR4/1 ローム小ブロック、黒色土小ブロック、細砂を含む。

4a にぶい黄褐色土 ロームブロック多くを含む。黒色土小ブロックを含む。一括埋土。

4b a層よりやや各ブロック大きい。

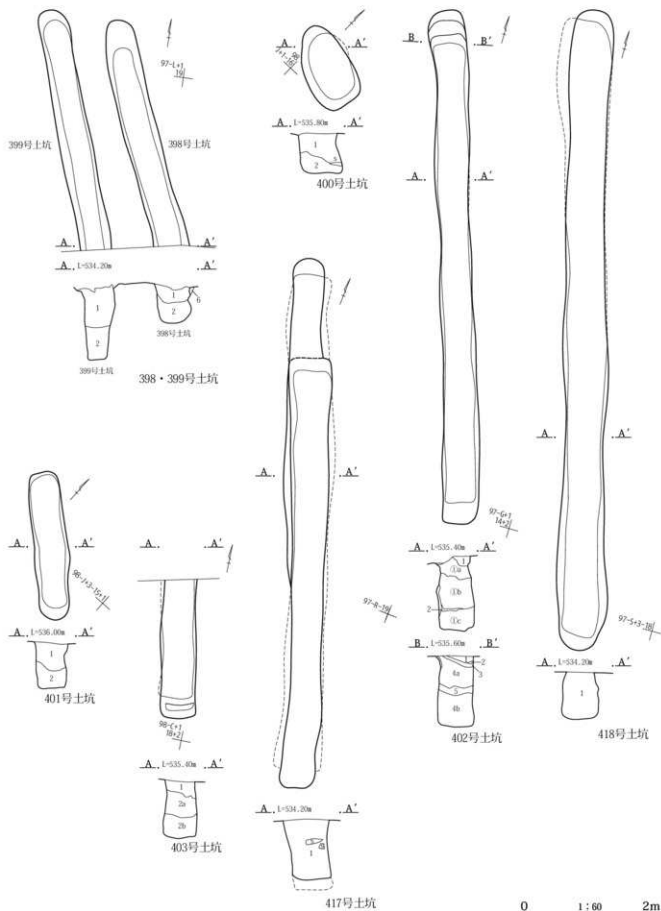
5 褐色土粘質土と灰黄色細砂層が互層に堆積。

417号土坑

1 ローム小ブロック 黒色土小ブロックを多く含んだ褐色土。(一括埋土)。

418号土坑

1 ローム小ブロック 黒色土小ブロックを多く含んだ褐色土。(一括埋土)。



第243図 第3面土坑7 1/60

cm、深さ10cm、長軸方位N-68°-W。平面形は円形、横断面は鍋状。覆土は炭化物を多く含む褐色土。底面近くに円礫を含む。

395号土坑 97-R-20グリッド 長軸長80cm、短軸長71cm、深さ9cm、長軸方位N-20°-W。平面形は円形、横断面は鍋状。覆土は明黄褐色砂を多く含む黒褐色土。

396号土坑 97-O-20・21、P-21・22グリッド 長軸長803cm、短軸長78cm、深さ93cm、長軸方位N-18°-W。平面形は狭長な溝状だが、北部の長円形土坑部と南部の浅い溝状部に分かれる。北部の横断面は底部が広がる弱い袋状、南部の溝状部は浅い皿状を呈する。覆土は暗褐色土を主体とする。北部には多くの礫が充填されるように入る。

397号土坑 97-L-19・20グリッド 長軸長463cm、短軸長82cm、深さ102cm、長軸方位N-9°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は頸部がくびれた袋状を呈する。覆土は下層に黒色土があり、上層に向かって淡色となる。

398号土坑 97-L-18・19グリッド 長軸確認長367cm、短軸長55cm、深さ56cm、長軸方位N-22°-W。平面形は

狭長な溝状。横断面は頸部がくびれた袋状を呈する。覆土はロームブロックを含む褐色土を主体とする。

399号土坑 97-L-18・19グリッド 長軸確認長387cm、短軸長51cm、深さ113cm、長軸方位N-19°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は深い箱状で上部がやや開く。覆土はロームブロックを含む褐色土を主体とする。

400号土坑 98-I-16、J-15・16グリッド 長軸長138cm、短軸長77cm、深さ29cm、長軸方位N-64°-W。平面形は歪んだ楕円形、横断面は北側底部がやや広い弱い袋状。覆土は下層が極暗褐色土、上層が暗褐色土。

401号土坑 98-J・K-15グリッド 長軸長236cm、短軸長56cm、深さ53cm、長軸方位N-47°-W。平面形は狭長な隅丸長方形、横断面は深い箱形で上部が開く。覆土は下層が極暗褐色土、上層が暗褐色土。

402号土坑 98-G-14～16、H-16グリッド 長軸長814



第244図 第3面土坑出土遺物5（499号土坑）1/4

419号土坑

- 1 暗褐色土 10YR3/3 褐色粒を少量含む。
- 2 黒褐色土 10YR3/2 大小の礫、褐色粒をわずかに含む。やや軟質。

420号土坑

- 1 暗褐色土 10YR3/4 小礫、白色粒をわずかに含む。褐色粒を少量含む。やや鉄分付着。

422号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 褐色土を少量含む。白色粒をわずかに含む。鉄分付着。やや還元気味。

442号土坑

- 1 暗褐色土 10YR3/3 黄褐色土と黒色土の互層。
- 2 黄褐色土ブロック。砂質。
- 3 黒褐色土 10YR3/2。

450号土坑

- 1 ロームブロック、黒色ブロック混入。
- 2 暗褐色土 10YR3/3 ローム小ブロック、黒色土小ブロックわずかに含む。

454号土坑

- 1 黒褐色土 10YR3/2 褐色粒わずかに含む。白色粒を少量含む。黒色土粒を少量含む。

459号土坑

- 1 黒褐色土 10YR3/2 褐色粒わずかに含む。炭化物粒をわずかに含む。黄褐色土ブロックをわずかに含む。
- 2 黒色土 10YR2/1 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。(イモ穴?)

476号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/1 褐色粒をわずかに含む。褐色土粒をわずかに含む。壁と下部に鉄分付着した補材がわずかに残存。
- 2 褐色土 7.5YR5/1 褐色土粒を少量含む。

477号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

478号土坑

- 1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を多量に含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック少量含む。

480号土坑

- 1a 灰黄褐色土 10YR4/2 しまりあり。小石を含む。
- 1b 1a層よりやや洪水砂多量を含む。
- 2 にぶい黄褐色土 10YR4/3 1b層より鉄分付着多い。
- 3 褐色土 10YR4/1 シルト質。畚積土上。

484号土坑

- 1 灰黄褐色土 10YR4/2 粘性、しまりあり。黒褐色土小ブロック混入。

487号土坑

- 1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒を少量含む。褐色粒、褐色土粒をわずかに含む。還元。
- 2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色土ブロック、白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。鉄分付着。

500号土坑

- 2 にぶい黄褐色土 10YR4/3 ローム小ブロック、暗褐色土小ブロックを含む。一括理上。
- 3 ローム中小ブロックを多く含む。暗褐色土小ブロックを含む。
- 4 褐色土 10YR4/1 ローム小ブロックわずかに含む。

501号土坑

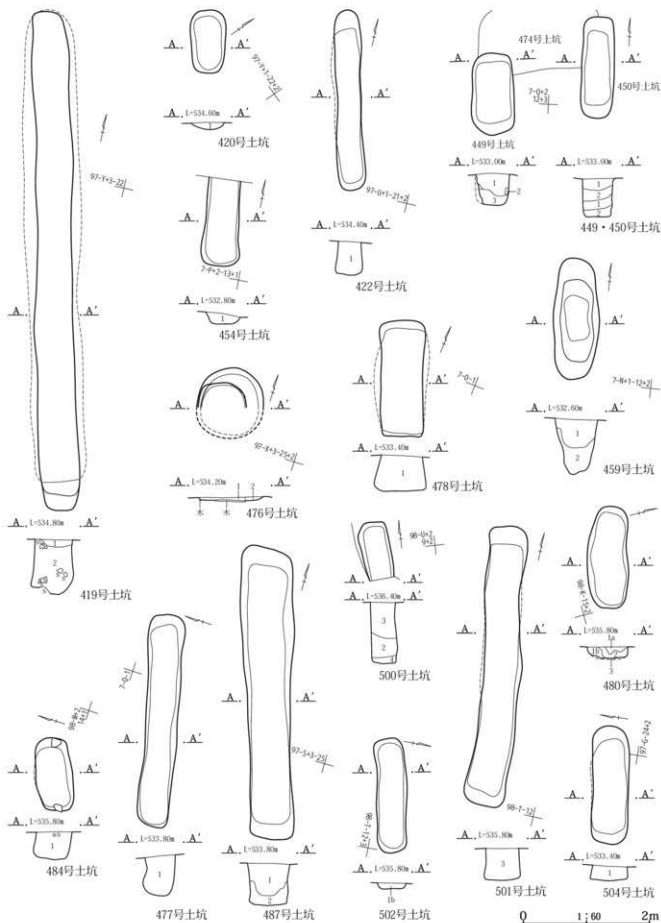
- 3 ローム中小ブロック多くを含む。暗褐色土小ブロック混入。

502号土坑

- 1b a層よりローム粒を多く含む。

504号土坑

- 1 にぶい褐色土 7.5YR5/4 白色粒、褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。やや鉄分付着。



第245図 第3面土坑8 1/60

cm、短軸長58cm、深さ111cm、長軸方位N-18°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は深い箱形で底部がわずかに広がる。覆土はロームブロックを含むにぶい黄褐色土が主体。灰褐色の粘質土と灰黄色細砂の互層を挟む。

403号土坑 98-D-17・18グリッド 長軸確認長221cm、短軸長56cm、深さ77cm、長軸方位N-10°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は深い箱形で底部がわずかに広がる。覆土は下層がロームブロックを含むにぶい黄褐色土が主体。上層は汚れたにぶい黄褐色洪水砂層。

417号土坑 97-R-18～20グリッド 長軸長839cm、短軸長72cm、深さ107cm、長軸方位N-20°-W。平面形は狭長な溝状の土坑が重複しているように見える。横断面は深い箱状ないし鍋状。底部が広がって袋状を示す部分がある。覆土はローム、黒色土の小ブロックを多く含んだ褐色土で一気に埋められる。

418号土坑 97-S-17・18、T-17～20グリッド 長軸長1014cm、短軸長80cm、深さ88cm、長軸方位N-15°-W。平面形は狭長な溝状。横断面は上端がやや狭い弱い袋状。覆土はローム、黒色土の小ブロックを多く含んだ褐色土で一気に埋められる。

419号土坑 97・98-Y-20～22、A-21・22グリッド

長軸長792cm、短軸長62cm、深さ95cm、長軸方位N-15°-W。平面形は溝状。横断面は深いU字状ないし鍋状。底部が広がって袋状を示す部分がある。覆土は大小の礫を含む黒褐色土を主体とする。

420号土坑 97-Y-22グリッド 長軸長100cm、短軸長55cm、深さ12cm、長軸方位N-57°-W。平面形は隅丸方形、横断面は皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。

422号土坑 97-U-21・22グリッド 長軸長286cm、短軸長44cm、深さ56cm、長軸方位N-13°-W。平面形は狭長な溝状、横断面は底部が広がる弱い袋状。覆土は灰黄褐色土を主体とする。

449号土坑 7-Q-12グリッド 長軸長130cm、短軸長66cm、深さ53cm、長軸方位N-4°-W。平面形は隅丸長方形、横断面は深い鍋状。覆土は暗褐色土、黒褐色土を主体とする。陶製おろし金の破片が出土している。



第246図 第3面土坑出土遺物6 (509号土坑) 1/1

505号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色土をわずかに含む。褐色粒を少量含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 白色粒を少量含む。褐色粒をわずかに含む。褐色土ブロック多く含む。

3 黒褐色土 7.5YR3/1 炭化物少量含む。褐色土粒をわずかに含む。

507号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒をわずかに含む。炭化物多く含む。小骨片をわずかに含む。

2 黒色土 7.5YR2/1 白色粒、褐色粒をわずかに含む。やや粘性強い。

508号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、小礫をわずかに含む。

2 浅黄褐色土 7.5YR8/6 やや砂質。洪水砂起源か。

3 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

509号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土少量含む。

510号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土少量含む。

511号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黒褐色土、炭化物粒を少量含む。

513号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

514号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

517号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土

少量含む。イモ穴。

521号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土少量含む。イモ穴。

522号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。黒褐色土少量含む。イモ穴。

523号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。イモ穴。

524号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。イモ穴。

525号土坑

- As-A降下軽石層。
- 暗褐色土 7.5YR3/4。
- 黒褐色土 7.5YR3/2。
- 暗褐色土 3層に鉄分を含み、やや赤味を帯びる。
- 暗褐色土 黒褐色土粒を約30%を含む。
- 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、褐色土粒含まない。

526号土坑

1 灰褐色土 7.5YR5/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。やや鉄分付着。イモ穴。

527号土坑

1 灰褐色土 7.5YR5/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。イモ穴。

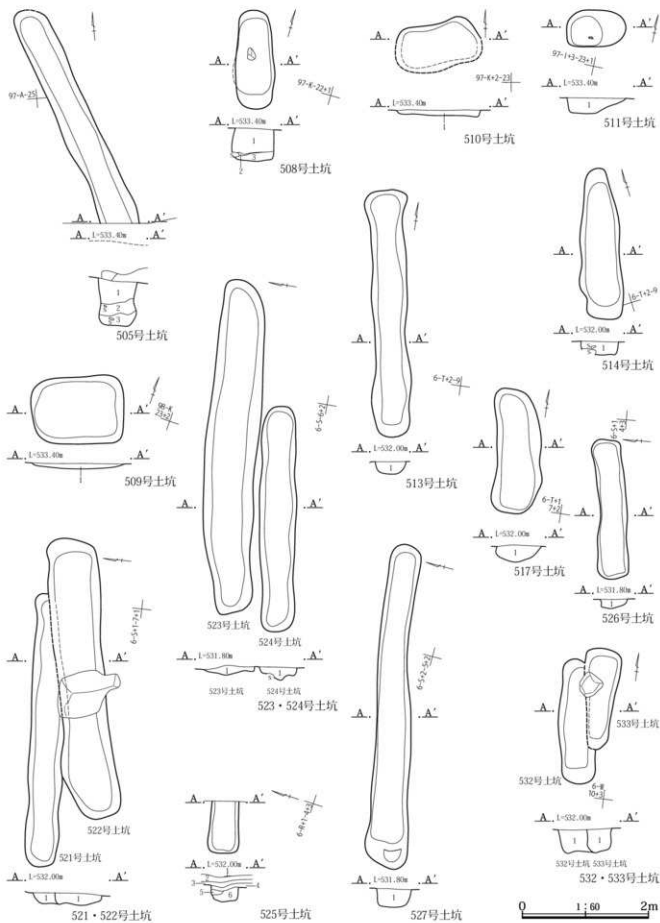
528号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

533号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

第2章 調査された遺構と遺物



第247図 第3面土坑9 1/60

450号土坑 7-Q-12・13グリッド 長軸長160cm、短軸長50cm、深さ65cm、長軸方位N-0°。平面形は細長い隅丸長方形、横断面は深い箱形。覆土はロームや黒色土のブロックと暗褐色土の互層。

454号土坑 7-P-13グリッド 長軸確認長138cm、短軸長60cm、深さ20cm、長軸方位N-5°-W。平面形は細長い隅丸長方形と思われるが、北部が調査区外となって全形が把握できない。断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

459号土坑 7-N-12グリッド 長軸長192cm、短軸長73cm、深さ89cm、長軸方位N-2°-W。平面形は長円形、横断面は上面が開く深いU字状。覆土下位が黒色土、上位は黒褐色土を主体とする。

476号土坑 97-X・Y-25グリッド 長軸確認長113cm、短軸確認長105cm、深さ14cm、長軸方位N-4°-W。平面形は円形、断面形はごく浅い皿状。覆土は黒褐色土を主体とする。

477号土坑 7-P・Q-25グリッド 長軸長338cm、短軸長57cm、深さ64cm、長軸方位N-75°-E。平面形は狭長な溝状、断面形は歪んだU字状。覆土は橙色土ブロックを少量含む暗褐色土。

478号土坑 7-O-25、O-1グリッド 長軸長184cm、短軸長72cm、深さ58cm、長軸方位N-22°-W。平面形は長方形、断面形は下底が広がる台形状。覆土は暗褐色土を主体とする。

538号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 褐色粒、黄褐色土ブロック、炭化物をわずかに含む。イモ穴。

542号土坑

1 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒、炭化物粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。イモ穴。

548号土坑

1 黄褐色砂主体 洪水砂礫の処理の復旧溝。

550号土坑

1 黄褐色砂主体 洪水砂礫の処理の復旧溝。

551号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 白色・褐色・黒色土粒をわずかに含む。鉄分わずかに付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色土を少量含む。

552号土坑

1 灰褐色土 7.5YR4/2 灰白色土粒、炭化物粒をわずかに含む。還元による変色。

553号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

563号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒、褐色粒をわずかに含む。

2 明褐色土 7.5YR5/6 黄褐色土ブロックを多く含む。褐色粒をわずかに含む。

480号土坑 98-K-15グリッド 長軸長162cm、短軸長63cm、深さ18cm、長軸方位N-75°-W。平面形は歪んだ長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土や砂を含む灰黄褐色土主体。

484号土坑 98-M-14グリッド 長軸長118cm、短軸長68cm、深さ45cm、長軸方位N-64°-E。平面形は隅丸長方形、横断面は深い鍋状。覆土は灰黄褐色土が主体で、黒色土の小ブロックを含む。

487号土坑 97-S・T-24・25グリッド 長軸長463cm、短軸長84cm、深さ68cm、長軸方位N-18°-W。平面形は細長い溝状、断面形はコ字状。覆土は下層が暗褐色土、上層が黒褐色土を主体とする。

500号土坑 98-U-9グリッド 長軸確認長92cm、短軸長47cm、深さ49cm、長軸方位N-4°-W。平面形は南部が調査区外で把握できないが、隅丸長方形ないし狭長な溝状と思われる。断面はごく深いコ字状。覆土はロームブロックを含む暗褐色土、にぶい黄褐色土を主体とする。

501号土坑 97-T-12・13グリッド 長軸長448cm、短軸長66cm、深さ54cm、長軸方位N-9°-W。平面形は狭長な溝状、断面形はコ字状で、下位がやや膨らむ。覆土はロームブロック、暗褐色土ブロックの混土を主体とする。

502号土坑 97-S・T-12グリッド 長軸長182cm、短軸長49cm、深さ11cm、長軸方位N-76°-E。平面形は狭長な溝状、断面形は鍋状。覆土はローム粒を含む暗褐色粘質土を主体とする。

572号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒、炭化物粒をわずかに含む。

2 褐色土 7.5YR4/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒、礫少量含む。

577号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 黄褐色土粒を少量含む。

579号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土ブロック少量含む。

580号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含む。

620号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。やや粘性強い。

621号土坑

1 黒褐色土 7.5YR3/2 白色粒、褐色粒をわずかに含む。やや粘性強い。

626号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

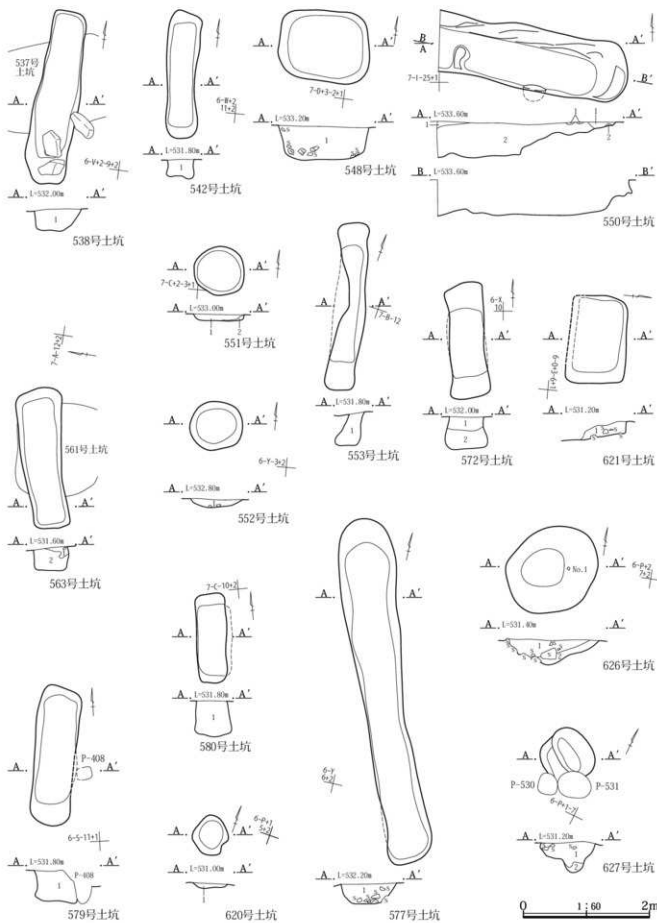
2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。小円礫を含む。

627号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

第2章 調査された遺構と遺物



第248図 第3面土坑10 1/60

504号土坑 97-F・G-24グリッド 長軸長186cm、短軸長57cm、深さ27cm、長軸方位N-82°-E。平面形は細長い長円形、断面形はコ字状ないし弱い逆台形。覆土はにぶい黄褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。

505号土坑 96・97-Y-24・25、97-A-25グリッド 長軸長323cm、短軸長62cm、深さ77cm、長軸方位N-21°-W。平面形は狭長な溝状、断面形は深いコ字状で、下位が膨らんで弱い袋状を示す。覆土は黒褐色土、暗褐色土を主体とする。

508号土坑 97-K-22グリッド 長軸長156cm、短軸長62cm、深さ43cm、長軸方位N-16°-W。平面形は長円形、断面形は深い鍋状。覆土は洪水起源の浅黄褐色砂質土を主体とし、下層に黒褐色土がある。

509号土坑 97-K-23グリッド 長軸長148cm、短軸長107cm、深さ10cm、長軸方位N-74°-E。平面形は隅丸長方形、断面形は浅い皿状。覆土は暗褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。石礫が出土している。

510号土坑 97-K-23グリッド 長軸確認長136cm、短軸確認長76cm、深さ9cm、長軸方位N-71°-E。平面形は歪んだ隅丸長方形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。

511号土坑 97-I-23グリッド 長軸長95cm、短軸長57cm、深さ26cm、長軸方位N-80°-E。平面形は扁円形、西壁は強く、東壁がなだらかに立ち上がる。覆土は暗褐色土を主体とする。炭化物粒を少量含む。

513号土坑 6-T-8・9グリッド 長軸長391cm、短軸

長61cm、深さ19cm、長軸方位N-12°-W。平面形は狭長い溝状、断面形は碗状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

514号土坑 6-T-8・9グリッド 長軸長214cm、短軸長68cm、深さ25cm、長軸方位N-14°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形、断面形はコ字状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

517号土坑 6-T-7グリッド 長軸長197cm、短軸長75cm、深さ27cm、長軸方位N-9°-W。平面形は歪んだ隅丸長方形。断面形は歪んだ碗状。覆土は暗褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

521号土坑 6-S・T-7グリッド 長軸長433cm、短軸長54cm、深さ18cm、長軸方位N-85°-E。平面形は細長い溝状、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。522号土坑に切られる。

522号土坑 6-S・T-7グリッド 長軸長448cm、短軸長85cm、深さ12cm、長軸方位N-78°-E。平面形は細長い溝状、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。521号土坑を切る。

523号土坑 6-R・S-6グリッド 長軸長531cm、短軸



第249図 第3面土坑出土遺物7(626号土坑) 1/4

628号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5~10%含む。

629号土坑

1 黒色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒を5%含む。

630号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

631号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20~30%含む。

632号土坑

1 暗褐色砂壤土 7.5YR3/3 暗褐色土小ブロックを主体とし、明黄褐色砂小粒を30~40%含む。

633号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5~10%含む。

634号土坑

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒を少量含む。

635号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。やや鉄分付着。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土少量含む。

636号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

637号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

638号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

639号土坑

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 しまりなく、断面が崩れるほど柔らかい。

640号土坑

1 褐灰色土 5YR/4 明黄褐色土小粒を5%以下含む。上面にAs-A降下軽石が残る。下部に酸化鉄層。

641号土坑

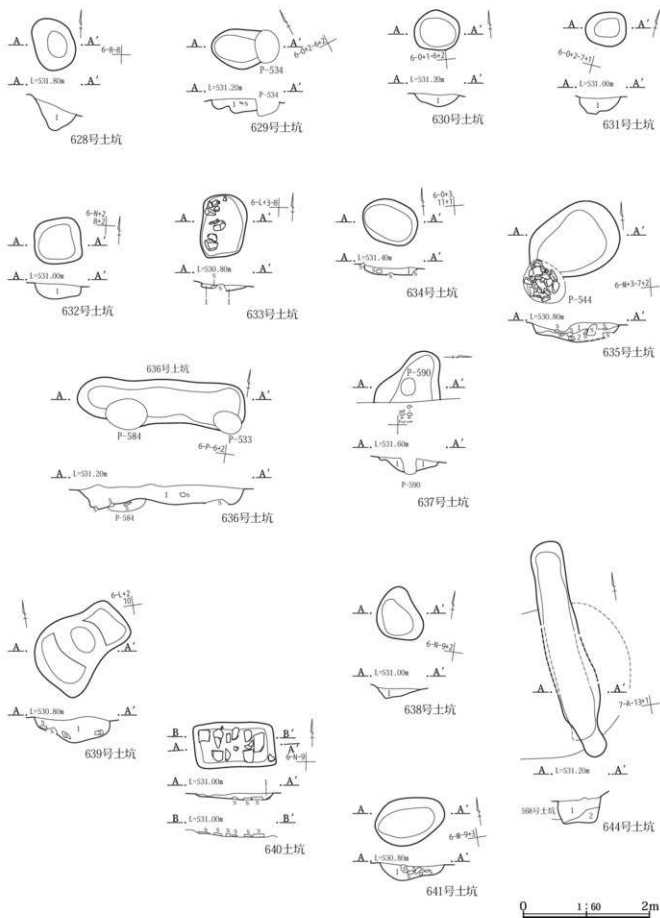
1 暗褐色土 7.5YR3/3 白色粒、褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

644号土坑

1 暗褐色土 7.5YR3/3 褐色粒、黄褐色土粒をわずかに含む。

2 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土を少量含む。

第2章 調査された遺構と遺物



0 1:60 2m

第250図 第3面土坑11 1/60

長83cm、深さ28cm、長軸方位N-83°-E。平面形は細長い溝状、断面形は浅い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。624号土坑に切られる。

524号土坑 6-S-6グリッド 長軸長358cm、短軸長59cm、深さ22cm、長軸方位N-83°-E。平面形は細長い溝状、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

525号土坑 6-R-4・5グリッド 長軸確認長82cm、短軸長47cm、深さ5cm、長軸方位N-73°-E。平面形は東部が調査区外のため全形は把握できないが、狭い隅丸長方形あるいは長い溝状を呈するものと思われる。断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

526号土坑 6-S-4グリッド 長軸長221cm、短軸長50cm、深さ15cm、長軸方位N-81°-E。平面形は幅の狭い隅丸長方形。断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

る。イモ穴と判断されている。

527号土坑 6-S・T-5グリッド 長軸長514cm、短軸長68cm、深さ41cm、長軸方位N-77°-E。平面形は細長い溝状、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。イモ穴と判断されている。

532号土坑 6-W-10・11グリッド 長軸長198cm、短軸長54cm、深さ40cm、長軸方位N-12°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。断面形は深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。533号土坑に切られる。

533号土坑 6-W-10・11グリッド 長軸長161cm、短軸長56cm、深さ36cm、長軸方位N-5°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。断面形はU字状。覆土は黒褐色土を主体とし、炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。532号土坑を切る。

538号土坑 6-V-9・10グリッド 長軸長277cm、短軸長70cm、深さ47cm、長軸方位N-1°-E。平面形は狭長な隅丸長方形。断面形は深い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。537号土坑を切る。

542号土坑 6-W-11グリッド 長軸長202cm、短軸長52cm、深さ31cm、長軸方位N-6°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。断面形は鍋状。覆土は褐色土を主体とする。炭化物粒をわずかに含む。イモ穴と判断されている。

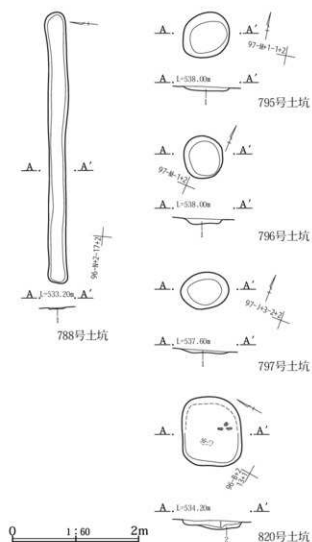
548号土坑 7-D・E-2グリッド 長軸長144cm、短軸長114cm、深さ54cm、長軸方位N-87°-W。平面形は隅丸長方形、断面形は鍋形。覆土は黄褐色砂で埋まる。洪水砂礫処理の復旧溝と判断されている。

550号土坑 97-H-25グリッド 長軸確認長304cm、短軸長102cm、深さ55cm、長軸方位N-79°-W。平面形は狭長な隅丸長方形。断面形は鍋状。覆土は黄褐色砂で埋まる。洪水砂礫処理の復旧溝と判断されている。

551号土坑 7-C-3グリッド 長軸長81cm、短軸長76cm、深さ10cm、長軸方位N-75°-W。平面形は円形、断面形は浅い鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

552号土坑 6-Y-3グリッド 長軸長83cm、短軸長77cm、深さ14cm、長軸方位N-87°-E。平面形は円形、断面形は皿状。覆土は褐色土を主体とする。

553号土坑 7-B-11・12グリッド 長軸長266cm、短軸長50cm、深さ61cm、長軸方位N-13°-W。平面形は狭長



第251図 第3面土坑12 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

な隅丸長方形、断面形は深いコ字状ないし弱い袋状を呈する。覆土は暗褐色土を主体とする。

563号土坑 7-A-12グリッド 長軸長224cm、短軸長72cm、深さ29cm、長軸方位N-78°-E。平面形は隅丸方形、断面形はコ字状。覆土は黄褐色土ブロックを多く含む明褐色土主体。

572号土坑 6-X-9・10グリッド 長軸長184cm、短軸長62cm、深さ52cm、長軸方位N-2°-W。平面形は長方形、断面形は底部がやや広がる袋状。覆土は褐色土、暗褐色土を主体とする。

577号土坑 6-X・Y-6・7グリッド 長軸長551cm、短軸長90cm、深さ40cm、長軸方位N-20°-W。平面形は細長い溝状、断面形は鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

579号土坑 6-S-11グリッド 長軸長224cm、短軸長68cm、深さ44cm、長軸方位N-3°-E。平面形は隅丸長方形。断面形はコ字状で底部がやや広がる。覆土は暗褐色土を主体とする。408号ピットを切る。

580号土坑 7-C-10グリッド 長軸長140cm、短軸長47cm、深さ56cm、長軸方位N-5°-E。平面形は幅の狭い長方形、断面形は底部が広がる弱い袋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

620号土坑 6-P-5グリッド 長軸長63cm、短軸長58cm、深さ6cm、長軸方位N-11°-W。平面形はゆがんだ円形、断面形は浅い鍋状。覆土は黒褐色土を主体とする。

621号土坑 6-O・P-6グリッド 長軸長140cm、短軸長92cm、深さ25cm、長軸方位N-87°-E。平面形は長方形、壁が強く立ち上がり、断面形は箱形を呈する。覆土は黒褐色土を主体とする。円礫を多く含む。

626号土坑 6-O・P-6グリッド 長軸長153cm、短軸長130cm、深さ32cm、長軸方位N-28°-E。平面形はゆがんだ円形、断面形は碗状だが底面が礫層にあたる。覆土は黒褐色土砂壤土を主体と、礫を含み、特に下層には地山の褐色砂を多く含む。陶器碗が出土している。

627号土坑 6-P-7グリッド 長軸長84cm、短軸長50cm、深さ45cm、長軸方位N-58°-W。平面形は長円形、中央がピット状に掘り込まれ、逆凸型の断面形を示す。覆土は黒褐色砂壤土を主体とする。

628号土坑 6-R-7・8グリッド 長軸長84cm、短軸長63cm、深さ50cm、長軸方位N-12°-W。平面形はゆが

んだ円形、深い碗状。覆土は黒褐色砂壤土を主体とする。

629号土坑 6-O-6グリッド 長軸確認長100cm、短軸長63cm、深さ19cm、長軸方位N-57°-W。平面形は長円形、西部が浅く、東部が深い二段階の掘り方を有す。覆土は地山の褐色砂を多く含む黒褐色砂壤土を主体とする。534号ピットに切られる。

630号土坑 6-O-6グリッド 長軸長72cm、短軸長67cm、深さ18cm、長軸方位N-85°-E。平面形は円形、断面形は碗状。覆土は黒褐色砂壤土を主体とする。539号ピットと接する。

631号土坑 6-M・N-7グリッド 長軸長64cm、短軸長54cm、深さ30cm、長軸方位N-73°-E。平面形はゆがんだ円形、断面形は碗状だが、東部が一段深い。覆土は地山の褐色砂を多く含む黒褐色砂壤土を主体とする。

632号土坑 6-N-8グリッド 長軸長73cm、短軸長70cm、深さ27cm、長軸方位N-81°-E。平面形は隅丸方形、断面形は鍋状。覆土は明黄褐色砂と暗褐色土小ブロックの混土。

633号土坑 6-L・M-7・8グリッド 長軸長104cm、短軸長72cm、深さ16cm、長軸方位N-13°-E。平面形は隅丸長方形、底部は地山礫にあたる。覆土は褐色砂を含む黒褐色砂壤土。

634号土坑 6-O・P-11グリッド 長軸長88cm、短軸長70cm、深さ17cm、長軸方位N-46°-W。平面形は扁円形、断面形は浅い鍋状。覆土は地山の褐色砂を含む黒褐色砂壤土。

635号土坑 6-M・N-7グリッド 長軸長148cm、短軸長110cm、深さ47cm、長軸方位N-67°-E。平面形はゆがんだ長円形、断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

636号土坑 6-O・P-6グリッド 長軸長262cm、短軸長70cm、深さ25cm、長軸方位N-82°-E。平面形は細長い長円形、壁は開き気味に立ち上がる。覆土は黒褐色砂壤土を主体とする。584号ピットを切る。

637号土坑 6-O-10グリッド 長軸長103cm、短軸長79cm、深さ23cm、長軸方位N-3°-W。平面形は不整形で、東部が確認できない。断面形は碗状。覆土は硬く締まった極暗褐色砂壤土。590号ピットに切られる。

638号土坑 6-N-9グリッド 長軸長87cm、短軸長78cm、深さ19cm、長軸方位N-26°-W。平面形は不定形、断面形はV字状に近い。覆土は黒褐色砂壤土を主体とする。

639号土坑 6-L-9・10グリッド 長軸長156cm、短軸長110cm、深さ45cm、長軸方位N-56°-E。平面形はゆがんだ隅丸長方形の中央部に円形の深い掘り込みがある。断面形は中央が深い碗状。覆土は柔らかい黒褐色砂壤土を主体とする。

640号土坑 6-N-8・9グリッド 長軸長126cm、短軸長72cm、深さ11cm、長軸方位N-88°-E。平面形は長方形、断面形は浅い鍋状。底面に平坦な角礫が敷かれるように並べられる。覆土は褐灰色土。上面にAs-4降下軽石がある。

641号土坑 6-M-9グリッド 長軸長112cm、短軸長75cm、深さ24cm、長軸方位N-85°-E。平面形は扁円形、断面形は碗状。覆土は暗褐色土を主体とする。円礫を含む。

644号土坑 7-A-13グリッド 長軸長350cm、短軸長66cm、深さ88cm、長軸方位N-5°-W。平面形は中が狭く長い長方形を呈する。断面形は鍋状。覆土は暗褐色土を主体とする。

788号土坑 96-M・N-17グリッド 長軸長430cm、短軸長32cm、深さ13cm、長軸方位N-84°-E。平面形は溝状でごく浅い。

795号土坑 97-M-1グリッド 長軸長75cm、短軸長72cm、深さ8cm、長軸方位N-8°-E。平面形は円形、断面形は浅い皿状。

796号土坑 97-L・M-1グリッド 長軸長67cm、短軸長61cm、深さ11cm、長軸方位N-30°-W。平面形は円形、断面形は鍋状。

797号土坑 96-K-2グリッド 長軸長75cm、短軸長58cm、深さ7cm、長軸方位N-50°-W。平面形は扁円形、断面形は皿状。

820号土坑 96-B-13グリッド 長軸長108cm、短軸長92cm、深さ15cm、長軸方位N-60°-E。平面形は隅丸方形、断面形は浅い鍋状。土層観察所見を欠く。墓坑と思われる、人骨片が出土しているが傷みが激しく、取り上げることができなかった。

ビット

311号ビット 98-J・K-15グリッド 長軸長68cm、短軸長62cm、深さ11cm。覆土はにぶい黄褐色土、褐灰色土を主体とする。

343号ビット 97-K-23グリッド 長軸長30cm、短軸長

24cm、深さ30cm。覆土は褐灰色土を主体とする。

344号ビット 97-K-23グリッド 長軸長32cm、短軸長30cm、深さ18cm。覆土は褐灰色土を主体とする。

499号ビット 6-O-6グリッド 長軸長64cm、短軸長44cm、深さ35cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。500号ビットと接する。

500号ビット 6-O-6グリッド 長軸長47cm、短軸長40cm、深さ38cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。499号ビットと接する。

501号ビット 6-O-6グリッド 長軸長41cm、短軸長40cm、深さ15cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

502号ビット 6-O-6グリッド 長軸長53cm、短軸長46cm、深さ23cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

503号ビット 6-P-6グリッド 長軸長38cm、短軸長32cm、深さ13cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

504号ビット 6-P-6グリッド 長軸長37cm、短軸長32cm、深さ15cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。

505号ビット 6-O-5グリッド 長軸長41cm、短軸長28cm、深さ10cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。底面は礫に当たる。

506号ビット 6-N・O-6グリッド 長軸長65cm、短軸長47cm、深さ25cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

507号ビット 6-N-6グリッド 長軸長53cm、短軸長52cm、深さ33cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

508号ビット 6-O-6グリッド 長軸長49cm、短軸長37cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

510号ビット 6-M-5グリッド 長軸長45cm、短軸長38cm、深さ21cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

511号ビット 6-M-5グリッド 長軸長29cm、短軸長21cm、深さ20cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

512号ビット 6-L・M-5グリッド 長軸確認長32cm、短軸確認長20cm、深さ15cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。513号・514号ビットに切られる。

513号ビット 6-L・M-5グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ22cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。512号ビットを切る。

514号ビット 6-L・M-5グリッド 長軸長29cm、短軸長26cm、深さ26cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とす

第2章 調査された遺構と遺物

る。512号ピットを切る。

515号ピット 6-M-5グリッド 長軸長31cm、短軸長

25cm、深さ19cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

522号ピット 6-O・P-6グリッド 長軸長36cm、短

軸確認長30cm、深さ33cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体

とする。

523号ピット 6-M・N-5・6グリッド 長軸長81cm、

短軸長60cm、深さ43cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体と

する。

527号ピット 6-N-6・7グリッド 長軸長50cm、短

軸長47cm、深さ28cm。覆土は暗褐色土を主体とする。

528号ピットに切られる。529号ピットを切る。

528号ピット 6-N-7グリッド 長軸長32cm、短軸長

26cm、深さ20cm。覆土は暗褐色土を主体とする。527号ピ

ットを切る。

529号ピット 6-N-6・7グリッド 長軸長40cm、短

軸確認長30cm、深さ15cm。覆土は暗褐色土を主体とする。

527号ピットに切られる。

530号ピット 6-P-7グリッド 長軸長36cm、短軸長

33cm、深さ21cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

531号ピット 6-P-7グリッド 長軸長54cm、短軸長

41cm、深さ28cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

底面は礫に当たる。

532号ピット 6-P-6グリッド 長軸長42cm、短軸長

38cm、深さ21cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体と

する。

533号ピット 6-O・P-6グリッド 長軸長47cm、短

軸長33cm、深さ22cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とす

る。

534号ピット 6-O-6グリッド 長軸長52cm、短軸長

38cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

535号ピット 6-O-6グリッド 長軸長50cm、短軸長

43cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

539号ピット 6-O-6グリッド 長軸長50cm、短軸長

38cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

540号ピット 6-N-6グリッド 長軸長31cm、短軸長

30cm、深さ31cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

630号ピットと接する。

541号ピット 6-N・O-7グリッド 長軸長37cm、短

軸長32cm、深さ22cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とす

る。

542号ピット 6-O-6・7グリッド 長軸長48cm、短



第252図 第3面ピット出土遺物1 (542号ピット) 1/2

311号ピット

1 濃い黄褐色土 10YR5/4 洪水砂の層は、わずかに黄色細砂含む。

2 褐色土 10YR4/1 シルト質、高粘土。

343号ピット

1 褐色土 7.5YR6/1 白色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに

含む。

344号ピット

1 褐色土 7.5YR6/1 白色粒をわずかに含む。炭化物粒をわずかに

含む。

499号・502号ピット

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

3 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。

503号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

504号・505号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。

506号・507号・511号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

508号ピット

1 黒色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒5%含む。

510号・523号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 下面に酸化鉄層。遺構理上ではないと考

えられる。

3 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

4 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

512号・513号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

514号・522号・531号・533号・539号・541号・543号・545号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

515号・542号・555号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

527号・529号ピット

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒をわずかに

含む。

528号ピット

1 暗褐色土 7.5YR3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒を少量含

む。

530号・535号・546号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。

532号・548号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。

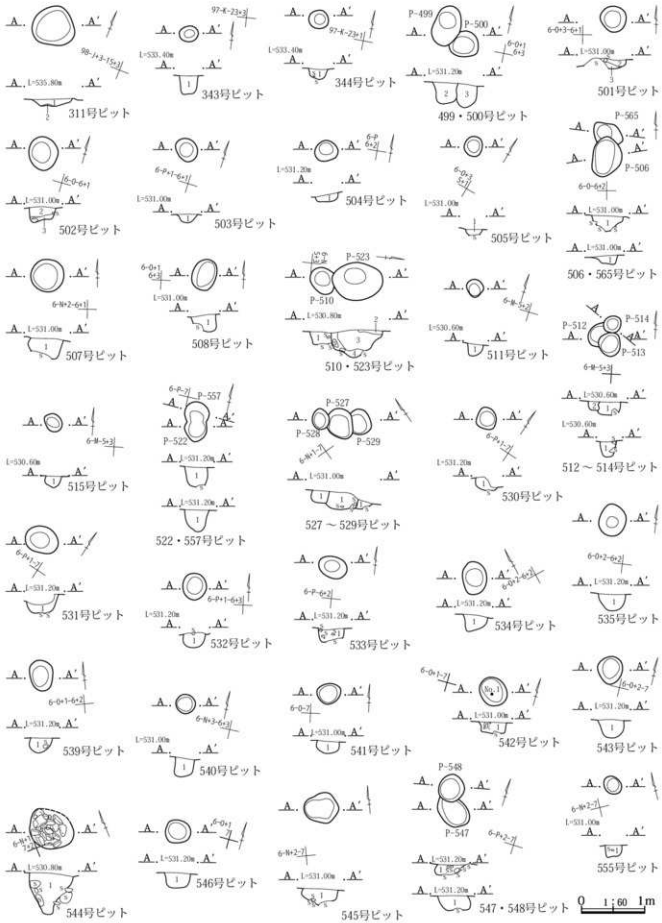
534号ピット

1 黒褐色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒5%含む。

544号ピット

1 暗褐色壤質砂土 7.5YR3/4 地山砂に近いが、色調が暗く、上が少

量混じる。



第253図 第3面ピット1 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

軸長42cm、深さ19cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。鉄製品が出土している。

543号ピット 6-O-6・7グリッド 長軸長45cm、短軸長40cm、深さ28cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

544号ピット 6-N-7グリッド 長軸長72cm、短軸確認長61cm、深さ66cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。壁に沿って円礫が入る。

545号ピット 6-N-7グリッド 長軸長54cm、短軸長49cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

546号ピット 6-O-6・7グリッド 長軸長41cm、短軸長37cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

548号ピット 6-P-7グリッド 長軸長44cm、短軸長40cm、深さ18cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。礫を多く含む。

555号ピット 6-N-7グリッド 長軸長31cm、短軸長26cm、深さ19cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

556号ピット 6-P・Q-8グリッド 長軸長47cm、短軸長42cm、深さ19cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

557号ピット 6-O・P-6グリッド 長軸長39cm、短

軸確認長30cm、深さ36cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。

558号ピット 6-M-6グリッド 長軸長25cm、短軸長22cm、深さ25cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

559号ピット 6-M-6グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ20cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。底面は礫に当たる。

560号ピット 6-M-6グリッド 長軸長32cm、短軸長27cm、深さ25cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。

561号ピット 6-O-7・8グリッド 長軸長54cm、短軸長51cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。礫を含む。

562号ピット 6-P-7グリッド 長軸長74cm、短軸長60cm、深さ41cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

563号ピット 6-M-7グリッド 長軸長37cm、短軸長34cm、深さ14cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

564号ピット 6-O-6グリッド 長軸長34cm、短軸長29cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

565号ピット 6-N・O-6グリッド 長軸長49cm、短

軸確認長22cm、深さ15cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体

556号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

557号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。A層石下の黒色土。

558号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂小粒を5～10%含む。

559号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。A層石下の黒色土。

560号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。

561号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。円礫20%含む。

562号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

563号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の褐色砂を均質に20～30%含む。

564号ピット

1 黒色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒5%含む。

565号ピット

1 黒色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒5%含む。

566号・567号・568号・569号・570号・571号・572号・573号・574号ピット

1 黒色土 10YR2/1 やや粘性あり。白色細粒少量含む。

575号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

576号・577号・578号・579号ピット

1 黒色砂壤土 10YR2/1 炭化物小粒5%含む。

580号・581号・582号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

583号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

2 黒褐色砂壤土と明黄褐色土小粒の混土。

3 黒褐色土 5YR3/2 明黄褐色土中粒10%含む。

4 2層に似るが、締まりなく柔らかい。

5 暗褐色砂壤土 10YR3/3 明黄褐色土小粒主体で黒褐色砂壤土を40%含む。

584号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

585号・586号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

588号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

2 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を30%含む。

589号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

590号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

2 極暗褐色砂壤土 7.5YR2/3 白色細粒を含む。しまりがあり硬い。

591号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

592号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。炭化物小粒10%含む。

593号ピット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

とする。

566号ビット 6-L・M-7グリッド 長軸長28cm、短軸長24cm、深さ21cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

567号ビット 6-M-7グリッド 長軸長28cm、短軸長26cm、深さ12cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

568号ビット 6-Q-9グリッド 長軸長50cm、短軸長34cm、深さ20cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

569号ビット 6-P-9グリッド 長軸長41cm、短軸長33cm、深さ34cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

570号ビット 6-O-9グリッド 長軸長46cm、短軸長41cm、深さ25cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

571号ビット 6-Q-10グリッド 長軸長48cm、短軸長45cm、深さ32cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

572号ビット 6-P-8グリッド 長軸長76cm、短軸長68cm、深さ46cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。礫を多く含む。

573号ビット 6-P-9グリッド 長軸長34cm、短軸長

30cm、深さ36cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

574号ビット 6-P・Q-6グリッド 長軸長59cm、短軸長51cm、深さ25cm。覆土はやや粘性のある黒色土を主体とする。

575号ビット 6-P-7グリッド 長軸長54cm、短軸長45cm、深さ28cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

576号ビット 6-P-9グリッド 長軸長39cm、短軸長26cm、深さ29cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

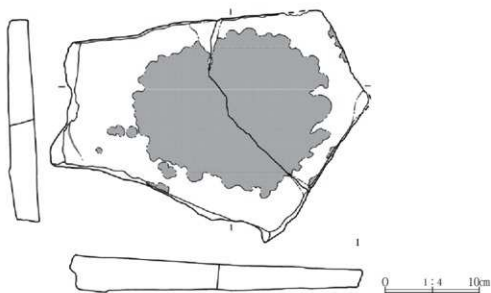
577号ビット 6-P-9グリッド 長軸長48cm、短軸長38cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

578号ビット 6-P-10グリッド 長軸長41cm、短軸長34cm、深さ18cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

579号ビット 6-O-6グリッド 長軸長58cm、短軸長34cm、深さ25cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

580号ビット 6-P-10グリッド 長軸長33cm、短軸長30cm、深さ38cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

581号ビット 6-P・Q-10グリッド 長軸長55cm、短



第255図 第3面ビット出土遺物2 (621号ビット) 1/4

594号・602号・606号・608号・624号ビット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂小粒を5～10%含む。

601号ビット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2。

603号・607号ビット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 地山の明黄褐色砂を均質に20～30%含む。

609～612・617～619・621～623号ビット

1 黒褐色砂壤土 7.5YR2/2 しまりなく、断面が崩れるほど柔らかい。

613号ビット

1 褐色土 5YR4/1 明黄褐色土小粒5%以下含む。上面に浅間A軽石が残る。下部に酸化鉄層。

2 暗褐色砂壤土 7.5YR3/3 焼土小粒不均質に少量含む。明黄褐色土小粒5%以下含む。炭化物小粒5%以下含む。

3 黒褐色砂壤土 7.5YR3/2 明黄褐色砂20～30%含む。しまりなく柔らかい。

615号ビット

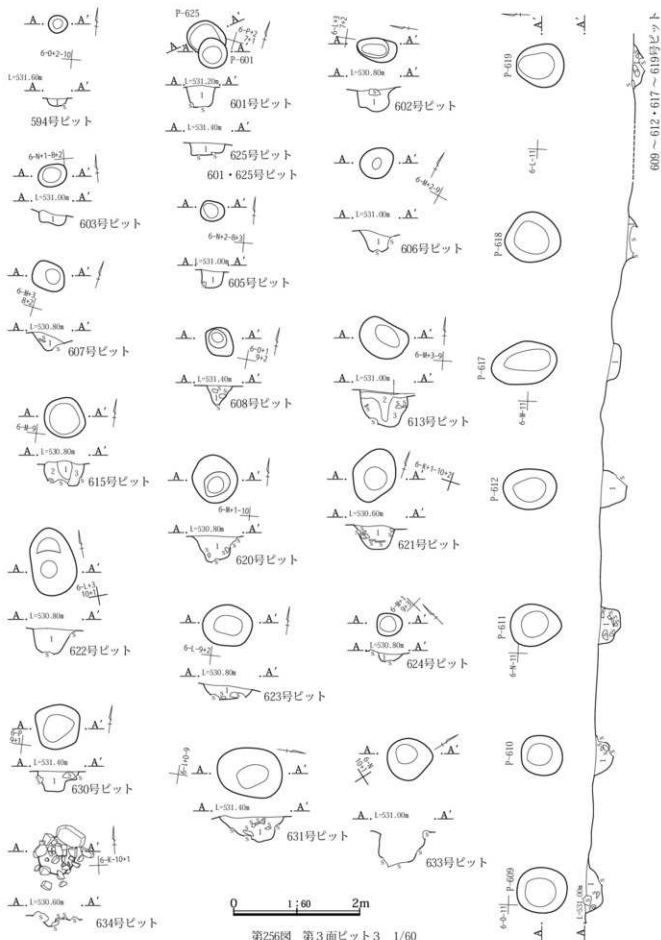
1 黒褐色土 7.5YR3/1 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒をわずかに含む。柱状。

2 黒褐色土 7.5YR 3/2 白色粒をわずかに含む。褐色粒をわずかに含む。

3 暗褐色土 7.5YR 3/3 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒をわずかに含む。

620号・625号・630号～631号ビット

1 暗褐色土 7.5YR 3/4 褐色粒をわずかに含む。黄褐色土粒をわずかに含む。



第256図 第3面ピット3 1/60

第2章 調査された遺構と遺物

軸長41cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

582号ビット 6-P-10グリッド 長軸長40cm、短軸長38cm、深さ20cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

583号ビット 6-P-9グリッド 長軸長54cm、短軸長48cm、深さ38cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。礫を多く含む。

584号ビット 6-P-6グリッド 長軸長66cm、短軸長49cm、深さ20cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。636号土坑に切られる。

585号ビット 6-P-9グリッド 長軸長49cm、短軸長35cm、深さ26cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

586号ビット 6-P-9グリッド 長軸長33cm、短軸長30cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

588号ビット 6-O-9グリッド 長軸長69cm、短軸長60cm、深さ46cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

589号ビット 6-O-9グリッド 長軸長39cm、短軸長30cm、深さ20cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

590号ビット 6-O-10グリッド 長軸長28cm、短軸長21cm、深さ27cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

591号ビット 6-P-10グリッド 長軸長37cm、短軸長35cm、深さ31cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

592号ビット 6-P-10グリッド 長軸長33cm、短軸長28cm、深さ26cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

593号ビット 6-Q-10グリッド 長軸長43cm、短軸長35cm、深さ18cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。礫を含む。

594号ビット 6-O-10グリッド 長軸長30cm、短軸長27cm、深さ14cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

601号ビット 6-P-7グリッド 長軸長47cm、短軸長46cm、深さ32cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。625号ビットを切る。

602号ビット 6-L-7グリッド 長軸長62cm、短軸長38cm、深さ38cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。上位に礫を含む。

603号ビット 6-N-8グリッド 長軸長46cm、短軸長35cm、深さ22cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

605号ビット 6-N-8グリッド 長軸長38cm、短軸長32cm、深さ30cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

606号ビット 6-M-8・9グリッド 長軸長55cm、短軸長47cm、深さ34cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

607号ビット 6-M-8グリッド 長軸長56cm、短軸長49cm、深さ29cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。小礫を含む。底面は礫に当たる。

608号ビット 6-O-9グリッド 長軸長52cm、短軸長43cm、深さ32cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。礫を含む。

609号ビット 6-N-10グリッド 長軸長81cm、短軸長73cm、深さ28cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。小礫を含む。609～612号・617～619号ビットは比較的直線性高く並ぶ。

610号ビット 6-N-10グリッド 長軸長70cm、短軸長65cm、深さ30cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。小礫を含む。

611号ビット 6-M-10・11グリッド 長軸長80cm、短軸長66cm、深さ35cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。小礫を含む。

612号ビット 6-M-10・11グリッド 長軸長86cm、短軸長64cm、深さ41cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

613号ビット 6-M・N-8・9グリッド 長軸長78cm、短軸長67cm、深さ52cm。覆土は褐色土、暗褐色砂壤土を主体とする。中央に柱痕跡の痕跡がある。

615号ビット 6-L・M-9グリッド 長軸長68cm、短軸長63cm、深さ35cm。覆土は黒褐色土を主体とする。

617号ビット 6-L-10・11グリッド 長軸長104cm、短軸長68cm、深さ23cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

618号ビット 6-L-10・11グリッド 長軸長88cm、短軸長80cm、深さ18cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

619号ビット 6-K-10・11グリッド 長軸長75cm、短軸長68cm、深さ18cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。小礫を含む。

620号ビット 6-M-10グリッド 長軸長77cm、短軸長67cm、深さ41cm。覆土は暗褐色土を主体とする。小礫を含む。

621号ビット 6-K-10グリッド 長軸長88cm、短軸長

67cm、深さ39cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。中に礫を含む。灯台台に使用した平石が出土している。

622号ビット 6-L・M-10グリッド 長軸長107cm、短軸長70cm、深さ39cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。

623号ビット 6-K・L-9グリッド 長軸長77cm、短軸長65cm、深さ24cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

624号ビット 6-M-9グリッド 長軸長40cm、短軸長38cm、深さ13cm。覆土は黒褐色の砂壤土を主体とする。底面は礫に当たる。

625号ビット 6-P-7グリッド 長軸長61cm、短軸長32cm、深さ20cm。覆土は暗褐色土を主体とする。

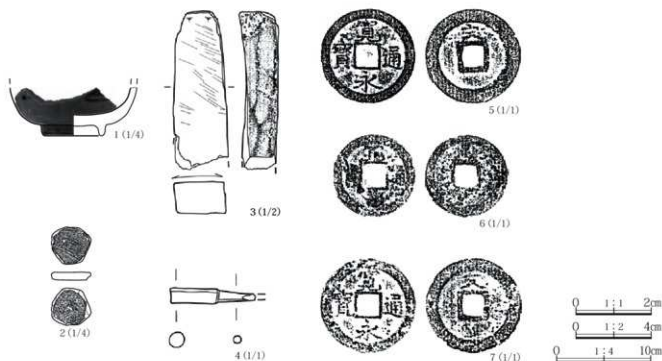
630号ビット 6-O-9グリッド 長軸長72cm、短軸長70cm、深さ33cm。覆土は暗褐色土を主体とする。

631号ビット 6-O-9グリッド 長軸長104cm、短軸長73cm、深さ40cm。覆土は暗褐色土を主体とする。礫を多く含む。

633号ビット 6-M・N-10グリッド 長軸長72cm、短軸長66cm、深さ44cm。底面、壁面は礫に当たる。

634号ビット 6-K-10グリッド 長軸確認長60cm、短軸確認長54cm、深さ18cm。覆土は礫を多く含む。

第8項 第3面遺構外出土遺物



第257図 第3面遺構外出土遺物